

令和元年度

主要施策の成果説明書

松 島 町

<主要施策の成果説明書について>

主要施策の成果説明書とは、地方自治法第233条第5項に基づき、当該決算に係る会計年度における主要な施策の成果を説明する書類として作成するものである。

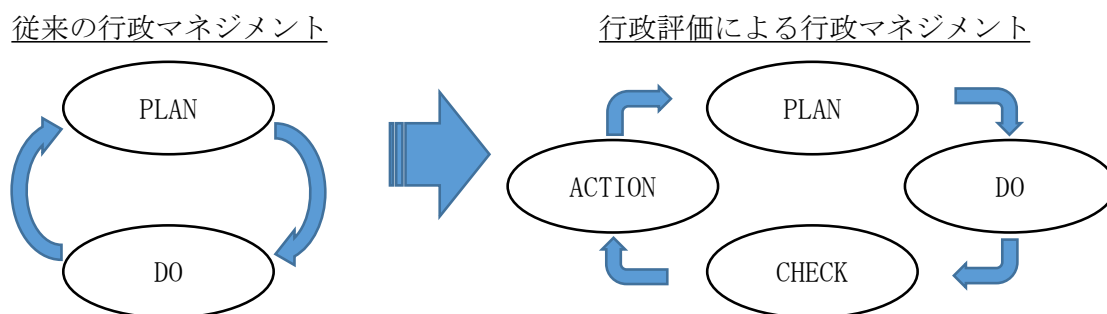
この作成にあたっては、町民に対する説明責任や行政の透明性確保を目的として、令和元年度説明書から松島町行政評価制度の評価結果も併せて記載している。

1 松島町行政評価制度とは

行政評価制度とは、行政活動の目的を明確にしながら成果目標を設定し、その活動に対して投入された予算や人件費、成果物等を総括的に勘案しながら評価を行い、その評価結果に基づく改善を次の行政活動の企画・立案に反映させていく仕組みである。

これにより、全ての行政活動を計画（PLAN）、実行（DO）、評価（CHECK）、改善（ACTION）のマネジメントサイクルの中で行うことで、常に施策や事業の目的・目標を確認し、その遂行状況を把握・評価することにより、問題や課題を速やかに発見し、その見直し・改善等を行うことで、次の計画（PLAN）をより良い状態にしていくことを目的とした制度である。

また、行政活動を客観的に評価し、その評価結果を行財政運営に反映させることはもとより、町民に対して評価結果を公表することで、町民に対する説明責任や行政の透明性確保も目的としている。



2 導入目的

真に地域や時代のニーズにあった行政サービスを展開していけるよう、継続的に政策・施策を構成する事務事業の見直しを図り、業務の改善・改革に取り組む仕組みとして、次のような行政運営を目指すことを目的として導入した。

- ・長期総合計画における“まちづくり政策”の着実な実現、住民満足度の向上
- ・事業の選択、改廃等における住民や関係者への適切な説明責任の確保
- ・職員の改善改革意識の醸成
- ・行財政改革の推進

3 運用状況

平成28年度の導入以降、平成30年度までの3カ年を試行期間と位置付け、全職員を対象とした基礎研修等によりその目的などの情報共有を行い、全事務事業に対する評価の実施及び施策評価のマネジメントサイクルの実践を行うことにより制度構築を行った。

令和元年度からは本格運用を開始しており、今後ますます財政状況が厳しくなっていくことが想定される中、継続的に政策・施策を構成する事務事業の見直しを図りながら、必要な行政サービスを提供できるよう取り組んでいるところである。

< 主要施策の成果説明書の見方 >

							①当該費目の予算額と決算額を記載しています。	
款	項	目						
担当部署名							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	①	決算額	財源内訳 ②				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
目的	③			②財源内訳には、国庫支出金、県支出金、地方債、その他、一般財源の区分により内訳を記載しています。				
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	④	⑤	⑥	⑦	⑧			
実績	⑨			⑥ ※Aタイプの場合 松島町行政評価制度におけるの必要性評価3項目（必要性・妥当性・公平性）各5点の平均点を記載しています。 4.1～5.0…ますます必要性が高くなっている 3.1～4.0…依然、必要性が高い 2.1～3.0…必要である 1.1～2.0…必要性が低くなりつつあり、改善が必要 0.0～1.0…必要性がなく、早急な改善が必要 - …Bタイプ、Cタイプの事業のため評価なし				
				⑦ ※Aタイプ、Bタイプの業務の場合 松島町行政評価制度における有効性評価3項目（適切性・有効性・効率性）各5点の平均点を記載しています。 4.1～5.0…適切且つ効率的に実施しており、目標以上の成果・達成度であった 3.1～4.0…適切且つ効率的に実施しており、目標水準に達している 2.1～3.0…概ね目標水準に達している 1.1～2.0…目標水準をやや下回っており、改善が必要 0.0～1.0…目標水準を大きく下回っており、早急な改善が必要 - …Cタイプの事業のため評価なし				
課題 方向性	⑩			⑧当該事業の目的がどのように達成されたのか、施策の執行においてどのような成果が出たのかを記載しています。				
				⑨当該費目の予算執行に係る実績を記載しています。				
				⑩当該施策の現況や課題と併せて、今後の方向性を記載しています。				

＜松島町行政評価制度における評価項目について＞

○必要性評価

行政として当該事務事業を引き続き実施していく必要があるかどうかを、下記3項目により評価する。

評価項目	点数とその定義
必要性	事業の必要性が事業開始時と比べて小さくなっていないかを評価する。 [5点]ますます必要性が高くなっている [4点]依然、必要性が高い [3点]必要である [2点]必要性が低くなりつつある [1点]必要性がなくなっている
妥当性	行政の関与が必要な事業かどうかを評価する。 [5点]法的な制限などがあり、行政が実施すべき事業である [4点]行政以外には実施できない事業である [3点]行政が行うことが妥当な事業である [2点]民間等でも実施でき、民間等で行うことが妥当な事業である [1点]民間等で実施すべき事業である
公平性	受益者に偏りがあるかどうかを評価する。 [5点]広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない [4点]広い範囲に対して、概ね広く便益の享受がなされている [3点]目的となる対象者に対して、便益を提供している [2点]限定された個人や団体等にものみ便益がもたらされており、改善が必要である [1点]実施による便益を提供できておらず、早急な改善が必要である

○有効性評価

行政として当該事務事業が機能しているか、有効なものであるかを、下記3項目により評価する。

評価項目	点数とその定義
適切性	事業の実施手段・プロセスが目標に対して適切なものを評価する。 [5点]現在の手法が最も適切である [4点]現在の手法が適切性が高い [3点]現在の手法が一般的であり、特に問題はない [2点]現在の手法にはやや問題があり、改善の必要がある [1点]手法を変更する必要がある
有効性	事業の目的や目標とされる成果が達成されているかを評価する。 [5点]目標以上の成果・達成度であった [4点]目標水準に達している [3点]概ね目標水準に達している [2点]やや目標を下回っており、改善が必要である [1点]目標をかなり下回っており、早急な改善が必要である
効率性	費用対効果など事業効率が十分な水準にあるかを評価する。 [5点]効率は相当高められている [4点]効率は徐々に高まっている [3点]比較的効率的である [2点]効率は徐々に低くなっている [1点]効率はかなり低下している

目次

◆一般会計

款		項		目		ページ
1	議会費	1	議会費	1	議会費	1
2	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	4
				2	文書費	8
				3	広報広聴費	10
				6	財産管理費	13
				8	企画費	15
				9	交通安全費	20
				10	諸費	22
				11	電子計算費	24
				12	町民バス運行費	25
				13	施設管理費	28
				15	地上デジタル放送無線共聴施設管理費	29
				18	復興推進費	30
				19	ふるさと納税費	31
		2	徴税費	1	税務総務費	33
				2	賦課徴収費	
		3	戸籍住民基本台帳費	1	戸籍住民基本台帳費	37
		4	選挙費	3	参議院議員選挙費	39
				4	宮城県議会議員選挙費	41
				5	松島町長選挙費	42
		5	統計調査費	1	統計調査総務費	43
				2	指定統計費	44
3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	45
				2	障害者福祉費	47
				3	老人福祉費	52
				4	国民年金費	55
				5	介護保険対策費	56
				6	保健福祉センター管理費	57
				7	プレミアム付商品券事業費	59
		2	児童福祉費	1	児童福祉総務費	60
				2	児童措置費	
				3	保育所費	61
				4	母子福祉費	63
				5	子ども医療対策費	64
				6	子育て支援事業費	65
				7	児童福祉施設費	68
				8	児童館費	69
		3	災害救助費	1	災害救助費	71

款		項		目		ページ
4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	73
				2	予防費	76
				3	健康館費	80
				4	母子衛生費	81
				5	環境衛生費	83
				6	公害対策費	87
		2	清掃費	1	塵芥処理費	88
				2	し尿処理費	89
5	労働費	1	労働諸費	1	勤労青少年ホーム費	90
				2	労働諸費	92
6	農林水産業費	1	農業費	1	農業委員会費	94
				3	農業振興費	96
				4	農地費	99
				5	園芸振興費	102
				6	畜産振興費	103
				2	林業振興費	104
		3	水産業費	2	水産業振興費	110
				4	漁港建設費	112
7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	113
				3	観光費	115
				4	文化観光交流館費	123
8	土木費	2	道路橋梁費	2	道路維持費	125
				3	道路新設改良費	127
		3	河川費	1	河川総務費	130
		5	都市計画費	1	都市計画総務費	131
				3	公園管理費	133
				4	自転車等駐車場管理費	136
				5	街路事業費	137
				1	住宅管理費	139
		6	住宅費	2	木造住宅等震災対策事業費	141
				3	住宅環境整備費	142
9	消防費	1	消防費	1	非常備消防費	143
				2	水防費	145
				3	災害対策費	146
				4	避難施設管理費	148

款		項		目		ページ
10	教育費	1	教育総務費	2	事務局費	150
		2	小学校費	1	小学校管理費	153
		3	中学校費	1	中学校管理費	
		2	小学校費	2	教育振興費（小学校）	155
		3	中学校費	2	教育振興費（中学校）	
		2	小学校費	3	学校保健衛生費（小学校）	157
		3	中学校費	3	学校保健衛生費（中学校）	
		2	小学校費	4	学校建設費（小学校）	159
		3	中学校費	4	学校建設費（中学校）	
		4	社会教育費	1	社会教育総務費	160
				2	公民館費	164
				3	文化財保護費	166
				4	町民の森費	169
				5	地域交流センター費	171
		5	保健体育費	1	保健体育総務費	172
				2	海洋センター費	174
				3	給食施設費	175
		6	幼稚園費	1	幼稚園費	178
				2	幼稚園建設費	181
11	災害復旧費	1	農林水産業施設災害復旧費	1	農地災害復旧費	182
				2	農業用施設災害復旧費	183
		2	公共土木施設災害復旧費	1	公共土木施設災害復旧費	184

◆特別会計

国民健康保険特別会計	186
後期高齢者医療特別会計	189
介護保険特別会計	191
介護サービス事業特別会計	198
観瀾亭等特別会計	199
下水道事業特別会計	205

一 般 会 計

一 般 会 計

1	款	1	項	1	目	議会費						
担当部署名				議会事務局							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
	117,318		114,821		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	議会事務経費		B	-	3.7	概ね目標水準に達している。						
	会議録作成経費		B	-	3.7	概ね目標水準に達している。						
	議会広報広聴経費		B	-	3.7	概ね目標水準に達している。						
実績	【議会事務経費】											
	1 会議の開催状況											
	※会議の開催状況の期間については、『平成31年1月1日～令和元年12月31日』											
	○定例会											
		会期	日数	審議 件数	原案 可決	修正 可決	否決	撤回	継続 審査	審議 未了	一般質問 人数 件数	備考
	第1回	3月1日～3月18日	18	26	26	0	0	0	0	0	8 15	
	第2回	6月14日～6月19日	6	19	19	0	0	0	0	0	9 16	
	第3回	9月25日～10月10日	16	34	34	0	0	0	0	0	5 11	
	第4回	12月13日～12月18日	6	50	47	0	0	3	0	0	8 11	
	○臨時会											
		会期	日数	審議 件数	原案 可決	修正 可決	否決	撤回	継続 審査	審議 未了	備考	
	第1回	1月24日	1	1	1	0	0	0	0	0		
第2回	3月27日	1	3	3	0	0	0	0	0			
第3回	10月24日	1	1	1	0	0	0	0	0			
第4回	11月19日	1	3	3	0	0	0	0	0			
2 全員協議会の開催状況												
・開催回数 2回 (開催日: 令和元年6月3日、令和2年2月3日)												
・案件概要 報告事項: 7件 協議事項: 2件												
3 特別委員会の設置状況												
・東日本大震災復興対策特別委員会 (平成29年12月20日設置)												
4 一般会議												
令和元年10月10日												
行政区長と議会との意見交換会 (松島町議会報告会の報告内容等について)												
(参加者数 行政区長等: 11名 議員: 14名 事務局職員: 1名)												
(次頁へ続く)												

1 款	1 項	1 目
実績	5	委員会調査・審査 ●総務経済常任委員会 ○委員会開催日数 9日間 ○所管事務調査内容 ◇定住化促進対策について ※調査期間 平成29年12月～令和元年9月 ◇観光振興の施策について ※調査期間 令和2年3月～12月 ○所管事務審査 ◇請願第1号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願について ◇請願第2号 政府及び国に対し「ライドシェア」に関する意見書の提出を求める請願 ◇陳情第2号 宮城県が導入を検討している宿泊税の撤回を求める陳情書について ○視察研修内容 - 日程 令和元年7月3日～5日 【2泊3日】 ◇兵庫県明石市(7月3日) ・移住、定住促進事業の概要について ・シティセールス課の事業運営について ◇徳島県美波町(7月4日) ・サテライトオフィスin美波の事業運営について ●教育民生常任委員会 ○委員会開催日数 14日間 ○所管事務調査内容 ◇高齢者支援（買い物支援・生きがい支援）の推進について ※調査期間 平成30年12月～令和元年9月 ◇特色を持った英語教育の推進について ※調査期間 平成30年12月～令和元年9月 ◇保育教育環境におけるICT活用について ※調査期間 令和元年12月～令和2年9月 ○所管事務審査 ◇陳情第1号 2021年度介護保険法改定に向け介護保険制度の抜本改善を求める国への意見書提出を求める陳情書について ※調査期間 令和2年3月～令和2年6月 ○視察研修内容 - 日程 令和元年5月21日～23日 【2泊3日】 ◇長崎県大村市(5月21日) ・特色を持った英語教育の推進について ◇佐賀県佐賀市(5月22日) ・高齢者支援（買い物支援・生きがい支援）の推進について ●広報広聴常任委員会 ○委員会開催日数 26日間 (広報分科会21日間 広聴分科会5日間) ◇議会広報紙の編集・発行及び配布 ◇議会報告会及び一般会議の開催に必要な企画及び調整 ほか ○視察研修内容について - 広聴分科会 - 日程 令和2年2月6日 ◇福島県 喜多方市議会 ・議会と住民等との意見交換会（議会報告会）の実施状況について - 広報分科会 - 日程 令和2年2月5日 ◇栃木県 那須町議会 ・議会だより編集作業等に係る意見交換について
		(次頁へ続く)

1	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

6 議会の視察受入状況

年月日	相手方（視察内容等）
令和元年 7月8日	兵庫県 朝来市議会 清風の絆 （観光振興計画の概要と進捗状況について他）
令和元年 7月17日	大分県 日田市議会 新生ひた （景観を活かしたまちづくりについて）
令和元年 11月1日	佐賀県 白石町議会 総務常任委員会・文教厚生常任委員会 （東日本大震災からの復興とまちづくり他）
令和元年 11月27日	徳島県 美波町議会 総務産業建設常任委員会 （東日本大震災からの復興とまちづくり他）

7 議会議員受講研修

- 宮城県町村議会議員講座・研修会
 - ・創造性を活かした地域づくり
 - ・人口減少社会に期待される議会の役割
 - ・震災後の現状と課題について 他
- 宮城黒川地方町村議会議長会管内議長視察研修
 - ◇視察先：北海道滝川市、当別町
 - ・インターネット中継の取組み状況について
 - ・議会改革特別委員会の活動内容について
 - ・インターネット配信の取組み状況について
 - ・議会活性化の取組み状況について
- 全国町村議会議長会
 - ・町村議会議員の議員報酬等のあり方最終報告

実績

【議会広報広聴経費】

1 議会の要望活動等

年月日	内 容	提出先
令和元年 11月5日	江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進に関する要望 ○江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会 ○鳴瀬川総合開発促進期成同盟会	宮城県知事、 国土交通省東北地 方整備局長
令和元年 12月24日	国道346号整備促進期成同盟会並びに主要地方道仙台松島線整備 促進に係る要望会	宮城県知事、 宮城県議会議長

2 意見書等

議決日	件 名	提出先
令和2年 3月9日	「ライドシェア」と称する「白タク」行為の容認に反対する意見 書	衆議院議長、 参議院議長、 内閣総理大臣、 総務大臣、 国土交通大臣、 内閣府特命担当大 臣（規制改革）

一 般 会 計

2	款	1	項	1	目	一般管理費				
担当部署名				総務課総務管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	266, 877		256, 647					9, 450	247, 197	
目的	最少の経費で最大の効果を上げるため、人事管理の面から職員の研修、福利厚生を実施することにより、人材育成、組織の活性化を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	職員衛生管理費		C	-	-	松島町職員安全衛生管理規程に基づき各種健康診断を実施し、受診結果において再検査が必要な職員に対し医療機関受診勧奨通知を行うことで、職員の心身の健康管理に対する意識啓発を行うことができた。				
	研修経費		A	3.0	3.7	松島町職員研修規程に基づき、市町村職員研修所主催の研修、アカデミー研修及び庁内研修等を実施し、職務に必要な知識、技能の習得に貢献することができた。				
実績	【職員衛生管理費】									
	健康診断									
	・ 職員等健康診断実施状況									
	健 診 区 分		職 員 (派遣職員含む)		臨時職員	計	受診区分 割合			
	定期健康診断		40人		64人	104人	42.8%			
	人間ドック (30歳以上の職員で希望者)		137人		—	137人	56.4%			
	町福利厚生事業		92人		—	92人	—			
	市町村共済事業・地方職員共済事業		45人		—	45人	—			
	未受診者		1人		1人	2人	0.8%			
	計		178人		65人	243人	100%			
	※受診率99.2%									
	・ 受診結果									
	受 診 結 果 区 分		職員 (派遣職員含む) 定期健診		人間ドック	臨時職員 定期健診	計	受診結果 区分割合		
	異常なし		16人		0人	3人	19人	7.9%		
	軽度異常の項目あり		14人		15人	14人	43人	17.9%		
要経過観察の項目あり		8人		40人	28人	76人	31.5%			
要治療の項目あり		2人		63人	9人	74人	30.7%			
要精密検査の項目あり		0人		19人	10人	29人	12.0%			
(うち要医療継続の項目あり)		(2人)		(36人)	(19人)	(57人)	—			
計		40人		137人	64人	241人	100%			
・ 各種がん検診等受診状況 (職員)										
健 診 区 分		対 象 区 分		対象人数		受診人数				
脳ドック		希望者 (40歳以上)		101人		14人				
子宮がん検診		希望者 (年齢制限なし)		70人		22人				
乳がん検診		希望者 (年齢制限なし)		70人		25人				
前立腺がん検診		希望者 (50歳以上)		20人		1人				
(次頁へ続く)										

2 款	1 項	1 目
-----	-----	-----

実績	【研修経費】 職員研修 (研修所等派遣)			
	研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
	新規採用職員研修 新入社員研修会 (七十七銀行) 市町村等新規採用 職員研修 (宮城県町村会)	地域住民の視点に立った行政の担い手としての使命や、公務員として必要となる基本知識と技能を学ぶことで、職務遂行能力の向上を図る。新社会人として挨拶・電話対応等の基本を実習する。	・公務員としての使命 ・人間関係とコミュニケーション ・地方公務員制度 ・自治体職員とまちづくり ・地方自治のしくみ ・CS接遇	5人
	一般職員研修Ⅰ	実務を振り返り、職場で中心的な役割を担っていく中堅職員を目指し、さらなる職務遂行に必要な知識を習得するとともに、地方公共団体を取り巻く環境の変化に対応するために必要な能力の向上を図る。	・まちづくりの視点 ・発想力・創造力育成 ・行政法入門 ・対人対応力向上	9人
	一般職員研修Ⅱ	地方分権が進む中、中堅職員として、魅力あるまちの創造や地域課題を解決するための政策形成の基礎知識と職場内におけるマネジメント能力の向上を図る。	・地域活性化と行政の役割 ・チーム・マネジメント ・政策形成入門	3人
	管理者研修Ⅱ	今日の地方公共団体を取り巻く環境の変化や行政課題を的確に捉え、管理者として組織を効率的かつ効果的に運営するため必要なマネジメント能力の向上を図る。	・自治体マネジメント	1人
	監督者研修Ⅰ	監督者としての職責を自覚し、地方公共団体を取り巻く環境の変化や地域の課題を的確に捉えチームリーダーとしての職務遂行能力の向上を図る。	・財務基礎実務 ・監督者としての心構え	2人
	契約事務研修	地方公共団体における契約事務を適切に執行するために必要となる、民法や地方自治法の基礎的な知識を学ぶ。	・契約事務	1人
	タイムマネジメント研修	限られた時間を有効活用するために必要な知識や技術を学ぶとともに、計画的かつ効率的な業務の遂行に必要な能力の向上を図る。	・タイムマネジメント	2人
	政策形成研修	政策形成の着眼点や技法を学ぶことにより、地域ニーズに即した政策を展開し、具体的ビジョンを示すための政策形成能力の向上を図る。	・政策形成	1人
	条例・規則作成研修 (基礎)	法制執務の基礎や条例・規則の立案形式などを学び、基礎的な条例の一部改正等が理解できるなど実務遂行能力の向上を図る。	・条例・規則作成	1人

(次頁へ続く)

2	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

実績	研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
	事業のスクラップ研修	地方公共団体における組織の健全化を図るため、事業のスクラップの必要性やその阻害要因を考え事業や事務の見直しに取り組むための手法を学ぶ。	・事業のスクラップ	3人
	会計学基礎研修	企業会計に関する知識を必要とする職員を対象に、簿記の基礎、貸借対照表や損益計算書など財務諸表のしくみや見方を学び、実践的な知識を習得する。	・会計学基礎	2人
	OA研修	(応用) 使用頻度の高い関数を始め、作業効率を上げる様々な機能を学ぶ。 (基礎) 基本操作と各種機能を学ぶ。	・Excel2016応用 ・PowerPoint2016基礎 各1名	2人
	行政法研修	行政法に関する基礎的な解釈や運用について知識を修得する。	・行政法	1人
	民法研修	法律の仕組みなどの基礎知識から、自治体職員として、業務遂行上必要となる民法の知識について事例や判例を通して修得する。	・民法入門	1人
	クレーム対応研修	苦情やトラブルの本質を学び、豊富な自治体事例の活用により、特にクレーム・難クレームに対する実践的な対応力を学ぶ。	・クレーム対応力	1人
	ファシリテーション研修	住民との協働のまちづくりや日常業務における会議において、参加者の理解と共感を得ながら中立的な立場で議論を促進し、合意形成や相互理解を導くために有効な技法を習得する。	・ファシリテーター養成	1人
	全国市町村国際文化研修「市町村議会事務局職員研修」	議会の改革・運営等に必要な基本的な知識や条例立案等の専門的知識を習得するとともに、分権時代の地方議会のあり方について理解を深め実務遂行能力の向上を図る。	・議会改革の現状と課題 ・条例修正の必要性 ・議会運営について	1人
	市町村職員中央研修「市町村税徴収事務」	地方税法、国税徴収法、財産の調査・差押えなどの実務、納税者折衝、滞納整理事例等に関する講義、演習等により、税徴収に関する基本的事項及び専門的知識の習得、実務遂行能力の向上を図る。	・徴収事務のマネジメント ・国税徴収法の実務 ・地方税法総則事例研究 ・滞納整理の勘所 ・納税の緩和制度、延滞金 ・徴収困難事例の法的対応	1人
	市町村職員中央研修「介護施策の在り方」	介護保険制度、地域包括ケア、地域医療等に関する講義、演習等により、介護施策の在り方についての専門的知識の習得と実務遂行能力の向上を図る。	・介護保険制度の動向 ・今後の地域包括支援センターの在り方 ・地域における医療と介護の連携	1人

(次頁へ続く)

2	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

実績	(職場研修)				
	研修名	研修の目的	研修内容	受講者数	
	新規採用職員研修	入庁して目の浅い職員に対し、町役場職員として最低限必要な知識を身につける。	(総務課総務管理班) ・松島町について ・法令について ・公務員とは ・財政について ・予算・決算について ・起案について ・文書について ・経理について ・契約について	5人	
	職員ハラスメント防止対策セミナー	職員を対象としたハラスメント防止対策セミナーを開催し、職員へのハラスメントに対する意識啓発と正しい知識の取得を図る。	(武蔵野大学心理臨床センター) ・ハラスメントのない職場を作るために必要なもの	55人	
	職員ストレスチェックに係るセルフケアセミナー	ストレスチェック結果を基に、職員一人一人の心の健康づくりを啓発し、セルフケアの推進を図ることを目的とする。	(一般財団法人宮城県成人病予防協会) ・ストレスやメンタルヘルスに対する正しい理解 ・ストレスチェック結果報告書から見るセルフケア	117人	
	タイムマネジメント研修	勤務時間を有効に活用するために必要な知識・技術を習得し、計画的で効率的な業務の運営に資する。	(株式会社ぎょうせい) ・タイムマネジメントとは ・タイムマネジメントの基礎技法 ・タイムマネジメントの実践技法	57人	
課題 方向性	例規システム操作研修	例規システムの操作について基礎から応用までを学ぶ。	・例規システムの基本操作 ・例規及び法令等の検索 ・システムを使った条例等の改正について	22人	
	各種健康診断を実施し、対象職員全員が健康診断を受診できるよう職員衛生環境の整備に努め、受診結果において再検査が必要な職員については医療機関を受診するよう通知を行い、適切な健康管理を行う。 研修については、職員自身が必要とする知識及び技術を見極め、進んで研修を受講できる環境を構築する。				

一 般 会 計

2	款	1	項	2	目	文書費				
担当部署名				総務課総務管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,490		3,224						3,224	
目的	町が保有する情報の公開を図るとともに、町の諸活動を町民に説明する責務を果たすことで、公正で民主的な行政の運営に資する。 文書收受・整理については、正確かつ適切な事務処理を通して、適正な公文書管理を実施する。 規程形式文書審査については、例規システムを活用し、法令等改廃情報の把握や適切な審査を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	情報公開事務経費		B	-	3.7	松島町情報公開条例に基づき、適切な情報の開示を行い、町民の知る権利の充実を図ることができた。				
	文書收受・整理に関する事務経費		C	-	-	日々送付される文書を事務部局ごとに適切な処理を実施し、保存文書を明確にし、適正な公文書管理ができた。				
	例規関係審査・追録等経費		C	-	-	例規システムを活用し、規程類の改廃について、統一かつ適正な審査及び改正を行うことができた。				
実績	【情報公開事務経費】									
	・松島町情報公開条例及び松島町個人情報保護条例の規定による開示等の件数 (単位:件)									
	処理内容		開示 請求件数	全部開示 決定件数	部分開示 決定件数	不開示 決定件数	不服申立 処理件数			
	件数		3	1	2	0	0			
	【文書收受・整理に関する事務経費】									
	・総務管理班において行った文書整理、文書收受及び文書保存の冊数									
	文書整理		(単位:冊)							
	区	分	文書引継冊数		文書廃棄冊数					
	冊	数	16		0					
	文書收受		(単位:件)							
事務部局		収受総数								
町長の事務部局		4,476								
教育委員会の事務部局		650								
選挙管理委員会		62								
農業委員会		147								
固定資産評価審査委員会		0								
計		5,335								

(次頁へ続く)

2 款	1 項	2 目
-----	-----	-----

文書保存 (単位：冊)	
事 務 部 局	保 存 総 数
町 長 の 事 務 部 局	2,909
教育委員会の事務部局	59
選 挙 管 理 委 員 会	246
農 業 委 員 会	96
固定資産評価審査委員会	2
計	3,312

※令和2年3月31日現在における庁舎書庫内保存文書冊数

【例規関係審査・追録等経費】

- 1 規程形式文書審査事務取扱規程第2条の規定による審査実施件数

(単位：件)

区 分	条例	規則	訓令	その他	計
件 数	34	25	4	19	82

- 2 松島町例規集編纂等業務委託

2,463,400 円

- ・ 例規システムの導入により、法令情報の提供、条例・規則等の審査の見直しを行い、例規集等編纂事務の向上と経費縮減に努めた。

実績

課題
方向性

書庫内の保存文書をリスト化し、適切な管理を行うとともに、保存年限の過ぎた文書は適宜廃棄していく。
また、例規集に未掲載の要綱等についてはインターネット版例規集への登載を速やかに行う。

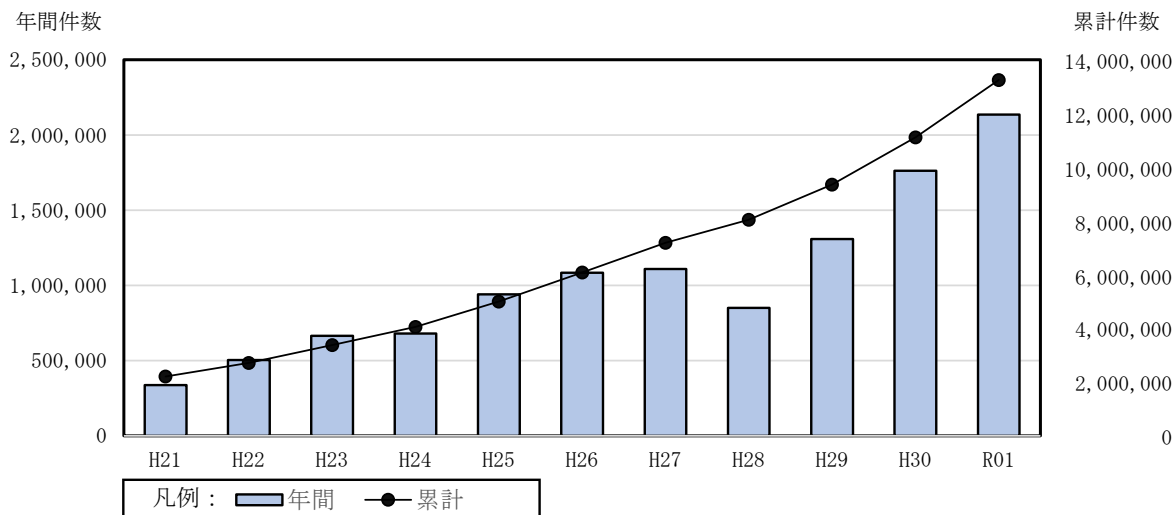
一 般 会 計

2	款	1	項	3	目	広報広聴費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,069		5,903					565	5,338	
目的	あらゆる機会をとらえて情報の提供を行うとともに、地域または全町の建設的な意見を集約して、相互理解のもとに、まちづくりを推進する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	広報紙発行経費		B	-	3.3	広報紙のデザインを刷新することで、町内のイベント情報等の身近な情報から、町政や町の動向までこれまで以上に見やすく紹介することができた。				
	広報事務経費		B	-	3.3	前年同様にホームページ、フェイスブック、インスタグラムの管理・運営を実践し、アクセス数も前年と同様のペースで推移している。				
	広聴事務経費		C	-	-	定例相談会の相談件数は小数だが、定例で設置していることで住民生活の不安の解消に繋がっている。				
実績	【広報紙発行経費】									
	広報まつしま印刷				3,041,500 円					
	・発行回数及び部数				毎月 5,700部 (年間 68,400部)					
	・配布先				町内全世帯及び関係機関					
実績	【広報事務経費】									
	(近年におけるアクセス数等の推移の状況については次頁参照)									
	1 松島町ホームページの管理・運営									
	・アクセス数 平成31年4月1日～令和2年3月31日 2,134,730 件									
実績	・外国語翻訳機能利用回数 平成31年4月1日～令和2年3月31日 6,914 件									
	2 松島町フェイスブックアカウントの管理・運営									
	・アクセス数 平成31年4月1日～令和2年3月31日 146,610 件									
	・フェイスブックページへの「いいね」数 平成31年4月1日～令和2年3月31日 112 件									
実績	3 松島町Instagramアカウントの管理・運営									
	・フォロワー数 平成31年4月1日～令和2年3月31日 367 件									
	【広聴事務経費】									
	行政相談及び法律相談 47件									
課題 方向性	・行政相談 (毎月第1火曜日) 5件									
	①近隣トラブル関係 (0件) ②行政関係 (5件) ③その他 (0件)									
	・弁護士無料法律相談 (毎月第2金曜日) 42件									
	①近隣トラブル関係 (2件) ②金銭関係 (7件) ③相続関係 (18件) ④その他 (15件)									
課題 方向性	広報紙発行については、より見やすいものとするためデザインの刷新を行ったことから、今後は掲載情報の精査を図り、町民が求める情報の発信に努めるとともに、ホームページ、フェイスブック、Instagramについてはデジタル社会における情報発信のツールとして、その特性に応じた運用により町内外への情報の適時発信に努める。 また、行政相談及び法律相談を引き続き開催するとともに、相談日時を適宜発信し、住民生活の不安の解消に努める。									

【松島町ホームページ閲覧状況】

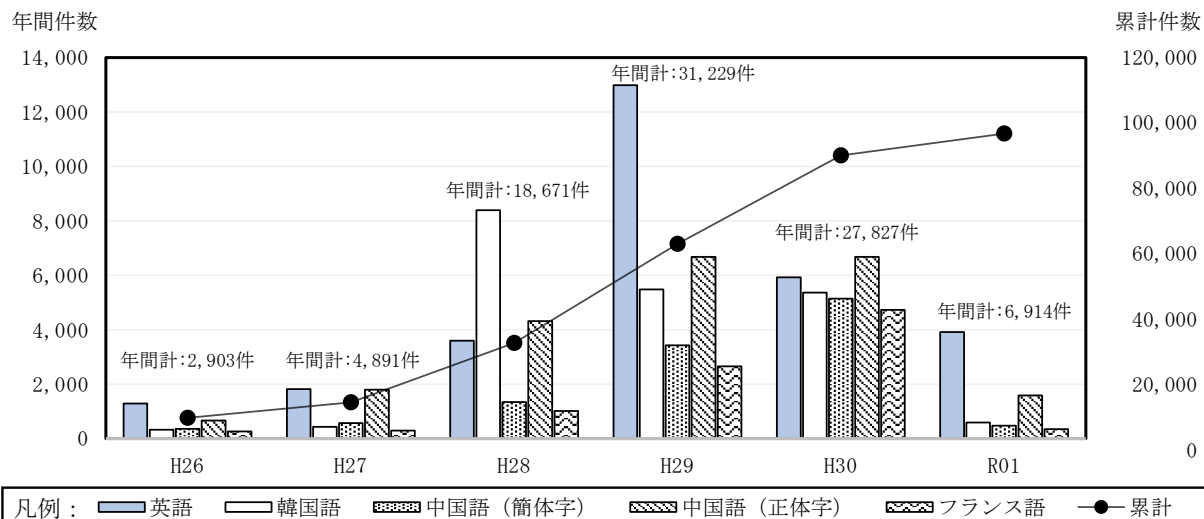
○ アクセス数

平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日 2,134,730 件
 平成9年10月 開設 ～ 令和2年3月31日 13,245,666 件



○ 外国語翻訳機能利用回数

平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日 6,914 件
 平成24年4月 開設 ～ 令和2年3月31日 96,050 件



○ 言語別利用回数

① 年間件数 (平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日)

■ 英語	3,913 件
■ 韓国語	593 件
■ 中国語(簡体字)	476 件
■ 中国語(正体字)	1,584 件
■ フランス語	348 件

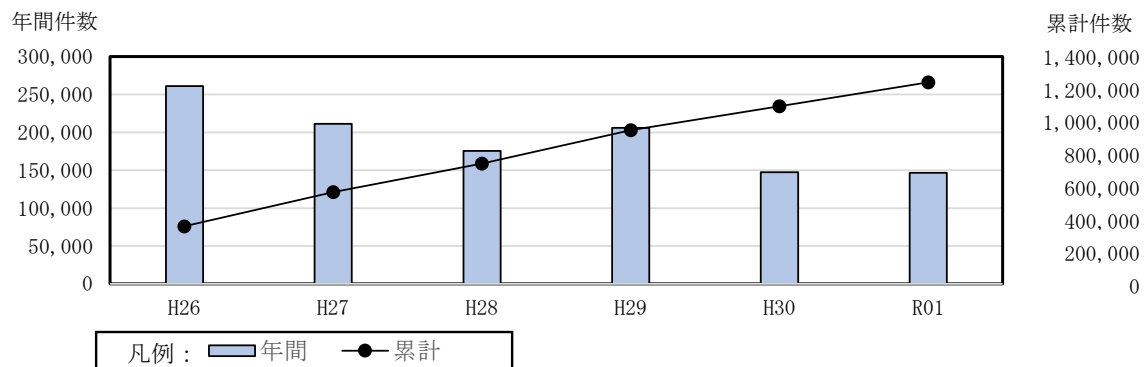
② 累計件数 (平成24年4月1日 ～ 令和2年3月31日)

■ 英語	31,539 件
■ 韓国語	20,725 件
■ 中国語(簡体字)	11,874 件
■ 中国語(正体字)	22,447 件
■ フランス語	9,465 件

【松島町フェイスブックアカウント閲覧状況】

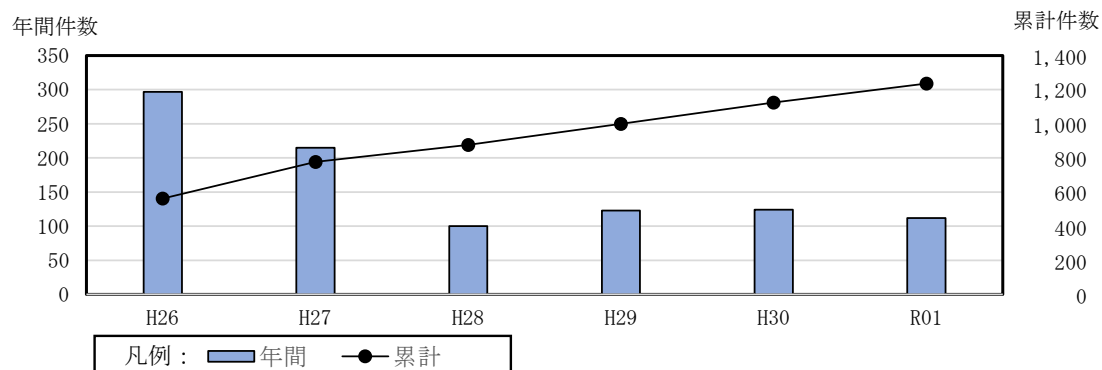
○ アクセス数

平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日 146,610 件
 平成25年4月 開設 ～ 令和2年3月31日 1,241,344 件



○ フェイスブックページへの「いいね」数

平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日 112 件
 平成25年4月 開設 ～ 令和2年3月31日 1,236 件



【松島町インスタグラム閲覧状況】

○ フォロワー数

平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日 367 件
 平成30年10月 開設 ～ 令和2年3月31日 661 件

一 般 会 計

2	款	1	項	6	目	財産管理費				
担当部署名				財務課財政班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	101,166		97,631					9,045	88,586	
目的	財政班所管町有財産の維持管理に努めながら、貸付・使用許可・払下げによる資産の有効活用を図っていく。また、財務諸表を作成することにより、本町の財政状況等を把握していく。 さらに公用車による事故防止等の啓発や、適切な契約事務等についてより一層の効率化を図っていく。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	庁舎外施設維持管理経費		B	-	4.0	庁舎等施設の適切な維持管理に努めるとともに、長期契約や他施設との合併発注を活用し、事務の軽減や経費削減が図られた。				
	公用車管理経費		C	-	-	公用車の適切な管理を行うとともに、職員等を対象に交通安全研修会等を開催し、事故防止の啓発を図った。				
	契約事務経費		B	-	4.0	入札監視委員会の開催により入札・契約の適正化が図られた。また、業者登録事務については塩釜地区・黒川地区市町村等の広域化により、事務の軽減が図られた。				
	普通財産管理経費		B	-	4.0	普通財産の維持管理を行いながら、貸付、使用許可、払い下げなど資産の活用を図った。				
	公共財産管理経費		B	-	4.0	公共物（共用財産）の維持管理を行いながら、貸付、使用許可など資産の活用を図った。				
	松島フットボールセンター管理経費		B	-	4.0	松島フットボールセンター施設の適切な維持管理を図った。				
	新地方公会計整備事業		A	3.0	3.7	統一的な基準による財務書類等を作成し、本町財政状況の把握を図った。また、平成29年度決算財務書類を町HPで公表し、財政状況の「見える化」を図った。				
	各種基金管理		A	3.0	3.7	基金の適切な運用を図った。				
実績	【庁舎外施設維持管理経費】									
	・修繕料	庁舎喫煙室内装修繕他	(3 件)	479,040 円						
	・手数料	高濃度PCB廃棄物処理手数料他	(7 件)	3,198,285 円						
	・業務委託	宿日直・清掃業務委託他	(8 件)	9,112,225 円						
	・用地賃借	庁舎用地賃借	(1 件)	11,580,360 円						
	・機器等賃借	電話交換機等設備リース他	(5 件)	525,140 円						
	・工事	庁舎屋外喫煙所設置工事	(1 件)	463,320 円						
	・備品購入	掃除機購入他	(2 件)	84,490 円						
	【公用車管理経費】									
	・修繕料	公用車修繕	(2 件)	58,498 円						
・手数料	公用車車検整備手数料他	(4 件)	110,375 円							
・賃借	公用車リース	(4 件)	1,903,376 円							
		マイクロバス運行	(111 件)							
	・研修会等	安全運転適性検査（8月28日開催） 交通安全研修会（11月12日開催）	運転適性診断、動体視力測定他 講話・DVD鑑賞（塩釜警察署）							
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

2	款	1	項	6	目
実績	【契約事務経費】				
	・ 業務委託	入札参加資格登録（令和2年度追加登録分）			
		情報入力業務委託	（ 77 者）	99,000	円
		建設工事	（ 19 者）		
		設計コンサル	（ 11 者）		
		物品・役務	（ 47 者）		
	・ 入札監視委員会	7月30日開催	審議案件（建設工事 5件	業務委託 5件）	
		1月31日開催	審議案件（建設工事 5件	業務委託 6件）	
	【公共財産管理経費】				
	・ 業務委託	自然公園他草刈等業務委託他			（ 3 件） 1,140,470 円
課題 方向性	【松島フットボールセンター管理経費】				
	・ 修繕料	屋外受変電設備修繕	（ 1 件）	99,000	円
	・ 手数料	簡易専用水道施設検査	（ 1 件）	14,667	円
	・ 業務委託	構内草刈等業務委託他	（ 7 件）	1,432,540	円
	【新地方公会計整備事業】				
	・ 業務委託	財務書類作成等			2,475,000 円
	【財産運用】				
	・ 行政財産目的外使用許可		（ 19 件）	320,252	円
	・ 公共物（公共財産道水路）使用許可		（ 41 件）	2,172,893	円
	・ 土地貸付		（ 25 件）	1,939,442	円
・ 土地建物貸付		（ 3 件）	1,010,340	円	
・ 土地売払い		（ 3 件）	3,459,434	円	
・ 役場庁舎転貸借		（ 1 件）	1,344,414	円	
	施設の老朽化による修繕費の増加や町有地の草刈・支障木の撤去等の費用の増加など施設維持管理費用が増加している。				
	今後の方針としては、町有財産の有効活用と不用財産の処分を検討・推進していく。また、財務諸表の分析・検討を行い今後の財政運営に活用していく。				

一 般 会 計

2 款		1 項	8 目	企画費				
担当部署名			企画調整課					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	182,989	60,241				16,000	44,241	
目的	町民等の満足度を高める施策を効率的・効果的に推進し、誰もが「住んでよかった」、「今後も住み続けたい」と感じられるまちづくりを推進する。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	企画事務経費(総合計画審議会)	B	-	3.7	令和元年度から2年間で進める長期総合計画後期基本計画の策定に際し、町長からの諮問を受け、全世帯を対象としたアンケート調査や町の現状と課題、その他策定に関する事項等について議論を行い、適正な会議運営が図られた。			
	企画事務経費(広域行政等)	B	-	3.7	塩釜地区広域行政連絡協議会において、塩釜地区二市三町の広域的な行政課題について協議を行い、連絡調整を行った。また、同協議会において、宮城県及び宮城県議会へ要望を行った。 仙台都市圏広域行政推進協議会において、「どこでもパスポート」を発行し、仙台都市圏域内の小学生に配布することで、公共施設の活用の促進と学習機会の創出を行った。			
	長期総合計画関連費	B	-	3.7	長期総合計画後期基本計画の策定にあたり、全世帯アンケート調査や町の現状と課題、主要施策の達成度評価と見直し方針等、後期基本計画に係る各種確認や検討、議論を行い、効果的かつ適切な計画策定が図られた。 また、実施計画の調整や主要施策のとりまとめ等についても適切な事務の遂行が図られた。			
	企画事務経費(各種プロジェクト)	B	-	3.7	特命事項等への対応を主として、国会議員への要望や各種調査・打合等に対し、適切な対応が図られた。			
	景観形成推進経費	B	-	3.7	事前協議や届出制度による景観形成に係る協議等を通じて適切な誘導を行うことにより、良好な景観の形成ができた。 また、重点地区内の建築行為に対する景観重点地区景観整備事業補助金交付に係る協議により、歴史的景観を損なわない建築が行われた。			
	企業立地・誘致関連経費	A	4.3	3.0	県主催の企業立地セミナーにおいて、県内での事業展開を検討している企業に向け、誘致計画地のPRを実施したほか、次世代放射光施設の運用に参画予定の企業と学術研究者が一堂に会する一般財団法人光科学イノベーションセンター主催の会議に出席し、関連企業や研究施設の誘致に向け、本町の土地利用計画について説明を行った。			
	定住促進事業費	A	4.0	3.3	主に首都圏など都市部在住で地方への移住を検討している方に対し、県主催の移住フェア等を通じ、町のPRや情報発信が図られた。			
	定住促進事業費(震災復興定住促進事業補助金)	B	-	3.7	本町に定住促進事業補助金制度があることで町外からの転入者が町内に新築住宅を建築し、定住するきっかけとして寄与した。			
	定住促進事業費(津波被災住宅再建支援事業補助金)	B	-	3.3	広報紙や町ホームページにて制度周知を図ったが、東日本大震災からの時間の経過とともに申請件数が減っており、令和元年度においては新規申請は無かった。			

(次頁へ続く)

2	款	1	項	8	目
---	---	---	---	---	---

評価 成果	国土利用計画法関連経費	C	-	-	町土の適正かつ効率的な利活用のための国土利用計画に基づき、一定規模以上の土地の売買の届出を受け付け、適正かつ合理的な土地利用を確保できた。
	行政評価事務経費	A	3.7	3.3	各事務事業の目的や達成度を評価する数値目標を明確化した上で、各事務事業に要する人件費についても考慮した評価の構築を図った。
	松島海岸駅整備事業	A	4.3	4.0	令和元年5月27日に令和元年度松島海岸駅整備事業に係る補助金を東日本旅客鉄道株式会社へ交付した。整備事業は令和3年度内の竣工を目指している。

実績

【企画事務経費(総合計画審議会)】

・ 総合計画審議会の開催

開催日	内 容	場 所
令和元年 7月29日	○諮問：松島町長期総合計画後期基本計画の策定について ①松島町長期総合計画について ②長期総合計画の策定体制及びスケジュール等について ③アンケート調査について (出席16人、欠席3人)	役場3階 大会議室
令和2年 1月21日	①住民アンケート調査結果について ②松島町の現状と課題について (出席16人、欠席3人)	

【企画事務経費(広域行政等)】

1 塩釜地区広域行政連絡協議会

(1)協議会及び幹事会の開催(協議会2回、幹事会4回)

- ・ 宮城県に対する要望
- ・ 塩釜県税事務所及び塩釜県税管内二市三町協働徴収体制について

(2)宮城県に対する要望

- ・ 塩釜地区二市三町の圏域振興にかかる行政課題について要望を行った。

(3)担当課長会議の開催

- ・ 衛生担当課長会議(4回)
- ・ 保健担当課長会議(4回)
- ・ 消防・介護等担当課長会議(5回)
- ・ 塩釜地区学校保健連絡会(3回)
- ・ 塩釜地区障害児就学指導推進協議会(3回)
- ・ 宮城県東部地域自立支援協議会(全体会1回、地域づくり運営会議3回)

(4)負担金

- ・ 塩釜地区広域行政連絡協議会負担金

15,000 円

2 仙台都市圏広域行政推進協議会

(1)協議会及び幹事会の開催(協議会2回、幹事会2回)

- ・ 国及び宮城県に対する要望

(2)国及び宮城県に対する要望

- ・ 圏域振興にかかる行政課題について要望を行った。

(3)「どこでもパスポート」事業の実施

- ・ 圏域内小学生約2万冊配布

(4)ホームページの公開

(5)負担金

- ・ 仙台都市圏広域行政推進協議会負担金

68,000 円

【長期総合計画関連費】

1 松島町長期総合計画後期基本計画策定業務委託（2019年度分）

6,050,000 円

2 全世帯アンケート調査の実施

(1)調査期間

令和元年9月1日～9月30日（投函期限）

(次頁へ続く)

(2) 調査概要

対 象 者: 町内全世帯 (5,327世帯)

配付方法: 広報まつしま (9月号) にあわせて配付

回収方法: 郵送回収または回収箱設置箇所 (役場庁舎、保健福祉センター、文化観光交流館、勤労青少年ホーム、品井沼農村環境改善センター) へ直接持参

(3) 回収状況

地区	今回			前回 (H26. 10. 1～10. 31)		
	発送数(世帯)	回収数(票)	回収率	発送数(世帯)	回収数(票)	回収率
松島	813	174	21.4%	809	146	18.0%
高城	1,273	325	25.5%	1,327	274	20.6%
本郷	764	158	20.7%	748	118	15.8%
磯崎	1,260	333	26.4%	1,169	295	25.2%
手樽	214	67	31.3%	218	56	25.7%
北小泉	69	17	24.6%	70	9	12.9%
下竹谷	86	20	23.3%	87	11	12.6%
上竹谷	97	25	25.8%	104	20	19.2%
幡谷	387	114	29.5%	384	89	23.2%
根廻	68	21	30.9%	70	18	25.7%
初原	230	61	26.5%	243	55	22.6%
桜渡戸	66	11	16.7%	68	10	14.7%
無回答	-	17	-	-	175	-
計	5,327	1,343	25.2%	5,297	1,276	24.1%

3 まちづくり検討委員会の開催

開催日	内 容	場 所
令和元年 7月22日	①松島町長期総合計画について ②まちづくり検討委員会の役割及びスケジュールについて ③アンケート調査内容について (出席8人(委員7人、アドバイザー1人)、欠席7人)	役場3階 大会議室
令和元年 12月5日	①住民アンケート調査結果について ②主要施策達成度評価結果について (出席10人(委員9人、アドバイザー1人)、欠席5人)	
令和2年 1月30日	○まちづくりの現状と課題の分析について (ワークショップ) 「本町のまちづくり等に関する問題・課題等の抽出等」 (長期総合計画基本計画1～3章分) (出席11人(委員10人、アドバイザー1人)、欠席4人)	

4 まちづくり検討庁内委員会の開催

開催日	内 容	場 所
令和元年 6月10日	①松島町長期総合計画について ②まちづくり検討庁内委員会について ③公共施設の使用料等の見直しについて (出席19人、欠席1人)	役場3階 大会議室
令和元年 7月11日	①事業達成度評価について ②アンケート調査内容の確認・検討について (出席19人、欠席1人)	
令和元年 10月28・29日	○主要施策の達成状況等に係るヒアリング調査	役場1階 101会議室
令和元年 11月6日	①アンケート調査の回収状況等について ②主要施策の達成度評価等について ③公共施設の使用料等の見直しについて (出席20人(うち代理出席2人))	役場3階 大会議室
令和元年 12月6・9日	○主要施策の見直し内容 (目標・指標及び施策概要等) に係る ヒアリング調査	役場2階 202会議室
令和元年 12月23日	①住民アンケート調査結果について ②主要施策等の見直し方針案について (グループ討議) (出席19人(うち代理出席1人)、欠席1人)	役場3階 大会議室

(次頁へ続く)

【景観形成推進経費】

1 景観審議会の開催 1回（委員11人）

開催日	内 容	場 所
令和2年 2月13日	・松島町景観計画の運用状況について ・民間開発事業について ・太陽光発電施設に係る行為状況について (出席委員9人、欠席委員2人)	役場2階 201会議室

2 景観重点地区景観整備事業補助金 交付件数 1件 1,000,000 円

3 景観計画の運用状況について

(1) 景観条例における事前協議 39 件

景観条例に基づき、町全域を対象に事業の企画・提案などの段階から事業者と景観形成に関する協議を実施するもの。

建築物 4 件（松島：2件、高城：1件、磯崎：1件）

工作物 35 件（松島：14件、高城：4件、本郷：2件、磯崎：5件、手樽：6件
下竹谷：1件、幡谷：1件、根廻：1件、初原：1件）

開発行為 0 件

土砂の採取等 0 件

(2) 景観法における届出 4 件

景観法に基づき、「特別名勝松島」指定区域外における行為の届出に関する審査事務を実施するもの。

建築物 0 件

工作物 4 件（幡谷：1件、初原：2件、桜渡戸：1件）

開発行為 0 件

土砂の採取等 0 件

実績

【企業立地・誘致関連経費】

企業誘致に関する取り組み

- ・企業誘致交渉 95社
- ・宮城県企業立地セミナー in Tokyo、宮城県企業立地セミナー in Nagoyaに参加
- ・一般財団法人光科学イノベーションセンター主催で行われた会議に出席し、次世代放射光施設の利用を計画している企業への誘致活動。

【定住促進事業費】

・ 移住・定住フェアへの参加 3回

名 称	開催日	内 容	問合件数	場 所
第3回みやぎ移住フェア	令和元年 7月8日	石巻市、気仙沼市、登米市、東松島市、大崎市、村田町、丸森町、美里町、松島町の9市町が参加。第一部「先輩移住者トーク」と第二部「個別相談会」の2部構成にて開催。	5	NPO法人 ふるさと回帰 支援センター (東京都千代田 区有楽町)
まみたん キッズeco パーク in長町	令和元年 9月8日	株式会社仙台ばど主催による0歳から6歳までの乳幼児を持つ家族向けのイベント。ブースを設け、移住・定住ガイドブック及び観光パンフレットを配布。	来場者の うち約270 人に資料 を配付し た。	FUT MESSE!仙台 長町 (フットサル場)
第6回みやぎ移住フェア	令和元年 12月15日	石巻市、大崎市、東松島市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、松島町の7市町が参加。第一部「みやぎの冬暮らし」をテーマとした自治体PRと第二部「個別相談会」の2部構成にて開催。	1	NPO法人 ふるさと回帰 支援センター (東京都千代田 区有楽町)

(次頁へ続く)

【定住促進事業費(震災復興定住促進事業補助金)】

松島町復興支援定住促進事業補助金
交付世帯数 町内 2世帯 10人 町外 22世帯 66人 11,800,000 円

(繰越明許費)

松島町復興支援定住促進事業補助金
交付世帯数 町内 0世帯 0人 町外 5世帯 13人 3,000,000 円

【定住促進事業費(津波被災住宅再建支援事業補助金)】

(繰越明許費)

松島町津波被災住宅再建支援事業補助金
交付世帯数 町内 1世帯 4人 町外 0世帯 0人 1,500,000 円

【国土利用計画法関連経費】

- 1 土地売買等届出書 4件 (磯崎:1件、手樽:1件、北小泉:1件、初原1件)
国土利用計画法に基づき、土地の投機的取引や地価の高騰を抑制するとともに、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、一定面積以上の土地の取引をしたときに届け出るもの。
- 2 土地有償譲渡届出書 2件 (松島:1件、磯崎:1件)
公有地の拡大の推進に関する法律に基づき、公有地の拡大の計画的な推進を図り、地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進に資することを目的として、都市計画区域内の一定規模以上の土地を有償で譲渡しようとするときに届け出るもの。

実績

【行政評価事務経費】

松島町行政評価システムリース 1,765,800 円
地域や時代のニーズに合った、効果的・効率的な行政サービスを展開していけるよう、各事務事業に対して投入された予算や成果について、PDCAサイクルによる継続的な検証と見直しを図る仕組みを構築するとともに、評価に用いるシステムの導入を図るもの。

【松島海岸駅整備事業】

松島海岸駅整備事業費補助金(令和元年度分) 31,489,000 円
東日本旅客鉄道株式会社が実施する松島海岸駅整備事業に対して、松島海岸駅整備事業費補助金交付要綱に基づく令和元年度分補助金。

【空き家バンク】

新規登録及び賃貸等契約成立件数

区 分	住宅(件)	土地(件)	計
年度当初登録件数	3	21	24
年度内新規登録数	6	2	8
年度内賃貸等契約成立件数	3	7	10
年度末登録件数	6	16	22

課題
方向性

町民等の満足度を高める各種施策を引き続き推進し、本町の特色を生かした魅力あふれるまちづくりを進めることで、住民が安心して働き、潤いのある豊かな生活を送れ、「住んでよかった」、「住み続けてよかった」と感じられるまちづくりを目指す。
特に、移住・定住に強く関連する施策については、次の展開を検討していく必要がある。

一 般 会 計

2 款		1 項		9 目		交通安全費					(単位:千円)	
担当部署名				総務課環境防災班								
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	8,648		7,018			256		117	6,645			
目的	住民や松島を訪れる方の安全を確保するため、事故防止に向けた交通安全意識の高揚を図る啓発活動を推進するとともに、安全な道路交通環境を保持するための交通安全施設等の整備や危険箇所の改善に努める。 さらに、交通安全協会等の関係団体及び警察等の協力を得ながら安全運転の啓発と交通安全思想の普及を推進する。											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	交通安全指導事業経費		A	4.7	3.3	交通安全指導員による交通安全日の街頭指導により、歩行者の交通事故防止や、交通安全教室等、交通安全啓発活動を実施し、交通安全ルールの周知及びマナー向上を図ることができた。						
	交通安全啓発事業経費		B	-	3.7	町と交通安全団体、警察が連携し、春・秋の交通安全運動をはじめ、高齢者事故防止啓発活動や飲酒運転撲滅啓発活動を実施し、交通安全意識の向上を図ることができた。						
	交通安全施設整備事業経費		B	-	3.3	カーブミラーの設置、交換を実施し、安全・安心な交通環境の整備を推進することができた。						
	その他交通安全関係経費		B	-	3.7	松島町交通安全母の会・塩釜地区交通安全協会松島支部へ補助金を交付し、交通安全啓発活動を実施し交通事故防止を啓発することができた。						
	臨時運行許可事務経費		B	-	3.7	自動車臨時運行に伴う許可申請の審査及び許可について、道路運送車両法第34条第2項の規定に基づき適正な受付業務を行うことができた。						
実績	【交通安全指導事業経費】											
	1 交通安全指導員による街頭指導 (交通安全指導員数16人) ・総出動回数 延べ 845回 (月平均 延べ70回) ・出動内容 ①交通安全日街頭指導 ⑥全日本実業団女子駅伝競走大会 ②春の交通安全運動 ⑦かき祭り ③秋の交通安全運動 ⑧各種行事の街頭指導 ④松島流灯会 海の盆 ⑨各地区行事の街頭指導 ⑤KHB松島ハーフマラソン											
	2 松島町内における交通事故発生件数の推移											
		令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年					
	発生件数 (前年比)	31 (△ 4)	35 (△ 5)	40 (△ 8)	48 (△ 12)	60 (1)	59 (△ 5)					
	死 者 数	0	0	0	0	0	0					
	傷 者 数	41	42	55	82	84	89					
※期間は、各年1月1日から12月31日まで ※交通死亡事故は平成25年6月7日の交通事故以降の発生はなく、令和元年6月8日に交通死亡事故ゼロ6年間を達成												
(次頁へ続く)												

2 款	1 項	9 目
実績	3 交通安全教育 ・ 小学校・幼稚園における交通安全教室 4回 (松島第一小学校、松島第二小学校・松島第二幼稚園、松島第五小学校・松島第五幼稚園、松島第一幼稚園) 【交通安全啓発事業経費】 1 交通安全思想普及活動 ・ 春の交通安全町民総ぐるみ運動 運動期間 :5月11日～5月20日(10日間) ・ 秋の交通安全町民総ぐるみ運動 運動期間 :9月21日～9月30日(10日間) ・ 交通安全施設の点検 毎月 2 交通安全啓発活動 ・ 高齢者等事故防止啓発活動 4回(4施設) ・ 飲酒運転撲滅啓発活動 1回 ・ 広報車による啓発活動 毎月 【交通安全施設整備事業経費】 交通安全施設整備事業 ・ カーブミラー設置工事 N = 8 基 1,995,400 円 ○ダブルミラー設置工 N = 2 基 ○ダブルミラー交換工 N = 3 基 ○シングルミラー交換工 N = 3 基 【その他交通安全関係経費】 交通安全団体に対する事業費補助 ・ 塩釜地区交通安全協会松島支部 250,000 円 ・ 松島町交通安全母の会 100,000 円	
課題 方向性	本町における交通事故の発生件数は減少しているが高齢者による交通事故が増加しているため、継続した高齢者啓発活動が重要である。また、自動車運転時にスマートフォン等を操作しながらの「ながら運転」や危険行為である「あおり運転」が全国的に問題視されていることから、運転マナー向上の取り組みが必要となっている。 カーブミラー等の交通安全施設については、住民等より整備要望が寄せられているが学校周辺や通学路など緊急性が高い箇所から整備を行っていく。	

一 般 会 計

2	款	1	項	10	目	諸費				
担当部署名				総務課総務管理班・総務課環境防災班・企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	30, 273		29, 652		22	2, 089			27, 541	
目的	自治活動の普及推進を図り、町民の自治意識の高揚と社会福祉の増進に寄与する。 警察や学校などの関係機関と連携して、防犯対策等の普及を図り、犯罪を未然に防ぎ住民の安全を確保する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	自治振興経費 ※総務課 総務管理班所管		B	-	3.3	行政区長移動研修会は中止となったが、区長等を通じて町と町民との連絡を密にすることで、行政事務の円滑かつ効果的な運営を図ることができた。				
	表彰式典関係経費		B	-	4.0	今年度から町民新年会でなく文化観光交流まつりと併せて表彰式を実施したが、当日来場した多くの町民の前で町への善行・功労のあった表彰者への表彰状の贈呈を行うことができた。				
	災害補償等関係経費		B	-	3.7	全国町村会総合賠償補償保険に加入し、町の損害賠償責任が発生した事案に対する申請等の事故対応を適正に行うことができた。				
	防犯対策関係経費		B	-	3.7	各地区防犯指導隊など関係団体と連携し地域の防犯対策に努め、地域住民の安全安心及び防犯意識の高揚を図ることができた。また、各地区の防犯灯維持管理並びに電気料の助成を行うとともに、各地区から要望を受けた通学路にLED防犯灯を設置し、犯罪が発生しにくい環境づくりに取り組み、各地域の防犯・非行の未然防止を図られた。				
	自治振興経費 ※企画調整課所管		B	-	4.0	品井沼ステーション有限会社の運営を支援することで、品井沼駅の利便性向上及び周辺地域コミュニティの維持・活性化に繋がった。				
実績	自衛官募集関係経費		C	-	-	自衛官募集に係る情報を広報周知等実施し、町内在住者の採用に繋がった。				
	■総務課 総務管理班所管									
	【自治振興経費】									
	・ 行政区長等報酬 115 人 18, 306, 720 円 ・ 行政区長移動研修会：令和元年東日本台風（台風第19号）により中止									
	【表彰式典関係経費】									
	・ 善行者・功労者表彰 (1)開催日 令和元年11月2日（土） ※2019文化観光交流まつりと併せて実施 (2)表彰該当者 善行者（1団体・1名） 功労者（2名）									
【災害補償等関係経費】										
・ 全国町村会総合賠償補償保険 1, 418, 558 円 ・ 保険適用申請対応件数 1 件 (次頁へ続く)										

■総務課 環境防災班所管

【防犯対策関係経費】

1 松島町における犯罪認知件数

	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年
認知件数	86	66	55	92	97	98
(前年比)	(20)	(11)	(△ 37)	(△ 5)	(△ 1)	(△ 2)

2 主な防犯活動

- ・地域安全運動による防犯パトロール等
 - 春の地域安全運動 (運動期間：4月15日～5月14日)
 - 夏の地域安全運動 (運動期間：7月15日～8月25日)
 - 全国地域安全運動 (運動期間：10月11日～10月20日)
 - 年末年始特別警戒 (運動期間：12月15日～1月7日)
- ・松島流灯会海の盆警備活動 (実施日：8月15日・16日)
- ・定期的な町内パトロール活動 (随時)
- ・地域安全マップ作成教室 ※対象：防犯指導隊、小中学校教諭等 (実施日：11月30日)

実績

- | | | |
|---|---------|-------------|
| 3 防犯指導隊への補助 | 6 団体 | 360,000 円 |
| 4 防犯灯設置等補助
(松島区・本郷区・手樽区・北小泉区・幡谷区・初原区・桜渡戸区・品井沼街灯組合) | 52 基 | 736,167 円 |
| 5 防犯灯電気料助成
(12行政区・品井沼街灯組合) | 1,567 基 | 4,280,160 円 |
| 6 通学路防犯灯LED照明付替工事
(松島区・本郷区・根廻区) | 16 基 | 1,980,720 円 |
| 7 東北電力(株)寄贈防犯灯
(高城区・本郷区・下竹谷区) | 10 基 | |

■企画調整課所管

【自治振興経費】

品井沼ステーション運営費補助金 900,000 円

課題
方向性

■総務課 総務管理班所管

令和2年度より区長等の身分が私人扱いになるため、業務上の取り扱い等変更点に留意しつつ、適切な運営を図る。

善行者・功労者の表彰については、町への貢献に敬意を表し、引き続き年1回の表彰を行う。

全国町村会総合賠償補償保険については、損害賠償責任が生じる事案発生に備え、引き続き保険加入を行う。

■総務課 環境防災班所管

地域住民が安全安心に暮らすことのできる生活環境づくりのため、各地区防犯指導隊による協力を得ながら継続した防犯パトロールを行い犯罪の抑止に努めていく。

また、特殊詐欺や犯罪に巻き込まれることのないよう「安心安全メール」を活用した迅速な情報提供や広報誌による防犯啓蒙活動に努める。

防犯灯については、町管理防犯灯の適正管理を図るとともに、今後も地区管理防犯灯の修繕やLED化更新にあたり、各地区の負担軽減を図るため町補助金を交付する。

■企画調整課所管

品井沼駅の利便性向上及び周辺地域コミュニティの維持・活性化を図るため、引き続き運営費の補助を実施する。

また、自衛官募集事務については、市町村委託事務として継続し、安定的な自衛官採用に繋げる。

一 般 会 計

2	款	1	項	11	目	電子計算費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	81,671		81,411					2,904	78,507	
目的	電算システムの円滑な処理と安定化による事務処理の高度化・効率化を図り、高度情報化社会における住民ニーズへの対応、行政サービスの向上に努める。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	基幹系システム経費		A	4.3	3.7	基幹系（住基システム、税務情報システム、介護保険システム他）の業務をシステム化することにより、事務の効率化及び適正化が図られた。				
	公会計システム経費		A	4.3	3.7	財務会計システムにより、事務の効率化及び適正化が図られた。				
	地域情報システム整備事業経費		B	-	4.0	事務用端末を最新のオペレーションシステムの端末に入替え、インターネットの脅威から個人情報等を保護するためのセキュリティレベルの確保が図られた。				
実績	【基幹系システム経費】									
	・ 基幹系システム大量データ作成業務委託 460,416 円									
	・ 基幹系システム賃借料 55,394,598 円 (ハードウェア、ソフトウェア、LGWAN及びセキュリティ強化対策保守含む)									
	【公会計システム経費】									
	・ 公会計システム賃借料 12,506,400 円 (ハードウェア及びソフトウェア保守含む)									
	【地域情報システム整備事業経費】									
	・ 地域情報システム賃借料 5,429,700 円									
課題 方向性	社会保障・税番号制度等に伴う個人情報の保護について引き続き努める必要があり、従来のセキュリティ対策に加え、ソフト面として、ユーザ管理の徹底はもとより、情報セキュリティに対するモラルや情報倫理の向上を図っていく必要がある。 また、地域情報システム整備事業においては、新しいオペレーションシステムの端末に移行したことから、引き続き、より効果的かつ適切なシステム運用に努めていく。									

一 般 会 計

2 款	1 項	12 目	町民バス運行費					
担当部署名		総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	34, 820	32, 386					1, 423	30, 963
目的	公共交通空白地域における生活利便性の向上及び福祉の増進を図るとともに、高齢者等の交通弱者の移動手段として町内全域に町営の路線バスを運行させ、交通の地域格差の是正に努める。 また、総合交通対策に努めることにより、町民の地域間交流を促進し活力のあるまちづくりに寄与する。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	町民バス運行事務経費	A	4. 3	3. 3	北部地域の交通格差の是正及び利便性の向上に向けて、昨年10月から12月の3カ月間デマンドバス実証実験運行を行うことができた。			
	町民バス運行経費	A	4. 0	3. 0	高齢者をはじめとする交通弱者の交通手段を確保し、住民生活の利便性向上、福祉の増進、さらには交通の地域格差の是正が図ることができた。また、旧三小学区及び旧四小学区の児童・幼児の通学便を運行し、通学手段を確保することができた。			
実績	○ 運行・利用状況							
	内容 路線	便数	運行日数	走行距離 (km)		利用人数 (人)		収入金額(円)
	北松島線 〔中廻含む〕	14 (4)	308	101, 577 (17, 026)		20, 634 (5, 424)		284, 500
	松島東線	8 (4)	308	47, 991 (13, 371)		10, 209 (5, 938)		87, 800
	松島西線	5	308	38, 411		8, 933		147, 700
	デマンドバス	6	73	7, 027		772		10, 200
	往復便	2	72	2, 130		568		8, 600
	定期券・回数券	—	—	—		—		399, 720
	計	—	—	197, 136 (30, 397)		41, 116 (11, 362)		938, 520
	※ () 内は通学便分 ※「往復便」は、デマンドバス実証実験運行期間中に松島文化観光交流館から保健福祉センター間の臨時運行分							
課題 方向性	全国的に交通弱者への対応が社会問題となっているほか、高齢者の交通移動支援策としての公共交通の重要性が高まっている。当町の町営バスは、利用者の減少、事業費の増加、運行効率等の課題が山積している状況であり、人口減少や高齢化に対応し、まちづくりとも連携した持続可能な公共交通を再構築する必要性がある。今後、運行効率の改善及び運行形態やルートの見直し等を検討していく。							

令和元年度町営バス月別利用状況

(北松島線分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数			利用者数	使用料収入額	
4	26	9,562	944	24	48	122	194	437	26	35	498	136	327	2,099	27,900	
5	27	9,942	850	30	13	115	158	518	28	29	575	111	308	2,002	25,900	
6	25	9,737	843	26	39	136	201	532	23	34	589	120	357	2,110	30,600	
7	27	9,853	931	6	41	120	167	421	36	50	507	92	360	2,057	29,000	
8	27	8,526	859	27	27	109	163	164	10	21	195	44	318	1,579	23,900	
9	25	9,547	863	37	16	118	171	540	29	46	615	147	318	2,114	28,200	
10	26	6,061	372	27	24	57	108	541	26	34	601	146	251	1,478	14,800	4日台風第19号の影響により運休
11	26	6,069	339	43	21	53	117	535	26	39	600	121	238	1,415	14,500	
12	24	5,162	266	23	22	41	86	409	48	38	495	84	260	1,191	12,000	29日～31日運休
1	24	9,088	611	20	41	87	148	459	27	60	546	102	307	1,714	23,400	1日～3日運休
2	25	9,418	747	30	40	121	191	492	31	58	581	106	264	1,889	30,000	
3	26	8,612	356	10	31	113	154	110	1	17	128	55	293	986	24,300	
合計	308	101,577	7,981	303	363	1,192	1,858	5,158	311	461	5,930	1,264	3,601	20,634	284,500	
月平均		8,465	665	25	30	99	155	430	26	38	494	105	300	1,720	23,708	

※10月から12月までの3ヶ月間はデマンドバス実証実験運行のため、「北松島線」と「北松島線中廻り」の第3便・第4便を運休

(松島東線分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数			利用者数	使用料収入額	
4	26	3,631	232	0	9	23	32	403	25	23	451	28	0	743	6,900	
5	27	4,410	242	0	4	27	31	533	28	18	579	118	0	970	7,200	
6	25	4,345	228	0	7	28	35	526	29	14	569	141	0	973	7,000	
7	27	3,976	274	0	5	22	27	431	26	23	480	63	0	844	6,700	
8	27	2,915	250	0	0	22	22	137	8	7	152	30	0	454	5,100	
9	25	4,225	321	0	3	25	28	529	25	24	578	124	1	1,052	7,400	
10	26	4,607	340	0	14	35	49	566	26	18	610	123	2	1,124	8,800	14日台風第19号の影響により運休
11	26	4,668	284	1	5	29	35	543	47	24	614	103	2	1,038	8,200	
12	24	3,819	252	0	8	28	36	443	30	22	495	59	1	843	7,800	29日～31日運休
1	24	3,892	239	0	5	27	32	515	22	31	568	70	0	909	8,500	1日～3日運休
2	25	4,105	292	0	8	38	46	490	28	24	542	51	4	935	10,000	
3	26	3,398	121	0	3	20	23	104	4	2	110	68	2	324	4,200	
合計	308	47,991	3,075	1	71	324	396	5,220	298	230	5,748	978	12	10,209	87,800	
月平均		3,999	256	0	6	27	33	435	25	19	479	82	1	851	7,317	

(松島西線分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数			利用者数	使用料収入額	
4	26	3,209	570	37	21	47	105	24	5	11	2	61	778	10,500		
5	27	3,186	564	24	7	38	69	23	3	5	1	49	714	8,100		
6	25	3,161	583	17	24	45	86	32	0	5	0	82	788	9,500		
7	27	3,374	627	20	14	62	96	17	10	19	6	66	841	14,300		
8	27	3,376	544	30	376	7	38	95	4	6	3	58	716	12,200		
9	25	3,085	512	23	11	54	88	29	8	1	0	60	698	10,900		
10	26	3,332	616	27	13	70	110	26	11	3	1	61	828	14,300		
11	26	3,306	562	36	9	63	108	32	13	2	0	83	800	12,800		
12	24	3,123	604	23	15	69	107	28	4	5	0	85	833	14,300	29日～31日連休	
1	24	3,003	490	22	29	67	118	27	7	4	0	71	717	13,800	1日～3日連休	
2	25	3,049	495	12	23	59	94	24	4	9	0	65	691	12,700		
3	26	3,207	329	23	11	66	329	0	86	11	2	86	529	14,300		
合計	308	38,411	6,496	294	184	698	1,176	266	72	81	15	827	8,933	147,700		
月平均		3,201	541	25	15	58	98	22	6	7	1	69	744	12,308		

(デマンド・ビジネス分)

月	通行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般			中 学・小 学 生			乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数			乗車券 利用人数	小 計 利用人数	
10	25	2,325	181	0	3	14	17	5	0	0	55	258	2,800	14日・22日運休
11	24	2,415	171	1	3	17	21	7	0	0	55	254	3,400	4日・23日運休
12	24	2,287	156	0	7	20	27	11	66	0	0	60	4,000	29日～31日運休
合計	73	7,027	508	1	13	51	65	23	0	0	176	772	10,200	
平均		2,342	169	0	4	17	22	8	0	0	59	257	3,400	

() 往復便分 ()

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般			中・小・学 生			身体障害者 乗車券 利用人数		合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	利用者数	使用料収入額	
10	25	737	118	6	14	20	0	0	0	0	138	2,800	14日・22日運休	
11	24	708	174	2	0	24	26	0	0	1	201	4,800	4日・23日運休	
12	23	685	12	3	11	5	19	0	0	0	229	1,000	28日～31日運休	
合計	72	2,130	502	11	11	43	65	0	0	0	568	8,600		
月平均		710	167	4	4	14	22	0	0	0	189	2,867		

($\frac{1}{1111}\square$)
($\triangleleft\square$)

定期券・回数券	399,720
---------	---------

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中 学・小 学 生				身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		考 備	
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数		利用者数	使用料収入額		
合計	308	197,136	18,562	610	642	2,308	3,560	10,667	681	772	12,120	2,257	4,617	41,116	938,520	

(回数券・定期券販売実績)

種別	回数券		定期券									販売金額			
	一般	小中学生	中学生			高校生			一般(69歳以下)						
			2,000円	1,000円	1,800円	5,130円	9,720円	3,600円	10,260円	19,440円	6,000円		17,100円	32,400円	
区分															
販売数(件)	51	66	3	12	3	6	0	0	0	19	0	0	0		399,720

一 般 会 計

2	款	1	項	13	目	施設管理費					(単位:千円)
担当部署名				総務課総務管理班・建設課管理班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	5,475		5,046						5,046		
目的	集会施設の適切な維持管理を行い、住民の地域コミュニティ構築の場として、安全かつ利用しやすい環境を提供する。また、公衆便所の適切な維持管理により、利用しやすい環境を提供する。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	集会施設指定管理経費		B	－	3.0	集会施設である27施設について、行政区等への指定管理をとおして、適切な管理運営を行うことができた。					
	高城町駅前、愛宕駅前、元禄潜穴公衆便所維持管理経費		B	－	4.0	公衆便所の設備修繕並びに、適切な維持管理を実施することにより、利用しやすい環境を提供した。					
	集会施設等維持管理経費		B	－	3.7	集会施設の設備修繕並びに、適切な維持管理を実施することにより、良好な利用環境の整備を図り、地域住民のコミュニティ構築の場を提供した。 滝ノ沢サブセンターの簡易水洗化工事を実施し、集会施設の環境整備を図ることができた。					
実績	■総務課 総務管理班所管										
	1 工事請負費									756,000 円	
	・ 滝ノ沢サブセンタートイレ改修工事									756,000 円	
	■建設課 管理班所管										
	【高城町駅前、愛宕駅前、元禄潜穴公衆便所維持管理経費】										
	1 需用費（修繕料）									54,796 円	
	・ 高城町駅前公衆便所修繕（鍵、大便器、天井）									44,896 円	
	・ 愛宕駅前公衆便所修繕（小便器）									9,900 円	
	2 役務費（火災保険料）									4,584 円	
	・ 公衆便所（3箇所）										
	3 委託料									261,491 円	
	・ 公衆便所清掃業務委託 高城町駅前公衆便所（月3回実施） 愛宕駅前公衆便所、元禄潜穴公衆便所（月2回実施）										
	【集会施設等維持管理経費】										
	1 需用費（修繕料）									769,200 円	
	・ 初原コミュニティーセンター修繕（街灯）									116,640 円	
	・ 滝ノ沢サブセンター修繕（トイレ天井）									45,360 円	
	・ 中通支館修繕（台所床、広間換気扇、水道蛇口）									106,700 円	
	・ 華園集会場修繕（集会室カーペット）									500,500 円	
	2 役務費（火災保険料）									550,763 円	
	・ 集会施設（27箇所）										
課題 方向性	■総務課 総務管理班所管 集会施設の老朽化等による今後の維持管理費増大を鑑み、施設の統廃合を含めた適正配置を検討するべく、集会施設の個別管理計画を策定する。										
	■建設課 管理班所管 集会施設及び公衆便所は、適切な維持管理を継続していくなかで、老朽化の著しい施設も見られ、維持管理費が増加していくことが懸念される。 今後も利用状況や地域の要望等を踏まえた上で、適切な維持管理を行っていく。										

一 般 会 計

2	款	1	項	15	目	地上デジタル放送無線共聴施設管理費					(単位:千円)	
担当部署名				企画調整課・建設課管理班								
予算の 執行 状況	予算額			決算額		財源内訳						
						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	4,788			3,722					1,972	1,750		
目的	町内で地形等の理由により地上デジタル放送が難視聴になっている地区に設置した地上デジタル放送無線共聴施設について、維持管理を実施する。 また、松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を交付し、良好な地上デジタル放送の受信環境を維持する。											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（補助金）		B	-	4.0	難視聴になっている地区の組合に対し補助金を交付することで、良好な地上デジタル放送の受信環境維持に寄与した。						
	地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（保守）		B	-	3.7	地上デジタル放送無線共聴施設の保守点検等を行い、施設の維持管理を行った。また、宮城県から依頼を受け、松島字浪打浜地内の地上デジタル放送ケーブルの移設を実施し完成させた。						
実績	■企画調整課所管											
	【地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（補助金）】											
	松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金 135,000 円											
	・ 帰命院地区テレビ共同受信組合（139世帯） 120,000 円											
	・ 霞ヶ浦テレビ共同受信施設組合（34世帯） 15,000 円											
■建設課 管理班所管	【地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（保守）】											
	地上デジタル放送無線共聴施設（受信・送信点11箇所）の維持管理											
	・ 松島海岸、小石浜地区（受信点：3箇所 送信点：5箇所）											
	・ 反町、初原地区（受信点：1箇所 送信点：2箇所）											
	1 需用費（修繕料）											
	・ 小石浜局受信点設備修繕 97,900 円											
	2 委託料											
	・ 地上デジタル放送無線共聴施設保守点検業務委託（年1回実施） 1,256,200 円											
	3 工事請負費											
	・ 地上デジタル放送ケーブル移設工事（ケーブル移設工 L=115m） 1,972,300 円											
課題 方向性	■企画調整課所管 松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を引き続き交付し、当該地区における地上デジタル放送の受信環境の維持に努める。 ■建設課 管理班所管 電波障害等が発生した場合の原因究明や修繕等に時間を要する可能性があるため、今後も適切な保守点検を実施し、良好な地上デジタル放送視聴環境の維持に努める。											

一 般 会 計

2	款	1	項	18	目	復興推進費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	13,317		13,277					9,234	4,043	
目的	松島町長期総合計画に基づく復興まちづくりの具現化に向けて、復興事業の事業間調整、関係機関協議を行い復興交付金事業計画を作成の上、各種復興事業を推進し、早期の復興を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	松島地区等復興まちづくり推進事業		A	4.7	4.3	東日本大震災復興交付金事業は、避難施設、避難道路の整備等多岐に渡るが、各種事業の進捗により防災機能の向上が図られている。				
実績	【松島地区等復興まちづくり推進事業】									
	委託料 ・松島地区等復興まちづくり推進事業業務委託 12,312,000 円 ○業務内容 復興事業に関する包括的な支援業務として、松島町長期総合計画に基づく復興まちづくりの早期実現と、復興まちづくりの具現化に向けた技術的な支援や協議・調整、復興交付金事業計画の進行管理補助、関連事業・関係機関との調整等を行うもの。 ○復興交付金申請内容（町事業のみ） 第25回申請 新規申請額 497,819 千円（国費： 377,263 千円） 新規配分額 497,819 千円（国費： 377,263 千円） 【申請事業及び内容】 ① 松島地区等復興まちづくり推進事業 12,420 千円（新規申請： 0 千円） （流用申請： 12,420 千円） ② 上竹谷・高城線外道路整備事業 30,000 千円（新規申請： 0 千円） （流用申請： 30,000 千円） ③ 普賢堂外避難路整備事業 14,000 千円（新規申請： 0 千円） （流用申請： 14,000 千円） ④ 高城・磯崎地区避難路整備事業 100,100 千円（新規申請： 0 千円） （流用申請： 100,100 千円） ⑤ 松島地区外下水道事業 457,731 千円（新規申請： 419,825 千円） （流用申請： 37,906 千円） ⑥ 災害公営住宅家賃低廉化事業 33,917 千円（新規申請： 0 千円） （流用申請： 33,917 千円） ⑦ 東日本大震災特別家賃低減事業 3,331 千円（新規申請： 0 千円） （流用申請： 3,331 千円） ⑧ 松島町道路面補修事業（手樽地区） 160,514 千円（新規申請： 77,994 千円） （流用申請： 82,520 千円）									
課題 方向性	震災復興事業の完遂に向け、関係機関及び事業担当課と調整を図りながら進捗管理を行い早期完了を目指す。									

一 般 会 計

2	款	1	項	19	目	ふるさと納税費				
担当部署名				財務課財政班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	358,769		351,632					335,487	16,145	
目的	松島町を応援しようとする方からの寄附金を通して、寄附者の思いを反映した魅力あるまちづくり事業を展開し、また、地元の特産品等の送付により本町の魅力を発信し、多様な人々による個性あふれるふるさとづくりに資することを目的とする。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	ふるさと納税費		A	4.3	3.7	前年度と比較して寄附件数は1.2倍に増加、寄附金額は8.4倍に増加し、地場産品を送付することで本町の魅力を発信できた。また、4件の事業に対し財源として活用することができた。				
実績	【ふるさと納税費】									
	1 ふるさと納税費									
	・手数料		クレジット決済手数料		(	739 件)	355,780 円			
			郵便振替手数料		(	100 件)	3,000 円			
			ふるさと納税サイト掲載料		(	12 月)	49,050 円			
	・業務委託		松島町ふるさと納税業務委託				15,723,888 円			
	2 ふるさと納税実績									
						(	861 件)	335,282,000 円		
	・使途別									
	①道路、公園・緑地等の基盤整備に関する事業		(	127 件)	5,010,000 円					
	②環境、安全・防災に関する事業		(	137 件)	5,639,000 円					
	③福祉・保健・医療に関する事業		(	154 件)	7,117,000 円					
	④教育に関する事業		(	131 件)	4,206,000 円					
	⑤観光、歴史・文化に関する事業		(	98 件)	4,685,000 円					
	⑥産業振興、コミュニティに関する事業		(	56 件)	1,686,000 円					
	⑦その他魅力あるまちづくりを推進するため必要と認められる事業		(	158 件)	306,939,000 円					
	・金額別									
	10,000円未満		(	2 件)	8,000 円					
	10,000円以上30,000円未満		(	555 件)	5,606,000 円					
	30,000円以上50,000円未満		(	85 件)	2,552,000 円					
50,000円以上100,000円未満		(	48 件)	2,400,000 円						
100,000円以上200,000円未満		(	97 件)	9,826,000 円						
200,000円以上		(	74 件)	314,890,000 円						
・返礼品カテゴリ別										
米・パン		(	256 件)							
野菜・果物		(	5 件)							
水産物		(	26 件)							
肉類		(	78 件)							
加工食品		(	238 件)							
菓子・スイーツ		(	25 件)							
飲み物・酒類		(	6 件)							
セット・詰め合わせ		(	37 件)							
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

2 款	1 項	19 目
-----	-----	------

実績	雑貨 (0 件) 民芸・工芸 (5 件) 宿泊券・チケット (181 件) 希望無し (2 件) 対象外 (2 件)					
	3 ふるさと納税基金残高					
	(単位 円)					
	使 途	積立残高	積立額	取崩額	年度末残高	繰入事業
	① 道路、公園・緑地等の基盤整備に関する事業	9,750,000	5,010,000	9,000,000	5,760,000	駅バリアフリー
	② 環境、安全・防災に関する事業	4,333,100	5,639,000	500,000	9,472,100	松くい虫対策
	③ 福祉・保健・医療に関する事業	24,230,000	7,117,000	0	31,347,000	
	④ 教育に関する事業	1,140,000	4,406,000	0	5,546,000	
	⑤ 観光、歴史・文化に関する事業	6,771,000	4,685,000	1,000,000	10,456,000	松島湾プロモーション事業
	⑥ 産業振興、コミュニティに関する事業	810,000	1,686,000	500,000	1,996,000	創業者支援補助金
課題 方向性	⑦ その他魅力あるまちづくりを推進するため、必要と認められる事業	8,247,000	306,939,000	7,000,000	308,186,000	駅バリアフリー
	基金運用利子収入分		5,766		5,766	
	合計	55,281,100	335,487,766	18,000,000	372,768,866	
※積み戻し分200,000円含む。						
令和2年度からポータルサイトの手数料が増加し、経費が増える見込みである。そのため、寄附件数の推移を注視しながら、新しい窓口について検討する。 また、新しい返礼品の開発を進めることで、返礼品事業者の販路拡大と、寄附していただいた方の松島町に対する興味・関心を高め、来町を促し地域の活性化につなげていきたい。						

一 般 会 計

2	款	2	項	1	2	目	税務総務費 賦課徴収費					
担当部署名				財務課税務班・特別滞納整理室				(単位:千円)				
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	61,912 67,002		60,870 64,478			7,749 12,644		561 477	52,560 51,357			
目的		課税資料の収集と課税台帳の整備をし、適正な課税を行う。 また、的確な滞納整理を行い、徴収率の向上及び収入未済額の縮減を図る。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	負担金・補助金に関する 事務		A	3.7	3.7	固定資産税における宅地の鑑定や航空写真を使用した適正な評価、また、個人住民税における確定申告の電子化の導入などを実施し、適正課税を図るとともに、滞納整理については、現年課税分滞納者に対する催告、強制処分早期着手を実施した。 その結果、現年課税分の徴収率が99.4%で前年度と同率となり、現年課税分及び滞納繰越分を合わせた町税全体については、調定額1,713,893千円に対し、収入済額が1,652,751千円で、前年度と同率の96.4%の徴収率であったため、累積滞納抑止が図られた。						
	納税貯蓄組合関係事務		A	2.0	2.7							
	住民税賦課事務		B	-	3.7							
	固定資産税賦課事務		B	-	4.0							
	徴収関係事務		B	-	3.7							
	その他賦課関係事務		B	-	3.7							
	特別滞納整理事務		A	4.3	4.0							
	国保税賦課徴収事務		B	-	4.0							
実績	1 個人町民税											
	・ 現年課税分の内訳											
	所得区分					課税額 (千円)		納税義務者 (人)				
	給 与 所 得 者					457,550		5,110				
	営 業 等 所 得 者					28,696		306				
	農 業 所 得 者					487		15				
	その他の所得者					55,811		1,310				
	家屋敷等のみ					14		4				
	計					542,558		6,745				
	内 訳	特別徴収にかかる課税					437,495		5,400			
		普通徴収にかかる課税					105,063		1,345			
	※所得区分は、総務省統計の課税状況等調査区分による。 ※「その他の所得者」の主な者は、年金所得者、譲渡所得者である。											
	・ 申告相談受付 期 間 令和 2 年 2 月 17 日 ～ 3 月 16 日 場 所 松島町文化観光交流館 件 数 確定申告 1,228 件 町・県民税申告 611 件											
	2 法人町民税											
	・ 現年課税分の内訳											
区 分					課税額 (円)		納税義務者 (事業所)					
均等割					30,478,200		330					
税 割					31,833,600		116					
計					62,311,800		446					
※納税義務者 (事業者) 均等割のうち税割分も含む。												

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

2 款	2 項	1 2 目
-----	-----	----------

3 固定資産税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	納税義務者 (人)
土 地	205,177,500	6,471
家 屋	408,450,500	5,244
償 却 資 産	204,955,900	409
国有資産等所在市町村交付金	1,998,000	3
計	820,581,900	12,127

4 軽自動車税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	課税台数 (台)
種別割	原動機付自転車	713,700
	軽 自 動 車	31,777,200
	小型特殊自動車	890,600
	二輪の小型自動車	828,000
計	34,209,500	4,927

区 分	課税額 (円)	課税台数 (台)
環境性能割	軽 自 動 車	248,500
		14

5 町たばこ税

区 分	課税額 (円)	売上本数 (本)
旧 3 級 品 以 外	82,369,567	14,471,112
旧 3 級 品	1,052,205	264,540
手 持 ち 品	11,978	7,080
計	83,433,750	14,742,732

6 入湯税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	入湯者数 (人)
宿 泊	41,751,000	278,340
日 帰 り	2,911,900	58,238
計	44,662,900	336,578

7 都市計画税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	納税義務者 (人)
土 地	28,466,100	3,498
家 屋	40,146,300	3,506
計	68,612,400	7,004

実績

(次頁へ続く)

8 徴収の状況

・ 現年課税分

区 分	令和元年度			平成30年度			比較増減（令和元年度-平成30年度）		
	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)
税 目									
町民税	604,870	601,562	99.5	674,986	669,265	99.2	△ 70,116	△ 67,703	0.3
(個人)	542,558	539,580	99.5	548,973	543,736	99.0	△ 6,415	△ 4,156	0.5
(法人)	62,312	61,982	99.5	126,013	125,529	99.6	△ 63,701	△ 63,547	△ 0.1
固定資産税	820,582	815,525	99.4	818,191	813,590	99.4	2,391	1,935	0.0
軽自動車税	34,458	34,375	99.8	33,610	33,490	99.6	848	885	0.2
町たばこ税	83,434	83,434	100.0	82,858	82,858	100.0	576	576	0.0
入湯税	44,663	44,201	99.0	45,701	45,600	99.8	△ 1,038	△ 1,399	△ 0.8
都市計画税	68,612	67,962	99.1	67,945	67,393	99.2	667	569	△ 0.1
計	1,656,619	1,647,059	99.4	1,723,291	1,712,196	99.4	△ 66,672	△ 65,137	0.0

※ 国民健康保険税	259,586	253,038	97.5	275,291	266,687	96.9	△ 15,705	△ 13,649	0.6
-----------	---------	---------	------	---------	---------	------	----------	----------	-----

・ 滞納繰越分

区 分	令和元年度			平成30年度			比較増減（令和元年度-平成30年度）		
	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)
税 目									
町民税	23,658	3,466	14.7	24,139	3,068	12.7	△ 481	398	2.0
(個人)	22,683	3,255	14.3	23,559	3,040	12.9	△ 876	215	1.4
(法人)	975	211	21.6	580	28	4.8	395	183	16.8
固定資産税	30,055	1,958	6.5	35,274	6,797	19.3	△ 5,219	△ 4,839	△ 12.8
軽自動車税	517	25	4.8	681	109	16.0	△ 164	△ 84	△ 11.2
町たばこ税	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
入湯税	101	101	100.0	0	0	0.0	101	101	100.0
都市計画税	2,943	142	4.8	3,483	819	23.5	△ 540	△ 677	△ 18.7
計	57,274	5,692	9.9	63,577	10,793	17.0	△ 6,303	△ 5,101	△ 7.1

※ 国民健康保険税	90,656	9,783	10.8	117,843	12,619	10.7	△ 27,187	△ 2,836	0.1
-----------	--------	-------	------	---------	--------	------	----------	---------	-----

9 納税貯蓄組合関係

・ 納税貯蓄組合からの収入状況

税 目	収入件数(件)	収入金額(円)	組合数
個人町県民税	327	9,444,600	34
固定資産税・都市計画税	2,421	37,868,200	
軽自動車税	336	2,007,300	
国民健康保険税	1,241	15,020,400	
計	4,325	64,340,500	

※本表の件数は、納期単位でカウントしている。

・ 補助金交付額	町税関係（一般会計）	1,200,915 円
	国民健康保険税関係（国保会計）	323,024 円

10 口座振替の状況

税 目	口 座 振 替					
	請求(依頼) 件数(件)	請求(依頼) 金額(千円)	振替件数 (件)	振替金額 (千円)	振替不能 件数(件)	振替不能 金額(千円)
	①	②	③	④	①-③	②-④
個人町県民税	1,072	38,553	1,028	37,510	44	1,043
固定資産税・都市計画税	8,477	186,536	8,278	183,532	199	3,004
軽自動車税	555	3,271	535	3,136	20	135
国民健康保険税	5,921	73,529	5,733	69,049	188	4,480
計	16,025	301,889	15,574	293,227	451	8,662

※本表の件数は、納期単位でカウントしている。

(次頁へ続く)

11 コンビニ収納の状況

税 目	コ ン ビ ニ 収 納					
	現年課税分		滞納繰越分		計	
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
個人町県民税	2,145	48,630	76	1,083	2,221	49,713
固定資産税・都市計画税	5,747	85,372	8	101	5,755	85,473
軽自動車税	1,927	14,316	3	22	1,930	14,338
国民健康保険税	4,240	54,856	135	1,282	4,375	56,138
計	14,059	203,174	222	2,488	14,281	205,662

12 催告文書等発送

区分	件数
督促状	8,120
催告書	3,019

13 滞納処分等状況

区 分		件数
差 押	不動産	6
	預貯金	193
	給与（賞与）・年金	18
	国税・県税還付金	16
	その他債権	2
	自動車・小型船舶	0
	動産	0
参加差押	不動産	11
差押・参加差押計		246
交付要求		14
徴収猶予		0
換価の猶予		21
搜索		0
滞納処分執行停止		49

※期間は、令和元年6月1日から令和2年5月31日まで

実績

課題
方向性

課税事務においては、適正な課税客体の把握と公平・公正な賦課業務を実施し、税法等を熟知したうえで効率的な事務を進めていく。また、税務署、県税事務所等関係機関との連携を強化するとともに、更なる電子化に向け調査・検討し、手続きの簡略化を進めていく。

徴収事務においては、新たな滞納者を発生させないこと（現年課税分優先）に主眼を置いて早期に交渉、財産調査、差押等を実施している。その結果、一定の徴収率が保たれていることから、早期着手を継続していき、滞納繰越分も含め、より徴収率を向上していけるよう、先進自治体における取組の情報収集や研修への参加等を通じて、新たな技法の習得や効率化を図りながら、税収の確保や租税負担の公平を期するために滞納整理を実施していく。

一 般 会 計

2 款	3 項	1 目	戸籍住民基本台帳費					
担当部署名		町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
	36,935	34,925	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
			2,346	18			32,561	
目的	戸籍法や住民基本台帳法等の各種法令に基づき、住民の居住関係、身分関係等を正確、迅速に記録し、住民ニーズに即した各種証明書や個人番号カード等の交付に努め、行政サービスの向上を図る。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	戸籍・住民基本台帳事務 経費	B	-	3.7	身分関係や居所関係等を登録した戸籍や住民基本台帳は、双方とも住民に関する様々な事務処理の基礎となるものであるため、正確な記録等の事務処理を行ったことによって、行政サービスの向上に繋がった。			
	住民基本台帳ネットワー クシステム業務経費	B	-	3.7	住民基本台帳ネットワークシステムは、本人確認情報を記録し、住民票等の記載事項に関する通知等が送受信されるものであるため、正確な記録等の事務処理を行ったことによって、行政サービスの向上に繋がった。			
	番 号 制 度（マイナン バー）導入事業	B	-	3.7	社会保障、税、災害対策の分野で活用する個人番号が記載された個人番号カード等について、誤交付等がないよう細心の注意を払い、迅速に事務処理を行ったことによって、行政サービスの向上に繋がった。			
実績	1 戸籍事務							
	・ 本籍数・本籍人口数(令和2年3月31日現在)							
	本 籍 数		7,491					
	本籍人口数		17,538					
	・ 戸籍編纂 (単位:件)							
	新 戸 籍 編 製 数		91					
	除 籍 数		163					
	・ 戸籍届出件数 (単位:件)							
	出 生	120	死 亡	261	養 子 離 縁	2	追 完	1
	転 籍	80	養 子 縁 組	17	離 婚	33	国 籍 選 択	2
	法第77条の2※	14	認 知	1	国 籍 留 保	2	不 受 理 申 出	4
	入 籍	43	分 籍	1	失 踪 取 消	1		
	職 権 訂 正	16	婚 姻	175	相 続 人 廃 除	1	合 計	774
	※ 戸籍法第77条の2（離婚の際に称していた氏を称する届）							
	・ 戸籍謄抄本交付件数 (単位:件)							
種 別	一 般 交 付	公 用 交 付	合 計					
戸 籍 謄 本	2,367	460	2,827					
戸 籍 抄 本	514	14	528					
除 籍 謄 本	1,750	1,069	2,819					
除 籍 抄 本	8	4	12					
受 理 証 明	38	0	38					
戸 籍 届 出 証 明	2	0	2					

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

2 住民基本台帳事務

・住民基本台帳登録者数（令和2年3月31日現在）

人口及び世帯数	日 本 人	13,756 人	5,581 世帯
	外 国 人	64 人	56 世帯
	計	13,820 人	5,637 世帯

・異動関係

区 分		処 理 件 数	
転 入	届	241 件	387 人
転 出	届	362 件	483 人
転 居	届	117 件	221 人
世 帯 主 変 更	届	116 件	
住 民 票 職 権 修 正		391 件	
内 訳	出 生	54 件	
	死 亡	209 件	
	その他修正	128 件	

・交付件数

（単位：件）

種 別	一 般 交 付	公 用 交 付	合 計
住 民 票 謄 本	2,037	152	2,189
住 民 票 抄 本	3,709	138	3,847
住 民 票 閲 覧	38	111	149
附 票	349	469	818
広 域 交 付 住 民 票	11	0	11

実績

・住基カード登録済件数 216 件
・個人番号カード登録済件数 2,073 件 交付件数 291 件
（マイナンバーカード）

3 印鑑登録事務

・新規登録件数 243 件 登録済件数 9,883 件
・印鑑再登録 165 件
・印鑑証明 一般交付 3,941 件 公用交付 3 件

4 埋火葬許可に関する事務

・許可件数 206 件

5 戸籍住民基本台帳等手数料

種 別		交付数(件)	金額(円)	延長窓口 交付数(件)	金額(円)	手数料計(円)
戸籍関係		4,639	2,612,700	40	19,400	2,632,100
住民票関係		6,026	1,248,400	107	23,000	1,271,400
印鑑証明		4,013	802,600	93	18,600	821,200
住基ネット	広域	11	3,300			3,300
その他証明	身分証明	198	39,600			39,600
	独身証明	16	3,200			3,200
	不在住証明等	14	2,800			2,800
通知カード		123	61,500	1	500	62,000
個人番号カード		8	6,400			6,400
計		15,048	4,780,500	241	61,500	4,842,000

課題
方向性

各種法令に基づき、適法な記録、証明等を行い、正確、迅速な事務処理によって行政サービスの向上に努める。
なお、戸籍法等の改正により、本籍地以外での戸籍謄本の取得や、戸籍の附票への記載事項の追加等が今後予定されているため、新たな事務が正確に行えるよう、制度改正について引続き注視する。

一 般 会 計

2 款		4 項		3 目		参議院議員選挙費																														
担当部署名				選挙管理委員会事務局					(単位:千円)																											
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																															
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																											
	7,987		7,982		7,982																															
目的	任期満了に伴う参議院議員通常選挙により、選挙区及び比例代表の各議員を選出する。																																			
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																														
	参議院議員選挙費		B	-	3.7	全国的に選挙への関心が低い中であって、「伝えようあなたの想い 投票で」のキャッチフレーズのもと、投票を呼びかける啓発等を行った。投票率の前回との比較では、期日前投票者数が投票者総数に占める割合は2.37%上回ったが、最終的な投票率は全国で48.8%と過去2番目の低投票率の中、本町は56.04%であり、前回より1.29%の低下で抑えられた。 なお、松島高等学校の18歳生徒1名に、期日前投票所の立会人を務めてもらい、選挙に関心を持つ良い機会となった。																														
実績	【参議院議員選挙費】																																			
	1 選挙期日の公示日		令和元年7月4日																																	
	2 選挙の期日（投開票日）		令和元年7月21日																																	
	3 期日前投票者数																																			
	<table><tr><td rowspan="2">投票日</td><td colspan="3">期日前投票者数（人）</td><td colspan="3">期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）</td></tr><tr><td>男</td><td>女</td><td>計</td><td>男</td><td>女</td><td>計</td></tr><tr><td>R1. 7. 21</td><td>1,088</td><td>1,309</td><td>2,397</td><td>32.26</td><td>36.38</td><td>34.39</td></tr><tr><td>H28. 7. 10</td><td>1,073</td><td>1,314</td><td>2,387</td><td>29.94</td><td>33.94</td><td>32.02</td></tr></table>							投票日	期日前投票者数（人）			期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）			男	女	計	男	女	計	R1. 7. 21	1,088	1,309	2,397	32.26	36.38	34.39	H28. 7. 10	1,073	1,314	2,387	29.94	33.94	32.02	+2.37	
	投票日	期日前投票者数（人）			期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）																															
		男	女	計	男	女	計																													
	R1. 7. 21	1,088	1,309	2,397	32.26	36.38	34.39																													
	H28. 7. 10	1,073	1,314	2,387	29.94	33.94	32.02																													
	4 投票の結果（選挙区）																																			
<table><tr><td>区分</td><td>有権者数（人）</td><td>投票者数（人）</td><td>投票率（%）</td></tr><tr><td>男</td><td>5,960</td><td>3,373</td><td>56.59</td></tr><tr><td>女</td><td>6,480</td><td>3,598</td><td>55.52</td></tr><tr><td>計</td><td>12,440</td><td>6,971</td><td>56.04</td></tr></table>							区分	有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）	男	5,960	3,373	56.59	女	6,480	3,598	55.52	計	12,440	6,971	56.04	*前回(H28. 7. 10)の投票率													
区分	有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）																																	
男	5,960	3,373	56.59																																	
女	6,480	3,598	55.52																																	
計	12,440	6,971	56.04																																	
							投票率（%）																													
							57.79																													
							56.91																													
							57.33																													
							←-1.29%																													
5 開票の結果（選挙区）																																				
【候補者別得票数】					投 票 総 数																															
三宅 紀昭 184 票					6,971 票																															
愛知 治郎 3,420 票					有効投票数																															
石垣 のりこ 3,203 票					6,807 票																															
					無効投票数																															
					164 票																															
(次頁へ続く)																																				

2	款	4	項	3	目																																																
実績	6 開票の結果（比例代表）																																																				
	<table><tr><th colspan="3">政党別得票数(個人名得票含む)</th></tr><tr><th>届出順</th><th>政党名</th><th>得票数</th></tr><tr><td>1</td><td>自由民主党</td><td>2,655.665</td></tr><tr><td>2</td><td>NHKから国民を守る党</td><td>103.000</td></tr><tr><td>3</td><td>労働の解放をめざす労働者党</td><td>17.000</td></tr><tr><td>4</td><td>国民民主党</td><td>549.999</td></tr><tr><td>5</td><td>公明党</td><td>897.000</td></tr><tr><td>6</td><td>オリーブの木</td><td>17.000</td></tr><tr><td>7</td><td>日本維新の会</td><td>259.000</td></tr><tr><td>8</td><td>立憲民主党</td><td>1,051.000</td></tr><tr><td>9</td><td>日本共産党</td><td>740.333</td></tr><tr><td>10</td><td>安楽死制度を考える会</td><td>24.000</td></tr><tr><td>11</td><td>幸福実現党</td><td>14.000</td></tr><tr><td>12</td><td>社会民主党</td><td>115.000</td></tr><tr><td>13</td><td>れいわ新選組</td><td>211.000</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>6,653.997</td></tr></table>					政党別得票数(個人名得票含む)			届出順	政党名	得票数	1	自由民主党	2,655.665	2	NHKから国民を守る党	103.000	3	労働の解放をめざす労働者党	17.000	4	国民民主党	549.999	5	公明党	897.000	6	オリーブの木	17.000	7	日本維新の会	259.000	8	立憲民主党	1,051.000	9	日本共産党	740.333	10	安楽死制度を考える会	24.000	11	幸福実現党	14.000	12	社会民主党	115.000	13	れいわ新選組	211.000	計		6,653.997
	政党別得票数(個人名得票含む)																																																				
	届出順	政党名	得票数																																																		
	1	自由民主党	2,655.665																																																		
	2	NHKから国民を守る党	103.000																																																		
	3	労働の解放をめざす労働者党	17.000																																																		
	4	国民民主党	549.999																																																		
	5	公明党	897.000																																																		
	6	オリーブの木	17.000																																																		
	7	日本維新の会	259.000																																																		
	8	立憲民主党	1,051.000																																																		
	9	日本共産党	740.333																																																		
	10	安楽死制度を考える会	24.000																																																		
	11	幸福実現党	14.000																																																		
12	社会民主党	115.000																																																			
13	れいわ新選組	211.000																																																			
計		6,653.997																																																			
<table><tr><td>投票総数</td><td>6,969 票</td></tr><tr><td>有効投票数</td><td>6,653.997 票</td></tr><tr><td>按分切捨票数</td><td>0.003 票</td></tr><tr><td>無効投票数</td><td>315 票</td></tr></table>					投票総数	6,969 票	有効投票数	6,653.997 票	按分切捨票数	0.003 票	無効投票数	315 票																																									
投票総数	6,969 票																																																				
有効投票数	6,653.997 票																																																				
按分切捨票数	0.003 票																																																				
無効投票数	315 票																																																				

一 般 会 計

2 款	4 項	4 目	宮城県議会議員選挙費																														
担当部署名			選挙管理委員会事務局					(単位:千円)																									
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳																														
	6,520	6,513	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																										
				6,513																													
目的	任期満了に伴う宮城県議会議員一般選挙により、議員を選出する。																																
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																												
	宮城県議会議員選挙費	B	-	3.7	震災復興が進む中で、県議会の行方を定める選挙であり、「その一票 すてきな町への 切符です」のキャッチフレーズのもと、投票を呼びかける啓発等を行った。前回との比較では、最終的な投票率は7.37%下回ったが、期日前投票者数が投票者総数に占める割合は5.47%上回った。																												
実績	【宮城県議会議員選挙費】																																
	1 選挙期日の告示日 令和元年10月18日																																
	2 選挙の期日（投開票日） 令和元年10月27日																																
	3 期日前投票者数																																
	<table><tr><th rowspan="2">投票日</th><th colspan="3">期日前投票者数（人）</th><th colspan="3">期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）</th></tr><tr><th>男</th><th>女</th><th>計</th><th>男</th><th>女</th><th>計</th></tr><tr><td>R1. 10. 27</td><td>725</td><td>862</td><td>1,587</td><td>28.45</td><td>31.20</td><td>29.88</td></tr><tr><td>H23. 11. 13</td><td>788</td><td>829</td><td>1,617</td><td>25.35</td><td>23.57</td><td>24.41</td></tr></table> +5.47 * 前回は無投票のため、比較は前々回（H23. 11. 13）の数値							投票日	期日前投票者数（人）			期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）			男	女	計	男	女	計	R1. 10. 27	725	862	1,587	28.45	31.20	29.88	H23. 11. 13	788	829	1,617	25.35	23.57
投票日	期日前投票者数（人）			期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）																													
	男	女	計	男	女	計																											
R1. 10. 27	725	862	1,587	28.45	31.20	29.88																											
H23. 11. 13	788	829	1,617	25.35	23.57	24.41																											
実績	4 投票の結果																																
	<table><tr><th>区分</th><th>有権者数（人）</th><th>投票者数（人）</th><th>投票率（%）</th></tr><tr><td>男</td><td>5,842</td><td>2,548</td><td>43.62</td></tr><tr><td>女</td><td>6,362</td><td>2,763</td><td>43.43</td></tr><tr><td>計</td><td>12,204</td><td>5,311</td><td>43.52</td></tr></table> -7.37% <table><tr><th colspan="2">* 前々回 (H23. 11. 13) の投票率</th></tr><tr><td>投票率（%）</td><td></td></tr><tr><td></td><td>50.46</td></tr><tr><td></td><td>51.28</td></tr><tr><td></td><td>50.89</td></tr></table>							区分	有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）	男	5,842	2,548	43.62	女	6,362	2,763	43.43	計	12,204	5,311	43.52	* 前々回 (H23. 11. 13) の投票率		投票率（%）			50.46		51.28		50.89
区分	有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）																														
男	5,842	2,548	43.62																														
女	6,362	2,763	43.43																														
計	12,204	5,311	43.52																														
* 前々回 (H23. 11. 13) の投票率																																	
投票率（%）																																	
	50.46																																
	51.28																																
	50.89																																
実績	5 開票の結果（得票数）																																
	【候補者別得票数】 安部 たかし 2,935 票 桜井 正人 1,730 票 おぶち洋一朗 540 票 ※宮城選挙区全体での得票数 安部 たかし 4,684 票 桜井 正人 6,503 票 おぶち洋一朗 2,956 票 投票総数 5,311 票 有効投票数 5,205 票 無効投票数 106票																																
課題 方向性	選挙事務従事者の確保に困難な面があり、職員への早めの要請により、人員の確保に努める。 なお、本選挙区(宮城選挙区)は、次回より定員が1人増の2人となるため、一層の啓発等により投票の棄権防止を呼びかけ、投票率の低下を抑止する。																																

一 般 会 計

2 款	4 項	5 目	松島町長選挙費					
担当部署名		選挙管理委員会事務局					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
	5,992	5,986		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
								5,986
目的	任期満了に伴う松島町長選挙により、町長を選出する。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	松島町長選挙費	B	-	4.0	震災復興が進む中、その評価と町政の行方を定める選挙で、投票を呼びかける啓発等を行った。その結果、期日前投票者数が投票者総数に占める割合が5.3%、投票率は3.34%前回は上回った。 なお、松島高等学校の18歳生徒1名に、期日前投票所の立会人を務めてもらい、選挙に関心を持つ良い機会となった。			
実績	【松島町長選挙費】							
	1 選挙期日の告示日		令和元年8月27日					
	2 選挙の期日（投開票日）		令和元年9月1日					
	3 期日前投票者数							

一 般 会 計

2	款	5	項	1	目	統計調査総務費																		
担当部署名				企画調整課				(単位:千円)																
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																			
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
	6,965		6,789			20		4	6,765															
目的	正確かつ円滑な統計調査の実施のため、統計調査員を確保する。また、調査結果などを基に松島町統計資料を作成・発行する。																							
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																		
	統計調査事務経費		C	-	-	登録調査員、関係機関との連絡調整を実施し、各種統計調査を円滑に実施することができた。																		
	統計書等発行経費		C	-	-	統計資料を作成し発行することで、町の概要を広く周知し、各種施策の企画、立案の基礎資料として活用されている。																		
	統計調査員確保対策経費		C	-	-	統計調査員の研修会実施、町統計調査員協議会への補助金交付事務により、統計調査員の資質向上、新規の統計調査員の加入促進を図り、また各種統計調査への協力を得ることができた。																		
実績	【統計書等発行経費】																							
	「松島町統計資料」の発行																							
	・発行時期 令和2年3月																							
	・発行部数 松島町統計資料：100部 松島町統計資料ダイジェスト版：300部																							
実績	【統計調査員確保対策経費】																							
	統計調査員事務研究会会員数																							
	(単位：人)																							
	<table><tr><td>年度</td><td>総数</td><td>男</td><td>女</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>30</td><td>24</td><td>6</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>30</td><td>24</td><td>6</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>25</td><td>19</td><td>6</td></tr></table>									年度	総数	男	女	平成29年度	30	24	6	平成30年度	30	24	6	令和元年度	25	19
年度	総数	男	女																					
平成29年度	30	24	6																					
平成30年度	30	24	6																					
令和元年度	25	19	6																					
課題 方向性	統計調査員事務研究会の会員数は減少傾向にあり、高齢化も進んでいることから、新規会員を募集し、統計調査員の次世代育成を図っていく。 また、松島町統計資料の作成・発行を継続し、各種行政施策に活用していく。																							

一 般 会 計

2	款	5	項	2	目	指定統計費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,713		1,587			1,399			188	
目的 各種統計調査を迅速かつ正確に実施し、行政施策の企画・立案等の基礎資料を得る。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	国勢調査		B	-	3.7	令和2年国勢調査調査区設定を地域の実情に合わせ国統一の実施要領で実施し設定調査区を報告し、令和2年国勢調査の調査区設定の準備事務が完了した。				
	経済センサス		B	-	3.7	2019年度経済センサス-基礎調査（指定統計調査）を地域の実情に合わせ国統一の調査要領で実施し、調査結果を提出した。その結果、町内全ての産業分野の事業所、企業の基礎情報を得ることができた。 また、経済センサス調査区設定において設定調査区を報告した。				
	農林業センサス		B	-	3.7	2020年農林業センサス（指定統計調査）を地域の実情に合わせ国統一の調査要領で実施し、調査票等を提出した。町内の農林業の生産、就業構造等の情報が得られた。				
	工業統計調査事務経費		B	-	3.7	2019年工業統計調査（指定統計調査）を地域の実情に合わせ国統一の調査要領で実施し、調査票等を提出した。町内の製造業の事業所情報が得られた。				
実績 【国勢調査】 - 令和2年国勢調査調査区設定事務：本調査準備として、調査員の担当調査区を明確にし、調査の重複・脱漏を防ぎ、調査の正確性を期するため、令和2年国勢調査の調査区を設定した。 【経済センサス】 2019年度経済センサス-基礎調査：全ての産業分野における事業所の活動状態等の基本的構造を全国及び地域別に明らかにし、事業所又は企業を対象とする各種統計調査の母集団情報を整備するため、調査を実施した。 ※ 調査員：2名 ※調査期：第4期（R1.12.1～R2.1.31）第5期（R2.2.1～R2.3.31） - 経済センサス調査区管理：事業所又は企業を対象とする各種統計調査実施の基礎資料として利用するため、平成30年経済センサス調査区管理において設定した調査区を管理し、必要な修正を実施した。 ※ 設定調査区：31調査区 【農林業センサス】 2020年農林業センサス：我が国の農林業の生産構造、就業構造を明らかにし、農業集落等の農林業を取り巻く実態と変化を総合的に把握するため、調査を実施した。 ※ 調査基準日：令和2年2月1日 ※ 指導員：2名 調査員：34名 ※ 調査対象：36農業集落（46調査区） 【工業統計調査事務経費】 2019年工業統計調査：我が国の工業の実態を明らかにし、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策の基礎資料を得るため、調査を実施した。 ※ 調査基準日：令和元年6月1日 ※ 調査員：1名 ※ 調査票配付対象事業所：従業員4名以上の事業所のうち13事業所										
課題 方向性 国や地方公共団体の行政施策に係る基礎資料を得るため、無事故で正確かつ円滑な調査に引き続き努める。										

一 般 会 計

3 款		1 項		1 目		社会福祉総務費					(単位:千円)
担当部署名				町民福祉課福祉班							
予算の 執行 状況		予算額		決算額		財源内訳					
						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		227, 611		218, 645			72			218, 573	
目的		地域社会における社会福祉の諸問題に取り組み、福祉の向上を図るため、関係団体との連携、支援を行い、その活動の円滑な推進を図る。 また、高齢者や障がい者を含めた低所得世帯の相談窓口となり、生活の安定に向けた支援を行う。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	民生委員等に要する経費	B	-	4.0	社会情勢の変化に伴い、所得格差による貧困・虐待・高齢化などの問題が山積みしているが、このような問題を顕在化するためにも民生委員・児童委員の活動は重要な役割を果たした。						
	社会福祉協議会に要する経費	B	-	3.7	社会情勢の変化に伴い、社会福祉協議会のニーズは高まっている。民生委員・児童委員、各種団体との連携を取りながら地域福祉の推進を図ることができた。						
	社会福祉団体等に要する経費	B	-	3.0	人権擁護委員会、遺族会、保護司会、更生保護女性会の活動を支援することにより、町民へ必要情報等を定期的に周知することができた。						
	その他社会福祉に要する経費	B	-	3.7	低所得者や高齢の核家族者等からの相談支援を、関係機関等と連携しながら適切に行うことができた。						
	災害援護資金貸付金事業	B	-	4.3	災害により、住居家屋に著しい損害を受けた世帯のうち、一定の所得に満たない世帯に対し、住居の建設・購入・修繕等震災による損害を回復するための資金の貸付けを行うが、貸付金の申込は無かった。						
	災害見舞金支給事業(台風第19号)	B	-	4.3	令和元年東日本台風（台風第19号）に係る災害による被災者に対し、災害見舞金を支給することで災害再建の一助となった。						
実績	【民生委員等に要する経費】										
	・ 民生委員児童委員活動報償 支給人数 39人					1, 856, 000 円					
	【社会福祉協議会に要する経費】										
	・ (福)松島町社会福祉協議会 社会福祉協議会の地域福祉活動、ボランティア活動及び運営に関する事業の経費について助成を行った。					8, 500, 000 円					
	【社会福祉団体等に要する経費】										
	1 塩釜地区人権擁護委員協議会 塩釜地区人権擁護委員協議会の事業に要する経費について助成を行った。					45, 000 円					
	2 松島町保護司会 保護司会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。					200, 000 円					
3 松島町更生保護女性会 更生保護女性会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。					30, 000 円						
(次頁へ続く)											

3	款	1	項	1	目																				
実績	4 松島町遺族会 400,000 円 戦没者遺族の援護事業に関する事業の経費について助成を行った。 また、戦没者追悼式を実施した。																								
	【災害見舞金支給事業(台風第19号)】																								
	<table><tr><td>り災判定</td><td>見舞金(円)</td><td>支給人数(人)</td><td>見舞金支給額(円)</td></tr><tr><td>半壊</td><td>50,000</td><td>2</td><td>100,000</td></tr><tr><td>一部損壊(準半壊)</td><td>30,000</td><td>37</td><td>1,110,000</td></tr><tr><td>一部損壊</td><td>10,000</td><td>121</td><td>1,210,000</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td>160</td><td>2,420,000</td></tr></table>					り災判定	見舞金(円)	支給人数(人)	見舞金支給額(円)	半壊	50,000	2	100,000	一部損壊(準半壊)	30,000	37	1,110,000	一部損壊	10,000	121	1,210,000	合 計		160	2,420,000
	り災判定	見舞金(円)	支給人数(人)	見舞金支給額(円)																					
	半壊	50,000	2	100,000																					
	一部損壊(準半壊)	30,000	37	1,110,000																					
	一部損壊	10,000	121	1,210,000																					
	合 計		160	2,420,000																					
	【その他】																								
	1 生活保護申請受付件数 18 件 相談件数 20 件																								
2 法外援護旅費受付件数 31 件 支給額 12,400 円																									
課題 方向性	民生委員児童委員が活発に活動しており、住民の福祉向上や安心な生活環境づくりに寄与している。各種団体も社会福祉の増進のため、事業を実施している。それぞれが各地域に根ざした活動を実施していることから、今後も継続して行っていく必要がある。																								

一 般 会 計

3 款	1 項	2 目	障害者福祉費				
担当部署名		町民福祉課福祉班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	321, 829	316, 471	129, 649	82, 483		245	104, 094
目的	障害者自立支援給付事業及び地域生活支援事業の実施により、福祉サービス体制の充実を図り、障がい者・障がい児の自立や社会参加を支援すると共に、家族や支援者の負担の軽減につなげる。 また、心身障がい者の医療費を助成することにより、医療機会を確保し、心身障がい者の家庭の経済的安定と福祉の向上を図る。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	障害者自立支援給付事業	B	-	3.3	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス（介護給付及び訓練給付）の支給決定、補装具費及び自立支援医療給付を実施し、障がい者の日常生活の支援に努めることができた。 また、児童福祉法に基づく障害児通所支援給付も行った。		
	地域生活支援事業	B	-	3.7	障がい者（児）に対して、日常生活用具（ストーマ・人工鼻等）購入に係る助成を実施し、また、外出のための移動支援、訪問入浴サービスの支給を実施し、日常生活の支援を行うことができた。		
	相談支援事業	B	-	3.7	町内の障がい者（児）からの相談に対し、相談支援専門員による支援を行えるよう、特定指定相談支援事業所を設置し、適切な計画作成業務や障害福祉サービスの適正な利用ができるよう努めた。		
	地域活動支援センター事業	B	-	3.7	障がい者（児）並びに保護者や家族が交流できる場所として、希望園を地域活動支援センターとして創作作業等を実施し、日常生活や社会生活への支援を実施することができた。		
	在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業	B	-	3.7	町内に住所を有する在宅酸素療法を必要とする呼吸器機能障がい者に対し、酸素濃縮器の使用による電気料を一部助成し、経済的負担の軽減を図ることができた。		
	心障害者医療対策費	B	-	3.0	重度の身体障がい者（身体障害者手帳1級と2級）及び内部障害3級、療育手帳A所持者、特別児童扶養手当1級の方の医療費に関して助成を行い、経済的負担の軽減を図った。		
	障害者自立支援推進委員会経費事業	A	4.3	3.7	障がい福祉計画及び障がい児福祉計画、障がい者計画の策定及び見直しを行う際に民意の反映や適正な実施を図るため、障害者自立支援推進委員会を設置し、意見を伺うことができた。		
	福祉団体等に要する経費事業	B	-	3.0	松島町心身障害児（者）を持つ手をつなぐ親の会及び松島町身体障害者福祉協会の移動研修会や奉仕活動、運動会などの活動への助成を行うことで、会員相互の交流や情報交換、関係機関との連携などが図られた。		
	難聴児補聴器購入助成事業	B	-	3.7	町内在住の身体障害者手帳の交付対象とならない軽度または中等度の難聴児の補聴器購入に係る費用を助成することで経済的負担の軽減を図り、さらに難聴児の脳の発達や言語の早期習得等の促進に繋がった。		
	障害者福祉助成事業	B	-	4.0	在宅で障がいの重い方々を対象に、外出支援として福祉タクシー券及びガソリン利用券の共通券を配布し、また、在宅生活で常時おむつを必要とする方に、紙おむつ購入費用を助成し、経済的負担と軽減を図った。		
	身体障害者相談員事業	B	-	4.0	相談員は、障がい者からの相談を受け、必要に応じ助言や指導を行い、地域活動の促進や関係団体との連携を図り、広く福祉の増進に努めることができた。		
(次頁へ続く)							

3 款

1 項

2 目

【障害者自立支援給付事業】

1 障害支援区分にかかる審査判定

障がい福祉サービスのうち介護給付利用申請者について、自立支援法施行に伴う障害支援区分の審査判定を塩釜地区消防事務組合の障害者自立支援審査会にて実施し、支給決定を行った。

○ 令和元年度審査受付数

32 人（うち継続 19人）

2 障がい福祉サービス等事業

○ 障がい福祉サービス

・ 障がい福祉サービス受給者証交付

106人（身体15人、知的59人、精神24人、児童8人）

・ 支給決定者数及び利用者数

サービス種類	支給決定者数（人）	利用者数（人）
居宅介護（身体・家事・通院介助）	19	19
行動援護	2	0
同行援護	4	4
生活介護	32	32
短期入所	23	23
施設入所支援	14	14
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	1	1
就労移行支援	7	7
就労継続支援（A）	10	10
就労継続支援（B）	36	36
グループホーム（共同生活援助）	14	14
療養介護	2	2
計画相談支援	95	95
地域定着支援	3	3

事業費

197,317,468 円

○ 障がい児通所支援

・ 障がい児通所支援受給者証交付

8 人

・ 支給決定者数及び利用者数

サービス種類	支給決定者数（人）	利用者数（人）
児童発達支援	3	3
放課後等デイサービス	5	5
障害児相談支援	8	8

事業費

6,715,901 円

○ 高額障害福祉サービス等給付事業

給付世帯

1世帯

給付額

2,506 円

○ 補装具費給付事業（購入及び修理）

給付人数

延べ 38 人

（補聴器、短下肢装具、車いすなど）

事業費

3,573,175 円

○ 自立支援医療（更生医療）給付事業

・ 利用者

実人数

52 人

（腎臓50人、心臓2人）

事業費

40,542,819 円

○ 自立支援医療（育成医療）給付事業

・ 利用者

実人数

2 人

（肢体不自由1人、音声・言語・そしゃく機能障害1人）

事業費

188,269 円

実績

(次頁へ続く)

3 款	1 項	2 目
実績		○療養介護医療給付事業 ・利用者 実人数 2 人 (身体障害者2人) 事業費 1,606,792 円 ○養育医療給付事業 ・利用者 実人数 2 人 事業費 338,061 円 【相談支援事業】 在宅の障がい者の自立を目的として各種の事業を行った。 ○地域生活支援拠点等及び緊急短期入所居宅確保事業 在宅で暮らす障がい者や障がい児とその家族等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、その家族等が緊急かつやむを得ない事情等により一時的に不在となる場合等について、相談及び緊急支援事業を実施した。 また、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報共有や関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備を行う宮城東部地域自立支援協議会の業務を行った。 ・相談件数 232 件 ・実人数 12 人 ・委託料 2,127,000 円 ○障がい者等一般相談支援事業 松島町の障がい者の相談支援並びに計画相談支援への対応、災害時の支援等を委託した。地域の障がい者及びその家族等からの福祉に関する各般の相談に対して必要な情報提供や援助支援、関係機関との連携を図り、自立した日常生活又は社会生活を送るために必要な相談支援事業を実施した。 ・相談件数 2,996 件 ・延べ人数 436 人 ・委託料 5,300,000 円 【地域活動支援センター事業】 障がい児や障がい者、その家族の方が交流し、社会参加しやすい環境づくりとして、希望園を地域活動支援センターとして開所し、週1回は障がい者の交流サロンとして運営、週4日は、障がい児及び保護者の日中支援事業として、日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう事業を実施した。 ○地域活動支援センター基礎的事業（毎週水曜） 通所者 実10人 延べ 189人（1日平均3.9人） 基礎的事業委託料 1,510,000 円 ○地域活動支援センター日中一時支援事業 通園者 実15人 延べ1,237人（1日平均6.5人） 日中一時支援事業委託料 5,960,000 円 【地域生活支援事業】 ○日中一時支援事業（町外等利用分） 町外の施設を利用して、障がい児・障がい者の日中一時支援を実施し、療育支援と保護者の介護負担の軽減を図った。 ・利用者 実人数 2 人 ・利用回数 延べ 7 回 ・事業費 22,365 円
		(次頁へ続く)

○ 移動支援事業
一人では外出困難な障がい者や障がい児に対して、ガイドヘルパー等を派遣し、外出を支援した。

実人数 7人 延べ 260 時間
事業費 563,745 円

○ 日常生活用具給付事業
障がい者に必要な日常生活用具の給付を実施し、自立支援を図った。

- ・利用者 実人数 50 人
- ・利用件数 延件数 106 件
- (埋込型人工咽頭用人工鼻、ストマ用装具、パソコン続上ソフト他)
- ・事業費 3,531,343 円

○ コミュニケーション支援事業

- ・手話通訳者派遣料 利用者 1 人
事業費 31,012 円

○ 訪問入浴サービス事業

- ・訪問入浴サービス 利用者 3 人
事業費 1,597,500 円

【在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業】

在宅酸素の療法を必要とする呼吸器機能障害のある方に対し、酸素濃縮器の使用に要する電気料金の一部を助成し、障がい者の家庭の経済的負担の軽減を図った。

- ・利用者 13 人
- ・助成額 177,160 円

【難聴児補聴器購入助成事業】

・身体障害者手帳の交付対象とならない軽度又は中等度の難聴児に対し、補聴器購入費用の一部を助成し、難聴児を養育する家庭の経済的負担の軽減を図った。

- ・利用者 1 人
- ・助成額 74,765 円

【心障害者医療対策費】

身体障害者手帳1・2級及び内部障害の3級所持者、療育手帳A所持者に医療費を助成し、心身障がい者の適正な医療の確保と経済的負担の軽減に努めた。

年度	対象者数(人)	助成件数(件)	助成額(円)
平成29年度	424	8,421	38,767,441
平成30年度	371	8,254	35,577,827
令和元年度	359	8,186	35,323,065

※対象者数(人)は、各年度10月1日現在

【福祉団体等に要する経費事業】

○ 松島町心身障害児(者)を持つ手をつなぐ親の会 51,000 円

障がい者の手をつなぐ親の会事業の助成を通じて、研修や会員相互の親睦を図り、地域在住の障がい者の福祉増進が図られた。

○ 松島町身体障害者福祉協会 80,000 円

会員である障がい者の自立更正に努め、体育大会や移動研修などの各種事業を通じて会員相互の親睦を図り、地域在住の障がい者の福祉増進が図られた。

(次頁へ続く)

3 款	1 項	2 目
実績	【障害者福祉助成事業】 ○ 障害者福祉タクシー券・燃料費助成事業 在宅で重度の身体・知的・精神・難病等の障がい者を対象にタクシー利用と燃料費助成を実施し、社会参加できるよう外出の支援を図った。 ・ 支援対象者 - 身体障害者手帳1・2級所持者 - 療育手帳A所持者 - 精神保健福祉手帳1・2級所持者 - 特定疾患・小児慢性特定疾患受給者重症者認定の方 ・ 障害者(児)タクシー利用助成とガソリン等燃料費助成の共通券の交付者数 296 人 ・ 事業費 3,367,000 円 ○ 障害者(児)紙おむつ購入助成事業 在宅で生活する常時おむつを使用している障がい者(児)を対象に、紙おむつ購入に係る費用を助成し、介護者の負担軽減を図った。 ・ 支援対象者 - 満64歳以下で松島町の住民基本台帳に登録され、かつ、居住する方で、身体障害者手帳又は療育手帳保持者(社会福祉施設、医療施設に入所又は入院している方、他制度での給付者は除く) ・ 交付者数 3 人 ・ 事業費 9,000 円 【身体障害者相談員事業】 身体障害者相談員は、障がいのある方の更生援護(身体障害者手帳の交付、自立支援医療、補装具の修理、年金など)に関する相談を受け、助言・指導を行う。 ・ 相談員 2 人 ・ 相談件数 132 件 ・ 事業費 48,960 円	
課題 方向性	町内在住又は町外の施設入所されている障がい者及び障がい児へ適切な障害サービスを提供するため、相談支援事業所等と連携し、利用者のニーズに対応できるよう努めると共に経済的な支援を含め、事業を継続していく。 また、松島町内のサービス提供事業所は多くはないが、塩釜圏域等の事業所を利活用できるよう、二市三町で構成している宮城東部地域自立支援協議会での協議を重ね、さらに、障がい者や障がい児とその家族や支援者との交流会等を行っていく。	

一 般 会 計

3 款		1 項		3 目		老人福祉費					(単位:千円)	
担当部署名				健康長寿課高齢者支援班								
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	308, 121		305, 417			598		5, 207	299, 612			
目的	高齢化社会の実情を踏まえ、高齢者自身が意欲や目標を持って生活機能の維持・向上が図れるよう、社会参加、社会貢献、健康づくりを推進し、在宅福祉に努める。											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	老人クラブ助成事業		B	-	3.3	町内外でのスポーツ活動や研修会により心身の健康増進を図り、地域で活躍する人材の育成に寄与した。						
	ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業		B	-	3.3	緊急時に迅速に駆け付け、適切な救急対応を行うことができた。						
	老人福祉施設入所措置事業		B	-	3.7	やむを得ない事情により保護が必要な高齢者の対象者に対し適切な措置及び保護を行い、必要な支援を実施した。						
	敬老会関係経費		B	-	4.0	町内高齢者への敬意を表し、77歳以上の方を招待し敬老会を実施した。当日は式典参加及び景品受取として対象者の約5割が来場した。						
	敬老祝金等支援事業		B	-	3.3	高齢者の増加見込みより88歳(米寿)の祝金を5万円から2万円に引き下げ支給を実施した。99歳(白寿)は10万円支給した。						
	宅配夕食サービス事業		B	-	3.7	栄養バランスのとれた食事を提供すると共に、配達時の見守りにより、必要時に緊急連絡等迅速な対応が図ることができた。						
	高齢者福祉助成事業（タクシー利用助成・紙おむつ購入助成）		B	-	3.3	75歳以上の高齢者のみの非課税世帯等の他、在宅の要介護4、5の認定者に対しタクシー利用に係る経済的負担の軽減を図ることができた。また、在宅で常時紙おむつを必要とする高齢者に対し紙おむつ購入に係る経済的負担の軽減を図ることができた。						
	特別養護老人ホーム長松苑事業関係経費		B	-	4.0	特別養護老人ホーム長松苑建設事業の償還に対する負担金の支払いを償還計画どおり実施した。そのうち七十七銀行借入分については償還を終了した。						
	松島ケアハウス建設事業負担金		B	-	4.0	松島ケアハウス建設事業の償還に対する負担金の支払いを償還計画どおり実施した。						
	避難行動要支援者対策事業		B	-	3.0	対象要件に該当する方の把握と名簿作成を行い、地域の避難協力関係機関へ配布をすることにより、避難協力関係機関と情報共有を実施し、災害協力体制の構築の推進が図られた。						
	ふれあい施設等維持管理経費		B	-	3.7	高齢者の介護予防に関する事業や余暇活動が安全・快適に行えるよう、ふれあいの家等の維持管理業務として、光熱水費の管理や施設保守点検業務等適切に行うことができた。						
	在宅高齢者緊急ショートステイ事業		B	-	3.7	在宅生活が困難となった高齢者を緊急で保護することにより、当該高齢者の心身の保護、福祉の増進が図られた。						
(次頁へ続く)												

3	款	1	項	3	目
---	---	---	---	---	---

高年齢者の状況

(平成31年3月31日現在)

	65歳以上		75歳以上		ひとり暮らし		高齢者のみ世帯	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	世帯数(世帯)	割合
松島町	5,334	37.9	2,917	20.7	892	16.7	1,742	30.9
宮城県	629,559	27.5	316,049	13.8	121,355	19.3	—	—
国	3,553万	28.1	1,795万	14.2	—	—	—	—

※国は平成30年10月1日現在(総務省データ)

※ひとり暮らしは、65歳以上人数に対する割合

【老人クラブ助成事業】

- 1 主な活動内容
ゲートボール大会、グラウンドゴルフ・ペタンク大会、移動研修、
友愛訪問、地域での支え合い活動(集まりの場等)
- 2 会員数 661 人
- 3 単位老人クラブ(12クラブ)補助金 692,000 円
- 4 町老人クラブ連合会補助金 320,000 円

【ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業】

高齢者ひとり暮らし世帯又は高齢者のみの世帯に対し緊急通報システムにおける緊急時の対応を行った。緊急装置による通報のうち、携帯端末利用型の3件が救急搬送に繋がった。

- 1 固定電話回線利用型
 - ・緊急通報システム機器利用実台数(年間) 13 台
 - ・事業費 287,224 円
- 2 携帯端末利用型
 - ・緊急通報システム機器利用実台数(年間) 16 台
 - ・事業費 537,073 円

実績

【老人福祉施設入所措置事業】

家庭の事情や心身の障害、経済的な事情等で在宅生活が困難な方を養護老人ホームへ1名、視覚障害老人ホームへ1名計2名継続して保護を行った。また、緊急的に保護が必要な方について緊急ショートステイ、やむを得ない事由による措置により保護を行った。

- 1 施設入所措置者数(養護老人ホーム1人・視覚障害老人ホーム1人) 2 人
- 2 やむを得ない事由による措置者数 2 人
- 3 緊急ショートステイ利用者数 2 人
- 4 事業費 6,264,054 円

【敬老会関係経費】

- 1 対 象 77歳以上の高齢者
- 2 開催日 令和元年9月16日
- 3 内 容 式典及びアトラクション
すずめ踊り(松島祭連竹谷舞)、昭和歌謡(ティーナ・カリーナ)、舞踊等(松島町芸術文化協会)
- 4 招待者 2,587 人
- 5 事業費 2,208,566 円

【敬老祝金等支援事業】

- 1 88歳に達した方(米寿 2万円) 114 人
- 2 99歳に達した方(白寿 10万円) 6 人
- 3 支給総額 2,880,000 円
(次頁へ続く)

【宅配夕食サービス事業】

社会福祉協議会に業務を委託し、調理等が困難な単身または高齢者世帯等の希望する高齢者に、栄養バランスのとれた夕食を宅配し、併せて安否確認を実施した。

延べ実施日数（日）	295
延べ配食数（食）	8,729
1日平均食数（食）	30

※ 登録者数 70人（男性:31人、女性:39人）
 ※ 利用頻度 週6回 :39人、週5回 : 2人
 週3～4回 : 12人、週1～2回 : 17人

・ 事業費 9,374,297 円

【高齢者福祉助成事業（タクシー利用助成・紙おむつ購入助成）】

① 高齢者タクシー助成事業

対象要件	対象者数	交付者数	1人(世帯)あたりの助成額
75歳以上の生活保護世帯及び住民税非課税世帯	352人	283人	6,000円
在宅の要介護4又は5の認定者	12人	4人	12,000円

② 紙おむつ購入助成事業

対象要件	対象者数	交付枚数	使用枚数	1人あたりの助成額
65歳以上で常時紙おむつが必要な在宅の方	305人	912枚	760枚	1,500円×2回(6月・12月) (500円券×3枚)

実績

【特別養護老人ホーム長松苑事業関係経費】

・ 6,299,563円
 （内訳：株式会社七十七銀行借入金4,026,613円、独立行政法人福祉医療機構借入金2,272,950円）

【松島ケアハウス建設事業負担金】

・ 2,330,000円 （独立行政法人福祉医療機構借入金）

【避難行動要支援者対策事業】

・ 対象者 要介護3～5、身体障害者手帳1,2級、精神障害者手帳1級、療育手帳A、B、
 その他高齢単身または高齢世帯で登録を希望する方
 ・ 避難行動要支援者名簿登録者数 870 人
 ・ 事業費 428,760 円

課題
方向性

特別敬老祝金においては高齢化による対象者の増加を見据え、見直し後の金額にて支給を行った。
 また、75歳以上の高齢者のみの非課税世帯及び在宅で重度の介護を要する方の外出時の負担軽減と、常時おむつを使用している方への紙おむつの購入に係る負担軽減として助成事業を行った。ひとり暮らし高齢者世帯が増加している一方、元気な高齢者が多いことから、老人クラブの協力を得ながら交流や活躍の場づくり支援に努めていく。

一 般 会 計

3	款	1	項	4	目	国民年金費				
担当部署名				町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,322		5,872		3,108				2,764	
目的	法定受託事務である国民年金の事務事業として、資格取得、喪失等の届出の受理及び報告事務をはじめ、年金事務所との協力・連携事務として年金制度に関する相談業務や広報等について推進を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	国民年金事務に要する経費		B	-	3.7	国民年金の法定受託事務として、各種手続きや相談制度の周知等を円滑に行うことができた。				
実績	【国民年金事務に要する経費】									
	1 法定受託事務（町の受付状況）									
	(単位：人)									
	年度 区分		令和元年度	平成30年度	年度 区分		令和元年度	平成30年度		
	資 格 取 得 届		221	239	任 意 加 入		3	6		
	資 格 喪 失 届		15	16	付 加 年 金 加 入		6	9		
	種 別 変 更 届		36	37	免除申請（一般）		360	484		
	口 座 振 替 納 付 申 出		2	7	免除申請（学生）		77	112		
	老 年 金 基 礎 金 請 求		6	10	免除該当（法定）		8	11		
	障 害 基 礎 年 金 請 求		8	12						
未 支 給 年 金 請 求		36	50							
課題 方向性	2 被保険者状況									
	第1号被保険者状況									
	(単位：人)									
	年度 区分		令和元年度	平成30年度	年度 区分		令和元年度	平成30年度		
	年間平均被保険者		1,382	1,397						
	内 訳	付加年金加入者数	46	53						
		免 除 者 数	615	609						
		20 歳 到 達 者	88	55						
	法定受託事務である被保険者の資格取得・種別変更届、保険料の免除申請、国民年金の裁定請求等の受付及び進達を日本年金機構仙台東年金事務所と連携を図りながら行う。 また、国民年金制度の周知や、経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な場合の免除申請についての制度の周知、情報提供に努める。									

一 般 会 計

3	款	1	項	5	目	介護保険対策費				
担当部署名				健康長寿課高齢者支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	283, 789		283, 629		5, 161	2, 814			275, 654	
目的	低所得者の利用者負担額を軽減することにより、施設等のサービス利用を円滑にする。また、軽減措置を実施した社会福祉法人等に対し、軽減額に応じ補助金を交付する。 一般会計から介護保険特別会計へ町負担分の繰り出しを行うことにより、円滑で安定的な介護保険制度の運営を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	介護保険対策費		B	-	3.3	社会福祉法人等が運営する特別養護老人ホーム等に入所中の低所得者の食費や居住費の利用料の軽減を実施することで、低所得者の円滑なサービス利用に繋がった。 法人への補助は、基準額に満たないため町からの補助は該当が無かった。				
	介護保険特別会計繰出		B	-	3.7	介護保険特別会計に必要な人件費及び事務費を適切に繰り出すことで、介護保険事業を安定的に運営することができた。				
実績	【介護保険対策費】									
	利用料の軽減対策									
	・ 社会福祉法人等利用者負担軽減措置									
	特別養護老人ホーム(2施設)、短期入所（1施設）						利用者数	4 人		
							軽減額	175, 790 円		
	※社会福祉法人等による利用者負担軽減制度事業補助金は、対象事業所なし。									
	【介護保険特別会計繰出】									
	介護保険特別会計への繰出金						283, 483, 000 円			
	(内訳)									
	・ 介護給付費分（12.5%）						212, 485, 000 円			
・ 地域支援事業分										
介護予防・日常生活支援総合事業分（12.5%）						4, 373, 000 円				
包括的支援・任意事業分（19.25%）						7, 332, 000 円				
・ 低所得者保険料軽減分（25%）						10, 324, 000 円				
・ 職員給与費等分						20, 206, 000 円				
・ 事務費分						28, 763, 000 円				
課題 方向性	今後も継続的に円滑な介護保険制度の運営を図るため、適切な事務処理を実施すると共に、低所得者の相談業務や制度の周知・情報提供を継続して行う。									

一 般 会 計

3	款	1	項	6	目	保健福祉センター管理費				
担当部署名				健康長寿課高齢者支援班				(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	45,940		43,150					7,776	35,374	
目的	保健福祉センター「どんぐり」を拠点として、住民が健やかに生まれ、健やかに老い、生涯元気で暮らせるよう、健康増進、疾病予防、健康診査等の保健福祉事業を実施する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	保健福祉センター維持管理経費		A	4.0	3.7	ふれあいの湯については、施設の保守点検や修繕を適正に実施し、利用者の安心・安全な利用に寄与することができた。				
実績	【保健福祉センター維持管理経費】									
	1 保健福祉センター利用状況									
	(単位:人)									
		各種保健福祉事業他					ふれあいの湯			合計
		健康増進事業	母子保健事業	地域支援事業	その他	小計	町内	町外	小計	
	4月	96	127	97	286	606	2,777	223	3,000	3,606
	5月	77	48	50	241	416	2,768	280	3,048	3,464
	6月	96	107	114	361	678	2,533	174	2,707	3,385
	7月	154	60	132	292	638	2,653	211	2,864	3,502
	8月	482	122	126	241	971	2,516	261	2,777	3,748
	9月	2,764	20	32	260	3,076	2,449	192	2,641	5,717
	10月	89	113	195	297	694	2,703	281	2,984	3,678
	11月	76	70	112	348	606	2,933	186	3,119	3,725
	12月	195	100	171	389	855	2,624	164	2,788	3,643
	1月	227	66	55	300	648	2,612	215	2,827	3,475
	2月	172	101	46	224	543	2,847	246	3,093	3,636
	3月	67	42	39	238	386	235	13	248	634
	計	4,495	976	1,169	3,477	10,117	29,650	2,446	32,096	42,213
	※3月4日から新型コロナウイルス感染防止対策のためふれあいの湯を休館とした。									
	【保健福祉センターで実施した主要保健福祉事業】									
・ 健康増進事業 総合健診・健康相談・特定保健指導・30分でE-Styleクラブ・食生活改善推進員育成講習会、他										
・ 母子保健事業 3～4か月児健診・ハイハイ赤ちゃんセミナー・親子よちよちセミナー・1歳6か月児健診・2歳児歯っぴー健診・2歳6か月児歯科健診・3歳6か月児健診・母子健康手帳交付、他										
・ 地域支援事業 介護予防事業（まつしま元気塾他）、 地域包括支援センター業務（総合相談業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント、他）										
・ 長寿健康増進事業 健康体操教室										
(次頁へ続く)										

[illegible]

3	款	1	項	7	目	プレミアム付商品券事業費				(単位:千円)								
担当部署名						町民福祉課福祉班												
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳													
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源									
	17,508		13,628		15,781													
目的	消費税・地方消費税率引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、プレミアム付商品券を発行販売する。																	
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果												
	プレミアム付商品券事業		B	-	2.0	消費税・地方消費税率引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、プレミアム付商品券を発行販売できた。												
実績	【プレミアム付商品券事業】																	
	5,000円の商品券を4,000円で販売。最大5冊まで購入可能。 <table border="0"> <tr> <td>・プレミアム付商品券引換対象者数</td> <td>1,464人</td> <td>7,320冊</td> </tr> <tr> <td>住民税非課税者申請者</td> <td>1,223人</td> <td>6,115冊</td> </tr> <tr> <td>子育て世帯</td> <td>241人</td> <td>1,205冊</td> </tr> </table> ・プレミアム付商品券販売数 5,136冊 ・プレミアム付商品券発行等事業補助金 9,225,476円 利府松島商工会 商品券取扱店舗数 122店 商品券利用期間 令和元年10月1日～令和2年3月31日										・プレミアム付商品券引換対象者数	1,464人	7,320冊	住民税非課税者申請者	1,223人	6,115冊	子育て世帯	241人
・プレミアム付商品券引換対象者数	1,464人	7,320冊																
住民税非課税者申請者	1,223人	6,115冊																
子育て世帯	241人	1,205冊																
課題 方向性	プレミアム付商品券の発行、購入等がスムーズに行えるよう、広報誌等を使って制度の周知を図り、事務を遂行した。																	

一 般 会 計

3	款	2	項	1	2	目	児童福祉総務費 児童措置費				
担当部署名				町民福祉課福祉班				(単位:千円)			
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	557 158,610		521 158,425		61 109,983	24,214			460 24,228		
目的	児童を養育している保護者を対象に、児童手当を支給することにより家庭における生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健全な育成を促す。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	児童手当事務		B	-	4.0	児童手当等業務の円滑な推進が図られた。					
	児童手当等支給経費		B	-	3.7	中学校修了前までの児童を養育している保護者に児童手当を年3回（6月、10月、2月）支給し、子育て世帯の生活の安定及び児童の健全な育成に寄与できた。					
実績	【児童手当等支給経費】										
	○ 児童手当の支給（令和元年6月・10月、令和2年2月支払分）										
	中学校修了前までの児童を養育するものに支給される。										
	・ 支給額（月額） 3歳未満 一律 15,000 円										

一 般 会 計

3	款	2	項	3	目	保育所費				
担当部署名				町民福祉課こども支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	260,400		250,637		739	15,162		40,970	193,766	
目的	保護者が仕事等で子どもの保育ができない家庭の子どもを預かり、月齢にあった保育を行うことで、子どもの心と体の健やかな成長を促すことを目的とする。 また、子どもたちが快適に楽しく過ごせる環境づくりに努めながら、保護者が安心して預けることができるよう保護者との対話を大切にしたい保育所をめざす。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	保育所管理運営費		A	3.3	3.0	幼児教育の無償化により、保護者の負担軽減が図られた。 給食調理及び栄養管理を民間へ委託し、民間のノウハウをいかした衛生管理や人材教育が徹底され、より安全で安心な給食の提供と食育の推進が図られた。				
	一時預かり保育事業		A	3.3	3.7	母親の育児疲れの解消や就労、また、保護者の入院による緊急時などに預け先がない子どもの保育を行い、保護者が安心してリフレッシュや仕事、療養等ができる環境づくりに寄与した。				
実績	【保育所管理運営費】									
	1 通常保育事業									
	○ 入所児童状況（令和2年3月31日現在）									
	保育所名		定員（人）	保育実児童数（人）		年間延保育児童数(人)		充足率（%）		
	高城保育所		120	88		1,045		73.3		
	高城保育所分園		29	16		192		55.2		
	松島保育所		60	54		647		90.0		
	磯崎保育所		60	54		656		90.0		
	計		269	212		2,540		78.8		
	2 （特別）延長保育事業									
保護者の就労形態の多様化に対応するため、4保育所で午前7時30分から午後6時まで延長保育を実施した。更に高城保育所では、午前7時から午後7時まで特別延長保育を実施し、勤務先が遠い保護者や勤務時間が長い保護者などが利用した。										
○ 延長保育（4保育所） (単位：人)										
		高城保育所		高城保育所分園		松島保育所		磯崎保育所		
入所児童数（月平均）		87		16		54		55		
延長保育 児童数（延べ）	7:30～ 8:00	6,849		416		2,392		2,662		
	16:00～18:00	11,170		2,453		7,142		9,602		
一日平均 児 童 数	7:30～ 8:00	24		2		8		9		
	16:00～18:00	39		10		25		33		
○ 特別延長保育（高城保育所） (単位：人)										
実保育児童数		7:00～7:30			18:00～19:00					
30	延べ児童数	一日平均児童数	平日のみ平均	延べ児童数	一日平均児童数	平日のみ平均				
	3,554	12.2	14.8	4,444	15.3	18.5				
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

3	款	2	項	3	目			
実績	3 施設等修繕				1,914,367 円			
	・ 磯崎保育所床傾斜修繕							
	・ 高城保育所遊具修繕							
	・ 松島保育所遊戯室舞台照明修繕							
	・ 松島保育所冷却水ポンプ交換 等							
	4 委託料				60,058,568 円			
	・ 保育所給食調理等業務委託							
	・ 保育士派遣業務委託							
	・ 子ども子育て支援システム改修業務委託 等							
	【一時預かり保育事業】							
1 一時預かり事業								
磯崎保育所において、保護者の就労や求職活動、入院・通院・出産・介護・冠婚葬祭等の緊急時、保護者の育児疲れ等のリフレッシュ・災害時のボランティア活動・学校行事等の際に、預け先のない1歳から就学前までの乳幼児を一時的に預かる事業として実施した。								
○ 利用実績（利用延べ人数・年齢別延べ人数）（単位：人）								
登録児童数		利用児童数		利用年齢				
28		半日	1日	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
		81	73	82	31	36	1	4
○ 利用料金								
世帯区分		半日利用		1日利用		給食利用		
生活保護法による被保護世帯		0円		0円		300円		
上記以外の世帯		1,000円		2,000円		300円		
課題方向性	核家族世帯及び女性の社会進出の増加により、3歳未満の子どもの入所希望が増えている。特に、育児休暇取得後の1歳児の入所希望が増えていることに加え、特別延長保育の利用を希望する子どもについても増加していることから、施設規模の不足や保育士不足から待機児童が生じている。 また、近年、支援が必要な子どもが増加傾向にあり、一人ひとりの個性を生かしたきめ細かい保育を行う必要性が生じている。 今後、待機児童の解消及び個性を生かしたきめ細かい保育を行えるよう、人材を確保し、質の向上を図れるよう努めていく。 現在進めている認定こども園建設については、施設規模の不足に対応できるようなものとなるよう検討していく。							

一 般 会 計

3	款	2	項	4	目	母子福祉費																			
担当部署名				町民福祉課福祉班					(単位:千円)																
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																
	2,955		2,402			1,114			1,288																
目的	母子父子家庭に医療費を助成することにより、経済的負担を軽減し、生活の質を高める。 また、母子福祉協議会へ補助金を交付し、母子家庭の支援や相談援助の充実を図る。																								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																			
	母子・父子家庭医療費支給		B	-	3.7	母子父子家庭にかかる医療費の一部を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会の確保と、経済的負担軽減をさせることができた。																			
	母子相談に要する経費		B	-	3.0	母子福祉協議会に補助金を交付することにより、会員の母子寡婦福祉事業、各種行事への参加が促され、母子福祉の充実向上に寄与した。																			
実績	【母子・父子家庭医療費支給】																								
	助成対象者 ・ 母子・父子家庭の18歳の年度末までの児童 ・ 母子家庭の母、父子家庭の父 ・ 父母のいない18歳の年度末までの児童																								
	<table><tr><td>年 度</td><td>対象者数 (人)</td><td>助成件数 (件)</td><td>助成額 (円)</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>314</td><td>878</td><td>2,857,700</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>307</td><td>788</td><td>2,579,849</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>281</td><td>731</td><td>2,229,416</td></tr></table>									年 度	対象者数 (人)	助成件数 (件)	助成額 (円)	平成29年度	314	878	2,857,700	平成30年度	307	788	2,579,849	令和元年度	281	731	2,229,416
	年 度	対象者数 (人)	助成件数 (件)	助成額 (円)																					
平成29年度	314	878	2,857,700																						
平成30年度	307	788	2,579,849																						
令和元年度	281	731	2,229,416																						
※対象者数は、各年度10月1日現在																									
課題 方向性	【母子相談に要する経費】																								
	福祉団体等に対する補助事業 ・ 松島町母子福祉協議会 30,000 円 母子寡婦福祉事業及び行事を実施し、母子家庭の暮らしに対する相談、支援を充実し、母子家庭の母子が地域において安心して暮らすことができるように努めた。																								
	医療費の助成は、母子父子家庭の経済的負担の軽減に寄与しており、生活の安定と児童の健全育成に資するものであるため、今後も県の補助金を活用して継続的に実施していく。また、今後も病院窓口への申請書の提出忘れがないよう周知を図っていく。 母子福祉協議会活動について検証し、母子家庭への支援がより充実するよう検討していく。																								

一 般 会 計

3	款	2	項	5	目	子ども医療対策費				
担当部署名				町民福祉課福祉班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	50, 023		49, 045			7, 018			42, 027	
目的	子どもの医療費を助成することにより、医療機会を確保し、経済的安定と福祉の向上に努める。 また、経済的負担を軽減することにより、少子化対策の一助を担うことを目標とする。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	子ども医療費支給		B	-	3.7	入通院とも対象年齢を18歳までとして医療費の一部負担金を助成することにより、子どもの医療機関受診の機会が確保され、子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。				
実績	【子ども医療費支給】									
	1 助成対象年齢 通院・入院 0歳から18歳に達する年度末まで									
	2 助成実績									
	年 度		対象者数 (人)		助成件数 (件)		助成額 (円)			
	平成29年度		1, 759		22, 676		48, 403, 193			
	平成30年度		1, 710		23, 595		46, 989, 380			
令和元年度		1, 642		23, 221		47, 773, 419				
※対象者数は、各年度10月1日現在										
課題 方向性	入通院ともに対象年齢を18歳までとすることにより医療機会の確保が図られ、子どもの福祉向上と経済的負担の軽減が図られている。									

一 般 会 計

3	款	2	項	6	目	子育て支援事業費				(単位:千円)
担当部署名				町民福祉課こども支援班						
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
	14,464		12,490		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
				2,551	4,240				5,699	
目的	地域の子育て支援事業として、乳幼児及びその保護者が相互の交流を行い、子育てについての相談、情報提供、助言、援助を行う。また、児童虐待の防止や発達に支援が必要な子どもが地域で安心して生活するため、子どもと保護者の育児に対する負担・不安を軽減し、様々なニーズに対して柔軟に対応できるよう支援体制のネットワークの構築や指導者の育成を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	ファミリー・サポート・センター事業		A	3.3	3.3	保護者の仕事と育児の両立及び地域の子育てを支援していくことを目的として、会員同士の相互協力のもと、地域における子育て支援活動を実施した。 これまで利用していた方が利用しなくなり、利用回数は減ったものの、依頼会員は、仕事と育児の両立や子育ての支援を受けることができ、地域の子育ての体制づくりに繋がった。				
	子育て支援事業		A	3.3	4.0	児童館は、指定管理者に移行して初年度ではあるが、昨年度より事業内容等の充実が見られた。 児童館を利用する親子は、年毎に増加傾向にあり、人気のあった教室の回数を増やし親子の触れ合いや親同士の親睦を図ることができた。こどもまつりなどのイベントにも多くの親子の参加が見られ、更なる交流が図れた。 発達の気になる子については、早い段階から保育士や保健師が積極的に関わりを持ち、適切なアドバイスを行うなど、子と保護者への支援を行った。				
	施設型給付費		B	-	4.7	保護者の就労や出産などで、保育が必要になった児童の保育の場として利用された町外施設に対して、経費を負担することで、施設の円滑な運営を支援することができた。				
	次世代育成支援対策費		A	4.3	4.0	令和2年度から始まる子ども・子育て支援事業計画（第二期）の策定が完了した。計画の概要版を子育て世帯（保育所、幼稚園、小学校に通っている子どもがいる世帯）へ配布し、町の施策を周知することができた。その他、子育て支援サイトにて住民へ情報提供を行った。				
実績	【ファミリー・サポート・センター事業】 ・ 利用会員 55 人 ・ 協力会員 7 人 ・ 支援活動回数 8 回 【子育て支援事業】 1 各種相談事業									
	分 類					実施回数(回)		利用者 (人)		
	巡回心理相談					12		154		
	電話相談					2		2		
	訪問相談					51		141		
	来館相談					7		7		
	発達相談（子育てひろば）					8		56		
	計					80		360		

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

2 仲間づくり支援事業

事業名	実施回数(回)	参加者(人)
あそびの広場(自由来館)	265	5,291
計	265	5,291

3 親子教室関係

教室名	実施回数(回)	参加者(人)
読み聞かせの会	11	388
リズム遊びの会	5	142
親子ヨガ教室	4	110
3B体操	3	91
リトミック	5	48
なかよし教室	11	302
計	39	1,081

(参加者は、保護者と子どもの人数)

4 各種イベント事業

事業名	回数(回)	参加者(人)
こどもまつり	1	131
ハロウィンパレード	1	80
クリスマス会	1	53
ルルブルロックンロール(愛着形成の促進)	1	70
0・1・2シアター(体験参加型シアター)	1	52
計	5	386

(参加者は、保護者と子どもの人数)

5 社会全体の子育てへの関心を高めるための取り組み

事業名	回数(回)	備考
児童館だよりの発行	12	毎月5,700部(※全戸配布)
育児サークル支援	2	親子40名参加

※広報紙に児童館だよりを掲載

6 子ども虐待防止事業(要保護児童対策地域協議会関係)

事業名	実施回数(回)	参加者(人)
代表者会議	0	0
実務者会議	1	26
ケース会議	8	65
計	9	91

訪問支援 12 回
電話件数 40 件

(次頁へ続く)

7 障がい児等育児支援

事業名	実施回数(回)	利用者(人)
親の会定例会 (いるかの会)	7	49
希望園に行ってみよう会	1	2
発達障害児支援 (のびっこクラブ)	6	90
計	14	141

8 子育てボランティア協力・育成事業

事業名	実施回数(回)	活動者数(人)
読み聞かせの会	11	34
こどもまつり	1	33
ハロウィンパレード	1	31
クリスマス会	1	46
合 計	14	144

【施設型給付費】

実績

・ 仙台市エスパルキッズ保育園	1,656,950 円
・ 塩竈市塩釜カトリック幼稚園	702,340 円
・ 利府町利府聖光幼稚園	659,480 円
・ 涌谷町涌谷幼稚園	38,490 円
・ 山形県天童市あけぼの幼稚園	11,600 円

【施設等利用給付費】

・ 仙台市アブロードインターナショナルスクール（認可外保育施設）	222,000 円
・ 多賀城市ちびっこランドイオン多賀城園（認可外保育施設）	105,600 円
・ 秋田県羽後町みわこども園（一時預かり保育）	16,500 円

【次世代育成支援対策費】

1 子ども・子育て会議

・ 委員報酬 5回開催	255,000 円
-------------	-----------

2 委託料

・ 子ども・子育て支援事業計画（第二期）策定等業務委託	2,808,000 円
・ 子育て支援ホームページ保守管理業務委託	739,020 円

課題
方向性

子育て支援事業及びファミリー・サポート・センター事業では、指定管理者制度を導入したことから、民間事業者の豊富な知識や柔軟な発想により、事業の更なる充実と参加者の増加を図っていく。指定管理者に移行した初年度、こども支援班と児童館の職員の連携を強化し事業の運営がスムーズにできた。今後もさらに連携を密にし、協力体制の充実を図る。また、親子対象の教室は、子育てする母親の育児不安に対するストレス解消の効果があることから、積極的に教室等の開催を図っていく。

特にファミリー・サポート・センター事業については、協力会員の人数を増やすための取組みとして、広報等により、サービス内容をPRしていく。

要保護児童家庭は、今後も児童相談所等関係機関との連携を密にし、子どもたちに事件・事故が無いよう、見守りの強化や早期発見に努める。

次年度で子育て支援サイト改修を行う予定にしており、より見やすく充実した内容となるよう考えていく必要がある。

一 般 会 計

3	款	2	項	7	目	児童福祉施設費				
担当部署名				建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,977		1,893						1,893	
目的	地域児童の健康増進や情緒を豊かにすることを目的とし、児童に安全かつ健全な遊び場所を提供するため、公園環境の適切な維持管理を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	児童公園・遊園維持管理費		B	-	3.7	遊具等の修繕を実施し、事故を未然に防ぎ、児童が安全に遊べる場所を提供することができた。 また、公園内の草刈りや清掃活動については、地域住民の協力を得ながら環境整備を行った。				
実績	【児童公園・遊園維持管理費】									
	児童公園（22箇所）の維持管理									
	1 需用費（修繕料）		427,087 円							
	・ 華園児童公園遊具修繕（滑り台）		61,560 円							
	・ 華園児童公園トイレ修繕（手洗器）		26,589 円							
	・ 白萩児童公園遊具修繕（ブランコ）		163,110 円							
	・ 白萩児童公園トイレ修繕（小便器）		25,088 円							
	・ 本郷ふれあい児童公園トイレ修繕（小便器）		29,354 円							
	・ 城内児童公園トイレ修繕（調圧弁）		15,390 円							
	・ 城内児童公園水飲み場修繕（水栓）		10,048 円							
	・ 光陽台児童公園遊具修繕（ブランコ）		85,534 円							
	・ くぬぎ台児童公園トイレ修繕（給水管）		10,414 円							
	2 委託料		764,245 円							
	・ 児童公園公衆便所清掃業務委託（11箇所 月1回実施）		300,723 円							
	・ 児童公園遊具定期点検業務委託（21箇所 年1回実施）		344,520 円							
	・ くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回実施）		31,002 円							
	・ くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回実施）		88,000 円							
課題 方向性	地域住民の協力を得ながら公園環境の維持が図れているが、遊具等の老朽化が進んでいる。 今後も児童が安全に遊べるよう適切な維持管理を行っていく。また、中長期的に利用の実態がほとんどない児童公園については、再編等を関係各課と検討していく。									

一 般 会 計

3	款	2	項	8	目	児童館費									
担当部署名				町民福祉課こども支援班										(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳										
					国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		
	34,092		34,082		6,998		6,998				2,329		17,757		
目的	児童館は、子どもたちの健全な育成と子育て家庭支援の拠点施設として、子どもたちへ遊びの場を提供し心身の健全な発達を促す。また、留守家庭児童学級では、共働き家庭の子どもに遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。														
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果									
	児童館運営費		A	4.0	4.3	指定管理者制度を導入し、民間のネットワークと豊富な経験を生かして、多様な事業を展開した。各種事業では、工夫を凝らした内容で実施し、子どもの自主性や創造性を養うことができた。また、ボランティアとして中高生が参加することで、世代間の交流が図られた。									
	留守家庭児童学級運営費		A	3.7	4.0	留守家庭児童学級は、低学年の入級が増加しているため、これまで以上に児童の安全に配慮した運営を行い、大きな事故等がなく過ごすことができた。指定管理者制度の導入により、専門的知識を有する指定管理者が主催する児童への対応の仕方や遊び方などの研修を、支援員が積極的に受講し、資質の向上が図られた。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止による学校休校により、児童を午前中から受け入れるなど、指定管理者の迅速な判断と協力により円滑に運営を行うことができた。									
実績	【児童館運営費】														
	1 年間利用者数														
	(単位:人)														
	内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	小学生	394	377	256	433	451	245	247	275	284	153	249	0	3,364	
	中学生	9	10	35	66	45	15	26	27	16	16	23	0	288	
	高校生	0	1	0	0	19	1	7	6	45	0	0	0	79	
	一般	5	66	56	35	50	42	36	41	61	26	24	0	442	
	相談	0	0	2	0	1	3	0	0	1	0	0	0	7	
	合計	408	454	349	534	566	306	316	349	407	195	296	0	4,180	
	※3月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、自由来館を中止した。														
	2 各種イベント事業														
	事業名	実施回数 (回)										利用者 (人)			
	児童館お手入れ大作戦	1										127			
	こどもまつり	1										158			
	ハロウィンパレード	1										94			
	クリスマス会	1										114			
	防災運動会with芋煮会	1										78			
	せんべい焼き体験	1										76			
	プラバン工作	3										77			
スライムづくり	4										146				
B & Gで遊ぼう	1										34				
ウォーターバトル	2										42				
チョコベジ体験	1										30				
スノードーム作り	1										23				
割りばし鉄砲作り	1										22				
運動遊び	1										25				
紙トンボ作り	1										17				
計	21										1,063				
(参加者数:小・中学生の人数)															
(次頁へ続く)															

【留守家庭児童学級運営費】

1 留守家庭児童学級

・学級児童数（令和2年3月31日現在）

（単位：人）

施設名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
松島第一小学校（たんぼぼ学級）	24	23	7	5	2	0	61
松島第二小学校（ひまわり学級）	7	5	7	5	0	0	24
松島第五小学校（どんぐり学級）	7	3	7	1	4	0	22
計	38	31	21	11	6	0	107

※実施場所

一小：児童館（土曜日は合同学級・長期休業はひまわり学級と合同）

二小：学校内

五小：品井沼農村環境改善センター

2 年間利用児童数及び開設日数

上段：延べ利用児童数

（単位：人）

下段：開設日数

（単位：日）

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校 （たんぼぼ学級）	954	962	933	1,013	737	864	934	828	755	779	748	707	10,214
	23	21	24	26	26	23	24	22	24	23	22	25	283
松島第二小学校 （ひまわり学級）	348	356	363	435	293	374	422	402	359	369	354	356	4,431
	23	20	24	26	25	21	23	20	20	20	21	25	268
松島第五小学校 （どんぐり学級）	279	290	269	392	268	320	307	281	233	255	219	152	3,265
	22	20	21	25	24	22	22	20	22	23	20	23	264
計（児童数）	1,581	1,608	1,565	1,840	1,298	1,558	1,663	1,511	1,347	1,403	1,321	1,215	17,910

実績

課題
方向性

イベント等は土曜日、日曜日に開催するなど、町内の多くの子どもたちに利用してもらうことができるようにしていく。

留守家庭児童学級は、共働き家庭や核家族世帯の増加により、入級希望者が増えている。特に低学年の入級児童が増えているため、安全で安心な学級づくりを継続しながら、子どもたちが楽しく過ごせる場、学べる場となるよう工夫した学級をめざす。

一 般 会 計

3	款	3	項	1	目	災害救助費				
担当部署名				総務課環境防災班・町民福祉課福祉班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	411,054		105,894		40,232	7,060	45,300		13,302	
目的	令和元年東日本台風（台風第19号）の応急対応や災害時に発生した災害廃棄物の処理を行い、被災者の保護と社会秩序の保全に努める。 また、住宅に甚大な被害を受けた世帯を対象に、一定の範囲内で応急修理を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	災害救助経費		B	-	3.0	■総務課 環境防災班所管 災害防止協議会との連携により、災害時における排水ポンプ設置や土砂撤去等を迅速に行い住民生活の保持が図られた。 また、国・県・関係団体等と連携を密にし早期に災害廃棄物の処理に取り組むことができた。 ■町民福祉課 福祉班所管 令和元年東日本台風（台風第19号）の影響により、住宅に甚大な被害を受け、自らの資力では住家を修理することができない世帯を対象に、応急修理を行うことができた。				
実績	【災害救助費経費】									
	■総務課 環境防災班所管									
	1 消耗品費									
	・土のう袋購入 5,000袋 192,500 円									
	・消毒散布用消石灰購入 20kg 300袋 445,500 円									
	5kg 200袋									
	2 役務費									
	・災害廃棄物家電リサイクル手数料 190台 624,506 円									
	(※内訳 テレビ63台・冷蔵庫80台・洗濯機47台)									
	・避難所用毛布クリーニング 232枚 204,160 円									
	3 委託料									
	応急対応等業務委託									
	・台風第19号排水ポンプ設置等業務委託料 6,121,500 円									
	・台風第19号応急復旧業務委託料 2,636,700 円									
	・台風第19号浸水区域データ作成業務委託料 330,000 円									
	災害廃棄物処理事業									
	①収集運搬業務									
	・台風第19号災害廃棄物(家庭系)収集運搬業務委託料（その1） 2,752,200 円									
	・台風第19号災害廃棄物(家庭系)収集運搬業務委託料（その2） 939,950 円									
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら混入ごみ)分別・運搬業務委託料 1,661,550 円									
	・台風第19号災害廃棄物家電4品目収集運搬業務委託料（その1） 78,870 円									
	・台風第19号災害廃棄物家電4品目収集運搬業務委託料（その2） 151,354 円									
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)焼却処分場運搬業務委託料 1,468,500 円									
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)焼却灰運搬業務委託料 123,750 円									
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)運搬業務委託料（その1）（登米市） 6,828,800 円									
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)運搬業務委託料（その2）（登米市） 5,385,600 円									
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)運搬業務委託料（その3）（登米市） 743,820 円									
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)運搬業務委託料(青森県東通村) 242,000 円									
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)運搬業務委託料(秋田県にかほ市) 8,365,500 円									
	(次頁へ続く)									

3	款	3	項	1	目															
実績	②仮置き場運営・中間処理等業務																			
	・台風第19号災害廃棄物(家庭系)仮置き場収集運搬業務委託料				200,772 円															
	・台風第19号災害廃棄物(家庭系)仮置き場運営業務委託料(手樽海浜公園)				204,126 円															
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)磯崎東原仮置き場運搬業務委託料				932,250 円															
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)磯崎東原仮置き場管理運営業務委託料				10,169,775 円															
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)竹谷蓑輪沢仮置き場管理運営業務委託料				1,663,200 円															
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)フレキシブルコンテナバッグ作成業務委託料				1,664,520 円															
	③災害廃棄物処理業務																			
	・台風第19号災害廃棄物(タイヤ)処理業務委託料				126,720 円															
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)処理業務委託料(東松島市)				31,507,300 円															
・台風第19号災害廃棄物(稲わら)処理業務委託料(登米市)				8,384,255 円																
・台風第19号災害廃棄物(稲わら)処理業務委託料(青森県東通村)				124,190 円																
・台風第19号災害廃棄物(稲わら)処理業務委託料(秋田県にかほ市)				77,610 円																
④その他の業務																				
・台風第19号災害廃棄物(稲わら)放射線量測定業務委託料				363,000 円																
4 災害廃棄物処理量(令和2年3月31日現在)																				
家庭系災害廃棄物 194.79 t																				
稲わら 2,439.49 t																				
※処理方法																				
・焼却処理				903.79 t																
・堆肥化处理				1,524.41 t																
・セメント処理				11.29 t																
■町民福祉課 福祉班所管																				
・災害にかかった住宅の応急修理																				
<table><tr><td>り災判定</td><td>修繕料(円)</td><td>支払数(人)</td><td>支払額(円)</td></tr><tr><td>半壊</td><td>595,000</td><td>1</td><td>595,000</td></tr><tr><td>一部損壊(準半壊)</td><td>300,000</td><td>11</td><td>3,300,000</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td>12</td><td>3,895,000</td></tr></table>					り災判定	修繕料(円)	支払数(人)	支払額(円)	半壊	595,000	1	595,000	一部損壊(準半壊)	300,000	11	3,300,000	合 計		12	3,895,000
り災判定	修繕料(円)	支払数(人)	支払額(円)																	
半壊	595,000	1	595,000																	
一部損壊(準半壊)	300,000	11	3,300,000																	
合 計		12	3,895,000																	
課題 方向性	■総務課 環境防災班所管																			
	災害廃棄物の処理については、被災者の生活を早期に通常に戻すためできるかぎり早く行う必要があり、仮置き場の確保、処理体制の構築等、事前に体制を整える必要がある。																			
課題 方向性	■町民福祉課 福祉班所管																			
	災害救助法に基づいて、町が救助の実施にあたり、繰り替えて支払う費用、その他応急復旧費。																			

一 般 会 計

4	款	1	項	1	目	保健衛生総務費					(単位:千円)
担当部署名				健康長寿課健康づくり班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
	56,664		55,653		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
					713		8	54,932			
目的	町民が生涯にわたり、安心して健康的な生活ができるように、保健・医療・福祉の連携を図りながらライフサイクルに応じた多様な健康支援を行う。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	休日昼夜間診療に要する経費		A	4.3	3.7	傷病者の状態に応じた適切な救急医療を受けることができ、住民の健康の保持・増進、生活の安心に繋がった。					
	保健活動事業経費（保健行政事業含む）		A	4.7	4.3	歯科衛生士1名を雇用し全年代に歯科保健事業を実施し、歯科衛生・口腔機能の向上が図れた。 保健師、栄養士の活動が円滑に実施でき、住民の健康の保持・増進が図られた。					
	塩釜地区休日急患救急診療センター運営事業		A	4.3	3.7	塩釜医師会管内二市三町で分担金を拠出し、塩釜地区休日急患診療センターを一次診療、7病院を二次医療機関として指定し休日急患医療体制を確保することで、住民の健康と安心に寄与した。					
	休日歯科診療に要する経費		A	4.0	3.7	塩釜歯科医師会管内二市三町で分担金を拠出し、在宅当番医制度により休日・年末年始の歯科診療体制を確保し、住民の健康と安心に寄与した。					
	献血推進事業に要する経費		B	-	3.0	献血事業に対して補助金を交付し、必要とする血液を確保し、安全な輸血用血液製剤の安定かつ円滑な確保に協力できた。					
	地域医療対策事業に要する経費		B	-	4.0	塩釜地区地域医療対策委員会に参画し、管内の医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防事務組合、保健福祉事務所等と協力して、地域医療体制の確保を図った。					
	栄養指導業務に要する経費		B	-	3.7	行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活改善を推進し、住民の健康の保持・増進が図られた。					
	自殺対策緊急強化事業		A	4.0	3.7	自殺予防に関する普及啓発や相談体制の充実を図り、心の健康を維持するための取組を進め、健康の保持・増進に繋がった。					
実績	【休日昼夜間診療に要する経費】										
	休日昼夜間診療（松島病院） (単位：人)										
	年度 \ 市町名	松島町		東松島市		その他		計			
	令和元年度	335 (76.7%)		27 (6.2%)		75 (17.2%)		437 (100.0%)			
	平成30年度	389 (73.7%)		37 (7.0%)		102 (19.3%)		528 (100.0%)			
・ 負担金 6,750,000 円											
(次頁へ続く)											

【塩釜地区休日急患救急診療センター運営事業】

塩釜地区休日急患診療（塩釜地区休日急患診療センター）

（単位：人）

市町名 年度		松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
令和元年度	日曜日・祝日	152 (4.5%)	973 (28.9%)	1,124 (33.4%)	160 (4.7%)	577 (17.1%)	384 (11.4%)	3,370 (100.0%)
	土曜日 準夜帯	23 (6.0%)	112 (29.4%)	139 (36.5%)	27 (7.1%)	48 (12.6%)	32 (8.4%)	381 (100.0%)
平成30年度	日曜日・祝日	158 (4.6%)	981 (28.5%)	1,166 (33.9%)	165 (4.8%)	598 (17.4%)	376 (10.9%)	3,444 (100.0%)
	土曜日 準夜帯	15 (4.4%)	95 (27.9%)	150 (44.0%)	21 (6.2%)	47 (13.8%)	13 (3.8%)	341 (100.0%)

・ 分担金 1,410,000 円

【休日歯科診療に要する経費】

休日救急歯科診療（輪番制）

（単位：人）

市町名 年度		松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
令和元年度		16 (5.9%)	81 (29.7%)	83 (30.4%)	24 (8.8%)	35 (12.8%)	34 (12.5%)	273 (100.0%)
平成30年度		11 (2.6%)	134 (32.2%)	147 (35.3%)	48 (11.5%)	31 (7.5%)	45 (10.8%)	416 (100.0%)

・ 分担金 281,743 円

【献血推進事業に要する経費】

【献血実施状況】

献血種別	採血目標(人)	採血者数(人)	構成比(%)	達成率(%)
全血献血 (200ml)	5	5	3.3	100.0
全血献血 (400ml)	173	147	96.7	85.0
計	178	152	100.0	85.4

・ 献血推進事業補助金 200,000 円

【栄養指導業務に要する経費】

事業名	回数(回)	参加人数(人)
食生活改善推進員育成講習会	10	241
おやこの食育教室	1	35
生涯骨太クッキング事業	7	109
うす味定着化事業	34	369
肥満予防講習会	8	128
計	60	延べ 882

・ 食生活改善推進事業補助金 130,000 円

（次頁へ続く）

4	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

【自殺対策緊急強化事業】

東日本大震災において被災した方（民間賃貸住宅入居者、災害公営住宅入居者等）の健康増進を図り、うつや孤立化、自殺の予防を図るため、平成30年度に策定した自死対策計画に基づき事業を推進した。

事業名	実施状況
民間賃貸住宅入居者等健康相談	訪問相談：47件（みやぎ心のケアセンターの医師、保健師、精神保健福祉士の支援により実施）
心の健康サポーター養成講座	地域における支援者となるための研修を実施（2回、延べ46人受講）
心の健康サポーターフォローアップ研修	心の健康サポーター養成講座修了者を対象に研修を実施（1回25人受講）
メンタルチェックシステム（こころの体温計）	パソコンやスマートフォン等を活用し、自身や家族のストレスや落ち込み等の精神状態をセルフチェックするシステム ※アクセス数：5,883件（平成31年4月1日～令和2年3月31日）
こころの体温計チラシ配付	乳幼児健診での配付、中学生への周知を実施

実績

課題
方向性

町民が心身の健康状態をより良く保ち、松島町で安心して暮らし健康長寿を享受できるよう、救急医療を含む医療体制の確保と健康支援施策を維持・推進する。
松島町民の健康寿命は県内でも上位（H29年男性3位、女性2位）だが、不健康な期間も長く県内で中位～下位であるため、今後は不健康期間を可能な限り短縮し、最後まで自分らしく生活できるよう疾病予防、健康増進支援を充実する。男女とも脳血管疾患の罹患率が高く、男性は心疾患の罹患率も高いことから、住民ニーズに合った栄養改善や生活習慣の改善の動機付け支援が必要である。

一 般 会 計

4	款	1	項	2	目	予防費				
担当部署名				健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
	70,966		68,010		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
				909	1,201		10,386	55,514		
目的										
町民が健康を保持し、生涯にわたって健やかな生活を送ることができるよう、個人の生活を尊重した保健・栄養指導を実施し、町民の主体的な健康づくりの取組を支援する。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	健康教育		A	4.0	3.7	生活習慣病の発症や重症化を予防するため、健康教育・健康相談を実施し、住民が主体的に生活習慣の改善に取り組む動機付けを適切に行うことができた。				
	健康診査		A	5.0	4.0	集団健診、個別検診の実施により、疾病の早期発見、生活習慣病の予防、健康増進を図ることができた。				
	予防接種事業		A	4.7	3.7	乳幼児の各種予防接種、高齢者インフルエンザワクチン、成人の風しんワクチン等の接種を勧奨し、感染症のまん延を予防した。				
	結核予防事業		A	4.0	3.7	乳児へのBCG接種により、結核の新規感染を防ぐとともに、高齢者の結核検診を実施し、結核の発生予防、早期発見、感染拡大予防ができた。				
実績	宮城県ハンセン予防協会		B	-	4.3	宮城県市長会、町村会より法令外負担金として承認された額を宮城県ハンセン協会に助成し、ハンセン病回復者への支援及び病気を正しく理解する活動を支援した。				
	【健康教育】									
	健康増進事業及び健康教育事業の実施を通して、生活習慣病予防のための健康づくり、運動や食育、歯の健康に関する正しい知識と情報を普及啓発した。									
	ア 健康増進事業（対象：40～64歳まで）									
	事業名		回数（回）	参加人数（人）	実施内容					
総合健康相談		92	656	個別健康相談						
重点健康相談		36	330	病態別・歯周病・骨粗しょう症等の健康相談						
集団健康教育		175	968	生活習慣病予防、がん予防、一般健康教育						
イ 健康教育事業（対象：全年齢）										
事業名		回数(回)	人数(人)	実施内容						
健康まつり		1	300	健康・たばこ・アルコール・食育コーナー、パネル展示他						
まっしまの食育応援隊		3	34	食に関する体験学習、健康講話、地場産品を使用した調理実習						
食生活改善推進員育成事業		10	241	健康講話、実技研修、調理実習他（食生活改善推進員数33人）						
地区栄養教室		15	237	健康講話、調理実習、健康相談他						
30分でE-Styleクラブ		52	204	生活習慣病予防のための講話、運動の実技指導						
30分でE-Styleクラブサポート事業		86	275	生活習慣病予防のための講話、運動の実技指導						
(次頁へ続く)										

事業名	回数(回)	人数(人)	実施内容
30分でE-Styleクラブフォローアップ研修	2	28	生活習慣病予防のための講話、運動の実技指導
出前健康講座	11	215	各種団体の希望するテーマにあわせた健康講座
ノルディックウォーキング教室	2	17	ノルディックウォーキングの実技指導
ウォーキングマップ作成事業	1	6	ウォーキングマップ(海岸編)作成のためのコース確認
運動サポーターフォローアップ研修会	1	8	運動サポーターに対するフォローアップ研修
松島町オリジナル体操普及事業	8	385	松島町オリジナル体操「どんぐりバランス体操」の指導
歯科保健指導	59	425	口腔ケア事業、口腔機能向上トレーニング

ウ 訪問指導事業

健診の要指導者、医療機関未受診者など健康上保健指導が必要な方（40～64歳）に対し保健師、栄養士、歯科衛生士による訪問指導を行った。被指導延べ人数 8人(実人数 8人)

エ 長寿・健康増進事業

宮城県後期高齢者医療広域連合の受託事業として、被保険者の心身の健康保持・増進を目的に、75歳を対象とする脳検診助成事業、転倒・骨折予防及び運動器の機能向上のための運動教室を実施した。

事業名	内 容	人 数
脳検診費用助成	40・45・50・55・60・65・70・75歳を対象に脳検診費用を助成	受診者109人(うち75歳16人)
健康体操教室	ストレッチ・座位立位運動・歩行練習・リズム運動を実施（年24回）	受講者 43人、延べ 448人
健康水中運動教室	ストレッチ・水中ウォーキング・バランス及び筋力トレーニングを実施（年24回）	受講者 26人、延べ 290人

実績

【健康診査】

健康増進法、がん対策基本法等に基づく各種健（検）診、保健指導を実施した。広報、ホームページ、フェイスブックによる周知、乳幼児健診、各種保健事業、各種イベント等において健診の案内を行った。

また、健診未受診者に対し、追加健診に向けたハガキ等による受診勧奨を行い、受診率向上に努めた。

ア 各種健（検）診受診状況

内 訳 検診名	令和元年度			平成30年度		
	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)
結核・肺がん検診	5,805	2,265	39.0	5,787	2,304	39.8
子宮がん検診 (※1)	3,826	1,157	30.2	3,887	1,161	29.9
胃がん検診	5,360	1,177	22.0	5,453	1,236	22.7
乳がん検診 (※2)	1,580	654	41.4	1,603	657	41.0
大腸がん検診	5,560	1,820	32.7	5,527	1,823	33.0
前立腺がん検診	1,862	516	27.7	1,814	481	26.5
青年健康診査	1,387	184	13.3	1,422	215	15.1
お達者健康診査	2,876	593	20.6	2,900	567	19.6
骨粗しょう症検診 (※3)	676	98	14.5	670	110	16.4
肝炎ウイルス検査	163	36	22.1	160	30	18.8
歯周病検診 (※4)	希望者	29	－	希望者	31	－

各種健診の対象者は、健診申込み者と家族申込み表未提出者とした。ただし、お達者健診については、健診実施日において後期高齢者医療制度加入者全員を対象者とした。

- *1 子宮がん検診及び乳がん検診の受診者数は「がん検診推進事業」における無料検診（クーポン券使用）の受診者を含む。（子宮頸がん検診5人、乳がん検診31人）
- *2 乳がん検診は、マンモグラフィー検査・視触診併用方式で実施した。対象者は40歳以上の女性で偶数年齢とした。（40歳以上5,222人中、偶数年齢2,613人）
- *3 骨粗しょう症検診対象者以外で、40歳以上の希望者（男性含む）については骨量測定として同じ検査を行った。（547人に対して実施）
- *4 歯周病検診の対象を40・50・60・70歳とし、一般社団法人塩釜歯科医師会に委託して実施した。また、総合健診会場では歯周病予防・義歯管理など歯科相談を108人に対して実施した。（次頁へ続く）

イ 申し込み状況

	申込	病院・職場等 町の検診以外 で受ける	入院・入所 中	寝たきりま たは歩行困 難等	その他 (不備を含 む)	不明(未提出)	計
結核・肺がん検診	2,621	2,850	117	55	988	3,184	9,815
子宮がん検診	1,749	1,086	84	39	1,245	2,077	6,280
胃がん検診	1,564	349	112	58	5,173	3,796	11,052
乳がん検診	791	474	44	26	489	789	2,613
大腸がん検診	2,339	2,621	112	54	1,468	3,221	9,815
青年健康診査	267	792	0	0	235	1,120	2,414

ウ 医療用ウィッグ購入費助成事業

がん患者の治療と就労の両立や療養生活の質の向上を図るため、がん治療に伴う脱毛に対応する目的で購入したウィッグ購入に係る経費の一部を助成した。(上限額2万円)

助成人数：6人

【予防接種事業】

予防接種法に基づく定期接種を実施するため、生後1か月の乳児に対し予防接種手帳を交付し、新生児訪問指導や各種乳幼児健診等の機会に周知を図った。未接種者に対しては、個別通知や広報等により接種勧奨した。

ア 定期予防接種

種類	対象者(人)	接種者(人)	終了率(%)	対象者
B型肝炎	58	55	94.8	平成30年4月～平成31年3月生
ヒブ	69	66	95.7	3歳児
小児肺炎球菌	69	66	95.7	3歳児
四種混合	69	63	91.3	4歳児
二種混合	89	68	76.4	11～12歳
麻しん風しん混合1期	69	69	100.0	生後12月～24月未満
麻しん風しん混合2期	91	80	87.9	令和元年度就学予定の5歳以上7歳未満
水痘	69	64	92.8	生後12月～36月未満
日本脳炎1期	74	58	78.4	90月(7歳5か月)
日本脳炎2期	89	68	76.4	12歳
風しんの追加的対策	—	25	—	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性のうち抗体検査を受けた者
風しん等ワクチン接種費用助成	—	5	—	抗体価の低い①妊娠を希望する19歳～49歳の女性②妊婦の配偶者③①の同居者
高齢者肺炎球菌ワクチン	1,138	702	61.7	65歳以上で5歳刻みの者。過去に1度も接種していない者。
高齢者インフルエンザワクチン	5,193	3,145	60.6	65歳以上の者及び60歳以上65歳未満の者で心臓、腎臓、呼吸器機能に障害を有する者。町外施設入所者に対し、償還払いによる費用助成13人を含む。

(注1) 標準接種年齢で表記

※ 日本脳炎ワクチンは平成17年から平成21年度まで接種を見合わせていたため、その間に接種の機会を逃していた方について、令和元年度も通常の対象者(3～4歳)に加えて、小学校4年生、18歳に達する者に対して2期の個別通知による接種勧奨を行った。令和元年度の接種者は、1期287人、2期85人であった。

※ 子宮頸がん予防ワクチンについては、平成25年4月から定期接種となったが、同年6月から積極的接種勧奨の見合わせが行われており、令和元年度の接種者は0件であった。

※ 風しんの抗体検査を受けた結果、抗体価が低い者に対し、予防接種を実施した。(抗体検査93人)

イ 任意予防接種事業

・ 風しんワクチン接種費用助成事業

19歳から49歳までの男女、妊婦の配偶者を対象に通年で実施し、5人に助成した。
(男1人、女4人)

(次頁へ続く)

4	款	1	項	2	目
---	---	---	---	---	---

実績	【結核予防事業】 ア BCG	<table><tr><td>種 類</td><td>対象者(人)</td><td>接種者 (人)</td><td>終了率 (%)</td><td>対象者 (注)</td></tr><tr><td>BCG</td><td>57</td><td>54</td><td>94.7</td><td>1歳未満の者</td></tr></table>	種 類	対象者(人)	接種者 (人)	終了率 (%)	対象者 (注)	BCG	57	54	94.7	1歳未満の者										
	種 類	対象者(人)	接種者 (人)	終了率 (%)	対象者 (注)																	
	BCG	57	54	94.7	1歳未満の者																	
	イ 結核・肺がん検診	<table><tr><td rowspan="2">内 訳 検診名</td><td colspan="3">令和元年度</td><td colspan="3">平成30年度</td></tr><tr><td>対象者 (人)</td><td>受診者 (人)</td><td>受診率 (%)</td><td>対象者 (人)</td><td>受診者 (人)</td><td>受診率 (%)</td></tr><tr><td>結核・肺がん検診</td><td>5,805</td><td>2,265</td><td>39.0</td><td>5,787</td><td>2,304</td><td>39.8</td></tr></table>	内 訳 検診名	令和元年度			平成30年度			対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	結核・肺がん検診	5,805	2,265	39.0	5,787	2,304	39.8
	内 訳 検診名	令和元年度			平成30年度																	
		対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)															
	結核・肺がん検診	5,805	2,265	39.0	5,787	2,304	39.8															
	【宮城県ハンセン予防協会】 宮城県市長会、町村会より法令外負担金として承認された額を宮城県ハンセン協会に助成し、ハンセン病回復者への支援及び病気を正しく理解する活動を支援した。 助成回数 1回																					
課題 方向性	がん、循環器疾患、糖尿病等生活習慣病予防及び重症化予防等、町民が健康づくりに関心を持ち、日常生活改善に取り組むための一次予防を推進することで、町民が健康を保持し、生涯にわたって健やかな生活を送ることができるよう、健康増進や疾病予防を図る各種事業を継続的に実施する。																					

一 般 会 計

4	款	1	項	3	目	健康館費				
担当部署名				健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,897		2,855					537	2,318	
目的	町民の生涯にわたる健康保持増進を図るとともに、地域及び関係機関との連携により高齢になっても住み慣れた地域で互いに支え合いながら暮らせるよう支援する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	健康館管理運営管理経費		B	-	3.0	健康館の管理運営（保守・修繕）を適切に実施し、地域住民及びデイサービス通所者が安全・安心に施設を利用することができた。				
実績	【健康館管理運営管理経費】									
	1 松島町健康館デイサービスセンター利用状況									
	指定管理期間		平成27年4月1日～令和2年3月31日（5年間）							
	指定管理者		社会福祉法人 松島町社会福祉協議会							
		年間活動日数（日）		延べ人数（人）		1日平均利用人数（人）				
	令和元年度	288		4,718		16.4				
	平成30年度	292		4,774		16.3				
	平成29年度	295		4,568		15.5				
	2 修繕料									
	松島町健康館研修ホールのクロス亀裂修繕		447,700 円							
3 工事請負費										
松島町健康館擁壁改修工事		486,000 円								
課題 方向性	施設・設備等の老朽化によりメンテナンスにかかる費用の増加が見込まれるが、利用者の安全に配慮し必要な修繕を行い、健康館の維持管理を図る。 また、健康館デイサービスセンターについては、指定管理者である松島町社会福祉協議会において、地域に密着した介護サービスが提供されるよう、管理運営を継続して実施する。									

一 般 会 計

4	款	1	項	4	目	母子衛生費				
担当部署名				健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	10,422		9,588		440	60		6	9,082	
目的	町で安心して出産でき、良好な親子関係のもと、子どもたちがより良い発育・発達ができるよう支援する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	母子保健事業		A	4.0	3.3	妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対して総合的な相談・支援を行い乳幼児の健全な発育・発達を促し、良好な母子関係が築けるよう支援ができた。				
	特定不妊治療助成事業		B	-	3.0	不妊治療の治療に要する費用を助成し、経済的負担と精神的負担の軽減が図られた。				
実績	【母子保健事業】									
	ア 母子手帳交付・育児相談等									
	事業名					回数(回)	参加延べ人数(人)			
	母子健康手帳交付					60	61(内1人双児)			
	妊婦支援プラン作成					60	60			
	妊産婦・新生児訪問指導					51	61			
	赤ちゃんほっとサロン					11	226			
	ハイハイ赤ちゃんセミナー(6～7か月児子育て相談)					6	60			
	親子よちよちセミナー(1歳児子育て相談)					4	63			
	3歳児ダイレクトメール事業					12	73			
	保育所・幼稚園児対象わんぱく教室					27	395			
	小学生のための元気っ子クラブ					1	18			
	小学校・中学校歯科指導					30	789			
	希望園歯科指導					3	親14、子14			
	栄養だよりの発行					4	5,228			
	親子の食育教室					1	35			
	まつしまの食育通信					10	総アクセス数 3,702			
	イ 思春期保健指導									
	内容					場所・対象	回数(回)	参加人数(人)		
	講話 ・生活習慣病予防について ～体も心も元気な毎日のために～ ・松島町の健康状態は？ ～自分の体を健康にして、自分で健康を守りましょう～					松島中学校 全学年	1	281		
	講話 ・タバコ、アルコール、薬物乱用防止について					松島第五小学校 6学年	1	8		
	ウ 健康相談・訪問指導									
	電話相談(件)					来所相談(件)		訪問指導(人)		
								乳児	幼児	
	健診	予防接種	発育・発達	健康相談日	随時	実	延	実	延	
29	23	122	10	49	5	10	12	19		
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

エ 乳幼児健康診査事業

健診名	年度・内訳	令和元年度		
		対象(人)	受診者(人)	受診率(%)
3～4か月児健康診査		52	52	100.0
1歳6か月児健康診査		78	79	101.3
2歳児歯っぴー健診(2歳児歯科健診)		82	71	86.6
2歳6か月児歯科健康診査		42	36	85.7
3歳6か月児健康診査		83	70	84.3
乳幼児精神発達精密健康診査		1	1	100.00

※受診者数に前年度対象で受診した者も含むため、受診率が100%を越える場合もある。

オ 乳幼児健診未受診者理由

未受診者へ再勧奨したが受診しない場合は、電話又は訪問による相談、幼稚園・保育所と連携し状況確認を行った。

健診名	未受診者数 (人)	未受診理由
3歳6か月児健康診査	13	日程調整できない(7), 仕事の都合で次回受診予定(6)

- *乳幼児健診後の経過観察者については、児童相談所の乳幼児精神発達精密健康診査や希望園の紹介、医療機関の紹介、児童館等との連携を図り支援した。(延べ15人)
- *継続的な個別指導を特に必要とする場合は、担当保健師が家庭訪問や保育所・幼稚園訪問等、個別の相談対応を継続的に実施した。
- *1歳6か月児健診において日本語版M-CHATを導入して、自閉症スペクトラム症の疑いや発達の気になる子どもの早期対応、早期支援の場につなげ、母子への支援を実施した。

実績

カ 妊婦・乳児一般健康診査

健診名	2か月	8～9か月	合計
受診人数(人)	50	55	105

キ 妊婦健康診査

妊娠週数	初回	12～15週	16～19週	20～23週	24～26週	26～27週	28～29週	30～31週	32～33週	34～35週	36週	37週	38週	39週	合計
受診人数(人)	55	51	48	49	48	49	52	52	51	44	47	39	30	16	631

※実人数：89人

- *妊娠中の健康管理と、経済的負担の軽減のため、計14回の妊婦健診自己負担分を助成した。里帰りによる県外の指定医療機関以外での受診分は償還払いによる助成を行った。
- *乳児一般(2か月児・8～9か月児)健康診査、妊婦健康診査は、公益社団法人宮城県医師会に委託し、指定医療機関で実施した。

【特定不妊治療助成事業】

件数(件)	実人数
5	3

課題
方向性

ホームページや子育て支援サイトなどSNSを活用して役立つ情報をタイムリーに発信し周知する。令和2年度から新事業として、子育て世代が気軽に育児相談や健康相談ができる機会を増やすことを目的に、児童館での育児相談事業も追加して実施する。妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行うため、児童館や関係各課、医療機関との連携をより一層強化しながらサポート体制の充実を図り、母子に寄り添った支援を行っていく。

一 般 会 計

4	款	1	項	5	目	環境衛生費				
担当部署名				総務課環境防災班・水道事業所施設班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	20,368		18,541		477			382	17,682	
目的	清潔で安全な町民生活の確保と自然環境保全のため、春・秋に一斉清掃活動を全町で実施し、ごみの減量化をはじめ環境美化を推進し環境保全に努める。狂犬病の発生とまん延を防止するため、飼い犬の登録と予防注射接種を行う。 また、公共下水道計画区域以外の区域（一部区域内を含む）において、合併処理浄化槽設置整備事業を推進し、町民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全等を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	環境衛生経費（公衆衛生）		A	4.3	4.3	小中学生をはじめ地域住民や各種団体が一丸となって地域の環境美化運動を展開し、快適で住みよい生活環境づくり並びに環境保全を図ることができた。 環境美化推進員24名（各行政区2名）による巡回パトロールを実施し、不法投棄ごみの回収や抑止等、環境美化を推進することができた。				
	環境衛生経費（狂犬病）		B	-	4.3	狂犬病の発生とまん延を防止するため、公益社団法人宮城県獣医師会の協力を得て飼い犬の登録並びに狂犬病予防注射接種率向上を図ることができた。				
	塩竈地区斎場運営経費		B	-	4.3	塩釜地区消防事務組合に対して塩竈斎場(火葬場)の管理運営に係る負担金並びに新斎場建設に係る投資的経費負担金を支出し、適正な管理運営と新斎場建設工事を進めることができた。				
	合併処理浄化槽設置事業		A	4.7	3.7	公共下水道計画区域以外の区域（一部区域内を含む）における、合併処理浄化槽設置者に対して補助金を交付し、水洗化による生活環境の向上及び公共用水域の水質保全に寄与した。				
実績	■総務課 環境防災班所管									
	【環境衛生経費（公衆衛生）】									
	1 ゴミゼロ運動・秋の一斉清掃 ・全町民参加のもと、ゴミ拾いなど地域の清掃を行い、環境美化意識の高揚を図り、環境保全への積極的な参加の機会を設けることで、町民相互間のコミュニケーションの場やきれいなまちづくりへの推進を図った。 ○一斉清掃実施回数 2回（5月・9月） （各地区や各種団体において年間を通じて清掃活動を実施している） ○ゴミ回収量 69 m ³ 2 松島町環境美化推進員の設置 ○環境美化推進員 24名（各行政区2名） ○不法投棄防止巡回パトロール 延べ 342回									
【環境衛生経費（狂犬病）】										
犬の登録及び狂犬病予防注射 ・窓口において、犬の登録並びに狂犬病予防注射済票の交付事務を行った。また、町内11会場において狂犬病予防注射集合接種を実施し、狂犬病予防注射の接種率向上を図った。 ○飼い犬台帳登録数 690 頭 ※令和2年3月31日現在 ○飼い犬新規登録数 29 頭 ○狂犬病予防注射済票交付数 539 頭（盲導犬1頭含む） ※接種率78.11% (H30:73.58%) ○狂犬病予防注射集合接種 (1次集合) 4/17・4/18・4/19 11 会場 (2次集合) 5/12 1 会場										
(次頁へ続く)										

【塩竈地区斎場運営経費】

1 利用実績

種別 \ 年度	令和元年度 (件)	平成30年度 (件)	平成29年度 (件)
火 葬 件 数	185	185	211
前 年 比	0	△ 26	33

2 塩竈斎場負担金

4,385,000 円

※内訳 管理費負担金

3,397,000 円

投資的経費負担金

988,000 円

■水道事業所 施設班所管

【合併処理浄化槽設置事業】

1 補助金交付実績

公共下水道計画区域外

人槽区分	補助基数 (基)	補助金額 (円)
5人槽	1 (0)	332,000
6 ～ 7人槽	2 (0)	828,000
8 ～ 10人槽	1 (0)	548,000
合 計	4 (0)	1,708,000

※上記表中、補助基数の内 () の数字は、優良田園住宅「くぬぎ台」設置分である。

公共下水道計画区域内

人槽区分	補助基数 (基)	補助金額 (円)
5人槽	1	332,000
6 ～ 7人槽	0	0
8 ～ 10人槽	0	0
合 計	1	332,000

2 浄化槽法関連権限移譲事務処理実績

①浄化槽の設置等に関する届出受理件数 (建築確認経由分を含む) ※法第5条第1項、第2項、第4項、法第10条の2に基づく事務	16 件
②浄化槽管理者等への立入検査・報告徴収件数 ※法第12条、第53条に基づく事務	0 件
③浄化槽工事業者への指示件数 ※法第32条第1項に基づく事務	0 件

3 合併処理浄化槽設置等改造資金斡旋状況

斡旋申請 件数 (件)	斡旋金額 (円)	利子補給金額	
		予算額 (円)	決算額 (円)
0	0	112,000	8,152

実績

課題
方向性

■総務課 環境防災班所管

環境美化推進員の定期的な巡回パトロールや監視重点箇所への禁止看板設置が抑止効果があることから、今後も継続して対策を講じていく。また、広報紙等の媒体を活用した住民等への啓発活動を実施し、住民個々の環境美化意識の向上に努めゴミのないきれいなまちづくりを目指す。

狂犬病予防事業については、宮城県塩釜保健所と連携しながら狂犬病予防注射接種等の推進を行い、接種率向上を図る。

■水道事業所 施設班所管

交付金事業であるため事業の計画的な実施が求められており、適切なニーズの把握が必要である。公共下水道計画区域内も一部が補助対象となったため、広報紙等による情報提供を行い、合併処理浄化槽の普及促進を図っていく。

合併処理浄化槽設置整備事業の整備状況

年 度	設置基数 (基)	整備済人口 (累計:人)	設置基数内訳(基)				総事業費 (千円)	内訳(千円)		備 考
			5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上		国庫補助金	県補助金	
平成 3～26 年度	392	1,808	83	206	95	8	200,293	66,608	56,421	77,264
平成 27 年度	16	1,873	7	9	0	0	6,050	2,017	0	4,033
平成 28 年度	14	1,926	3	9	2	0	5,818	2,049	0	3,769
平成 29 年度	13	1,984	2	8	3	0	5,620	1,960	0	3,660
平成 30 年度	12	2,015	6	5	1	0	4,610	1,183	0	3,427
令和 元 年度	5	1,991	2	2	1	0	2,040	477	0	1,563
計	452		103	239	102	8	224,431	74,294	56,421	93,716

※補助金額(平成19年度より改定)

(単位:千円)

	5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上
17年度まで	354	411	519	981
18年度まで	342	414	537	939
現行(19年度から)	332	414	548	939

合併処理浄化槽地域別設置状況

(単位:基)

年 度	磯 崎	高 城	桜渡戸	手 樽	根 廻	初 原	幡 谷	竹 谷	北小泉	計
平成 3～26 年度	0	23	11	91	24	29	152	44	18	392
平成 27 年度	0	0	3	5	0	2	3	2	1	16
平成 28 年度	0	1	0	2	1	1	6	3	0	14
平成 29 年度	0	0	3	3	1	0	3	1	2	13
平成 30 年度	3	1	0	3	1	0	3	1	0	12
令和 元 年度	0	1	0	0	0	0	3	1	0	5
計	3	26	17	104	27	32	170	52	21	452

し尿処理の状況(人口内訳の推移)

年 度	計画処 理区域 面積 (km ²)	計画処理区 域内世帯数 (世帯)	総人口 (人)	計画処理区域内人口											備 考	
				非水洗化人口			水洗化人口			浄化槽人口						
				し尿汲 取り 人口 (人)	自家処理人 口 (人)	公共下水道 人口 (人)	コミプラ人 口 (人)	合併処理浄化槽人口 (人)	単独処理浄化槽 人口 (人)			水洗化率 (%)				
									補助 (人)	農業 (人)	その他 (人)					
平成 22 年度	54.00	5,487	15,340	2,356	2,356	0	12,973	9,381	0	3,592	1,776	1,355	0	421	1,816	84.5
平成 23 年度	54.00	5,495	15,255	2,122	2,122	0	13,133	9,465	0	3,668	1,852	1,424	0	428	1,816	86.0
平成 24 年度	54.00	5,507	15,104	1,488	1,488	0	13,616	9,731	0	3,885	2,087	1,630	0	457	1,798	90.1
平成 25 年度	54.00	5,576	15,040	946	946	0	14,094	10,075	0	4,019	2,239	1,777	0	462	1,780	93.7
平成 26 年度	53.56	5,647	14,918	961	961	0	13,957	9,929	0	4,028	2,280	1,808	0	472	1,748	93.5
平成 27 年度	53.56	5,683	14,817	896	896	0	13,921	9,251	0	4,670	2,929	1,873	0	1,056	1,741	93.9
平成 28 年度	53.56	5,676	14,632	626	626	0	14,006	9,238	0	4,768	3,027	1,926	0	1,101	1,741	95.7
平成 29 年度	53.56	5,652	14,366	565	565	0	13,801	8,950	0	4,851	3,116	1,984	0	1,132	1,735	96.0
平成 30 年度	53.56	5,630	14,073	1,752	1,752	0	12,321	8,993	0	3,328	3,158	2,015	0	1,143	170	87.5
令和 元 年度	53.56	5,637	13,820	1,654	1,654	0	12,166	8,939	0	3,227	3,073	1,991	0	1,082	154	88.0

○人口は各年度の3月31日現在の人数とする

○用語の解説

コブプラ・・・コミュニティプラント

補助・・・合併処理浄化槽設置整備事業により整備したもの

○公共下水道、浄化槽等の人口は当該年度内に設置したもの

農業・・・農業集落排水施設

一般会計

4 款	1 項	6 目	公害対策費						
担当部署名			総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
	576	476	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	476	
目的	生活環境(自動車交通騒音・環境騒音)の騒音に関する実態を把握するため、町内5地点において騒音測定を実施する。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	公害対策事務事業経費(騒音)	C	-	-	自動車騒音測定を町内3地点で実施し、昼夜ともに規制基準値及び環境基準値を満足する結果であった。 また、環境騒音測定を町内2施設で行い、1施設で夜間の環境基準値を超過する結果であった。				
実績	【公害対策事務事業経費(騒音)】								
	1 自動車交通騒音測定(主要幹線道路3地点) (単位: dB)								
	測定地点				調査結果				
					昼 間	夜 間			
	①根廻交差点(国道45号・三陸自動車道)				67	64			
	②初原町営住宅入口(県道仙台松島線・三陸自動車道)				66	61			
	③磯崎長田(奥松島松島公園線)				68	62			
	環境基準値				70	65			
	規制(要請限度)基準値				75	70			
	※測定実施日: 令和元年11月19日～20日(昼間: 6時～22時/夜間: 22時～6時)								
	2 環境騒音測定(町内2地点) (単位: dB)								
	測定地点				調査結果				
					昼 間	夜 間			
	④華園集会場				50	43			
	⑤垣ノ内集会場				50	48			
	環境基準値				55	45			
	※測定実施日: 令和元年11月19日～20日(昼間: 6時～22時/夜間: 22時～6時)								
	○環境基準値								
	環境基本法に基づき、騒音に係る環境基準について、都市計画法に基づく用途地域の区分毎に設定している。								
	①・②: 市街化調整区域で適用外だが、③を準用 昼間: 70db/夜間: 65db								
	③: 第2種住居地域で2車線以上の道路に面する地域 昼間: 70db/夜間: 65db								
	④・⑤: 第1種低層住居専用地域・第1種住居地域 昼間: 55db/夜間: 45db								
	○規制(要請限度)基準値								
	騒音規制法により、自動車騒音の限度を設定している。								
①～③: 高速自動車国道、一般国道、都道府県道及び市町村道に近接する区域 昼間: 75db/夜間: 70db									
○測定時期について									
測定時期は、騒音が1年間を通じて平均的な状況を呈する日(秋期の平日)を選定									
課題 方向性	環境騒音の測定結果については、1地点(垣ノ内集会場)で夜間の基準値を3dB超過しているが、測定地点が国道付近にあることが影響しているものと考えられる。 今後も継続して測定を行い、関係機関と調整を図りながら対応・検討を行なっていく。苦情並びに相談については、宮城県と連携し対応を行う。								

一 般 会 計

4	款	2	項	1	目	塵芥処理費				
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	290, 088		289, 150					25, 847	263, 303	
目的	一般廃棄物の処理に関する計画に基づき、収集運搬を行うと共に廃棄物の減量化を図り、再利用を促進することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	塵芥処理経費		A	5.0	4.3	各家庭から排出される家庭系一般廃棄物の分別収集や適正な排出、再資源化を図り、廃棄物の減量と適正処理が図られた。				
	宮城東部衛生処理組合負担金		B	-	4.3	多賀城市、七ヶ浜町、利府町、松島町で構成する宮城東部衛生処理組合においてごみ処理施設等でのごみ処理及び施設管理に関する事務の経費に関して、構成市町が負担金を支出し、適正な処理を行うことができた。				
実績	【塵芥処理経費】									
	1 ゴミ処理実績									
	(単位: t)									
	区 分	年度 種別		令和元年度		平成30年度		平成29年度		
	家庭系ゴミ	可燃ゴミ		2, 773		2, 790		2, 834		
		不燃ゴミ		88		84		82		
		プラスチック製 容器包装		90		93		108		
		粗大ゴミ		200		107		217		
		資源物		564		660		585		
		小計		3, 715		3, 734		3, 826		
	事業系ゴミ	可燃ゴミ		1, 734		1, 781		1, 731		
		不燃ゴミ		9		9		10		
		小計		1, 743		1, 790		1, 741		
	直接搬入ゴミ			879		660		671		
	合計			6, 337		6, 184		6, 238		
2 松島町一般廃棄物収集運搬業務委託（家庭系ゴミの収集）										
65, 400, 000 円										
【宮城東部衛生処理組合負担金】										
・ 宮城東部衛生処理組合負担金										
※内訳 ごみ処理負担金										
投資的経費負担金										
特別負担金（焼却施設基幹的設備改良工事分）										
特別負担金（災害廃棄物処理分）										
課題 方向性	各家庭から排出される一般廃棄物は、分別やリサイクルにより減量化が図られている。廃棄物発生の抑制とリサイクル促進を図るため、3R運動をより一層推進し、更なる減量化が図られるように努める。									

一 般 会 計

4	款	2	項	2	目	し尿処理費				
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	58,357		58,357						58,357	
目的	町内のし尿・浄化槽汚泥の処理を促進し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	塩釜地区環境センター負担金		B	-	4.3	各家庭や事業所から出された、し尿及び汚泥を塩釜地区環境センターで処理を行い、公衆衛生の保全を行うことができた。				
実績	【塩釜地区環境センター負担金】									
	1 塩釜地区環境センター負担金								58,357,000 円	
	2 し尿・汚泥処理実績									
	年度 種別		令和元年度 (t)		平成30年度 (t)		平成29年度 (t)			
	し 尿		2,849		2,802		2,990			
	汚 泥		1,282		1,348		1,377			
	合 計 (前 年 比)		4,131 (△ 19)		4,150 (△ 217)		4,367 (81)			
課題 方向性	し尿等の処理量は年々減少している状況である。今後も塩釜地区環境センターと連携し適切な処理に努め、公衆衛生の向上を図る。									

一 般 会 計

5	款	1	項	1	目	勤労青少年ホーム費						
担当部署名				勤労青少年ホーム						(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	11,623		10,804					451	10,353			
目的	施設の有効活用のために町民への貸出しや自主グループの育成を図る。 また、ITルーム及び図書室については、利用促進に努め、知識や教養を培う場として管理運営を行う。											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	管理運営費		B	-	2.3	主な利用者である社会教育団体の高齢化とともに利用者が減少してきている状況にある。 また、施設の長寿命化計画を策定したことにより、利用者が利用しやすい施設とする契機となった。						
	図書室管理運営費		B	-	3.0	図書室の利用者、貸出冊数については、新型コロナウイルスによる休館措置の影響もあり減少しているが、2月までの状況を見ると例年並みで推移している。						
	ITルーム管理運営費		B	-	1.7	パソコンやスマートフォンの普及により、ITルームやパソコン教室の需要が低くなってきている。特に、小・中学生の利用やパソコン教室の申込者数が激減した。						
実績	【管理運営費】										5,831,643 円	
	1 講座・事業等											
	名 称		内 容				期 日		回 数			
	図書巡回文庫		幼稚園、保育所、児童館、小学校などに移動文庫を設置し、子どもが本と触れ合い親しむ機会の提供を行った。				毎月		○幼稚園 9回 ○小学校 10回 ○保育所、児童館 11回			
	家族ふれあい親子クリスマスパン教室		幼稚園、保育所、小学生の子どもをもつ家庭を対象に、トースターを使ってサンタやリース、ツリーの形をしたパンを親子で作った。				12月		(参加人数) 36人 大人14人, 児童22人			
	パソコン講座		初心者を対象に、パソコンを利用する上で役に立つ基礎知識や基本的な操作方法から応用に至るまでの解説・指導を行った。				11月～ 12月		30回 (8講座)			
	2 松島町勤労青少年ホーム運営委員会 (1回) 第1回 11月28日											
	3 施設利用状況											
	・ 集会室、講座室、音楽室、調理室											
	区 分		利用回数				利用人数					
一 般		693回				4,591人						
(次頁へ続く)												

(次頁へ続く)

【図書室管理運営費】

3,924,482 円

1 図書室
利用人数等

	区 分	利用人数及び貸出冊数		1日平均	
		人数（人）	冊数（冊）	人数（人）	冊数（冊）
松 島 町 内	一 般	4,456	13,890	16.0	49.8
	児 童	1,380	5,822	4.9	20.9
松 島 町 外	一 般	69	142	0.2	0.5
仙 台 都 市 圏	一 般	178	566	0.6	2.0
県 図 書 館	一 般	103	495	0.4	1.8
関 覧 者	全	4,075	—	14.6	—
合 計	—	10,261	20,915	36.7	75.0

※開館日数 279日

※上表に、図書巡回文庫の利用は含まない。

2 ブックラリー参加者

	実施期間	参加者数(人)	貸出冊数(冊)
子ども読書の日ブックラリー	4月13日から5月26日まで	32	320
秋のブックラリー	10月26日から11月24日まで	35	350

※上表は、「利用人数等」の利用人数、冊数に含む。

3 子どもの本移動展示会

実施期間 令和元年7月19日から令和元年7月30日まで 10日間(休館日を除く)

展示冊数 200冊 ・ 期間中の閲覧者数 148人

※「子どもの本移動展示会」は県内の希望する市町村図書館・図書室を巡回展示し、児童書にふれる機会や新しい本との出会いの場として、また選書の参考として宮城県図書館が実施する事業である。

※「子どもの本移動展示会」閲覧者数は、「利用人数等」の閲覧者に含まない。

4 蔵書内訳

区 分	蔵書冊数	蔵書比率
一 般 図 書	32,303	70.69 %
児 童 図 書	12,268	26.85 %
洋 書	95	0.21 %
参 考 書	17	0.04 %
郷 土 資 料	1,013	2.22 %
合 計	45,696	100 %

※令和2年3月末日の蔵書冊数は、45,696冊である。

(令和元年度新刊図書 一般図書 291冊 児童図書 150冊)

【ITルーム管理運営費】

1,047,736 円

・ ITルーム利用人数

区 分	利用人数(人)
小 ・ 中 学 生	105
高 校 ・ 大 学 生	1
一 般	14
パ ソ コ ン 講 座	115
合 計	235

実績

課題
方向性

新型コロナウイルス感染症対応で3月に臨時休館（図書返却のみ実施）を実施したが、今後とも衛生対策を充実し、安全な施設運営をしていく。
また、パソコンやスマートフォンの普及によりITルームの必要生が低くなり、令和2年4月からITルームを廃止することとなった。ITルームの集会室としての利用促進を図っていくとともに、図書室にパソコンを配置し、利便性を確保していく。

一 般 会 計

5	款	1	項	2	目	労働諸費					(単位:千円)
担当部署名				産業観光課産業振興班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	38,781		38,781					33,000	5,781		
目的	中小企業勤労者の生活向上及び安定を推進するため、融資制度の推進を図る。 また、高齢者の就業機会の支援や勤労者の生活安定を図る。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	松島町勤労者生活安定資金融資預託金		B	-	4.0	3件の新規融資申込があり、融資実績は概ね目標水準に達している。					
	勤労者福祉一般預託金		B	-	4.0	31件の新規融資申込があり、融資実績は概ね目標水準に達している。					
	塩釜建設技能者訓練協会補助金		B	-	3.0	当協会の事業は適正に行われているが、当町出身の生徒がここ数年いない状況である。					
	宮城県労働保険事務組合連合会負担金		B	-	4.0	負担金のみの事務である。					
実績	(公社)松島町シルバー人材センター事業補助金		B	-	3.7	会員募集支援として、町広報誌に毎月会員募集や活動報告記事を掲載した。 また、随時募集チラシを折り込み、町内の元気な高齢者の就業機会確保に寄与した。					
	【松島町勤労者生活安定資金融資預託金】 3,000,000円										
	・生活資金 貸付限度額100万円 貸付期間7年以内 金利3.00% 件数1件 金額638,175円 ・教育資金 貸付限度額300万円 貸付期間10年以内 金利1.80% ・福祉資金 貸付限度額100万円 貸付期間7年以内 金利1.50% ・自動車資金 貸付限度額200万円 貸付期間7年以内 金利1.80% 件数5件 金額5,442,719円 ※うち令和元年度中新規 件数2件 金額3,550,000円 ・合計 件数6件 金額6,080,894円 ※うち令和元年度中新規 件数2件 金額3,550,000円										
	【勤労者福祉一般預託金】 30,000,000円										
	・貸付限度額 個人・団体会員 1億円 ・貸付期間 最長35年 (住宅ローン35年、教育ローン15年、無担保住宅ローン20年、マイカーローン10年等) ・件数300件 金額1,177,761,020円) ※うち令和元年度中新規 件数31件 金額204,880,000円										
【塩釜建設技能者訓練協会補助金】 171,000円											
・令和元年度訓練生 4名 (松島町からの参加者は0名)											
(次頁へ続く)											

5	款	1	項	2	目
---	---	---	---	---	---

【宮城県労働保険事務組合連合会負担金】

10,000円

【（公社）松島町シルバー人材センター事業補助金】

5,600,000円

・事業実績の概要

項目	目標	実績	達成率
会員数	125人	110人	88.00%
受注件数	450件	399件	88.70%
契約金額	40,000千円	42,271千円	105.70%
年間就業延人数 (委託・請負事業)	8,000人	7,457人	93.20%
就業率	70.00%	68.20%	97.40%

・事業実績の前年度との比較

項目	平成30年度	令和元年度	前年度との比較
会員数	123人	110人	13人減
男性	94人	88人	6人減
女性	29人	22人	7人減
受注件数	429件	399件	30件減
公共	20件	19件	1件減
民間	409件	380件	29件減
契約金額	38,888千円	42,271千円	3,383千円増
公共	17,812千円	18,854千円	1,042千円増
民間	21,075千円	23,417千円	2,342千円増
就業延人数	6,991人	7,457人	466人増
就業率	65.00%	68.20%	3.20%増

・主な受託事業

植木・造園工事、屋外・屋内清掃作業、除草作業、家事援助サービス等

実績

課題
方向性

勤労者向け融資については、東北労働金庫と連携して周知を図り勤労者が利用しやすいように努める。
また、シルバー人材センターは会員数、受注件数ともに減少しているが、当町の元気な高齢者に活躍の機会を与えられるよう周知等に努める。

一 般 会 計

6	款	1	項	1	目	農業委員会費																																						
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)																																			
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	12,994		12,457			1,840		388	10,229																																			
目的	農業委員会等に関する法律が改正され、農業委員会は、「農地等の利用の最適化の推進」が最も重要な必須業務として位置づけられたことにより、地域の実態に応じた取組を推進し、それに向けた対策の強化を図る。																																											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																																						
	農業委員関係経費		A	4.3	3.0	遊休農地の発生防止・解消については、解消されているが新たに発生した遊休農地もあり根本的な改善には至っていない。調査の精度をさらに上げて、効果的で正確な利用状況調査を行えるよう見直しを行う。 担い手への農地利用の集積・集約化については、農家の後継者不足や担い手の利用集積が難しくなっているが、ほ場整備実施地域の担い手に対する農地集積が図られた。 新規参入の促進については、情報提供、活動等実施したが目標に繋がっていない現状である。																																						
実績	【農業委員関係経費】																																											
	※農地等の利用の最適化の推進とは (1) 遊休農地の発生防止・解消 (2) 担い手への農地利用の集積・集約化 (3) 新規参入の促進 農地等の利用の最適化の推進に関する実績 1 遊休農地の発生防止・解消 <table><tr><td>年 度</td><td>農地面積 (A)</td><td>遊休農地面積 (B)</td><td>割合 (B/A×100)</td><td>前年度からの遊休農地解消面積</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>1,071 ha</td><td>42.72 ha</td><td>3.99 %</td><td>11.69 ha</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>1,067 ha</td><td>41.61 ha</td><td>3.90 %</td><td>1.11 ha</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>1,047 ha</td><td>49.70 ha</td><td>4.75 %</td><td>△ 8.09 ha</td></tr></table> (農地面積は、農業委員会が行う農地利用状況調査から集計) 2 担い手への農地利用の集積・集約化 <table><tr><td>年 度</td><td>農地面積</td><td>担い手への集積面積</td><td>担い手への集積率</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>962 ha</td><td>456 ha</td><td>47.4 %</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>954 ha</td><td>500 ha</td><td>52.4 %</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>949 ha</td><td>533 ha</td><td>56.1 %</td></tr></table> (農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積)									年 度	農地面積 (A)	遊休農地面積 (B)	割合 (B/A×100)	前年度からの遊休農地解消面積	平成29年度	1,071 ha	42.72 ha	3.99 %	11.69 ha	平成30年度	1,067 ha	41.61 ha	3.90 %	1.11 ha	令和元年度	1,047 ha	49.70 ha	4.75 %	△ 8.09 ha	年 度	農地面積	担い手への集積面積	担い手への集積率	平成29年度	962 ha	456 ha	47.4 %	平成30年度	954 ha	500 ha	52.4 %	令和元年度	949 ha	533 ha
年 度	農地面積 (A)	遊休農地面積 (B)	割合 (B/A×100)	前年度からの遊休農地解消面積																																								
平成29年度	1,071 ha	42.72 ha	3.99 %	11.69 ha																																								
平成30年度	1,067 ha	41.61 ha	3.90 %	1.11 ha																																								
令和元年度	1,047 ha	49.70 ha	4.75 %	△ 8.09 ha																																								
年 度	農地面積	担い手への集積面積	担い手への集積率																																									
平成29年度	962 ha	456 ha	47.4 %																																									
平成30年度	954 ha	500 ha	52.4 %																																									
令和元年度	949 ha	533 ha	56.1 %																																									
(次頁へ続く)																																												

6	款	1	項	1	目
実績	農地法等によるその権限に属する事務				
	1	農地法第3条に基づく許可事務 (9件 : 79,628.84㎡)			(前年度 20件 : 60,024.84㎡)
	2	農地転用に関する事務 (意見を付して知事への送付) (13件 : 13,892㎡)			(前年度 12件 : 21,883.51㎡)
		農地転用に関する事務 (市街化区域内) (1件 : 261.74㎡)			(前年度 1件 : 260㎡)
	3	非農地証明願 (5件 : 4,302㎡)			(前年度 10件 : 18,177㎡)
	4	農地中間管理事業における農用地利用配分 (案) (37件 : 310,555㎡)			(前年度 11件 : 68,189㎡)
	5	農業経営基盤強化法促進法による農用地利用集積 所有権の移転 (2件 : 12,283㎡)			(前年度 4件 : 18,901㎡)
		利用権の設定 (73件 : 704,041㎡)			(前年度 44件 : 414,651.97㎡)
	6	農業者年金事業 (受給者) (106人)			(前年度 109人)
	課題 方向性	農家の後継者不足や担い手の高齢化、農産物価格の低迷等により、年々リタイヤする農家等がでており、また、農地が分散して認定農業者への農地集積が難しくなっている。担い手の意向を踏まえた農地の集約化のための利用調整・交換や利用権の再設定を推進していく。			

一 般 会 計

6 款		1 項		3 目		農業振興費				
担当部署名				産業観光課産業振興班・建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	48,604		17,911			7,609		270	10,032	
目的	町の農業振興については、水田農業構造改革対策に基づき、「松島町地域水田農業ビジョン」を指針として、需要に応じた水稻の生産調整の円滑な実施と認定農業者及び生産組織等の担い手による集団転作・遊休農地の活用等を推進する。また、農業関係の各種団体活動への支援と農業制度資金への支援を実施し、農業振興と農業経営の安定に資する。 手樽海浜公園及び農村公園3箇所の維持管理を行い、利用者の憩いの場として、安全な公園環境を提供する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	水田農業構造改革対策経費		B	-	3.7	仙台農業協同組合等の関係機関と連携し、認定農業者及び生産組織等の担い手を主体として、米価の安定のために生産の目安内の水稻作付や大豆等の集団転作を推進し、産地づくり対策事業により円滑に実施された。				
	農業振興関係経費		A	3.7	3.7	中間管理事業を活用し、担い手への農地集積を行った。令和元年東日本台風（台風第19号）により被災した農業経営体へ補助金を交付し、継続的な営農を支援した。				
	農業経営基盤強化資金利子等補給		B	-	3.3	農業制度資金への利子助成により農業経営の安定に資することができた。				
	農村環境改善センター管理運営経費		B	-	3.3	指定管理者による適切な管理運営がなされた。				
	農業振興地域整備事業		A	4.3	4.0	農地集積・集約化対策事業を活用し、認定農業者、地域の担い手への農地の利用集積が図られた。				
	中山間地農業ルネッサンス推進事業		A	4.0	3.3	農業指導員の技術指導により新しい取組みが図られた。				
	手樽海浜公園等管理経費		B	-	3.7	手樽海浜公園及び農村公園3箇所の維持管理を行い、安全な公園環境の整備を行った。また、手樽海浜公園除草及び清掃業務について、公益社団法人松島町シルバー人材センターと社会福祉法人松の実福祉会に委託することにより、高齢者等の就労機会確保と社会参加に寄与した。				
実績	■産業観光課 産業振興班									
	1 経営所得安定対策等推進事業									
	協議会を構成する町、農協等の関係者が連携し、地域の実情に応じて、各種説明会や農協の地区別懇談会等を活用し、本対策の趣旨、内容の周知等の推進活動を行った。									
	○事業実施主体 松島町地域農業推進協議会									
	○補助額 1,673,000 円									
	○国から農業者への交付実績									
	水田活用の直接支払交付金									
	戦略作物助成 大豆 4 件 14,392,000 円									
	飼料用米 30 件 53,100,326 円									
	飼料作物（牧草） 9 件 1,004,500 円									
産地交付金 40 件 16,916,500 円										
(次頁へ続く)										

6	款	1	項	3	目
---	---	---	---	---	---

転作実施面積	263.3 ha
一般作物	118.7 ha
大豆	41.1 ha
飼料用米	74.6 ha
飼料作物	3.0 ha
永年作物（果樹・花木他）	6.2 ha
特例作物（野菜）	26.6 ha
調整水田	2.2 ha
自己保全管理	105.1 ha
その他	4.5 ha

対 象 水 田	836.1 ha
生産の目安面積換算	525.0 ha
転 作 率	34.8 %
主食用水稻作付面積	544.7 ha
実 施 農 家 数	470.0 戸

2 農業経営基盤強化資金利子助成事業

○ 融資対象農家数

1 戸

○ 利子助成額

4,506 円

3 品井沼農村環境改善センター管理運営経費

○ 指定管理料

4,479,599 円

・ 利用件数

1,336 件

・ 利用者数

11,207 人

○ 照明LED化工事（多目的ホール）

1,469,880 円

4 農地集積・集約化対策事業補助金

農地中間管理機構を活用し、地域の担い手に対して農地の集積に協力した農業者への協力金

	地域集積協力金	経営転換協力金
補助対象	-	6 戸
補助金額	-	1,004 千円

実績

5 認定農業者連絡協議会育成支援事業

○ 事業主体

松島町認定農業者連絡協議会

(63 経営体：町内 52 経営体、町外 11 経営体)

○ 補助額

50,000 円

○ 事業内容

松島町農業委員との意見交換会及び講演会

農業経営確立セミナー等各種講演会、説明会への参加

農業先進地等への視察研修

6 中山間地農業ルネッサンス事業

農地相談員を設置し、きめ細やかな営農支援を行った。

また、地域の新たな特産品を開発するため、先進地等へ視察研修を行った。

7 強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業（被災農業者支援型）

令和元年東日本台風（台風第 19 号）により被害を受けた農業経営体が継続して営農できるよう支援を行った。

○ 補助対象者

2 経営体

○ 補助額

31,375,000 円

うち 令和元年度完了分

1,530,000 円

(繰越明許費)

うち 令和 2 年度完了予定分

29,845,000 円

(次頁へ続く)

6	款	1	項	3	目
実績	■建設課 管理班所管				
	【手樽海浜公園等管理経費】				
	手樽海浜公園、古浦農村公園、上竹谷農村公園、下竹谷・北小泉農村公園の維持管理				
	1	需用費（修繕料）			365,055 円
		・ 手樽海浜公園トイレ修繕（バルブ）			176,493 円
		・ 手樽海浜公園トイレ修繕（排水管）			28,512 円
		・ 手樽海浜公園トイレ修繕（電気設備）			17,050 円
		・ 手樽海浜公園トイレ修繕（浄化槽ブロアー）			143,000 円
	2	役務費（手数料）			708,769 円
		・ 除草した草の処理料			667,420 円
		・ し尿汲取料			41,349 円
	3	委託料			2,115,299 円
		・ 手樽海浜公園除草業務委託（年2回実施）			1,096,480 円
		・ 手樽海浜公園清掃業務委託（週1回実施）			627,800 円
		・ 手樽海浜公園他遊具定期点検業務委託（年1回実施）			51,840 円
	・ 手樽海浜公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回実施）			60,847 円	
	・ 手樽海浜公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回実施）			278,332 円	
課題 方向性	■産業観光課 産業振興班				
	農業振興及び米価の安定のためには、町や県単位だけではなく、農業者個人による需要に応じた米生産が必要である。農業者の収入の確保には、国の需給に対応した米の生産及び水田を活用した高収益作物の作付を行う必要があるため、各農業者が営農を継続できるよう引き続き支援を行っていく。 また、担い手の育成や、担い手・集落営農組織へ農地集積を促し、地域農業を継続していくことが重要である。				
	■建設課 管理班所管				
	設備・遊具の老朽化が進んでおり、利用状況等も踏まえた上での維持管理が必要である。今後も住民や利用者が安全に利用できるよう適切な維持管理を行っていく。 また、中長期的に手樽海浜公園については、管理手法も含め関係団体と調整を図っていく。				

一 般 会 計

6	款	1	項	4	目	農地費					
担当部署名				産業観光課産業振興班・建設課建設班・建設課管理班						(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	134,343		97,598			17,466	1,500	17,440	61,192		
目的	松島農業振興地域整備計画に位置づけられている農業生産基盤整備事業を、各種農業・農村整備事業により実施し、優良農地の区画整理による効率的利用と、基幹水利施設の整備により、湛水・冠水被害の防止を図り、農作物の安定生産と農業経営の効率化に資する。 また、農村・農地の多面的機能の維持・発揮を図り、農業振興に寄与するとともに、歴史ある土地改良施設を後世まで保全することを目的とする。 さらに、農業生産基盤整備と土地改良施設の整備改修等により、農地の保全と農業用排水等の円滑化を図り、農作物の安定生産と農作業の効率化に努める。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	県営土地改良事業負担金 ＜ほ場＞		A	4.3	3.7	暗渠工事等の補完工事が実施され、農業者の補修要望の解消に努め、農地集積が図られた。					
	多面的機能支払交付金事業 (旧：農地・水・環境保全工向上対策事業)		B	－	3.3	各地域の6協議会によって道刈り・泥上げ等が実施され、地域環境等の保全管理が図られた。					
	土地改良事業費＜営農に係る経費＞		B	－	4.0	各種土地改良事業に係る団体の経常経費の負担することで、施設の運転管理や適切な維持管理が図られた。					
	中山間地域等農村活性化事業		B	－	3.7	歴史旧跡や農村・農地等の地域資源の保全並びに活性化が図られた。					
	県営土地改良事業		B	－	3.7	県営かんがい排水事業については、用水路工事を実施し、農業用排水機能の充実が図られた。また、不來内排水機場の設備更新を実施し機能保全が図られた。					
	土地改良施設維持管理工事（ため池ネットフェンス工事）		A	4.3	4.0	ため池にネットフェンスを設置し、転落事故防止に対する安全対策が図られた。					
	土地改良施設維持管理経費		A	4.3	3.7	土地改良施設の各管理団体により、施設の運転管理等が実施され、適切な維持管理が図られた。					
	道路面補修事業		A	4.7	4.0	復旧・復興事業の大型工事車両の往来により損傷の著しい農道の舗装補修を実施し、通行車両の安全確保が図られた。					
	土地改良施設維持管理経費（管理班）		B	－	3.7	農道への碎石補充やため池補修等を行い、農業を営むにあたり支障をきたさないよう維持管理を行った。					
実績	■産業観光課 産業振興班所管 【県営土地改良事業負担金＜ほ場＞】 県営農山漁村地域復興基盤総合整備事業（負担割合 8%） 復興基盤総合整備事業（手樽地区） ・負担金 42,504,000 円 （事業費 531,300千円） ・事業内容 補完工事（暗渠工事等） A=171ha (次頁へ続く)										

6	款	1	項	4	目
実績	【多面的機能支払交付金事業】				
	多面的機能支払交付金事業補助金				
	・ 協議会数				
	・ 補助金				
	6 協議会				
	21,966,790 円				
	【中山間地域等農村活性化事業】				
	中山間地域等農村活性化事業補助金				
	・ 事業主体				
	・ 補助額				
	根廻ふるさと保全隊				
	200,000 円				
	■建設課 建設班所管				
	【県営土地改良事業】				
	水利施設整備事業負担金				
	県営事業により用水路整備工事及び不来内排水機場の設備更新工事を実施した。				
	1 県営水利施設整備事業負担金				
	2,178,000 円				
	・ 県営かんがい排水事業負担金（銭神地区）				
	（負担割合 1.77%）				
	事業費 100,000,000 円				
	事業内容 用水路工 L=467.5m				
	・ 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金（不来内地区）				
	（負担割合 0.34%）				
	事業費 120,000,000 円				
	事業内容 不来内排水機場機械設備更新（除塵設備）				
	408,000 円				
	【土地改良施設維持管理工事（ため池ネットフェンス工事）】				
	沢乙ため池のネットフェンス設置工事を実施した。				
	1 工事請負費				
	1,602,720 円				
	・ 沢乙ため池ネットフェンス設置工事				
	1,602,720 円				
	ネットフェンス設置工 L=88m				
	【土地改良施設維持管理経費】				
	土地改良施設の各管理団体により施設の運転管理や補修等を行った。				
	1 負担金及び補助金				
	4,381,264 円				
	・ 土地改良施設維持管理等負担金				
	3,120,264 円				
	国営造成施設2箇所、排水機場13箇所 他				
	・ 土地改良施設維持管理補助金				
	1,261,000 円				
	松島町土地改良事業（適正化事業・補修事業）				
	【道路面補修事業】（東日本大震災復興交付金）				
	復旧・復興事業の大型車両の通行により損傷の著しい農道弁天1号線の舗装補修工事を実施した。				
	1 工事請負費				
	21,800,000 円				
	・ 農道弁天1号線舗装補修工事				
	21,800,000 円				
	（前払金）				
	（次頁へ続く）				

6 款	1 項	4 目
実績	■建設課 管理班所管 【土地改良施設維持管理経費（管理班）】 1 委託料 ・ 土地改良施設維持管理業務委託（碎石運搬、ため池補修等） 1,760,000 円 2 原材料費 ・ 維持管理用原材料（碎石） 99,792 円	
課題 方向性	■産業観光課 産業振興班 復興基盤総合整備事業（手樽地区）については、農地の大区画化や用排水施設の整備や、補完工事、暗渠工事を実施することで、農地の水はけの解消や農地の充実を図る。 ■建設課 建設班 県営土地改良事業については、宮城県や関係市町と連携しながら、事業の完了を目指していく。 土地改良施設の維持管理経費については、ため池にネットフェンスを設置し、転落事故防止に対する安全対策を行っていく。また、施設の適切な維持管理に努める。 ■建設課 管理班所管 今後も継続して適切な維持管理を行い、農業従事者が安全に農業を営めるよう努めていく。	

一 般 会 計

6 款	1 項	5 目	園芸振興費							
担当部署名		産業観光課産業振興班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,127	1,913			300		56	1,557		
目的	松島町地産地消実行委員会に補助金を交付し、「まつの市」や「産業まつり」といった地産地消イベントへの支援を行い、地産地消の推進を図る。また、農村婦人の家の維持管理を行い、町内産の味噌の販売促進に寄与する。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	園芸振興関係経費	A	3.7	2.3	まつの市、産業まつりに加え、町内の生産者と消費者を繋ぐ場としてまつしま実り賞味会を初めて開催し、地産地消の推進を図ることができた。					
	農村婦人の家等維持管理経費	B	-	4.0	町内産の味噌加工のために使用され、適宜使用料を徴収し維持管理を図った。					
実績	【園芸振興関係経費】									
	・ 松島町地産地消実行委員会への補助金							1,000,000 円		
	【主催イベント等】									
	日付	イベント名	開催場所	動員人数	同時開催					
	5月24日	第1回まつの市	石田沢防災センター	800人	松島パークフェスティバル					
	6月30日	第2回まつの市	石田沢防災センター	400人	なし（単独開催）					
	7月28日	第3回まつの市	文化観光交流館	700人	アトレ・るまつり					
	10月6日	第4回まつの市	文化観光交流館	5,300人	松島ハーフマラソン大会					
	11月3日	滑川まつり	滑川町総合運動公園	-						
	11月23日	まつしま産業まつり	磯島	10,000人	松島大漁かきまつりin磯島					
	2月12日	まつしま実り賞味会	ホテル松島大観荘	120人	松島町商談会					
	計 17,320人				※人数は同時開催イベントの動員人数も含む。					
	・ 松島・夢・農業農村活性化推進協議会への補助金							500,000 円		
	【実施事業】									
	・ 環境保全米田植え・稲刈り（地場産品を使用したお弁当の提供等）									
	・ まつの市等地産地消イベントへの出店（漬け物等の出品）									
	【農村婦人の家等維持管理経費】							298,938 円		
	・ 消耗品費（トイレットペーパー等）、光熱水費、火災保険料等									
課題 方向性	地産地消の推進については、これまでの地産地消イベントに加え昨年度から「まつしま実り賞味会」を開催した。今後も、継続し生産者と消費者を繋ぐ機会確保に努める。 農村婦人の家については、老朽化が著しく施設利用者も少ないことから、施設のあり方について地元生産者や利用者等と協議しながら検討していく。									

一 般 会 計

6	款	1	項	6	目	畜産振興費																														
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)																											
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																															
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																											
	105		105					2	103																											
目的	稲作と畜産の複合経営推進と優良仔牛の生産のため、畜産団体への支援を図る。																																			
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																														
	畜産業振興関係経費		A	3.7	3.7	本町の畜産農家は稲作との複業経営が主であり、経営推進のための支援を実施した。 なお、専業は企業採卵鶏事業1件、酪農業者が1件である。																														
実績	【畜産業振興関係経費】																																			
	1 和牛生産団体育成支援事業 ・事業主体 松島町和牛改良組合（14戸） ・補助額 50,000円 ・事業内容 繁殖牛の資質向上による優良仔牛の生産並びに母牛の生産率向上及び町内産優良仔牛の保留 2 令和元年度出荷実績 ・仔牛出荷頭数 84 頭 ・仔牛出荷額 60,840,101 円 ・高額販売額 去勢牛 1,038,960 円 雌牛 946,080 円 ※松島町和牛改良組合の組合員個人が販売した牛1頭価格の最高額 3 松島町の飼養頭羽数 <table><tr><td>畜種別 年度</td><td>繁殖牛 (頭)</td><td>乳用牛 (頭)</td><td>採卵鶏 (千羽)</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>125</td><td>26</td><td>151</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>121</td><td>24</td><td>193</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>120</td><td>32</td><td>194</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>123</td><td>28</td><td>193</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>119</td><td>24</td><td>143</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>112</td><td>27</td><td>143</td></tr></table>									畜種別 年度	繁殖牛 (頭)	乳用牛 (頭)	採卵鶏 (千羽)	平成26年度	125	26	151	平成27年度	121	24	193	平成28年度	120	32	194	平成29年度	123	28	193	平成30年度	119	24	143	令和元年度	112	27
畜種別 年度	繁殖牛 (頭)	乳用牛 (頭)	採卵鶏 (千羽)																																	
平成26年度	125	26	151																																	
平成27年度	121	24	193																																	
平成28年度	120	32	194																																	
平成29年度	123	28	193																																	
平成30年度	119	24	143																																	
令和元年度	112	27	143																																	
課題 方向性	担い手確保が課題であるため、継続して関係団体と情報共有し、新規就農関連情報を提供できるよう努める。																																			

一 般 会 計

6 款	2 項	2 目	林業振興費						
担当部署名		産業観光課産業振興班							(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳					
	39,982	39,598		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
					18,696		2,056	18,846	
目的	特別名勝松島の景観保全のため、松くい虫被害の拡大防止に努める。 また、林業関係団体事業の支援と緑化推進を図る。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	松くい虫防除事業	A	4.7	3.3	地域の松林等を守るために、薬剤の空中散布や地上散布、樹幹注入を実施し、併せて被害木の伐倒駆除などを行い、松くい虫被害の拡大防止が図られた。				
	林業振興事務経費	B	-	3.3	民有林の林業振興・担い手育成並びに特用林産の振興に寄与した。				
実績	【松くい虫防除事業】								
	1 特別防除事業（空中散布）								
	区 分	実施面積 (ha)		事業費 (円)		主 な 実 施 箇 所			
	宮城県分	50.89		2,977,015		雁金森・湯ノ原 白坂山・三十刈			
	松島町分	43.68		2,555,237					
	全 体	94.57		5,532,252					
	事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注								
	2 地上散布事業								
	区 分	実施面積 (ha)		事業費 (円)		主 な 実 施 箇 所			
	宮城県分	19.05		1,604,874		大沢平・雁金森 東浜・名籠・銭神 西ノ浜・長松園			
	松島町分	27.98		2,357,185					
	全 体	47.03		3,962,059					
	事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注								
	3 樹幹注入事業								
	実施本数 (本)	事 業 費 (円)			主 な 実 施 箇 所				
29	407,000			観瀾亭					
101	1,045,000			手樽字軽地					
4 伐倒駆除事業（上段：H30実績・下段：R1実績）									
区 分	被害本数 (本)		材積 (m³)		事業費 (円)				
補 助 対 象	1,222		844.659		21,321,437				
	841		762.561		21,053,442				
対 象 外	96		97.063		2,718,552				
	7		8.880		355,066				
計	1,318		941.722		24,039,989				
	848		771.441		21,408,508				

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

6	款	2	項	2	目								
実績	5	松くい虫被害木調査業務委託			880,000 円								
	6	抵抗性松植樹業務委託 松島字雁金森周辺に抵抗性松の植樹を行った。植樹本数			1,586,200 円 300 本								
	7	抵抗性松植樹箇所下刈業務委託 抵抗性松を植樹した箇所において、下草の刈り払いを行った。 刈払面積			495,000 円 6,000 m ²								
	8	ナラ枯れ被害駆除事業											
	<table><tr><td>実施本数（本）</td><td>材積（m³）</td><td>事業費（円）</td><td>主な実施箇所</td></tr><tr><td>63</td><td>22.159</td><td>990,000</td><td>富山観音参道</td></tr></table>					実施本数（本）	材積（m ³ ）	事業費（円）	主な実施箇所	63	22.159	990,000	富山観音参道
	実施本数（本）	材積（m ³ ）	事業費（円）	主な実施箇所									
	63	22.159	990,000	富山観音参道									
	【林業振興事務経費】												
	1	林業振興事業											
	・ 長松園等生活環境保全林施設管理及び道刈業務委託 ○刈払面積：153,800m ²			5,500,000 円									
・ 森林情報管理システム保守管理業務委託			294,300 円										
2	林業団体活動育成事業補助												
<table><tr><td>No.</td><td>団 体 名 等</td><td>補助額</td></tr><tr><td>1</td><td>広域森林組合運営推進事業補助</td><td>200,000 円</td></tr><tr><td>2</td><td>松島町緑化推進委員会緑化推進事業補助</td><td>100,000 円</td></tr></table>					No.	団 体 名 等	補助額	1	広域森林組合運営推進事業補助	200,000 円	2	松島町緑化推進委員会緑化推進事業補助	100,000 円
No.	団 体 名 等	補助額											
1	広域森林組合運営推進事業補助	200,000 円											
2	松島町緑化推進委員会緑化推進事業補助	100,000 円											
主な事業内容 ・ 林業振興・林業諸施策等の情報提供及び林業後継者の育成・組織強化への支援 ・ 町内の地域緑化活動、みどりの少年団育成への支援													
課題 方向性	松くい虫被害は年々拡大している。松島町の風光明媚な景観には赤松が不可欠であるため、引き続き松林保全のため事業を実施していく。 また、松の本数を減らさないために、抵抗性松等の植樹事業も継続して行っていく必要がある。 更に、町内の地域緑化活動や木育を推進するための人材育成・担い手確保が必要である。												

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(被害発生状況)

1, 年度別松くい虫被害発生状況

令和2年3月末現在 (単位:m³)

年度	昭和	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5
市町	市	52	37	16	18	11	30	41	41	65	249	923	281	456	561
塩 多 賀 城 市	市	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	16	27
松 七 ヶ 浜 町	町	11	20	9	6	21	25	57	45	45	61	277	415	249	923
利 府 町	町	13	9	2	7	10	11	4	19	9	63	188	158	207	306
東松島市(旧鳴瀬町)	町	10	1	1	6	11	3	18	13	24	7	22	23	35	19
特別名勝計(A)		68	30	109	107	277	846	765	1,058	1,560	1,315	1,699	1,952	2,203	1,865
県全体(B)		154	100	137	144	330	915	885	1,180	1,703	1,695	3,109	2,830	3,166	3,701
(A)／(B) (%)		2,521	3,661	5,181	5,826	7,797	12,841	14,060	14,324	13,952	13,756	18,552	18,255	18,402	17,651
		6.1	2.7	2.6	2.5	4.2	7.1	6.3	8.2	12.2	12.3	16.8	15.5	17.2	21.0

年度	平成	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
市町	市	313	1,719	2,644	1,473	1,235	900	688	316	1,298	574	364	293	325	364
塩 多 賀 城 市	市	15	50	13	10	-	34	-	-	-	-	15	9	3	-
松 七 ヶ 浜 町	町	602	1,189	1,198	1,178	628	622	637	827	887	737	734	959	643	779
利 府 町	町	469	362	760	1,863	1,060	1,351	389	1,048	907	1,276	654	429	630	256
東松島市(旧鳴瀬町)	町	169	370	524	1,414	896	871	651	459	734	1,037	1,198	773	1111	672
特別名勝計(A)		2,502	3,115	3,108	3,819	4,173	5,300	2,595	1,884	1,682	1,982	1,607	2,250	1,715	1,705
県全体(B)		4,070	6,805	8,247	9,757	7,992	9,078	4,960	4,534	5,508	5,606	4,572	4,713	4,427	3,776
(A)／(B) (%)		21,185	27,731	28,986	28,353	26,195	26,287	20,465	21,562	23,447	23,455	23,132	19,253	18,428	17,445
		19.2	24.5	28.5	34.4	30.5	34.5	24.2	21.0	23.5	23.9	19.8	24.5	24.0	21.6

年度	平成	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元
市町	市	198	120	206	261	617	708	223	518	629	442	393	178
塩 多 賀 城 市	市	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	4	0
松 七 ヶ 浜 町	町	577	457	506	312	655	933	1,658	3,192	2,416	2,271	1,632	1,433
利 府 町	町	161	125	134	157	349	2167	987	1,249	105	821	594	612
東松島市	市	597	260	308	40	649	731	1069	1,513	1,204	907	1,141	622
特別名勝計(A)		1,681	1,751	2,041	1,014	3,357	3,665	3,503	2,884	1,786	3,109	2,386	1,944
県全体(B)		3,214	2,713	3,195	1,784	5,627	8,205	7,440	9,356	6,142	7,550	6,150	4,789
(A)／(B) (%)		14,213	13,742	13,742	11,160	15,401	17,335	15,208	16,523	13,700	14,935	13,215	10,036
		22.6	19.7	23.2	16.0	36.5	47.3	48.9	56.6	44.8	50.6	46.5	47.7

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(防除事業実施状況：空中散布)

2-1, 年度別松くい虫防除事業実施状況(空中散布)

(単位:ha)

年度	昭和	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成	元	2	3	4	5
市町	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
塩竈市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多賀城市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松島町	町	110	113	113	113	150	150	150	160	160	160	160	160	160	100	90
七ヶ浜町	町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利府町	町	78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東松島市(旧鳴瀬町)	市	30	32	33	33	33	33	156	156	188	189	189	189	182	96	75
特別名勝計(D)		218	145	146	146	183	183	306	316	348	349	349	349	342	196	165
県全体	(E)	539	467	327	327	391	424	577	622	636	654	654	647	625	402	312
(D)/(E) (%)	(%)	40.4	31.0	44.6	44.6	46.8	43.2	53.0	50.8	54.7	53.4	53.4	53.9	54.7	48.8	52.9

年度	平成	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
市町	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
塩竈市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多賀城市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松島町	町	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	98	98	98	98
七ヶ浜町	町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利府町	町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東松島市(旧鳴瀬町)	市	75	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	67
特別名勝計(D)		165	163	163	163	163	163	163	163	163	163	171	171	171	165
県全体	(E)	312	310	344	459	388	386	418	417	415	415	434	392	392	386
(D)/(E) (%)	(%)	52.9	52.6	47.4	35.5	42.0	42.2	39.0	39.1	39.3	39.3	39.4	43.6	43.6	42.7

年度	平成	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和	元
市町	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
塩竈市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多賀城市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松島町	町	98	98	98	98	-	98	98	98	98	98	98	98	94
七ヶ浜町	町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利府町	町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東松島市	市	67	67	67	67	-	67	61	58	58	57	57	57	57
特別名勝計(D)		165	165	165	165	-	165	159	156	156	155	155	155	151
県全体	(E)	386	386	386	386	-	386	379	377	377	376	376	376	370
(D)/(E) (%)	(%)	42.7	42.7	42.7	42.7	-	42.7	42.0	41.4	41.4	41.2	41.2	40.8	40.8

※H23,24は東日本大震災の影響のため実施せず

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(防除事業実施状況：地上散布)

2-2、年度別松くい虫防除事業実施状況(地上散布)

(単位:ha)

年度	昭和	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5
市町															
塩竈市		9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	6	6
多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松島町	80	80	80	80	80	90	90	90	75	73	73	73	73	74	74
七ヶ浜町	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利府町	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東松島市(旧鳴瀬町)	12	15	-	-	-	-	-	-	-	10	15	15	17	17	17
特別名勝計(D)	127	108	80	80	80	90	90	90	75	83	88	94	96	97	97
県全体(E)	150	133	88	88	93	103	115	120	138	192	196	203	207	240	243
(D)/(E) (%)	84.7	81.2	90.9	86.0	87.4	78.3	75.0	75.0	54.3	43.2	44.9	46.3	46.4	40.4	39.9

年度	平成	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
市町															
塩竈市	6	6	6	6	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松島町	74	74	74	74	91	91	91	90	94	62	62	62	62	62	61
七ヶ浜町	-	-	-	40	40	40	61	50	45	45	50	50	50	51	50
利府町	-	-	-	11	11	14	15	15	13	8	8	8	8	9	8
東松島市(旧鳴瀬町)	17	17	17	17	17	17	37	37	37	37	37	26	37	67	68
特別名勝計(D)	97	97	97	148	181	184	226	214	211	174	179	168	179	211	209
県全体(E)	279	323	412	477	477	452	540	478	487	487	490	524	430	593	547
(D)/(E) (%)	34.8	30.0	35.9	37.9	37.9	40.7	41.9	44.8	43.3	35.7	36.5	32.1	41.6	35.6	38.2

年度	平成	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元
市町													
塩竈市	22	22	22	22	19	19	19	19	19	19	19	19	19
多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松島町	66	65	65	65	43	65	65	64	64	61	61	52	47
七ヶ浜町	50	50	50	50	0	28	36	36	35	33	25	25	25
利府町	8	8	8	8	0	6	8	8	8	8	8	8	8
東松島市	67	67	67	67	0	8	-	-	-	-	-	-	-
特別名勝計(D)	213	212	212	212	62	126	128	127	126	121	113	104	99
県全体(E)	580	577	586	586	106	200	227	223	221	211	183	178	157
(D)/(E) (%)	36.7	36.7	36.2	36.2	58.5	63.0	56.4	57.0	57.0	57.3	61.7	58.4	63.1

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(防除事業実施状況:樹幹注入)

2-3, 年度別松くい虫防除事業実施状況(樹幹注入)

(单位:本)

年度		昭和55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4	5
市町	塩竈市	-	-	-	-	-	-	-	-	25	20	90	66	139	69
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	-	-	-	-	746	1,367	1,198	738	585	738	708	738	725	833
	七ヶ浜町	-	-	-	-	-	21	-	21	21	20	22	23	21	22
	利府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東松島市(旧鳴瀬町)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	47	112
	特別名勝計(D)	0	0	0	0	746	1,388	1,198	759	631	778	820	880	932	1,036
県全体(E)	0	0	0	0	746	1,794	1,649	1,266	1,178	1,412	1,611	1,702	1,951	3,213	
(D)／(E) (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	77.4	72.7	60.0	53.6	55.1	50.9	51.7	47.8	32.2	

年度		平成6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
市町	市	90	69	154	776	848	1,097	832	841	900	799	845	-	809	797	
樹幹注	塩竈市	-	-	-	-	-	60	34	76	28	41	25	34	44	-	
	多賀城市	793	838	793	838	887	819	419	588	661	430	-	691	722	363	
	松島町	25	25	68	105	114	243	466	81	269	442	-	68	256	306	
	七ヶ浜町	-	21	58	60	101	115	177	140	111	140	-	120	111	117	
	利府町	422	440	780	702	613	366	-	596	394	453	-	325	587	364	
	東松島市(旧鳴瀬町)	1,330	1,393	1,853	2,481	2,563	2,700	1,928	2,322	2,363	2,305	870	1,238	2,529	1,947	
	特別名勝計(D)	3,463	3,629	4,130	4,845	4,787	4,480	3,392	4,318	4,337	4,456	3,333	3,293	5,020	2,818	
	県全体(E)	38.4	38.4	44.9	51.2	53.5	60.3	56.8	53.8	54.5	51.7	26.1	37.6	50.4	69.1	
	(D)／(E) (%)															

年度		平成	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元
樹幹注 入	市町													
	塩竈市		466	258	845	248	170	177	-	-	1,945	52	846	151
	多賀城市		66	69	-	73	43	70	44	68	29	51	80	37
	松島町		253	696	558	105	31	-	-	551	1,258	1,793	705	744
	七ヶ浜町		96	68	203	0	292	-	-	-	891	195	114	0
	利府町		0	133	93	93	115	-	-	134	432	-	-	806
	東松島市		94	673	455	566	108	65	-	-	183	477	152	29
	特別名勝計(D)		975	1,897	2,154	1,085	759	312	44	753	4,738	2,568	1,897	1,767
	県全体(E)		2,914	3,773	4,067	2,274	1,846	2,495	1,856	2,070	6,269	4,976	4,519	3,497
	(D)／(E) (%)		33.5	50.3	53.0	47.7	41.1	12.5	2.4	36.4	75.6	51.6	42.0	50.5

一 般 会 計

6 款	3 項	2 目	水産業振興費							
担当部署名		産業観光課産業振興班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	3,806	3,727						3,727		
目的	カキ・アサリ等の浅海養殖漁業の振興を図る。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	水産業振興関係経費	A	4.0	3.3	町内の水産業振興を担う団体への事業支援を実施し、水産業振興に寄与した。 カキは死滅等により生産者の経営が厳しいものとなったが、アサリは徐々にではあるが資源が回復傾向にあり、今後に向け期待できるものとなった。					
実績	【水産業振興関係経費】									
	1 水産振興事業補助金 3,000,000 円 ・実施主体 宮城県漁業協同組合松島支所 ・事業目的 ① カキ衛生対策支援…生食用カキ出荷に求められる衛生対策、検査体制の強化 ② アサリ稚貝撒布支援…混獲されるアサリ稚貝購入による再放流、自然増殖を図る ③ ツメタ貝駆除支援…成貝または卵塊の駆除に支援し繁殖の阻止を図る ・事業内容 ① 安心安全な松島のカキ生産のため、衛生対策にかかる費用は増加傾向にあることから、生産者の負担軽減のための支援 ② 松島地区、磯崎地区、名籠地区及び古浦地区で採取されるアサリに混獲される稚貝を買い取り、新たに造成された漁場へ再放流することで、安定的な種苗の確保と生産量の増大を支援 ③ アサリの天敵であるサキグロツメタ貝の駆除を徹底しアサリの生産量増大を支援 ・事業効果 カキについては、当初順調な身入りで安定した高値で取引が始まったが、例年同様に死滅等の影響により数量は前年を下回ったが、金額は昨年より多い8,351万円で終了した。検査回数については例年を上回っており、衛生対策支援事業により生産者の負担軽減に寄与した。 アサリについては、アサリ稚貝を購入し再放流により促進を図った。また、新たに設置造成に成功した干潟への散布支援を行った。サキグロツメタ貝の成貝又は卵駆除を行い、徐々にではあるが資源が回復傾向にあり来期に期待できるものとなった。									
	2 松島町カキPR事業補助金 300,000 円 ・実施主体 宮城県漁業協同組合松島支所 ・事業目的 催事におけるカキの無料試食を実施し、生産者と消費者の直接的交流を図り、松島産カキの魅力を周知し消費拡大を図る。 ・事業内容 松島大漁かきまつりin磯島での焼きガキ及びカキ汁の無料試食、のぼり旗を作成。 ・事業効果 焼きガキ5,000個、カキ汁2,300杯の無料試食を実施し、消費拡大のPRに寄与した。									
	3 漁業後継者育成支援事業補助金 50,000 円 ・実施主体 宮城県漁業協同組合松島支所青年研究会									
課題 方向性	既存の漁業従事者への支援は十分に出来ていると思われるが、カキの死滅等による影響がここ数年出ている。引き続き支援を継続していく。 また、担い手不足は否めないが、青年漁業士が1名誕生するなど明るい話題もあることから、担い手確保とその支援についても検討していく。									

令和元年度 カキ水揚げ高調べ

(資料:宮城県漁業協同組合松島支所)

令和元年9月～令和2年3月

(単位 : kg ・ 円)

地 区	松 島		磯 崎		名 込		古 浦		合 計		備 考
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
月											
9月	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
10月	1,800.7	3,147,752	6,496.4	14,787,937	540.0	1,246,817	710.0	1,653,036	9,547.1	20,835,542	
11月	2,806.3	4,717,621	7,484.7	15,982,332	840.0	1,781,934	540.0	1,222,117	11,671.0	23,704,004	
12月	2,698.0	4,219,176	3,743.9	7,614,114	750.0	1,489,459	130.0	319,670	7,321.9	13,642,419	
1月	1,461.3	1,799,045	5,251.7	9,524,438	700.0	1,059,307	1,040.0	1,927,097	8,453.0	14,309,887	
2月	1,215.9	1,280,033	4,194.1	5,826,449	830.0	1,148,073	980.0	1,362,902	7,220.0	9,617,457	
3月	326.0	349,986	737.6	1,026,456	20.0	25,434	0.0	0	1,083.6	1,401,876	
計	10,308.2	15,513,613	27,908.4	54,761,726	3,680.0	6,751,024	3,400.0	6,484,822	45,296.6	83,511,185	
kg当たり 単価		1,505.0		1,962.2		1,834.5		1,907.3		1,843.7	

一 般 会 計

6	款	3	項	4	目	漁港建設費				
担当部署名				建設課建設班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	213, 250		190, 984		82, 625			19, 301	89, 058	
目的	古浦漁港及び銭神漁港について、新たな防潮堤整備を行い高潮や津波から背後施設の保全を図る。また、東日本大震災により被害を受けた磯崎漁港の漁具倉庫建設を行う。さらに、古浦、名籠、銭神漁港の沈下した漁港施設用地の嵩上げ及び舗装の整備を行い漁港施設の機能強化を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	漁港施設機能強化事業		A	4. 0	3. 7	古浦漁港、銭神漁港、名籠漁港の用地嵩上げ工事が完了し、漁港施設の機能強化が図られた。				
	漁港海岸・海岸保全施設 築造事業		A	4. 7	3. 7	銭神漁港及び古浦漁港の防潮堤整備工事が完了し、背後施設の保全機能強化が図られた。				
実績	【漁港施設機能強化事業】（東日本大震災復興交付金） 古浦漁港、銭神漁港、名籠漁港の用地嵩上げ工事を実施した。									
	1 工事請負費								9, 948, 400 円	
	・ 古浦漁港外漁港用地嵩上げ工事 舗装面積 A=749㎡								9, 948, 400 円	
	(繰越明許費)									
	2 工事請負費								15, 785, 520 円	
	・ 銭神漁港外漁港用地嵩上げ工事 舗装面積 A=2, 250㎡								15, 785, 520 円	
	【漁港海岸・海岸保全施設築造事業】（農山漁村地域整備交付金） 古浦漁港、銭神漁港の防潮堤及び陸閘の工事を実施した。									
	1 工事請負費								26, 994, 000 円	
	・ 銭神漁港防潮堤第2陸閘整備工事 陸閘工 (W=5. 00m、H=1. 64m) N=1基								26, 994, 000 円	
	(事故繰越費)									
2 工事請負費								138, 255, 520 円		
・ 古浦漁港防潮堤整備工事 防潮堤整備工 (H=3. 7m) L=71. 1m								138, 255, 520 円		
課題 方向性	漁港施設機能強化事業については、古浦漁港、銭神漁港、名籠漁港の用地嵩上げ工事がすべてが完成した。今後は、施設の維持保全に努める。 漁港海岸・海岸保全施設築造事業については、古浦漁港及び銭神漁港の防潮堤工事がすべて完成した。今後は、施設の維持保全に努める。									

一 般 会 計

7	款	1	項	2	目	商工業振興費				
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	56, 144		55, 997			664		42, 000	13, 333	
目的	商工業振興と商工業者の経営安定等を図るため、商工団体と連携を進め、適正な育成と指導を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	消費生活相談員設置事業		A	3. 3	3. 0	週2日消費生活相談窓口を設置し、来庁及び電話による相談に応じた。また、町広報誌に掲載する消費生活コーナーや敬老会や成人式での啓発品配布など、消費者被害にあわないよう意識の醸成を図ることができた。				
	経営改善普及・商工振興助成経費		A	4. 7	3. 7	商工会に補助金を交付し、経営指導等の中小企業者支援を行わせた。また、カップリングパーティーや松島ブランド認定等の補助により実施し、商工業の観点からの定住促進と地場産品のブランディングに寄与した。				
	利子補給経費		B	-	3. 7	松島町中小企業振興資金制度において、融資を受けた事業者が宮城県信用保証協会に支払う保証料を町で補給し、事業者負担の軽減を図った。				
	宮城黒川地域地場産業振興協議会経費		C	-	-	11月にみやくろ鍋まつりを実施し、七ヶ浜町の産業まつりに出店した。1月には泉パークタウンタピオで物販を行った。				
	中小企業事業資金等融資		B	-	3. 7	町内の金融機関（七十七銀行、石巻商工信用組合）に預託金を支払い、協調倍率内で町内の中小企業者に対する融資あっせんを行い、事業資金の確保に寄与した。				
	起業家支援事業		A	4. 3	3. 7	松島町内で新たに創業を目指す者に対し補助金を交付することで、町内の商工振興及び定住確保に寄与した。本年度は5件の創業者に補助金を交付した。				
実績	【消費生活相談員設置事業】 1, 082, 000 円 ・消費生活相談窓口の設置 週2日（火・金） 相談処理件数 35件 (内訳) 架空請求20件、訪問販売2件、特殊詐欺4件、住宅修繕4件、その他5件									
	【経営改善普及・商工振興助成経費】 ・利府松島商工会への補助金 6, 900, 000 円 ①地域総合振興補助金 6, 000, 000 円 ②松島ブランド推進事業補助金 500, 000 円 ③松島町出合いサポート事業補助金 400, 000 円 ・普通会员数（松島分）348名（前年334名） ・小規模事業者持続化補助金の申請補助（松島分） 12件 ・松島町創業者支援補助金の申請支援 5件 ・地域金融懇親会の開催（R2. 1. 24）商工会主催、町及び町内金融機関出席 ・松島ブランド新規認定 5件（特産品部門3、観光部門2） ※認定式を2月12日に実施した「まつしま実り賞味会」において実施 ・「倉敷×塩竈×松島 観光・特産品交流フェアin仙台駅」への出店（R1. 5. 30～6. 1） ・松島ブランド認定商品販売会in宮城県庁への出店（R1. 9. 30～10. 4） ・「まつり市」への参加（全4回）青年部によるかき氷無償提供実施 ・「松島ハーフマラソン大会」への出店（R1. 10. 6） ・第12回ワクワクカップリングパーティ(R1. 9. 29開催) カップル成立 4組									
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

7	款	1	項	2	目
実績	【利子補給経費】				2,936,531 円
	・ 保証料補給件数 24件 ・ 保証料補給金額 2,936,531円				
	【宮城黒川地域地場産業振興協議会経費】				65,880 円
	・ 負担金 65,880円				
	【中小企業事業資金等融資】				42,000,000 円
	・ 貸付限度額 10,000,000円				
	・ 貸付期間 運転資金7年以内、設備資金10年以内				
	・ 利率 2.20%				
	・ 融資件数 19件				
	・ 融資金額 90,220,000円				
	【起業家支援事業】				3,000,000 円
	・ 創業者事業支援補助金 5件				
課題 方向性	消費者相談については、今後も様々なケースが発生すると思われるが消費生活相談員及び関係機関と情報を共有し被害を未然に防げるよう努めたい。 商工業振興については、商工会との連携と各種融資制度及び補助制度の周知を図り、既存の中小起業家及び新規創業者への支援を継続していきたい。				

一 般 会 計

7	款	1	項	3	目	観光費				
担当部署名				産業観光課観光班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	66,658		63,664					4,239	59,425	
目的	松島観光の復興とともに、観光客の来訪を促進するため、積極的な情報提供や宣伝活動を行う。 また、観光客の利便と安全を確保するため、観光施設等の整備・管理を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	観光行政費		A	3.7	3.7	4月末から5月初めにかけての大型連休により、上半期の観光客入込数は例年と比べ増加傾向にあった。松島産食材のブランド化及び地元の食を求める観光客のニーズを満たすため「松島町商談会」を開催し、町内の生産者と仕入れ業者との交流の場を設けることで、町内産業の総合的な活性化を図った。				
	松島湾プロモーション事業		A	4.7	3.7	本町と観光交流協定を締結し、平成30年7月豪雨の被災地である岡山県倉敷市の観光復興を支援するため、仙台駅での合同プロモーションや、本町発着の倉敷観光ツアー商品を造成し、相互での観光交流を図った。				
	国際交流関係経費		A	4.7	3.7	国際交流員を任用し、観光事業者向けの英会話教室や英語表記の整備を実施し、外国人観光客受入体制の整備を促進した。国際理解を深めるため、児童向けのイベントや外国人観光客向けのウォークツアー等を実施した。				
	施設維持管理経費		B	-	3.7	観光施設の維持管理については、概ね委託し効率化を図った。松島公園津波防災緑地復興工事により、移設撤去を行っていた観光案内サインの再設置工事を実施し、観光客の周遊性を高めるとともに利便性向上を図った。				
実績	【観光客等年別入込数】									
	・観光客等年別入込数(平成31年1月～令和元年12月) 2,981,516 人 (前年 3,054,759 人)									
	・観光客等年別宿泊数(平成31年1月～令和元年12月) 569,645 人 (前年 600,052 人)									
	・主要観光イベント入込数 別頁(P121)のとおり									
	・観光案内所外国人観光客利用者実績 66,855 人 (前年 42,012 人)									
	【観光行政費】								27,928,983 円	
	・松島町観光審議会の開催 ○第1回 日程 令和元年11月8日 内容 令和元年度主要事業について ○第2回 日程 令和2年3月26日 内容 令和2年度当初予算について									
	・ディスカバー松島プロジェクト推進事業「松島町商談会」 ○日程 令和2年2月12日 ○場所 ホテル松島大観荘 千代の間 ○参加数 仕入れ業者 16事業者 生産者 11事業者									
	・「日本三景の日」記念事業 ○内容 航空自衛隊第4航空団所属ブルーインパルスの展示飛行等の実施。 ○日程 令和元年7月21日 ○場所 松島海岸中央広場 ○入込数 10,000人									
(次頁へ続く)										

7 款	1 項	3 目
実績		・「出張！なんでも鑑定団in松島」公開収録 ○収録日 平成31年4月21日 ○場所 松島町文化観光交流館 大ホール ○観覧者 428人 ○放送日 令和元年6月22日 ・JR東日本連携企画「駅長オススメの小さな旅」 ○春編 内容 「桜香る季節にめぐる風光明媚な松島」 日程 平成31年4月16日 参加者 18人 ○秋編 内容 「紅葉いろどる秋の松島で“伊達な”日本遺産をめぐる」 日程 令和元年11月1日 参加者 14人 ・松島町発地型観光パンフレット印刷 600,000 円 ○部数 30,000部 ○配布先 関西圏や首都圏の空港、観光案内所、旅行代理店 等 ・松島町観光施設Wi-Fi環境保守運用業務委託 640,920 円 ○場所 町内観光施設4箇所（松島町文化観光交流館、カフェ・ベイランド、松島パノラマハウス、観瀾亭・松島博物館） 【松島湾プロモーション事業】 3,956,856 円 ・松島ファンクラブ事業 会員数 971人 ・松島こども英語ガイド事業 ○期間 令和元年7月13日～8月16日（オリエンテーション1回、英語サロン9回、実践2回） ○場所 福浦島、五大堂、株式会社松島蒲鉾本舗 ○参加者 町内の小学5年生～中学2年生 16人 ・松島湾アマモ再生事業「松島湾 うみっこ たづっこ プロジェクト」 ○「橋の日」記念イベント（アマモ生育環境整備） 日程 令和元年8月4日 場所 福浦橋 参加者 一般参加者 1,322人 ○アマモの種子散布 日程 令和元年11月2日 場所 福浦橋 ○「文化の日」記念イベント（アカモク生育環境整備） 日程 令和元年11月3日 場所 福浦橋 参加者 一般参加者 1,397人 ・JR東日本「TRAIN SUITE 四季島」おもてなし ○日程 令和元年11月30日～12月24日（全6回） ○場所 JR松島駅構内 ・世界で最も美しい松島湾清掃ツアー ○日程 令和元年11月24日 ○場所 福浦島、瑞巖寺 等 ○参加者 一般参加者 37人 ・「世界で最も美しい」湾LOVEキャンペーン業務委託 180,000 円 ○内容 世界で最も美しい湾クラブ国内加盟湾（松島湾、富山湾、駿河湾、宮津湾・伊根湾、九十九島湾）による一体的なプロモーションとして、国内加盟湾に関するエピソードを募集し、入選作品を活用した統一デザインのポスターを作成。 ○応募数 123件（うち松島湾27件）
		(次頁へ続く)

7 款	1 項	3 目
実績	・ 合同プロモーション「倉敷×塩竈×松島 観光・特産品交流フェアin仙台駅」 ○ 内容 3市町首長等によるトップセールス、特産品の販売、観光PRの実施。 ○ 期間 令和元年5月30日～6月1日 ○ 場所 JR仙台駅2階ステンドグラス前 ○ 参加者 岡山県倉敷市4事業者、塩竈市5事業者、松島町5事業者 ・ 松島平泉周遊関西圏プロモーション業務（倉敷観光ツアー商品造成）委託 484,000 円 ○ 内容 平成30年7月豪雨の被災地である倉敷市（観光交流協定締結）の観光振興を支援するため、松島町発着の倉敷ツアー旅行商品造成を実施。 ○ 日程 令和元年10月5日～10月7日 ○ 場所 岡山県倉敷市 ○ 参加数 12人	
	【国際交流関係経費】	
	・ 国際交流員の任用 1人 ・ 海外からの要人等来客の対応 ○ 中国 武漢市観光・教育視察団宮城県訪問 ○ ベラルーシ 駐日ベラルーシ共和国特命全権大使訪問団 ○ その他 在京大使館関係者による宮城県訪問（リトアニア等6か国） 等 ・ 国際交流員活用による事業 ○ 「松島町からの英語によるコンサルティング」事業 - 松島観光協会おもてなし英会話セミナー（全4回） - 松島旅館組合英会話教室（全7回） - 観光事業者等の英訳サポート 等 ○ 「Visit Matsushima」フェイスブックページの運営 ○ 海外要人等来客の対応 ○ 国際交流イベントの実施 - 町内児童向け「アメリカのハロウィーンイベント」の実施（令和元年10月21日） - 外国人観光客向け「松島ウォークツアー」の実施（令和元年11月12日） ○ 地域活動の参加 - 松島流灯会 海の盆での留学生等の浴衣体験ボランティア - 松島高等学校茶道部活動 等 ・ 世界で最も美しい湾クラブ事業 ○ 第15回世界で最も美しい湾クラブ世界会議に出席 - 日程 令和元年10月16日～19日 - 場所 富山県富山市 ○ 世界湾の日啓発事業（松島湾の取り組みについて） - 日程 令和元年6月8日 - 場所 石田沢防災センター 会議室 - 参加者 宮城学院女子大学学生 76人 ・ 松島町多言語パンフレット印刷 457,050 円 ○ 部数 英語5,000部、フランス語5,000部、タイ語5,000部 ・ 第26回タイ国際旅行フェア「松島湾ブース」の出席 ○ 内容 仙台～バンコク便の再開に伴い、松島湾エリアへのタイ王国からの誘客を図るため、塩竈市、東松島市、松島町での合同ブースを出展し、PRを実施。 ○ 日程 令和2年1月16日～1月19日 ○ 場所 タイ王国ノンタブリー県	

(次頁へ続く)

7 款	1 項	3 目
実績	【施設維持管理経費】 24,460,848 円 ・ 観光施設清掃業務委託 ○ 内容 観光施設公衆便所清掃他 3,963,240 円 ○ 場所 瑞巖寺総門前公衆便所、西行戻しの松公園公衆便所、富山観音公衆便所、西行戻しの松公園防災器具庫脇公衆便所、三十刈駐車場公衆便所、双観山公衆便所、松島パノラマハウス ・ 観光施設日常清掃業務委託 ○ 内容 松島公園清掃他 2,243,220 円 ○ 場所 三十刈駐車場、西行戻しの松公園、国際交流村、白衣観音堂周辺、新富山、双観山、雁金森、観瀾亭・松島博物館 ・ 観光施設樹木剪定業務委託 ○ 内容 樹木剪定工・枯枝撤去工他 2,762,100 円 ○ 場所 国際交流村、双観山、新富山、白衣観音周辺、はす池広場 ・ 観光施設除草業務委託 ○ 内容 除草・集草・側溝清掃他 3,816,440 円 ○ 場所 国際交流村、双観山、新富山、西行戻しの松公園 ・ 県立都市公園松島公園観光案内サイン再設置工事 864,000 円 ○ 内容 松島公園津波防災緑地復興工事により移設撤去を行った観光案内サイン等の再設置工事。 ○ 場所 観光客誘導標識 N=5箇所 ・ 観光案内サイン撤去工事 990,000 円 ○ 内容 老朽化した観光案内サインの撤去工事。 ○ 場所 観光客誘導標識 N=3箇所	
課題 方向性	東日本大震災の発生以降、観光事業に関しては松島観光協会や県、関係自治体等との連携を図りながら、国内外からの誘客事業を実施し、観光客入込数は回復傾向にあった。しかしながら新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、本町の観光事業にも大きな影響を受けた。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、松島のブランド力を高めるため地元産業の総合的な活性化を図り、近隣の観光客を誘致するための「マイクロツーリズム（近場での旅行・観光）」を推進する必要がある。	

観光客年別月別入込数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	年	
12年	165,000	165,000	188,000	286,000	416,000	307,000	360,000	639,000	309,000	380,000	320,000	126,000	3,661,000	12年	
13年	145,000	172,000	193,000	302,000	415,000	305,000	372,000	633,000	323,000	374,000	339,000	130,000	3,703,000	13年	宮城国体開催
14年	149,000	176,000	194,000	292,000	408,000	298,000	370,000	652,000	335,000	376,000	345,000	142,000	3,737,000	14年	ワールドカップサッカー競技開催・東北新幹線八戸開業
15年	163,000	179,000	207,000	286,000	393,000	303,000	371,000	626,000	318,000	373,000	343,000	136,000	3,698,000	15年	7月宮城県北部連続地震
16年	161,000	174,000	193,000	273,000	406,000	294,000	374,000	641,000	316,000	360,000	331,000	137,000	3,660,000	16年	新潟中越地震
17年	124,000	259,000	175,000	223,000	374,000	304,000	258,000	600,000	308,000	366,000	278,000	150,000	3,419,000	17年	東北楽天イーグルス誕生、名古屋万博「愛地球博」
18年	120,000	240,000	173,000	211,000	395,000	303,000	279,000	816,000	313,000	366,000	342,000	153,000	3,711,000	18年	8月五大堂御開帳祭典
19年	132,000	267,000	168,000	222,000	364,000	321,000	273,000	681,000	349,000	384,000	356,000	168,000	3,685,000	19年	3月18日仙台空港アークセス鉄道運行開始
20年	133,000	247,000	205,000	210,000	331,000	289,000	235,000	610,000	282,000	348,000	391,000	192,000	3,473,000	20年	8月松島温泉開湯、10月～12月宮城デスティネーションキャンペーン
21年	138,000	246,000	203,000	216,000	379,000	295,000	280,000	719,000	380,000	343,000	381,000	155,000	3,735,000	21年	3月ETC1,000円割引スタート、9月シルバーク、9月瑞巖寺大改修開始
22年	137,986	216,572	183,737	192,126	337,265	287,199	281,213	714,110	302,772	341,763	385,404	188,474	3,568,621	22年	1～3月天候不順、2月28日大津波警報、7～8月夏猛暑
23年	150,024	245,152	45,739	93,634	186,917	152,531	195,141	319,965	194,921	227,657	280,565	145,552	2,237,798	23年	3月11日：東日本大震災 4月7日：余震 9月：台風15号
24年	114,862	173,494	151,754	149,475	240,288	228,818	222,488	430,654	257,229	270,335	287,176	124,211	2,650,784	24年	8/19、8/20宮城国際ヒーローサミット
25年	120,852	189,307	173,579	187,347	290,227	258,377	235,265	446,261	259,475	272,864	360,992	186,647	2,981,193	25年	4月～6月仙台・宮城デスティネーションキャンペーン 9/28～10/13ルッセルンブエスティバルアークアザ松島2013
26年	140,419	170,119	179,370	181,883	284,594	253,048	218,269	434,181	273,807	280,683	365,518	149,358	2,931,249	26年	4/1消費税増税(8%) 9/20GLAY EXPO 2014 TOHOKU
27年	137,404	197,490	204,441	226,092	327,278	199,567	201,279	345,945	246,345	260,335	320,530	143,047	2,809,753	27年	3月1日 常磐自動車道全線開通 5月10日マリニピア松島水族館営業終了 5月30日JR仙石線全線運転再開・JR仙石東北ライン開業
28年	124,268	162,947	168,439	187,834	269,559	218,218	228,138	367,364	242,795	305,635	343,858	149,785	2,768,840	28年	3月26日北海道新幹線開業 4月5日瑞巖寺本堂再拝観開始 9月2日ザ・ミュージアム松島開館
29年	135,376	162,751	173,411	177,345	257,875	210,339	214,368	356,531	250,260	284,240	378,292	145,997	2,746,785	29年	7月22日～9月10日Reborn-Art Festival開催 9月2日松島ファンタスティック音楽祭×Reborn-Art Festival開催
30年	129,264	173,653	181,893	193,763	272,621	300,750	233,850	387,109	282,472	328,299	400,468	170,617	3,054,759	30年	6月22日 国宝瑞巖寺落慶慶祝前夜祭開催、6月24日 国宝瑞巖寺落慶法要
31年 1年	137,010	181,601	190,319	221,053	316,807	239,124	234,554	399,082	266,907	259,114	371,814	164,131	2,981,516	31年 1年	8月3日～9月29日Reborn-Art Festival開催 10月12日台風第19号

(過去20年分を記載)

観光客年別月別宿泊数

(単位:人)

年／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
12年	68,000	63,000	71,000	69,500	76,000	79,000	82,000	99,000	73,000	90,400	85,000	75,000	930,900
13年	62,600	56,400	67,000	65,500	76,200	79,200	64,500	91,600	75,800	94,600	77,500	75,200	886,100
14年	55,000	54,700	62,600	62,000	69,700	70,700	62,000	93,700	66,600	78,900	75,400	74,400	825,700
15年	53,500	48,500	60,900	50,700	69,300	70,600	61,900	85,600	65,500	73,200	75,700	76,200	791,600
16年	54,300	52,100	61,400	53,800	67,000	66,300	63,700	91,200	71,200	71,300	69,500	63,800	785,600
17年	43,900	44,000	50,700	49,300	56,500	59,100	53,400	77,800	54,000	67,900	58,600	62,300	677,500
18年	47,200	43,000	48,300	45,500	56,300	58,500	56,200	80,400	56,000	66,200	60,900	57,000	675,500
19年	41,200	42,800	48,000	43,600	59,100	62,400	54,900	81,900	56,300	66,700	60,500	56,600	674,000
20年	41,100	40,700	49,700	42,600	53,900	55,500	46,700	70,500	50,000	60,100	65,600	59,500	635,900
21年	43,900	44,200	53,400	48,500	55,500	57,800	55,200	77,800	56,000	64,700	65,100	53,800	675,900
22年	46,024	46,298	51,355	48,866	50,291	55,790	55,814	78,530	58,583	65,692	67,783	64,314	689,340
23年	52,920	45,625	20,160	76,163	112,004	95,693	96,112	90,645	69,615	71,293	79,045	74,298	883,573
24年	54,141	47,519	53,988	38,062	45,862	49,791	48,300	67,930	56,037	59,760	60,032	52,867	634,289
25年	45,365	46,384	55,053	45,577	49,530	52,843	50,484	69,728	54,325	57,997	62,038	55,036	644,360
26年	47,470	42,827	53,948	42,223	48,086	50,962	48,792	63,377	49,044	57,751	58,453	55,356	618,289
27年	46,546	41,827	51,065	44,506	48,781	48,279	52,348	73,764	54,644	62,202	61,563	56,752	642,277
28年	50,178	45,779	55,307	48,836	48,407	51,041	51,221	64,660	52,888	62,426	57,760	54,828	643,331
29年	45,810	39,996	50,164	49,948	43,635	46,174	50,259	67,636	51,340	56,585	57,330	50,279	609,156
30年	43,769	42,257	51,278	43,053	47,504	51,915	43,149	62,364	51,495	56,507	55,090	51,671	600,052
31年・1年	40,633	39,006	48,477	41,905	44,838	47,644	45,317	64,063	47,142	47,869	53,754	48,997	569,645

(過去20年分を記載)

松島町主要観光イベント入込数

(単位:人)

年度	瑞巖寺灯灯道	灯籠流し花火大会	松島流灯会 海の盆	園遊茶会	紅葉ライトアップ	芭蕉祭並びに全国俳句大会	松島かき祭り	冬のとおき松島
12	第 4 回 46,000	270,000		第12回 3,000		第46回 300人 1,837句	第23回 180,000	10,735
13	第 5 回 36,000	280,000		第13回 3,000		第47回 250人 1,866句	第24回 100,000	10,003
14	第 6 回 55,000	220,000		第14回 3,100		第48回 287人 2,072句	第25回 105,000	9,297
15	第 7 回 52,000	150,000		第15回 3,000		第49回 260人 2,087句	第26回 155,000	9,518
16	第 8 回 78,500	180,000		第16回 2,500		第50回 300人 2,536句	第27回 125,000	10,043
17	第 9 回 63,000	110,000		第17回 3,000		第51回 275人 2,019句	第28回 115,000	7,912
18	第10回 61,000	160,000		第18回 3,500	第 1 回 15000	第52回 250人 2,145句	第29回 120,000	10,711
19	第11回 50,000	120,000		第19回 3,000	第 2 回 22,000	第53回 250人 2,098句	第30回 100,000	11,295
20	第12回 56,500	140,000		第20回 3,500	第 3 回 32,000	第54回 250人 1,839句	第31回 100,000	10,882
21	第13回 64,000	143,000		第21回 3,500	第 4 回 39,000	第55回 250人 1,722句	第32回 73,000	14,851
22	第14回 69,100	154,000		第22回 3,000	第 5 回 52,000	第56回 300人 2,054句	第33回 95,000	8,733
23	第15回 24,800	—	第1回 58,000	—	第 6 回 33,600	第57回 280人 2,108句	第34回 67,000	3,141
24	第16回 25,900	—	第2回 42,000	—	第 7 回 43,384	第58回 250人 1,710句	第35回 52,000	—
25	第17回 16,500	—	第3回 42,500	—	第 8 回 47,926	第59回 160人 1,852句	第36回 52,500	5,046
26	第18回 10,000	—	第4回 47,000	—	第 9 回 54,065	第60回 200人 1,893句	第37回 51,500	5,047
27	—	—	第5回 28,000	—	第10回 55,005	第61回 200人 1,758句	第38回 30,000	6,196
28	—	—	第6回 42,000	—	第11回 69,546	第62回 150人 1,790句	第39回 35,000	—
29	—	—	第7回 20,000	—	第12回 76,487	第63回 160人 1,710句	第40回 36,000	—
30	—	—	第8回 33,000	—	第13回 82,696	第64回 190人 1,731句	第41回 38,000	—
31・1	—	—	第9回 33,000	—	第14回 62,050	第65回 200人 1,855句	第42回 43,000	—

(過去20年分を記載)

年度別観光案内所外国人観光客利用者実績

(単位:人)

国 名	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度
アメリカ	962	806	1,022	803	1,078	848	1,098	879	838	875	276	524	643	609	712	770	1,713	2,333	2,803
台湾	449	629	324	617	976	1,149	1,270	1,201	1,081	1,525	248	876	1,139	1,695	2,491	4,074	33,815	32,304	51,158
フランス	143	266	194	200	354	373	493	671	557	627	65	152	204	232	293	317	223	425	431
シンガポール	54	109	65	130	127	184	264	301	406	613	52	101	93	116	143	149	225	137	217
ドイツ	122	235	201	231	243	326	311	397	395	442	61	105	202	216	268	306	274	331	403
韓国	471	729	517	682	665	598	752	581	597	750	80	260	223	166	219	288	328	617	397
イギリス	158	306	201	202	266	245	324	337	227	239	78	112	167	255	186	291	201	244	322
香港	1,341	1,995	899	1,326	966	1,135	2,497	1,674	1,505	1,936	87	260	242	485	389	478	418	571	567
中国	263	480	383	263	457	271	463	499	402	646	260	605	688	908	1,886	2,206	1,042	983	1,173
オーストラリア	159	168	204	240	240	289	373	514	378	478	39	188	158	308	291	397	399	688	1,029
カナダ	112	162	178	163	195	144	177	211	185	217	41	78	103	98	124	136	135	138	217
スイス	25	62	48	57	82	51	88	125	148	154	7	51	78	64	87	105	62	71	142
スペイン	19	45	69	77	94	288	171	272	308	320	29	67	80	109	131	143	118	133	140
ブラジル	28	31	51	33	34	23	28	44	17	42	13	33	16	71	27	32	62	21	91
アフリカ諸国	7	7	6	9	20	6	20	19	0	0	0	0	1	21	26	41	27	50	36
イスラエル	6	22	16	19	30	75	55	55	53	83	16	4	44	45	46	82	146	118	186
タイ	60	116	74	76	107	207	472	637	779	899	94	406	936	780	603	780	1,602	1,413	5,366
ロシア	33	33	43	32	52	58	53	30	61	57	18	51	40	47	39	52	80	56	116
ポーランド	12	8	8	14	14	39	45	48	42	119	14	21	64	28	60	49	26	34	40
フィリピン	14	25	12	23	47	19	23	31	25	20	3	20	29	57	44	61	39	63	74
スウェーデン	10	70	12	10	34	36	49	41	50	24	12	38	22	26	20	38	14	25	64
インド	109	65	60	135	80	86	125	133	72	73	33	61	57	93	88	125	106	84	115
マレーシア	17	18	30	38	38	35	32	85	49	125	35	52	71	99	88	99	114	79	399
イタリア	20	51	57	39	34	86	95	98	167	161	7	23	29	55	84	125	56	53	107
その他	2,051	3,389	2,366	2,713	2,515	3,708	630	528	646	709	185	458	564	592	537	614	630	1,041	1,262
人 数	6,645	9,827	7,040	8,132	8,748	10,279	9,908	9,411	8,988	11,134	1,753	4,546	5,893	7,175	8,882	11,758	41,855	42,012	66,855
国 数	54	73	57	66	71	76	79	79	84	87	66	74	78	90	69	79	76	92	85

※令和2年3月末現在の数値

※平成28年度まで松島海岸駅前観光案内所外国人利用者実績

※平成29年度から松島観光協会観光案内所外国人利用者実績

一 般 会 計

7	款	1	項	4	目	文化観光交流館費																							
担当部署名				中央公民館					(単位:千円)																				
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																								
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																				
	24,909		24,477						24,477																				
目的	町の文化創造の拠点として、質の高い舞台芸術や音楽文化鑑賞などの学習機会を提供し、生涯学習の推進と芸術文化の裾野拡大を図る。																												
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																							
	文化観光交流館施設維持管理経費		A	3.3	4.0	指定管理も5年目を迎え、民間のノウハウによる専門的な知識や技術による施設の運営がなされ、利用者の利便性が向上した。																							
	文化観光交流館運営経費		A	3.3	3.7	令和2年10月の指定管理更新に伴い、現在町が主体で行っている保守点検等の業務委託について整理をし、指定管理者へ移行する準備を行った。																							
実績	【文化観光交流館施設維持管理経費】																												
	1 文化観光交流館指定管理																												
	・ 指定管理料 20,766,440円 (平成31年4月から令和2年3月まで)																												
	・ 指定管理期間 平成27年10月から令和2年9月まで (5年間)																												
	・ 指定管理者 株式会社BBI																												
	2 指定管理者主催事業																												
	<table><tr><th>名 称</th><th>内 容</th><th>実施日</th><th>来館者数</th></tr><tr><td>アトレ・るワークショップ DAY</td><td>文化観光交流館を無料で開放し、松島町または周辺地域で活動している個人またはグループ (6組) が参加し、ワークショップを開催した。(折り紙、射的工作、ハーバリウム体験など)</td><td>5月5日</td><td>60人</td></tr><tr><td>第4回アトレ・るまつり</td><td>第4回目となるアトレ・るまつりは、ミニSLや模擬店、各種体験コーナーや大道芸などがあり、子どもから年配の方まで多くの方で賑わった。また、まつりの市、フリーマーケットなど幅広い年齢層の来場者があり、大いに盛り上がった。</td><td>7月28日</td><td>700人</td></tr><tr><td>おらほの松島 アトレ・るのど自慢大会</td><td>松島町公民館分館の協力を得て開催したのど自慢大会は、参加チーム8組と漫才師のニードルの参加、ゲスト審査員による歌唱指導やミニライブなど盛りだくさんの内容で出演者と観客の一体感のある催しとなった。</td><td>11月30日</td><td>250人</td></tr><tr><td>新春二人会VOL. 5</td><td>毎年恒例となった二人会は、ウクレレ漫談でお馴染みのびろきさんを迎え、「陽気に明るくいきましょう」をテーマに六華亭遊花さんの掛け合いが笑いを誘い、会場を盛り上げた。</td><td>2月2日</td><td>160人</td></tr></table>									名 称	内 容	実施日	来館者数	アトレ・るワークショップ DAY	文化観光交流館を無料で開放し、松島町または周辺地域で活動している個人またはグループ (6組) が参加し、ワークショップを開催した。(折り紙、射的工作、ハーバリウム体験など)	5月5日	60人	第4回アトレ・るまつり	第4回目となるアトレ・るまつりは、ミニSLや模擬店、各種体験コーナーや大道芸などがあり、子どもから年配の方まで多くの方で賑わった。また、まつりの市、フリーマーケットなど幅広い年齢層の来場者があり、大いに盛り上がった。	7月28日	700人	おらほの松島 アトレ・るのど自慢大会	松島町公民館分館の協力を得て開催したのど自慢大会は、参加チーム8組と漫才師のニードルの参加、ゲスト審査員による歌唱指導やミニライブなど盛りだくさんの内容で出演者と観客の一体感のある催しとなった。	11月30日	250人	新春二人会VOL. 5	毎年恒例となった二人会は、ウクレレ漫談でお馴染みのびろきさんを迎え、「陽気に明るくいきましょう」をテーマに六華亭遊花さんの掛け合いが笑いを誘い、会場を盛り上げた。	2月2日	160人
	名 称	内 容	実施日	来館者数																									
	アトレ・るワークショップ DAY	文化観光交流館を無料で開放し、松島町または周辺地域で活動している個人またはグループ (6組) が参加し、ワークショップを開催した。(折り紙、射的工作、ハーバリウム体験など)	5月5日	60人																									
	第4回アトレ・るまつり	第4回目となるアトレ・るまつりは、ミニSLや模擬店、各種体験コーナーや大道芸などがあり、子どもから年配の方まで多くの方で賑わった。また、まつりの市、フリーマーケットなど幅広い年齢層の来場者があり、大いに盛り上がった。	7月28日	700人																									
おらほの松島 アトレ・るのど自慢大会	松島町公民館分館の協力を得て開催したのど自慢大会は、参加チーム8組と漫才師のニードルの参加、ゲスト審査員による歌唱指導やミニライブなど盛りだくさんの内容で出演者と観客の一体感のある催しとなった。	11月30日	250人																										
新春二人会VOL. 5	毎年恒例となった二人会は、ウクレレ漫談でお馴染みのびろきさんを迎え、「陽気に明るくいきましょう」をテーマに六華亭遊花さんの掛け合いが笑いを誘い、会場を盛り上げた。	2月2日	160人																										

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

3 利用状況

単位：人 () 内は申請件数

	一般	町外	社教	役場	教室	計
4月	310 (16)	509 (18)	251 (14)	712 (41)	640 (57)	2,422 (146)
5月	236 (30)	525 (20)	159 (7)	220 (11)	593 (50)	1,733 (118)
6月	774 (23)	248 (16)	85 (8)	485 (24)	584 (53)	2,176 (124)
7月	966 (33)	658 (18)	329 (20)	748 (83)	520 (47)	3,221 (201)
8月	1,170 (17)	512 (20)	363 (13)	341 (43)	545 (50)	2,931 (143)
9月	647 (33)	147 (10)	188 (14)	875 (41)	505 (41)	2,362 (139)
10月	188 (7)	13,902 (41)	577 (33)	1,106 (69)	562 (49)	16,335 (199)
11月	394 (37)	751 (38)	105 (11)	3,280 (67)	529 (46)	5,059 (199)
12月	160 (7)	1,313 (77)	444 (18)	170 (14)	645 (36)	2,732 (152)
1月	403 (15)	319 (11)	216 (17)	439 (49)	423 (42)	1,800 (134)
2月	228 (20)	534 (34)	1,006 (35)	413 (70)	469 (41)	2,650 (200)
3月	0 (0)	10 (1)	27 (2)	1,571 (40)	10 (1)	1,618 (44)
合計	5,476 (238)	19,428 (304)	3,750 (192)	10,360 (552)	6,025 (513)	45,039 (1,799)

※ 施設別利用状況

単位：人

大ホール	会議室	調理室	リハーサル室	研修室	和室	講座室	その他
32,680	3,145	348	1,239	2,440	1,516	2,719	952

【文化観光交流館運営経費】

3,709,726 円

・委託料	3,340,437 円
① 機械警備業務委託	376,704 円
② 自家用電気工作物保守点検業務委託	275,097 円
③ エレベーター保守点検業務委託	497,040 円
④ 空調設備保守点検業務委託	572,000 円
⑤ 舞台機構保守点検業務委託	227,700 円
⑥ 自家用発電装置保守点検業務委託	57,200 円
⑦ 自動扉開閉装置保守点検業務委託	51,700 円
⑧ 消防設備保守点検業務委託	49,996 円
⑨ 貯水槽清掃業務委託	45,360 円
⑩ 油分分離沈殿槽清掃業務委託	22,000 円
⑪ 草刈清掃業務委託	197,640 円
⑫ 樹木剪定業務委託	968,000 円

課題 方向性

新型コロナウイルス感染症対応で休館時の住民対応や保健衛生面の強化を実施したが、今後とも、町全体の感染症対策に基づき指定管理者と協議しながら、安心安全で、かつ、文化・芸術、観光交流や生涯学習の拠点として、より町民が利用しやすく親しみやすい文化観光交流館としていく。

一 般 会 計

8 款	2 項	2 目	道路維持費						
担当部署名			建設課建設班・管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	108,685	75,394	2,541		8,300	14,320	50,233		
目的	町道等の補修や草刈、除雪・融雪などを実施し、地域住民が利用しやすい道路環境を保全する。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	道路面補修事業	A	4.7	4.0	復旧・復興事業の大型工事車両の往来により損傷の著しい町道の舗装補修工事を発注し、事業の進捗が図られた。				
	定期点検	A	4.7	4.0	道路法に基づき町道トンネルの定期点検を実施し、施設の状態、健全性の把握に努めた。				
	道路施設長寿命化対策事業（橋梁長寿命化対策事業）	A	5.0	2.3	舗装長寿命化修繕計画に基づき道路舗装補修工事を実施し、道路環境の保全が図られた。				
	道路維持工事経費	A	4.7	3.3	道路の維持補修及び水路補修の工事を実施し、道路環境の保全が図られた。				
	道路維持管理経費	B	-	3.7	町道等の維持管理を実施したことにより、道路環境の保全が図れた。また、地域住民と協同で草刈及び融雪を実施し交通安全等に努めた。				
	大和松島線公衆便所維持管理経費	B	-	3.7	大和松島線公衆便所・駐車場について清掃を実施することにより、利用環境の整備を図った。				
実績	■建設課 建設班所管								
	【町道路面補修事業】（東日本大震災復興交付金） 復旧・復興事業の大型車両の通行により損傷の著しい町道の舗装補修工事を実施した。								
	1 工事請負費				17,900,000 円				
	・町道手樽・富山駅線舗装補修工事（前払金）				17,900,000 円				
	【定期点検】道路附属物点検事業（社会資本整備総合交付金） 町道のトンネルの定期点検を実施した。								
	1 委託料				4,620,000 円				
	・松島町道路トンネル定期点検外業務委託 町道トンネル点検 N=3箇所				4,620,000 円				
	【道路施設長寿命化対策事業（橋梁長寿命化対策事業）】 町道の舗装補修工事を実施した。								
	1 工事請負費				9,273,000 円				
	・町道新田町・猪里沢線外舗装補修工事 舗装補修工 N=3箇所 L=541m				9,273,000 円				

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

8 款	2 項	2 目																																																			
	【道路維持管理経費】 道路の維持補修及び水路補修の工事を実施した。 <table> <tr> <td>1</td><td>工事請負費</td><td>4,990,700 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 町道新田町・猪里沢線外舗装補修工事 舗装補修工 N=1箇所 L=31m</td><td>519,200 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 町道人筈・一ノ渡線外道路補修工事 道路補修工 N=2箇所</td><td>4,471,500 円</td></tr> </table> ■建設課 管理班所管 【道路維持管理経費】 <table> <tr> <td>1</td><td>需用費（消耗品費）</td><td>1,592,484 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 融雪剤購入費 200袋（5,000kg） 融雪箱等 79箇所（補充回数11回）</td><td>213,400 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 草刈機刈刃購入費 400枚 各行政区の除草作業時支給（年1枚／人）</td><td>682,552 円</td></tr> <tr> <td>2</td><td>委託料</td><td>27,245,820 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 道路維持管理業務委託（その1～その3） 道路補修・側溝補修・道路碎石敷・側溝清掃・道路支障木伐採等</td><td>13,933,520 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 道路除草業務委託 8路線 年2回実施・通学路等 随時実施</td><td>3,024,000 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 道路除雪業務委託（北部・南部・西部） 幹線道路等 実施なし 小型除雪機5台を4地区に配置</td><td>6,859,600 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 道路融雪剤散布業務委託 6路線 1月4回・2月3回実施</td><td>3,428,700 円</td></tr> <tr> <td>3</td><td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ 維持管理用原材料 常温合材・セメント・碎石・側溝蓋等</td><td>2,999,035 円</td></tr> </table> 【大和松島線公衆便所維持管理経費】 <table> <tr> <td>1</td><td>委託料</td><td>994,076 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 大和松島線公衆便所清掃業務委託（週6回実施）</td><td>703,188 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 大和松島線公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回実施）</td><td>51,528 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 大和松島線公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回実施）</td><td>239,360 円</td></tr> </table>		1	工事請負費	4,990,700 円		・ 町道新田町・猪里沢線外舗装補修工事 舗装補修工 N=1箇所 L=31m	519,200 円		・ 町道人筈・一ノ渡線外道路補修工事 道路補修工 N=2箇所	4,471,500 円	1	需用費（消耗品費）	1,592,484 円		・ 融雪剤購入費 200袋（5,000kg） 融雪箱等 79箇所（補充回数11回）	213,400 円		・ 草刈機刈刃購入費 400枚 各行政区の除草作業時支給（年1枚／人）	682,552 円	2	委託料	27,245,820 円		・ 道路維持管理業務委託（その1～その3） 道路補修・側溝補修・道路碎石敷・側溝清掃・道路支障木伐採等	13,933,520 円		・ 道路除草業務委託 8路線 年2回実施・通学路等 随時実施	3,024,000 円		・ 道路除雪業務委託（北部・南部・西部） 幹線道路等 実施なし 小型除雪機5台を4地区に配置	6,859,600 円		・ 道路融雪剤散布業務委託 6路線 1月4回・2月3回実施	3,428,700 円	3	原材料費			・ 維持管理用原材料 常温合材・セメント・碎石・側溝蓋等	2,999,035 円	1	委託料	994,076 円		・ 大和松島線公衆便所清掃業務委託（週6回実施）	703,188 円		・ 大和松島線公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回実施）	51,528 円		・ 大和松島線公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回実施）	239,360 円
1	工事請負費	4,990,700 円																																																			
	・ 町道新田町・猪里沢線外舗装補修工事 舗装補修工 N=1箇所 L=31m	519,200 円																																																			
	・ 町道人筈・一ノ渡線外道路補修工事 道路補修工 N=2箇所	4,471,500 円																																																			
1	需用費（消耗品費）	1,592,484 円																																																			
	・ 融雪剤購入費 200袋（5,000kg） 融雪箱等 79箇所（補充回数11回）	213,400 円																																																			
	・ 草刈機刈刃購入費 400枚 各行政区の除草作業時支給（年1枚／人）	682,552 円																																																			
2	委託料	27,245,820 円																																																			
	・ 道路維持管理業務委託（その1～その3） 道路補修・側溝補修・道路碎石敷・側溝清掃・道路支障木伐採等	13,933,520 円																																																			
	・ 道路除草業務委託 8路線 年2回実施・通学路等 随時実施	3,024,000 円																																																			
	・ 道路除雪業務委託（北部・南部・西部） 幹線道路等 実施なし 小型除雪機5台を4地区に配置	6,859,600 円																																																			
	・ 道路融雪剤散布業務委託 6路線 1月4回・2月3回実施	3,428,700 円																																																			
3	原材料費																																																				
	・ 維持管理用原材料 常温合材・セメント・碎石・側溝蓋等	2,999,035 円																																																			
1	委託料	994,076 円																																																			
	・ 大和松島線公衆便所清掃業務委託（週6回実施）	703,188 円																																																			
	・ 大和松島線公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回実施）	51,528 円																																																			
	・ 大和松島線公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回実施）	239,360 円																																																			
課題 方向性	■建設課 建設班所管 道路附属物点検事業については、業務量の平準化を図りつつ事業を継続する。結果を長寿命化修繕計画へ反映させる。 道路施設長寿命化対策事業については、ランニングコストの削減を図りつつ、適切な維持管理を継続的に行うため、各施設の長寿命化修繕計画を策定し、計画的に補修工事を行っていく。 道路維持工事経費については、道路環境の保全のため、側溝改良や舗装補修等を行っていく。町全体のなかで優先順位を付け、継続して進めて行く。 ■建設課 管理班所管 復旧・復興事業により新設町道や避難道路の整備が進み利便性が上る一方、道路維持管理費用の増加が見込まれる。また、草刈や除雪・融雪についても地域要望が増加しており、業務委託・直営・地域と調整を図りながら、より効率的な道路維持管理を実施していく。																																																				

一 般 会 計

8	款	2	項	3	目	道路新設改良費					(単位:千円)
担当部署名				建設課建設班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	1, 550, 029		891, 295					686, 568	204, 727		
目的	震災復興計画の具体化に向け、東日本大震災復興交付金事業として避難道路を整備し、沿岸部住民の迅速かつ安全な避難経路の確保を図る。 また、砂利道について舗装を行い、住民が快適で利用しやすい道路環境の整備を図る。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	避難道路整備事業		A	5. 0	3. 7	東日本大震災の地震や津波により、甚大な被害を受けた松島地区、高城・磯崎地区、手樽地区において、住民や観光客を高台の避難場所へ迅速かつ安全に避難させるため避難道路整備の進捗が図られた。					
	富山避難道路整備事業		A	4. 7	4. 0	漁業集落地域の近傍に位置し、松島四大観の一つに数えられる富山観音を含むエリアの観光客等が近隣避難所に安全に避難することができる避難路が整備された。					
実績	【避難道路整備事業】（東日本大震災復興交付金） 詳細設計及び避難道路整備工事を実施した。										
	1 委託料									135, 420, 479 円	
	・ 東北本線塩釜・松島間電力設備支障改修および立木伐採に関する協定									25, 303, 429 円	
	・ 仙石線高城町・手樽間第2磯崎踏切拡幅に伴う水路改修工事委託に関する協定									3, 552, 349 円	
	・ 仙石線高城町・手樽間第2磯崎踏切拡幅工事委託に関する協定									106, 359, 501 円	
	・ 町道華園団地幹線標準地鑑定評価時点修正率意見書作成業務委託									205, 200 円	
	2 工事請負費									183, 042, 260 円	
	・ 町道松島海岸・湯ノ原線避難道路整備その2工事 (前払金)									12, 900, 000 円	
	・ 町道高城・松島線避難道路整備その5工事 (前払金)									14, 300, 000 円	
	・ 松島字町内地区避難誘導施設整備工事 道路付属施設工 L=104m									12, 859, 000 円	
	・ 町道垣ノ内幹線避難道路整備工事 (前払金)									45, 300, 000 円	
	・ 町道高城枝2号線外避難道路整備工事 道路付属施設工 L=269m									6, 908, 000 円	
	・ 町道磯崎・高城線避難道路整備工事 道路改良工 L=300m									22, 663, 300 円	
(次頁へ続く)											

(次頁へ続く)

8 款	2 項	3 目
実績		・ 町道磯崎・高城線第2磯崎踏切水路改修工事 水路改修工 L=31m 2,744,160 円 ・ 町道磯崎・高城線第2磯崎踏切拡幅附帯工事 附帯工 L=18.2m 1,458,000 円 ・ 町道磯崎・高城線避難道路整備その2工事 道路改良工 L=23m 1,779,800 円 ・ 町道手樽・富山駅線避難道路整備工事 (前払金・中間前払金) 48,600,000 円 ・ 町道銭神・大浜線外避難道路整備附帯工事 避難誘導施設工 L=989m 13,530,000 円
	3 土地購入費	64,625,407 円
		・ 高城・磯崎地区避難路整備事業土地購入費 3,127,536 円 ・ 町道上竹谷・高城線外11路線道路整備事業土地購入費 61,497,871 円
	4 補償金	109,845,350 円
		・ 町道高城・松島線外3路線道路整備事業物件等移転補償金 828,908 円 ・ 高城・磯崎地区避難路整備事業物件等移転補償金 9,400,000 円 ・ 町道上竹谷・高城線外11路線道路整備事業物件等移転補償金 98,888,799 円 ・ 町道手樽・富山駅線道路整備事業物件等移転補償金 727,643 円
		(繰越明許費)
	5 委託料	102,208,433 円
		・ 町道磯崎・高城町駅線外避難道路測量・設計業務委託 48,661,500 円 ・ 町道磯崎・手樽線外道路整備測量調査設計業務委託 6,918,480 円 ・ 町道高城・松島線避難道路整備工事建物等事前調査業務委託 550,800 円 ・ 仙石線高城町・手樽間第2磯崎踏切拡幅に伴う水路改修工事委託 に関する協定 46,077,653 円
	6 工事請負費	287,050,320 円
		・ 町道東浜2号線外避難道路整備工事 避難誘導施設工 L=539.2m 17,249,760 円 ・ 町道松島海岸・湯ノ原線避難道路整備その1工事 道路改良工 L=156.4m 17,906,480 円 ・ 町道普賢堂・垣ノ内線外避難道路整備工事 道路改良工 L=180m 19,904,500 円 ・ 町道高城・松島線避難道路整備その4工事 道路改良工 L=214m 27,889,780 円
		(次頁へ続く)

- ・ 町道磯崎・高城線第2磯崎踏切水路改修工事
水路改修工 L=31m 14,646,000 円
- ・ 町道手樽・富山駅線避難道路整備工事
道路改良工 L=910m 69,360,000 円
- ・ 町道手樽・富山駅線外避難道路整備その2工事
道路改良工 L=164m 28,860,000 円
- ・ 富山避難路整備工事
道路改良工 L=610m 77,112,000 円
- ・ 富山避難路給水ポンプ施設移設工事
施設移設工 N=1箇所 7,411,800 円
- ・ 富山避難路照明灯設置工事
照明灯設置工 N=4箇所 6,710,000 円

避難道路整備工事進捗状況

(令和元年度末現在)

事業名	全体計画		平成30年度迄整備済		令和元年度整備済		整備済累計		進捗率
	計画路線 (路線数)	延長 (m)	計画路線 (路線数)	延長 (m)	計画路線 (路線数)	延長 (m)	計画路線 (路線数)	延長 (m)	
町道高城・松島線外3路線道路整備事業	6	3,420	3	1,555	2	665	4	2,220	64.9%
松島地区避難路整備事業	4	935	3	775	0	0	3	775	82.9%
普賢堂外避難路整備事業	2	610	0	0	1	190	1	190	31.1%
町道上竹谷・高城線外11路線道路整備事業	13	6,100	12	4,253	1	440	12	4,693	76.9%
高城・磯崎地区避難路整備事業	5	915	4	435	0	0	4	435	47.5%
町道手樽富山駅線避難道路整備事業	4	5,595	4	4,321	2	1,074	4	5,395	96.4%
手樽柿ノ浦地区避難路整備事業	1	360	1	360	—	—	1	360	100.0%
合計	35	17,935	27	11,699	6	2,369	29	14,068	78.4%

町道整備等の状況

(令和元年度末現在)

区分	延長 (m)	改良済延長 (m)	改良率 (%)	舗装済延長 (m)	舗装率 (%)
町道全体	163,852	115,605	70.55	131,567	80.30
うち幹線町道	32,141	22,973	71.48	26,415	82.18

実績

課題
方向性

避難道路整備事業については、松島、高城・磯崎、手樽地区で35路線、約17.9kmを計画しており、令和元年度末までに29路線で約14.1kmが完成している。今後も用地買収等を進め、令和2年度末での工事完成を目指す。

道路舗装事業については、砂利道舗装について町全体のなかで優先順位を付けて行っており、今後とも継続して進めて行く。

一 般 会 計

8	款	3	項	1	目	河川総務費					(単位:千円)
担当部署名				建設課管理班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,837		2,431						2,431		
目的	河川公園施設について住民や見学者等が利用しやすい環境を整備する。また、明治潜穴の歴史構造物について見学しやすい施設管理に努める。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	明治潜穴公園等維持管理経費		B	-	3.7	河川公園の清掃・除草及び高城川桜並木の剪定・薬剤散布を実施することで、住民や見学者等が立ち寄りやすい環境整備を行った。また、明治潜穴公園公衆便所他清掃業務委託について、公益社団法人松島町シルバー人材センターと社会福祉法人松の実福祉社会に委託することにより、高齢者等の就労機会確保と社会参加に寄与した。					
実績	【明治潜穴公園等維持管理経費】										
	明治潜穴公園 ふれあいの広場 やすらぎの水辺 かたらいの水辺の維持管理										
課題 方向性	1 役務費（手数料） 248,400 円										
	・ 除草した草の処理料 248,400 円										
	2 委託料 1,665,658 円										
	・ 明治潜穴公園公衆便所他清掃業務委託 611,916 円 (明治潜穴公園 週6回実施、その他の河川公園 月2回実施)										
	・ 河川公園遊具定期点検業務委託（年1回実施） 17,280 円										
	・ 明治潜穴公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回実施） 66,450 円										
	・ 明治潜穴公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回実施） 295,492 円										
	・ 高城川桜並木樹木剪定業務委託（年1回実施） 440,000 円										
	・ 高城川桜並木薬剤散布業務委託（年1回実施） 234,520 円										
	課題 方向性	明治潜穴公園は宮城県が実施した公衆便所等改修工事も完了し、施設の利便性は向上したと考えている。 今後も河川公園施設の適切な維持管理に努め、住民や見学者等の利用しやすい環境を提供していく。									

一 般 会 計

8	款	5	項	1	目	都市計画総務費																			
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)																
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																
	8,142		7,859					42	7,817																
目的	本町の将来像を踏まえ、バランスのとれた計画的な土地利用を図り、緑豊かな潤いのある都市を創出する。																								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																			
	都市計画事業運営経費		B	-	3.3	宮城県都市計画マスタープランにおいて市街化区域編入予定地として位置付けされている明神地区について、令和2年5月の都市計画決定に向けて市街化区域編入に係る申請はじめ各種手続きを実施することができた。																			
	都市計画審議会運営経費		B	-	3.7	令和元年度は仙塩広域都市計画の決定や変更について3度開催し、諮問事項全て承認をいただくことができた。																			
	地区計画事業推進経費		A	5.0	3.7	令和元年度、優先的な目標としていた品井沼地区における地区整備計画区域の追加について、9月に都市計画決定することができた。 明神地区について、令和2年5月の都市計画決定に向けて協議・申請手続き等、円滑に実施することができた。																			
実績	【都市計画事業運営経費】																								
	<table><tr><td>開催日</td><td colspan="6">内 容</td><td>場 所</td></tr><tr><td>平成31年 4月18日</td><td colspan="6">明神地区における土地利用計画（市街化区域編入）に関する説明会 (対象者20人、出席者11人)</td><td>明神地区コミュニ ティ消防セン ター</td></tr></table>									開催日	内 容						場 所	平成31年 4月18日	明神地区における土地利用計画（市街化区域編入）に関する説明会 (対象者20人、出席者11人)						明神地区コミュニ ティ消防セン ター
	開催日	内 容						場 所																	
	平成31年 4月18日	明神地区における土地利用計画（市街化区域編入）に関する説明会 (対象者20人、出席者11人)						明神地区コミュニ ティ消防セン ター																	
	(1)明神地区における仙塩広域都市計画の変更決定に向けた申請はじめ各種手続きを実施																								
	<table><tr><td>・仙塩広域都市計画の変更案に関する説明会（宮城県実施）</td><td>令和元年10月 8日</td></tr><tr><td>・仙塩広域都市計画区域区分の変更に係る宮城県からの意見照会</td><td>令和 2年 2月12日</td></tr><tr><td>・仙塩広域都市計画区域区分の変更案の縦覧</td><td>令和 2年 2月14日～28日</td></tr><tr><td>・松島町都市計画審議会における諮問・答申</td><td>令和 2年 3月 3日</td></tr><tr><td>・仙塩広域都市計画区域区分の変更に係る意見回答</td><td>令和 2年 3月 4日</td></tr><tr><td>・宮城県都市計画審議会（区域区分の変更に係る諮問・答申）</td><td>令和 2年 3月26日</td></tr><tr><td>・仙塩広域都市計画区域用途地域の変更に係る宮城県知事協議</td><td>令和 2年 3月27日</td></tr></table>									・仙塩広域都市計画の変更案に関する説明会（宮城県実施）	令和元年10月 8日	・仙塩広域都市計画区域区分の変更に係る宮城県からの意見照会	令和 2年 2月12日	・仙塩広域都市計画区域区分の変更案の縦覧	令和 2年 2月14日～28日	・松島町都市計画審議会における諮問・答申	令和 2年 3月 3日	・仙塩広域都市計画区域区分の変更に係る意見回答	令和 2年 3月 4日	・宮城県都市計画審議会（区域区分の変更に係る諮問・答申）	令和 2年 3月26日	・仙塩広域都市計画区域用途地域の変更に係る宮城県知事協議	令和 2年 3月27日		
	・仙塩広域都市計画の変更案に関する説明会（宮城県実施）	令和元年10月 8日																							
	・仙塩広域都市計画区域区分の変更に係る宮城県からの意見照会	令和 2年 2月12日																							
	・仙塩広域都市計画区域区分の変更案の縦覧	令和 2年 2月14日～28日																							
	・松島町都市計画審議会における諮問・答申	令和 2年 3月 3日																							
・仙塩広域都市計画区域区分の変更に係る意見回答	令和 2年 3月 4日																								
・宮城県都市計画審議会（区域区分の変更に係る諮問・答申）	令和 2年 3月26日																								
・仙塩広域都市計画区域用途地域の変更に係る宮城県知事協議	令和 2年 3月27日																								
(2)地区計画内における行為の届出に関する業務（くぬぎ台）																									
<table><tr><td>・品井沼地区地区整備計画に基づき、地区計画内における行為の届出に関する受付及び審査事務を実施するもの。</td></tr><tr><td>届出件数：3件</td></tr></table>									・品井沼地区地区整備計画に基づき、地区計画内における行為の届出に関する受付及び審査事務を実施するもの。	届出件数：3件															
・品井沼地区地区整備計画に基づき、地区計画内における行為の届出に関する受付及び審査事務を実施するもの。																									
届出件数：3件																									
(3)建築の許可に関する業務（都市計画法第53条第1項）																									
<table><tr><td>・都市計画施設の区域内における建築物の建築に関する申請書類の審査及び許可証の発行を実施するもの。</td></tr><tr><td>申請件数：0件</td></tr></table>									・都市計画施設の区域内における建築物の建築に関する申請書類の審査及び許可証の発行を実施するもの。	申請件数：0件															
・都市計画施設の区域内における建築物の建築に関する申請書類の審査及び許可証の発行を実施するもの。																									
申請件数：0件																									
(次頁へ続く)																									

(次頁へ続く)

【都市計画審議会運営経費】

都市計画審議会の開催

開催日	諮問・報告内容	答申内容	場 所
令和元年 9月5日	(諮問事項) ・仙塩広域都市計画地区計画 (品井沼地区地区計画)の変更 (案)について (報告事項) ・明神地区における市街化区域 編入に向けた取り組み状況につ いて	仙塩広域都市計画地区計画(品 井沼地区地区計画)の変更につ いて原案どおり承認された。 都市計画変更決定に向け宮城県 との調整を行っている明神地区に ついて、諮問するに先立ち、進捗 状況について報告した。 (出席委員9人、欠席委員1人)	役場3階 大会議室
令和元年 12月3日	(諮問事項) ・仙塩広域都市計画道路(根廻 磯崎線)の変更について ・仙塩広域都市計画公園(松島 運動公園)の変更について	仙塩広域都市計画道路(根廻磯崎 線)及び仙塩広域都市計画公園 (松島運動公園)の変更について 原案どおり承認された。 (出席委員8人、欠席委員2人)	役場3階 大会議室
令和2年 3月3日	(諮問事項) ・仙塩広域都市計画区域区分の 変更に係る宮城県からの意見照 会について ・仙塩広域都市計画用途地域 の変更について ・仙塩広域都市計画地区計画 の決定について	仙塩広域都市計画区域区分の変 更に係る宮城県からの意見照会 の回答について、明神地区にお ける仙塩広域都市計画用途地域 の変更及び地区計画の決定につ いて原案どおり承認された。 (出席委員9人、欠席委員1人)	役場3階 大会議室

実績

【地区計画事業推進経費】

品井沼・明神地区における仙塩広域都市計画の変更決定に向けた申請はじめ各種手続きを実施

品井沼地区

・仙塩広域都市計画地区計画の変更案の縦覧	令和元年 7月11日～25日
・仙塩広域都市計画(品井沼地区地区計画)の変更案に関する説明会	令和元年 7月18日
・仙塩広域都市計画地区計画の変更事前協議回答	令和元年 8月14日
・仙塩広域都市計画地区計画の変更案の縦覧	令和元年 8月19日～9月2日
・松島町都市計画審議会における諮問・答申	令和元年 9月 3日
・仙塩広域都市計画地区計画の変更に関する宮城県知事協議	令和元年 9月 6日
・仙塩広域都市計画地区計画の変更に関する宮城県知事協議回答	令和元年 9月12日
・仙塩広域都市計画地区計画の変更告示	令和元年 9月27日

明神地区

・仙塩広域都市計画(明神地区地区計画)の原案に関する説明会	平成31年 4月18日
・仙塩広域都市計画地区計画の原案の縦覧	令和元年12月 3日～17日
・仙塩広域都市計画地区計画の変更事前協議回答	令和 2年 1月30日
・仙塩広域都市計画地区計画の変更案の縦覧	令和 2年 2月14日～28日
・松島町都市計画審議会における諮問・答申	令和 2年 3月26日
・仙塩広域都市計画地区計画の変更に関する宮城県知事協議	令和 2年 3月27日

課題
方向性

「品井沼地区」は仙塩広域都市計画地区計画を変更して新たに駅前を地区整備計画の区域に加え、また、「明神地区」は令和2年5月に市街化区域に編入され、仙塩広域都市計画用途地域の変更及び地区計画の決定をした区域において、都市計画マスタープランに基づき計画的な土地利用を図っていく必要がある。

「初原地区」は現在一般保留地区となっているため、決定権者である宮城県と保留解除に向けて、協議を実施していく必要がある。

一 般 会 計

8	款	5	項	3	目	公園管理費				
担当部署名				建設課管理班・教育課生涯学習班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
	59,349		59,228		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
							63	59,165		
目的										
初原ユーユー公園の維持管理を行い、利用者の憩いの場として、安全な公園環境を提供する。 また、スポーツを通じた町民の健康増進及びスポーツ競技力向上のため、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の利用者が、安全にそして快適にスポーツを楽しめるよう施設の充実を図る。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	初原街区公園		B	-	3.7	遊具による事故を未然に防ぐため、遊具の点検を行った。 また、地域住民より草刈や清掃等の協力を得ながら、適切な維持管理を行った。				
	運動公園管理事務所経費		A	3.7	4.0	昨年度と比較すると、年間利用者は増となっているものの、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため3月は休館措置を講じたことにより利用人数が減少している。				
	温水プール管理経費		A	3.7	3.7	昨年度と比較すると、2月まではやや増の利用者数で推移していたが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため3月に休館したことにより、年間利用者数も昨年度より減少した。				
実績	■建設課 管理班所管									
	【初原街区公園】									
	1 需用費（修繕料） 13,200 円									
	・ 初原ユーユー公園トイレ修繕（ガラス）									
	2 役務費（手数料） 178,000 円									
	・ 除草した草の処理料 36,720 円									
	・ し尿汲取料 141,280 円									
	3 委託料 17,280 円									
	・ 初原ユーユー公園遊具定期点検業務委託（年1回実施）									
	■教育課 生涯学習班所管									
	【運動公園管理事務所経費】									
	1 松島運動公園指定管理料 15,788,852 円									
	2 運動公園月別利用状況 (単位:人)									
	月	野球場	テニスコート	多目的運動広場	会議室	グラウンドゴルフ	合 計			
	4	460	646	2,592	107	80	3,885			
5	291	919	2,595	47	49	3,901				
6	400	511	2,440	91	134	3,576				
7	675	725	2,905	60	190	4,555				
8	1,261	681	2,731	80	91	4,844				
9	674	678	1,938	34	276	3,600				
10	240	624	2,312	89	230	3,495				
11	208	529	1,908	43	109	2,797				
12	0	397	2,050	45	141	2,633				
1	0	387	1,427	4	60	1,878				
2	0	364	1,495	45	134	2,038				
3	0	15	99	0	0	114				
計	4,209	6,476	24,492	645	1,494	37,316				
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

【温水プール管理経費】

(1) 松島運動公園（温水プール）指定管理料

37,645,370 円

(2) 温水プール施設別利用状況

(プール)

(単位：人)

月	町内(個人)			町外(個人)			計			コース貸切		無料	幼児	教室		合計
	学生	一般	計	学生	一般	計	学生	一般	計	利用者数	団体数			参加者数	件数	
4	212	253	465	30	155	185	242	408	650	213	15	10	14	0	0	887
5	275	289	564	31	174	205	306	463	769	236	17	14	21	0	0	1,040
6	202	351	553	42	188	230	244	539	783	353	20	8	10	26	2	1,180
7	468	463	931	126	293	419	594	756	1,350	649	32	19	50	50	4	2,118
8	610	628	1,238	275	435	710	885	1,063	1,948	444	24	14	119	48	4	2,573
9	232	399	631	57	231	288	289	630	919	594	23	10	29	24	2	1,576
10	138	242	380	3	144	147	141	386	527	183	13	8	10	0	0	728
11	131	240	371	10	172	182	141	412	553	233	17	15	15	48	4	864
12	146	190	336	14	167	181	160	357	517	205	13	11	11	36	3	780
1	132	257	389	35	197	232	167	454	621	241	17	7	10	25	2	904
2	161	311	472	27	184	211	188	495	683	281	17	6	16	35	3	1,021
3	14	33	47	4	15	19	18	48	66	0	0	1	1	0	0	68
計	2,721	3,656	6,377	654	2,355	3,009	3,375	6,011	9,386	3,632	208	123	306	292	24	13,739

(トレーニングジム)

(単位：人)

月	町内計	町外計	講習会		無料	合計
			参加者数	件数		
4	306	130	11	6	95	542
5	298	146	17	7	92	553
6	391	159	15	7	111	676
7	376	180	16	7	114	686
8	421	182	22	8	121	746
9	327	141	12	6	115	595
10	225	114	2	2	94	435
11	325	138	9	6	98	570
12	276	104	6	3	67	453
1	385	135	15	8	50	585
2	402	154	17	6	43	616
3	26	14	0	0	2	42
計	3,758	1,597	142	66	1,002	6,499

(シルバートレーニングルーム (単位：人)

月	町内計	町外計	教室		無料	合計
			参加者数	件数		
4	2	0	0	0	0	2
5	0	0	0	0	0	0
6	0	0	20	3	0	20
7	0	0	28	4	0	28
8	2	0	27	4	0	29
9	0	0	0	0	0	0
10	0	0	4	2	0	4
11	0	0	10	4	0	10
12	0	0	14	4	0	14
1	0	0	40	3	0	40
2	0	0	47	4	0	47
3	0	0	0	0	0	0
計	4	0	190	28	0	194

(スタジオ)

(単位：人)

月	一 般		教 室		合 計	
	利用者数	件数	参加者数	件数	人数計	件数計
4	42	5	139	4	181	9
5	35	5	126	4	161	9
6	114	11	151	4	265	15
7	74	10	150	4	224	14
8	101	10	145	6	246	16
9	52	6	210	8	262	14
10	15	2	126	6	141	8
11	60	7	217	8	277	15
12	42	7	212	8	254	15
1	20	2	182	6	202	8
2	48	6	246	8	294	14
3	0	0	0	0	0	0
計	603	71	1,904	66	2,507	137

(会員)

(単位：人)

月	スクール	フルタイム	ナイト	合計
4	679	867	8	1,554
5	614	878	8	1,500
6	720	923	9	1,652
7	781	1,053	6	1,840
8	519	981	4	1,504
9	741	809	2	1,552
10	587	656	15	1,258
11	799	808	19	1,626
12	688	764	16	1,468
1	569	785	17	1,371
2	796	845	19	1,660
3	0	41	0	41
計	7,493	9,410	123	17,026

(次頁へ続く)

8 款	5 項	3 目
-----	-----	-----

実績	(温水プール全施設月別集計人数)				(単位：人)		
	月	プール	トレーニングジム	シルバートレーニングルーム	スタジオ	会員	合計
	4	887	542	2	181	1,554	3,166
	5	1,040	553	0	161	1,500	3,254
	6	1,180	676	20	265	1,652	3,793
	7	2,118	686	28	224	1,840	4,896
	8	2,573	746	29	246	1,504	5,098
	9	1,576	595	0	262	1,552	3,985
	10	728	435	4	141	1,258	2,566
	11	864	570	10	277	1,626	3,347
	12	780	453	14	254	1,468	2,969
	1	904	585	40	202	1,371	3,102
	2	1,021	616	47	294	1,660	3,638
	3	68	42	0	0	41	151
	計	13,739	6,499	194	2,507	17,026	39,965
	(3)温水プールリース料（令和元年度分）						
	・ トレーニングマシンリース料					4,199,040 円	
	・ 複合機リース料					170,040 円	
	(4)修繕						
	・ 温水プール給湯配管系統ラインポンプ修繕					880,000 円	
課題 方向性	■建設課 管理班所管 地域住民より草刈や清掃等の協力を得ながら公園環境の維持が図られている。 今後も適切な維持管理に努め、住民の地域コミュニティの場として利用しやすい環境を提供していく。						
	■教育課 生涯学習班所管 運動公園、温水プールともに令和2年度で現在の指定管理が終了することから、今後の施設の在り方について検討していく。また、社会体育施設として町民がスポーツをする機会を確保するとともに、適切な利用者負担について検討していくことで、施設の効率的な維持管理について模索していく。						

一 般 会 計

8	款	5	項	4	目	自転車等駐車場管理費				
担当部署名				建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	118		117						117	
目的	松島駅前の良好な生活環境維持及び施設の有効活用を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	松島駅前駐輪場維持管理 経費		B	-	4.3	1階の自動車駐車場契約台数は、10台全て契約済の状況 となっている。 2階駐輪場についても、松島駅前の景観等を損なうこと なく利用が図られており、総じて施設の有効活用が図ら れている。				
実績	【松島駅前駐輪場維持管理経費】									
	1 需用費（修繕料）		99,396 円							
	・ 電気設備修繕									
	2 役務費（火災保険料）		16,741 円							
課題 方向性	現在は指定管理者により駐車場管理を行っている。 今後も利便性のある施設として安定した管理体制の継続を図っていく。									

一 般 会 計

8	款	5	項	5	目	街路事業費				
担当部署名				建設課建設班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1, 884, 943		535, 000		75, 779		2, 700	303, 592	152, 929	
目的	震災復興計画の具現化に向けて東日本大震災復興交付金事業として避難道路を築造し沿岸部の集落から迅速かつ安全な避難経路の確保を図る。また、被災地と防災拠点及び緊急輸送路線等を結ぶ道路築造を行い防災道路ネットワークの構築を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	根廻・磯崎線道路整備事業 (磯崎側)(復興交付金)		A	4. 3	3. 7	JR仙石線こ線橋工事をJRへ委託し実施すると共に避難道路築造工事等を実施し、事業の進捗が図られた。				
	根廻磯崎線道路整備事業 (根廻側)		A	4. 3	3. 7	道路築造工事等を実施すると共に工事に伴う支障物件の移転補償を行い、事業の進捗が図られた。				
実績	【根廻・磯崎線道路整備事業(磯崎側)(復興交付金)】 (東日本大震災復興交付金) JR仙石線こ線橋工事をJR東日本へ委託し実施した。また、避難道路築造工事、県道交差点排水構造物改良工事及び附帯工事を実施した。									
	1 委託料								303, 003, 923 円	
	・ 仙石線高城町・手樽間高城こ線橋新設工事委託に関する協定								303, 003, 923 円	
	2 工事請負費								82, 262, 400 円	
	・ 町道根廻・磯崎線県道交差点排水構造物改良その2工事 側溝改良工 L=83m								28, 728, 700 円	
	・ 町道根廻・磯崎線避難道路整備工事 補強土壁工 L=38m								48, 084, 300 円	
	・ 町道根廻・磯崎線避難道路整備附帯工事 防護柵設置工 L=28m								5, 449, 400 円	
	【根廻・磯崎線道路整備事業(根廻側)】 (社会資本整備総合交付金) 道路築造工事を実施するとともに、工事に伴う支障物の物件移転補償を行った。									
	1 工事請負費								16, 400, 000 円	
	・ 町道根廻・磯崎線国道45号情報ボックス移設工事 (前払金)								16, 400, 000 円	
	2 土地購入費								1, 520, 722 円	
	・ 町道根廻・磯崎線道路築造事業土地購入費								1, 520, 722 円	
	(次頁へ続く)									

8	款	5	項	5	目																						
実績	(繰越明許費)																										
	3	工事請負費			48,620,480 円																						
	・ 町道根廻・磯崎線道路整備工事 (3箇年債務 平成30年度予算分)			48,620,480 円																							
	道路整備工 L=1,200m																										
	4	補償金			17,120,881 円																						
	・ 町道根廻・磯崎線道路整備事業 (根廻側) 物件等移転補償金			17,120,881 円																							
	(事故繰越費)																										
	5	工事請負費			64,780,520 円																						
	・ 町道根廻・磯崎線道路整備工事 (3箇年債務 平成29年度予算分)			64,780,520 円																							
	道路整備工 L=1,200m																										
道路整備工事進捗状況 (令和元年度末現在)																											
<table><tr><th rowspan="2">事業名</th><th>全体計画</th><th>平成30年度迄整備済</th><th>令和元年度整備済</th><th>整備済累計</th><th rowspan="2">進捗率</th></tr><tr><th>延長 (m)</th><th>延長 (m)</th><th>延長 (m)</th><th>延長 (m)</th></tr><tr><td>町道根廻・磯崎線道路整備事業 (磯崎側)</td><td>550</td><td>320</td><td>0</td><td>320</td><td>58.2%</td></tr><tr><td>町道根廻・磯崎線道路整備事業 (根廻側)</td><td>1,550</td><td>576</td><td>0</td><td>576</td><td>37.2%</td></tr></table>						事業名	全体計画	平成30年度迄整備済	令和元年度整備済	整備済累計	進捗率	延長 (m)	延長 (m)	延長 (m)	延長 (m)	町道根廻・磯崎線道路整備事業 (磯崎側)	550	320	0	320	58.2%	町道根廻・磯崎線道路整備事業 (根廻側)	1,550	576	0	576	37.2%
事業名	全体計画	平成30年度迄整備済	令和元年度整備済	整備済累計	進捗率																						
	延長 (m)	延長 (m)	延長 (m)	延長 (m)																							
町道根廻・磯崎線道路整備事業 (磯崎側)	550	320	0	320	58.2%																						
町道根廻・磯崎線道路整備事業 (根廻側)	1,550	576	0	576	37.2%																						
課題 方向性	町道根廻・磯崎線道路整備事業 (磯崎側) については、全体計画延長500mのうち、320mが完成している。平成29年度からJR東日本に委託したJR仙石線のご線橋工事が完了。残る前後の避難道路整備を令和2年度中の完成を目指す。 町道根廻・磯崎線道路整備事業 (根廻側) については、平成29年度で本線部の事業用地の買収を終えている。道路整備工事は全体計画延長1,550mのうち576mが完成している。今後、全線での道路整備工事や国道45号交差点改良工事を含め令和2年度末での完成を目指す。																										

一 般 会 計

8 款	6 項	1 目	住宅管理費					
担当部署名		建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,876	6,346				6,346		
目的	住宅に困窮する低所得者等に低廉な家賃で住宅を提供し、町民生活の安定と福祉増進に寄与すること。また、入居者の居住性を確保するため維持管理を行う。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	町営住宅管理経費	B	-	3.7	町営住宅入居者から要望のあった箇所の修繕を実施し、入居者の生活環境の維持が図られた。 町営住宅使用料の徴収については、納付相談、臨戸・夜間徴収を実施し、現年度徴収率向上に成果を得た。駐車場使用料については、昨年度同様の徴収率100%を維持した。			
実績	【町営住宅管理経費】							
	町営住宅（160戸81棟） 災害公営住宅（52戸30棟）の維持管理							
	1 需用費（修繕料）							
	・住宅別修繕内訳							
	住宅名	設置年数	修 繕 内 訳			金 額		
	愛 宕	S39～43	外壁、瓦屋根、電気設備			61,184 円		
	上初原	S42～45	床、天井、雨樋、浴室、水栓			355,073 円		
	幡 谷	S42	外壁			17,600 円		
	小石浜	S45	電気設備			7,678 円		
	高 城	S56～57 H7	浴室、水栓、便器、排水管、クロス張り替え、床、電気設備、街路灯、換気扇			2,746,666 円		
	災害公営住宅 華園・美映の丘	H27	給湯器、水栓、クロス張り替え、床			804,408 円		
	合 計					3,992,609 円		
	2 役務費（火災保険料）							
	・町営住宅火災共済（212戸）					397,182 円		
	3 委託料							
	・町営住宅遊具定期点検業務委託（年1回実施）					33,480 円		
	・町営住宅除草業務委託（年2回実施）					489,240 円		
	・町営住宅高城団地污水管渠清掃業務委託（年1回実施）					172,800 円		
(次頁へ続く)								

8 款	6 項	1 目
-----	-----	-----

4 町営住宅管理戸数及び住宅使用料徴収状況

住宅名	管理戸数	住宅使用料徴収状況				備考
		調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)	
愛 宕	15	693,600	693,600	0	100.0%	
上初原	50	2,035,200	2,035,200	0	100.0%	
幡 谷	10	303,300	303,300	0	100.0%	
小石浜	7	286,800	286,800	0	100.0%	
高 城	78	18,551,600	18,461,300	90,300	99.5%	
災害公営住宅 華園・美映の丘	52	11,445,700	11,303,600	142,100	98.8%	
現年度分	212	33,316,200	33,083,800	232,400	99.3%	
滞納繰越分		3,488,437	167,730	3,320,707	4.8%	
合 計		36,804,637	33,251,530	3,553,107	90.3%	

実績

5 町営住宅駐車場利用数及び駐車場使用料徴収状況

住宅名	利用数	駐車場使用料徴収状況				備考
		調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)	
高城現年度分	37	864,000	864,000	0	100.0%	
合 計		864,000	864,000	0	100.0%	

6 町営住宅敷金会計別状況

	戸 数 (戸)	金 額 (円)	備 考
一般会計分	81	2,203,200	退居世帯 なし
歳計外現金分	54	2,195,010	2世帯退去 ▲85,500円 3世帯入居 164,400円
合 計	135	4,398,210	

課題
方向性

町営住宅の建築年数経過に伴い修繕箇所も増加傾向にあるが、軽微な修繕は直営で行い経費を抑えるようにしている。今後も入居者の居住性確保のため適切に維持管理を行っていく。
町営住宅使用料については、滞納者と納付折衝の機会を多くし滞納額の縮減を目指していく。

一 般 会 計

8 款	6 項	2 目	木造住宅等震災対策事業費							
担当部署名		建設課管理班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	3,553	3,553	1,631	640				1,282		
目的	昭和56年5月以前に建築された木造住宅に対し耐震化の促進を図り、今後発生する恐れのある大規模地震での住宅倒壊を最小限に抑えるための助成を行う。 また、通学路等に面した危険ブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止するため、ブロック塀等の除却・設置に対し助成を行う。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	木造住宅等震災対策事業	A	3.7	3.7	木造住宅の耐震診断助成事業及び耐震改修工事助成事業、並びに危険ブロック塀等除却助成事業について事業の推進に努め震災対策を図った。					
実績	【木造住宅等震災対策事業】									
	1 木造住宅耐震診断助成事業業務委託									
	・ 事業概要	町が耐震診断士を派遣して耐震一般診断及び耐震改修計画の作成をすることにより、住宅の地震に対する安全性の確保・向上を図り、震災に強いまちづくりを推進する。								
	・ 実 績	4件（耐震性あり 0件・耐震性なし 4件） 【国1/2・県1/4の補助あり】							562,400 円	
	2 木造住宅耐震改修工事助成事業補助金									
	・ 事業概要	大規模地震による住宅被害を減ずるために、町内にある木造住宅の所有者が住宅の耐震改修工事、又は同じ場所で建替工事を実施する場合に補助金を交付するもの。								
	・ 交付実績	1件（耐震改修工事 1件） 【国2/5・県1/5の補助あり】							1,100,000 円	
	(繰越明許費)									
	・ 交付実績	1件（建替工事 1件） 【国2/5・県1/5の補助あり】							1,100,000 円	
	3 危険ブロック塀等除却事業補助金									
・ 事業概要	通学路等に面した危険ブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止し、通行人の安全を確保するため、ブロック塀の除却及び除却箇所に生垣・フェンス等を設置する場合に補助金を交付するもの。									
・ 交付実績	6件（除却事業 6件・設置事業 5件） 【国1/2の補助あり】							701,000 円		
課題 方向性	木造住宅の耐震化及び危険ブロック塀等除却の実施に当たっては、所有者の経済的負担や高齢化問題等もあり、大幅な事業進捗は難しい状況となっている。 震災対策は生命の安全面からも必要な事業であるため、今後も耐震助成事業の活用を促していく。									

一 般 会 計

8	款	6	項	3	目	住宅環境整備費			
担当部署名				企画調整課				(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,248		3,048					3,000	48
目的	東日本大震災により地盤沈下の影響を強く受けている沿岸部で浸水の恐れがある地域の浸水被害対策の促進と、被災した宅地等所有者の生活再建の負担軽減を図る。								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	住宅環境整備費		B	-	3.3	松島町宅地かさ上げ等事業費補助金及び松島町津波被災住宅再建支援事業補助金（宅地かさ上げ分）を活用し、被災した住宅所有者の住宅再建に係る負担軽減に寄与することができた。			
実績	【住宅環境整備費】								
	1 松島町宅地かさ上げ等事業費補助金								
	交付世帯数		町内 1世帯 6人	町外 0世帯 0人		1,000,000 円			
	交付状況								
	地 区	交付件数	うち盛土		うち基礎かさ上げ				
	磯崎	1件	1件		0件				
	(繰越明許費)								
	交付世帯数		町内 1世帯 6人	町外 0世帯 0人		1,000,000 円			
	交付状況								
	地 区	交付件数	うち盛土		うち基礎かさ上げ				
	高城	1件	0件		1件				
	課題 方向性	2 松島町津波被災住宅再建支援事業補助金（宅地かさ上げ分）							
(繰越明許費)									
交付世帯数		町内 1世帯 4人	町外 0世帯 0人		1,000,000 円				
交付状況									
地 区		交付件数	うち盛土		うち基礎かさ上げ				
松島		1件	1件		0件				
本事業の財源のひとつとなっている東日本大震災復興基金交付金（津波被災住宅再建支援分）制度については、令和2年度に最終年を迎えることから、令和2年度末時点に見込まれる基金の余剰金について適切に取り扱うこととする。									

一 般 会 計

9 款	1 項	1 目	非常備消防費							
担当部署名		総務課環境防災班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	47,892	43,757		12,288		4,168	27,301			
目的	住民の生命、財産を火災や自然災害から守るため、防災関係機関等との連携強化、情報共有、資機材等の充実を図り、相互協力の下、消防防災活動に努める。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	消防団活動運営経費	B	-	4.3	消防団活動を安全かつ円滑に行うため、救命胴衣及び小型小電力無線機を配備し、消防団装備品の充実を図ることができた。					
	出初式関係経費	C	-	-	消防団長を筆頭に消防団員が一同に会し、分列行進や纏振りをを行い、団員相互の団結力向上を図ることができた。					
	消防団訓練経費	A	4.0	3.7	火災や水害等の災害に対して迅速な行動が行えるよう各種訓練を実施した。 火災現場や令和元年東日本台風（台風第19号）等災害対応においては、訓練の成果を発揮し、人的被害を未然に防ぐことができた。					
	火災予防運動経費	B	-	4.3	10月と3月にそれぞれ秋・春の火災予防運動として、町内全世帯への啓発チラシの配布及び防火査察を実施し、防災意識の啓発を図ることができた。					
	消防施設整備事業	A	5.0	4.7	有事に消防機能が果たせるよう、消防団車両の更新及び老朽化したホースの交換並びに消火栓の修繕を行い、消防資機材の充実強化と適正管理を図ることができた。					
	自主防災組織運営経費	A	4.3	3.3	自主防災組織の訓練実施の支援を行い、地域防災力（共助）の強化を図ることができた。					
実績	1 松島町内における火災発生状況									
		令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年			
	発生件数 (前年比)	3 (0)	3 (△ 3)	6 (3)	3 (△ 1)	4 (△ 3)	7 (△ 1)			
	建物火災	1	3	2	1	2	0			
	林野火災	0	0	3	0	0	2			
	車両火災	1	0	0	1	1	1			
	そ の 他	1	0	1	1	1	4			
	※期間は、各年1月1日から12月31日まで									
	2 消防団員数 210人（平成31年4月1日現在） 役職：団長1人・副団長2人・分団長6人・副分団長14人・班長40人・団員147人									
	本 部	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団			
	3 人	26 人	42 人	48 人	23 人	47 人	21 人			
	3 消防団員出場状況									
	○ 火災出場						53 人			
	○ 警戒出場									
	・ 災害警戒（台風第19号・台風第21号）						211 人			
	・ 火気警戒（行事等）						94 人			
(次頁へ続く)										

9	款	1	項	1	目		
実績	○ 訓練						
	・ 夏季訓練及びポンプ操法訓練			38	人		
	・ 塩釜地区消防団連合演習(訓練含む)			242	人		
	・ 文化財防火デー警防演習			18	人		
	・ 防災訓練等(各地区及び自主防災組織等)			5	人		
	○ 研修						
	・ 防災講演会(七ヶ浜町)			9	人		
	○ 火災予防啓発						
	・ 春・秋の火災予防運動一斉広報・防火査察及び消防水利点検等			209	人		
	○ 出初式					141	人
4 防火思想啓発事業							
・ 火災予防運動【秋：令和元年11月9日～11月15日 春：令和2年3月1日～3月7日】							
活動内容(消防団一斉広報、防火指導、消防水利点検、広報活動【防災行政無線他】)							
・ 文化財防火デー警防演習(令和2年1月27日)							
5 災害時の消防団活動状況							
・ 10月11日～13日、15日～16日 台風第19号に係る警戒活動等 延べ233名							
活動内容(警戒巡回、防潮堤閉鎖、広報活動、人命救助活動)							
・ 10月25日 台風第21号に係る警戒活動等 延べ 28名							
活動内容(警戒巡回、広報活動)							
6 車両及び安全装備品等購入							
・ 消防指揮車			4,488,000	円			
・ 消防用ホース 250本			7,965,000	円			
・ 消防団用救命胴衣 180着			874,800	円			
・ 消防団用特定小型小電力無線機 99台			1,493,800	円			
・ 消防用ホース格納箱 3基			120,450	円			
7 消防施設整備							
・ 磯崎字蟹松地内消火栓補修工事負担金(磯崎区)						2,584,390	円
8 自主防災組織育成事業							
・ 自主防災組織訓練運営補助金 397,800 円 (実施団体数 7団体)							
訓 練 実 施 地 区		実 施 日		訓 練 実 施 地 区		実 施 日	
1 本郷区三居山一地区		7 月 7 日		5 松島区松島一地区		10 月 20 日	
2 磯崎区		9 月 15 日		6 手樽区早川地区		10 月 27 日	
3 初原区		9 月 15 日		7 幡谷区新田地区		12 月 8 日	
4 根廻区		10 月 6 日					
※ 自主防災組織以外の独自訓練として高城区が9/29に防災訓練を実施							
課題 方向性							
多くの消防団員が消防ポンプ操作や資機材の取扱いができるよう基礎的内容を含めた各種訓練を実施するなど、迅速な消火・災害活動ができるよう対応力の向上に努めていく。							
また、老朽化した消防車両や消火栓(水利)など各種施設の定期的な更新を図っていく。							
自主防災組織については、各自主防災組織の活動(訓練)が活発化するよう支援を行い、更には結成率向上にも努めていく。							

一 般 会 計

9 款	1 項	2 目	水防費							
担当部署名		総務課環境防災班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	666	634			177			457		
目的	大雨による河川氾濫等の洪水や津波被害による水災害を警戒・防御し、被害を軽減するため、日頃から水防重点箇所等の確認や陸開などの水防施設の点検を行う。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	水防活動経費	A	4.7	3.3	毎月の陸開点検による、水防施設の設置箇所及び操作方法の確認や、河川の重要水防合同巡視を関係機関で行うことにより、水防施設の適正管理と、水防活動の強化を図ることができた。					
実績	【水防活動経費】									
	1 漁港・海岸・河川の陸開点検【毎月1回】 延べ 164人 対象箇所： ○松島区【20箇所】（第1分団） ○高城区【 3箇所】（第2分団）（河川） ○磯崎区【 7箇所】（第3分団） ○磯崎区【 7箇所】（第3分団） ※復興事業による工事箇所は現状把握を兼ねた確認作業を実施 2 河川（吉田川等）の重要水防箇所合同巡視 目 的： 台風等に伴う本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる重要水防箇所や要注意区間を関係機関が合同で巡視を行い、迅速な水防活動に必要な情報共有を図る。 実 施 日： 令和元年6月26日（水） 巡視箇所： 吉田川右岸 10.4km～10.8km 重要水防箇所 吉田川右岸 12.4km～12.9km 重要水防箇所、重点監視区間 参 加 者： 27名 北上川下流河川事務所【河川管理者】 8名 各行政区代表（北小泉区長、下竹谷区長、上竹谷区長、幡谷区長） 4名 水防団【消防団】（団長、副団長【2名】、第5分団長、第6分団長） 5名 松島消防署（副署長） 1名 宮城県（仙台土木事務所） 2名 町（副町長、総務課、産業観光課、建設課） 7名									
課題 方向性	近年は集中豪雨の発生頻度並びに降雨量が増加傾向にあることから、河川氾濫など大雨に対する災害対策が重要となっている。災害時に迅速で的確な対応を可能とするため、事前に水防団や地区と重点監視箇所の確認を行い情報共有を図り、更には情報伝達方法や水防工法などの訓練を行っていく。更には、土嚢などの洪水時に使用する水防資機材の充実を図っていく。									

一 般 会 計

9 款	1 項	3 目	災害対策費					
担当部署名		総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	46, 400	36, 171				11, 600	12, 390	12, 181
目的	地震や津波災害をはじめ、台風、高潮等の風水害から住民の生命保護と財産被害を最小化するため、防災体制の構築と地域防災力強化、更には啓蒙活動や訓練をととして防災意識の高揚を図る。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	防災会議運営経費	C	-	-	地域防災計画見直しに向けて防災会議を開催し、地域 防災計画見直しに係る提案内容、近年の課題等の共有が 図られた。			
	防災行政無線関係経費	A	5. 0	3. 3	緊急時の情報伝達手段として、適正な保守管理等を実 施し、正確な情報伝達を図ることができた。			
	防災訓練経費	B	-	3. 3	実効性のある訓練ができるよう、総合防災訓練の準備 を行ったが、令和元年東日本台風（台風第19号）の影響 により中止となった。			
	災害応急対策経費	C	-	-	災害対応にあたった職員に対し、手当等を支払った。			
	災害対策経費	A	4. 7	3. 7	自然災害が常習化、激甚化している状況を踏まえ、災 害対応に関する情報の把握や、停電時の非常用電源とし て各避難施設にインバータ発電機を配備するなど、災害 対策を図ることができた。			
	地域防災計画見直し関係 経費	A	4. 7	3. 3	法改正や上位計画の変更、ガイドライン改定などを踏 まえ、町独自の検証と調整を図って計画に反映させるよ う見直しを図ることができた。また、令和元年東日本台 風（台風第19号）や新型コロナウイルス感染症対策を反 映させるため、繰越事業とした。			
実績	1 地域防災計画見直しに係る防災会議の実施							
	実 施 日 : 令和元年7月31日（水） 委 員 : 1 松島町長（会長） 2 松島町 副町長 3 松島町 教育委員会 教育長 4 北上川下流河川事務所長 5 仙台河川国道事務所長 6 宮城海上保安部長 7 宮城県仙台福祉事務所長 8 宮城県仙台土木事務所長 9 宮城県仙台地方振興事務所長 10 宮城県塩釜警察署長 11 塩釜地区消防事務組合消防本部消防長 12 日本郵政事業株式会社 松島郵便局長 13 東日本旅客鉄道株式会社 松島海岸駅長 14 東北電力株式会社 塩釜電力センター所長 15 東日本電信電話株式会社 宮城事業部 災害対策室長 16 公益社団法人 宮城県塩釜医師会 理事 17 松島町消防団 団長 18 松島町自主防災組織（初原区自主防災組織代表）							
(次頁へ続く)								

(次頁へ続く)

9	款	1	項	3	目
実績	2	防災行政無線・全国瞬時警報システム(J-ALERT)			
		・親局	1箇所	(松島町役場)	
		・遠隔操作卓	2箇所	(松島消防署・石田沢防災センター)	
		・屋外拡声子局	38箇所	(町内各所)	
		・施設スピーカー連動	2箇所	(松島海岸レストハウス・石田沢防災センター)	
		※全国瞬時警報システム(J-ALERT)は防災行政無線に連動			
	3	委託料			
		・防災行政無線等施設保守点検業務委託		4,620,000 円	
		・防災行政無線設備スプリアス改修業務委託		2,592,000 円	
		・気象防災支援情報提供業務委託		442,688 円	
4	工事請負費				
	・防災行政無線屋外拡声子局増設工事		11,660,000 円		
	整備内容	屋外拡声子局	2箇所	(町営三十刈無料駐車場・高城字町地内)	
		施設スピーカー連動	1箇所	(松島海岸レストハウス)	
5	備品購入費				
	・防災行政無線戸別受信機等備品購入(209台)		9,919,800 円		
	避難施設用発電機購入(10施設)		2,471,040 円		
6	安心安全メール配信状況				
	・登録件数(令和2年3月31日現在)	2,258 件			
	・配信件数	89 件			
	防災情報	46 件	(災害:24件・火災:3件・訓練:1件・防災無線放送内容:18件)		
	防犯情報	12 件	(不審者:7件・特殊詐欺等:5件)		
	交通情報	4 件	(町民バス:1件・通行止め:3件)		
	生活情報	27 件	(熊:18件・その他:9件)		
課題 方向性	自然災害が常襲化、激甚化している状況を踏まえ、継続して住民参加型の総合防災訓練を実施し、防災意識の向上に努め、防災関係機関との相互連携の強化を図る必要がある。 また、防災訓練の他にも身の安全を守る方法や災害リスクを考える機会をつくるため積極的な広報活動を行う必要がある。 防災行政無線については、正確な災害情報の伝達体制の充実が必要となっている。				

一 般 会 計

9 款	1 項	4 目	避難施設管理費					(単位:千円)	
担当部署名		総務課環境防災班							
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	22,186	18,372				2,521	15,851		
目的	避難施設や避難場所等の適正な管理を行い有事における防災機能の確保に努めるとともに、平常時の有効活用により、地域の防災拠点としての機能強化を図る。 また、災害時における食料や資機材等に不足が生じないように備蓄倉庫へ災害用備蓄品を充足させるとともに、防災関連施設の維持管理に努める。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	松島地区復興まちづくり 拠点施設維持管理費	C	-	-	災害時に避難者を受け入れ出来るよう、適切な管理を行うことができた。				
	手樽地区復興まちづくり 拠点施設管理費	C	-	-	災害時に避難者を受け入れ出来るよう、適切な管理を行うことができた。				
	松島地区等避難施設管理 費	C	-	-	避難施設（8施設）について、災害時に避難者を受け入れ出来るよう適切な管理を行うことができた。				
	東浜避難場所管理費	C	-	-	災害時に緊急避難場所としての機能を果たせるよう、業務委託（草刈）により適切な管理を行うことができた。				
	備蓄倉庫管理費	B	-	3.7	災害時の避難者に対して提供する食料品、飲料水及び衛生用品、更には災害時に使用する資機材などを計画的に購入し、備蓄品を充足することができた。				
	高城津波避難施設管理経 費	B	-	3.0	災害時に避難者を受け入れ出来るよう、備蓄品及び資機材などの充足を行い適切な管理を行うことができた。				
	石田沢防災まちづくり拠 点施設管理費	A	3.7	3.0	防災まちづくり拠点施設及び避難施設として避難者を受け入れ出来るよう適正な維持管理を行うことができた。				
	自家発電装置整備管理費	C	-	-	災害時に停電となった状況において、最小限の電力を確保し、避難生活等に支障がでないよう、適切な管理を行うことができた。				
実績	1 災害時用備蓄品購入事業								
	○ 消耗品類								
	・ 災害時用備蓄食料品購入					1,115,020 円			
	アルファ米					2,750 食			
	ビスケット					3,000 食			
	飲料水（500ml）					2,880 本			
・ 災害時用資機材					350,900 円				
感染症対策セット、感染症対策用消毒剤等									
○ 備品購入費					488,184 円				
・ 毛布、避難所用マット等									
									(次頁へ続く)

9	款	1	項	4	目															
実績	2 委託料																			
	・ 避難施設指定管理業務委託（10施設）				2, 801, 542 円															
	・ 高城避難所機械警備業務委託				614, 760 円															
	・ 石田沢防災センター浄化槽清掃業務委託				715, 000 円															
	・ 石田沢防災センター浄化槽保守点検業務委託				368, 416 円															
	・ 石田沢防災センター機械警備業務委託				287, 760 円															
	・ 石田沢防災センター清掃業務委託				675, 800 円															
	・ 石田沢防災センター交通整理業務委託				217, 728 円															
	・ 石田沢防災センター草刈業務委託（年3回）				595, 800 円															
	・ 石田沢防災センター自家用電気工作物保安管理業務委託				202, 740 円															
・ 石田沢防災センター他消防設備保守点検業務委託				64, 310 円																
・ 東浜避難場所草刈業務委託（年3回）				252, 000 円																
3 負担金補助及び交付金																				
・ 高城避難所維持管理負担金 （清掃業務、空調設備保守点検、エレベーター保守点検）				1, 090, 872 円																
・ 高城避難所防火設備点検負担金				64, 800 円																
4 石田沢防災センター利用状況																				
<table><tr><td></td><td>令和元年度</td><td>平成30年度</td><td>平成29年度</td></tr><tr><td>駐車場利用台数</td><td>12, 236 台</td><td>13, 522 台</td><td>13, 602 台</td></tr><tr><td>防災まちづくりセンター棟利用者数</td><td>5, 485 人</td><td>6, 763 人</td><td>8, 699 人</td></tr><tr><td>会議室棟利用者数</td><td>1, 886 人</td><td>2, 119 人</td><td>2, 024 人</td></tr></table>						令和元年度	平成30年度	平成29年度	駐車場利用台数	12, 236 台	13, 522 台	13, 602 台	防災まちづくりセンター棟利用者数	5, 485 人	6, 763 人	8, 699 人	会議室棟利用者数	1, 886 人	2, 119 人	2, 024 人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度																	
駐車場利用台数	12, 236 台	13, 522 台	13, 602 台																	
防災まちづくりセンター棟利用者数	5, 485 人	6, 763 人	8, 699 人																	
会議室棟利用者数	1, 886 人	2, 119 人	2, 024 人																	
5 高城避難所利用者数																				
<table><tr><td></td><td>令和元年度</td><td>平成30年度</td><td>平成29年度</td></tr><tr><td>多目的室利用者数</td><td>1, 370 人</td><td>1, 316 人</td><td>1, 448 人</td></tr></table>						令和元年度	平成30年度	平成29年度	多目的室利用者数	1, 370 人	1, 316 人	1, 448 人								
	令和元年度	平成30年度	平成29年度																	
多目的室利用者数	1, 370 人	1, 316 人	1, 448 人																	
課題方向性																				
施設の維持管理費が財政的な負担となっている。 高城避難所及び石田沢防災センターの有効活用並びに管理手法についての検討が必要である。																				

一 般 会 計

10 款	1 項	2 目	事務局費					
担当部署名		教育課学校教育班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
	124,687	120,913		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
					7,199		1	113,713
目的	児童・生徒における家庭学習の習慣形成、基礎基本を着実に定着させ、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」を体感させ、学習に対する自信を持たせることを目標とする。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	事務局運営経費	B	-	3.7	教育指導専門員を任用し、学校等の指導を行った。 学校施設の維持管理に係るコストの縮減及び平準化のために、学校施設長寿命化計画を策定した。			
	子供安全対策事業	B	-	3.7	スクールガードリーダーを配置し、週2回の見守り活動を実施し、小学校の登下校時における安全確保が図られた。(長期休暇時等を除く)年間計80回			
	学び支援センター事業	A	3.3	4.0	各小・中学校の放課後、長期休業等を利用し、学び支援事業を継続実施した。参加している延べ人数は平成30年度よりも増加した。			
	外国青年招致事業	B	-	4.0	外国語指導助手(ALT)を小学校、中学校、幼稚園、保育所等へ派遣し、国際教育の機会を増やすことで、外国語及び外国文化に慣れ親しむ国際理解教育一助となった。			
	心のケア・不登校対策事業	B	-	3.7	スクールソーシャルワーカーを学校等に配置し、不登校児童生徒の心のケア及び教職員・保護者等への助言・支援を行ったことにより、学校生活復帰への一助となった。			
	心のケアハウス事業	B	-	3.3	様々な問題により不登校となっている児童生徒に対し、支援員等が学習支援等を行い、早期の学校復帰に向け支援できた。通所者数は不登校児童生徒数の約20%となった。			
	小・中連携英語教育推進事業	B	-	4.0	教職員へ講演会や授業研究、視察研修等を行い、指導力向上が図られた。小学校・中学校の教員同士が、それぞれの指導法を理解し、学びの連続性を考えたプログラムの作成に取り組んだ。			
実績	【事務局運営経費】 学校施設長寿命化計画策定業務委託 9,592,000 円							
	文部科学省が平成29年3月に公表した「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に基づき、各施設の劣化状況調査を行い、長寿命化計画を策定した。 ・対象施設 幼稚園、小学校、中学校、学校給食センター 計8施設 ・コンクリート中性化及び圧縮強度試験 ・給配水設備の内視鏡調査 ・特殊建築物定期調査(建築基準法12条点検調査) ・長寿命化計画の策定							
	研修会等							
	内容				月日	参加者数		
公開授業研究会視察 (秋田県にかほ市立院内小学校・金浦小学校)				11月15日	10人			
学力向上に大きな成果を上げている秋田県の指導の実態を学ぶ機会となった。研究協議会では板書の仕方や授業のポイントのまとめ方など活発な議論が行われ、多くのことを学ぶことができた。 令和元年度はPTA役員も参加し、家庭学習について情報交換を行った。								
(次頁へ続く)								

(次頁へ続く)

【子供安全対策事業】
(スクールガードリーダーの配置)

児童・生徒の安心安全対策として登下校時に週2回の見守り活動の実施
1名(活動回数 80回にかかる報償)

472,000 円

【学び支援センター事業】
(県補助事業 学び支援コーディネーター等配置事業)

○年間利用者数及び開設日数 上段：延べ利用者数(単位：人) 下段：開設日数(単位：日)

学校名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校	R1	0	39	124	111	214	96	27	116	69	65	68	0	929
		0	2	8	6	5	8	2	8	6	7	7	0	59
	30	0	44	136	97	155	143	173	163	89	93	125	72	1,290
		0	2	7	5	4	8	9	9	6	7	8	4	69
松島第二小学校	R1	0	292	385	395	96	430	492	487	383	465	495	0	3,920
		0	14	16	18	4	17	17	17	16	15	16	0	150
	30	0	0	271	181	81	203	205	264	118	186	239	85	1,833
		0	0	7	7	4	7	6	8	7	6	7	3	62
松島第五小学校	R1	0	41	178	182	79	123	202	160	60	226	242	0	1,493
		0	2	7	7	6	5	7	6	2	7	8	0	57
	30	0	29	281	250	85	224	269	222	98	135	157	139	1,889
		0	2	9	8	6	7	8	7	4	5	6	6	68
松島中学校	R1	0	0	96	253	0	0	0	30	0	0	0	0	379
		0	0	5	5	0	0	0	3	0	0	0	0	13
	30	0	1	12	205	0	8	21	19	27	26	7	5	331
		0	9	9	12	3	7	11	11	8	8	5	4	87
計	R1	0	372	783	941	389	649	721	793	512	756	805	0	6,721
		0	18	36	36	15	30	26	34	24	29	31	0	279
	30	0	74	700	733	321	578	668	668	332	440	528	301	5,343
		0	13	32	32	17	29	34	35	25	26	26	17	286

実績

【外国青年招致事業】
(外国語指導助手(ALT)事業)

○年間指導実績(延べ日数) (単位：日)

学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校	4	6	10	4	1	9	10	9	8	8	8	0	77
松島第二小学校	4	5	8	4	1	6	7	6	4	6	5	0	56
松島第五小学校	3	7	4	4	2	6	7	8	6	6	7	0	60
小計	11	18	22	12	4	21	24	23	18	20	20	0	193
松島中学校	13	16	11	8	0	17	19	16	16	15	16	0	147
総計	24	34	33	20	4	38	43	39	34	35	36	0	340

※上記の学校教育活動の他、幼稚園に計57回、保育所に計47回訪問し、未就学児への英語に親しむ機会を設けた。

【心のケア・不登校対策事業】
(県委託事業 スクールソーシャルワーカー活用事業)

不登校児童生徒等の心のケア相談支援体制を充実し、学校と家庭、各機関との円滑な連携を図ることで、学校生活復帰につながるよう努めた。

- ・SSW活動にかかる報償 (40回) 682,500 円
- ・SSWとして雇用した実人数 1人

・年間勤務時間数及び年間勤務日数

年間勤務時間数	136.5 時間
年間勤務日数	40.0 日
平均勤務時間数	3.4 時間/日

(次頁へ続く)

10 款	1 項	2 目											
実績	・ 訪問活動の回数												
	学校	23 回											
	家庭	0 回											
	教育委員会	12 回											
	その他関係機関	19 回											
	・ ケース会議の開催状況												
	開催回数	12 回											
	ケース件数	22 件											
	参加教職員数	0 人											
	参加関係機関の人数	6 人											
【心のケアハウス事業】 (県補助事業 みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業)													
○ 年間活動状況 (延べ人数)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童生徒支援人数 (人)	3	5	3	4	2	3	4	6	3	6	5	5	49
保護者支援人数 (人)	2	2	1	3	1	1	1	1	4	3	4	4	27
開所日数 (日)	16	19	20	14	5	19	20	20	16	17	18	2	186
【小・中連携英語教育推進事業】													
研修会等													
	内容	月日	参加者数										
	教育講演会 『子どもの夢は「英語」で叶う！』 講師：株式会社ライフブリッジ 海外事業部部長 阿部 千賀子 氏	8月20日	70人										
	日本を取り巻く国際化の状況や将来展望などを含め、子ども達の未来に広がる可能性について学ぶことができた。また、外国語指導にあたる教職員の知見を深め、保護者に向けて松島の英語教育のねらいを知ってもらう良い機会となった。												
	小・中連携英語教育推進事業視察	2月1日 2月7日 ～8日	5人										
	文部科学省研究開発指定を受けている東京学芸大学附属大泉小学校の公開研究発表と山梨県で行われた全国英語教育実践研究大会に参加した。授業参観及び分科会へ出席し、身につけたい能力を明確にすることの大切さや、子どもたちが主体的に授業に取り組むための工夫などを学び、今後の英語教育のイメージを具体的に持つ良い機会となった。												
課題 方向性	学び支援事業については、参加している児童生徒数に対して、指導を行う支援員の数が充足していない状況であるため、支援員の募集の周知方法などを検討しながら支援体制の充実を図っていく。事業の財源となっている県補助金が令和2年度で終了するため、他事業との連携を図りながら、学びの機会を増やす取り組みを継続していく。 令和2年度から英語科が教科化となるため、外国語指導助手（ALT）の活用や、小学校と中学校の英語教育の連携は必須となる。幼児教育から中学生まで全学年において、生きた英語を学ぶ機会をさらに増やしていく。 文部科学省の「緊急スクールカウンセラー等活用事業」を活用した、県のスクールソーシャルワーカー活用事業が令和2年度で終了となるため、新たな補助事業の活用を含め、継続可能な事業のあり方を検討していく。												

一 般 会 計

10 款	2 3 項	1 目	小学校管理費 中学校管理費							
担当部署名		教育課学校教育班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	56,170 32,974	51,059 28,869						51,059 28,869		
目的	町の教育基本方針である「かしこく、やさしく、たくましい児童・生徒の育成」と「特色ある学校づくりの推進」のため、児童・生徒の安心・安全な学習環境の充実と学校施設整備の向上を図る。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	第一小学校	B	-	3.3	学校施設の維持管理等を実施し、児童の安全・安心な教育環境を維持することができた。					
	第二小学校	B	-	3.3	学校施設の維持管理等を実施し、児童の安全・安心な教育環境を維持することができた。					
	第五小学校	B	-	3.3	学校施設の維持管理等を実施し、児童の安全・安心な教育環境を維持することができた。					
	中学校管理経費	B	-	3.3	学校施設の維持管理等を実施し、生徒の安全・安心な教育環境を維持することができた。					
実績	1 児童・生徒数及び学校職員数 (令和元年5月1日現在) (単位:人)									
	学 校 名		児童・ 生徒数	教職員数						
				学校教員	事務職員	養護教員	栄養職員	教育補助員	業務員	総 計
	松島第一小学校		308	21	1	1	0	3	1	27
	松島第二小学校		150	11	1	1	0	1	1	15
	松島第五小学校		73	13	1	1	0	1	1	17
	小計		531	45	3	3	0	5	3	59
	松島中学校		291	23	1	1	1	3	1	30
	総計		822	68	4	4	1	8	4	89
	2 需用費(修繕料)									
	・松島第一小学校		プールシャワー修繕ほか	(11 件)	842,327 円					
	・松島第二小学校		プールろ過装置修繕ほか	(12 件)	719,017 円					
	・松島第五小学校		プール修繕ほか	(5 件)	152,148 円					
	・松島中学校		屋内消火栓用貯水槽修繕ほか	(5 件)	222,549 円					
	3 校務用コンピュータ整備状況 (単位:台)									
項目/学校名		松一小	松二小	松五小	松中	計				
整備年度		H29	R1	H27	H27	-				
整備台数		29	17	17	34	97				
(次頁へ続く)										

10 款	2 3 項	1 目
実績	4 委託料	
	○松島中学校 低濃度PCB廃棄物収集運搬処理業務委託 ・トランス 3基 690kg ・微量PCB汚染絶縁油 180kg ・PCB汚染物 5kg	1,155,000 円
実績	5 工事請負費	
	○松島第一小学校 ・小荷物専用昇降機修繕工事 巻上機・制御盤・昇降かご等交換 ○松島第二小学校 ・小荷物専用昇降機修繕工事 シーケンサ交換等 ○松島第五小学校 ・フェンス撤去設置工事 フェンス撤去工 L=36.5m 張高 2,000mm L=21.5m 張高 1,000mm L=15.0m フェンス設置工 L=36.5m 張高 1,800mm L=36.5m ○松島中学校 ・小荷物専用昇降機修繕工事 巻上機・制御盤等交換	2,885,760 円 245,160 円 1,045,000 円 1,945,080 円
実績	6 備品購入費 (庁用備品)	
	○松島第一小学校 ・シュレッダー、スポットエアコン、プール用日よけテントシート (3 品目、 3 個) ・エアコン、補聴援助システム他 (難聴学級備品) (12 品目、 17 個) ○松島第二小学校 ・脚折りたたみテーブル、スチール書庫 (2 品目、 4 個) ・パネル型水晶親時計 ○松島第五小学校 ・FF式暖房機 (1 品目、 2 個) ○松島中学校 ・生徒用イス、大型プリンター、ヒートレスファン (3 品目、 273 個) ・デスク型放送設備 他	343,132 円 1,173,370 円 71,788 円 587,520 円 325,600 円 1,493,620 円 1,840,300 円
実績	(消防備品)	
	○松島第一小学校 ・消火器 9 本、屋内消火栓ホース 18 本 ○松島第二小学校 ・消火器 17 本、屋内消火栓ホース 20 本 ○松島第五小学校 ・消火器 13 本 ○松島中学校 ・消火器 15 本	127,308 円 183,000 円 44,712 円 62,028 円
課題 方向性	各施設の状況に合わせて、必要な維持修繕等を実施しているが、各学校とも建設後の年数が経過しているため、施設の修繕や備品の更新などが必要な学校が多い状況となっている。 学校施設長寿命化計画に基づき、維持管理経費の平準化や計画的な維持管理を行い、子ども達の安全確保を図っていく。	

一 般 会 計

10 款	2 項 3	2 目	教育振興費（小学校） 教育振興費（中学校）							
担当部署名		教育課学校教育班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	26,236 12,894		22,992 12,001		118 134	414 443		100	22,460 11,324	
目的	児童・生徒の学習に必要な教材・教具の整備充実により教育環境保全向上に努めると共に、経済的理由により就学困難な世帯並びに特別支援学級入級世帯の児童・生徒の保護者に対し、必要な援助を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	義務教育教材費（小）		B	-	3.0	小学校用教科書改訂に伴う指導用教材など、教育上必要な教材の整備が図られた。				
	要保護・準要保護関係経費（小）		B	-	4.0	経済的理由によって、就学困難と認められる児童の保護者に対し必要な援助を与え、経済的負担を軽減することにより、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。				
	特別支援教育就学奨励経費（小）		B	-	3.7	特別支援学級に在籍する児童の保護者に対して、負担能力に応じて必要な援助を与え、経済的負担を軽減することにより、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。				
	義務教育教材経費（中）		B	-	3.0	生徒がよりよい環境の下、授業が受けられるように教育上必要な教材の整備が図られた。				
	要保護・準要保護経費（中）		B	-	4.0	経済的理由によって、就学困難と認められる生徒の保護者に対し必要な援助を与え、経済的負担を軽減することにより、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。				
	特別支援教育就学奨励経費（中）		B	-	3.7	特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対して、負担能力に応じて必要な援助を与え、経済的負担を軽減することにより、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。				
実績	1 教育用コンピュータ整備状況 (単位:台)									
	項目／学校名		松一小	松二小	松五小	松中	計			
	整備年度		R1	R1	R1	R1	—			
	整備台数		104	79	43	61	287			
	うちタブレットPC		62	40	20	19	141			
	2 備品購入費 (教材備品)									
	○ 松島第一小学校									
	・ ABCパズル、四線マグネットシート、校区地図ほか (10 品目、 20 個) 406,339 円									
	○ 松島第二小学校									
	・ ABCパズル、四線マグネットシート、世界地図ほか (5 品目、 13 個) 186,981 円									
○ 松島第五小学校										
・ ABCパズル、四線マグネットシート、マリハほか (9 品目、 11 個) 458,708 円										
○ 松島中学校										
・ コンサートマリハ、簡易モノコード、炊飯器ほか (4 品目、 14 個) 618,884 円										
(次頁へ続く)										

(図書備品)

○ 松島第一小学校	・ 課題図書、一般図書	(57 冊)	90,072 円
○ 松島第二小学校	・ 課題図書、一般図書	(28 冊)	63,612 円
○ 松島第五小学校	・ 課題図書、一般図書	(48 冊)	63,828 円
○ 松島中学校	・ 課題図書、一般図書	(164 冊)	263,304 円

3 要保護・準要保護家庭及び特別支援学級児童・生徒に対する教育扶助費

・ 小学校

(単位：円)

学校名 該当人員 内容(一人当たり限度額)	就学援助費				特別支援 教育就学 奨励費 8 人	合計 79 人	
	松一小 46 人	松二小 19 人	松五小 6 人	小計 71 人			
学用品費	11,420	387,332	182,720	64,714	634,766	39,970	674,736
通学用品費	2,230	59,653	35,680	10,407	105,740	7,805	113,545
校外活動費(泊有)	3,620	24,720	7,240	0	31,960	6,160	38,120
校外活動費(泊無)	1,570	31,632	1,760	900	34,292	4,320	38,612
新入学用品費	40,600	0	0	0	0	0	0
通学交通費	9,720	0	0	0	0	0	0
修学旅行費	21,490	156,896	111,234	36,710	304,840	18,984	323,824
医療費 (実費)		0	0	0	0	0	0
給食費	46,905	1,481,595	694,240	242,920	2,418,755	149,498	2,568,253
入学準備金	40,600	162,400	121,800	0	284,200	0	284,200
支給総額		2,304,228	1,154,674	355,651	3,814,553	226,737	4,041,290

※ 要保護家庭は修学旅行費のみ支給

※ 小学校全体：就学援助費71人【要保護6人・準要保護（従来要件）51人・準要保護（被災要件）7人・就学予定者7人】
特別支援教育就学奨励費8人

・ 松島中学校

(単位：円)

内容(一人当たり限度額)		就学奨励費	特別支援 教育就学 奨励費	合計
該当人員		53 人	5 人	58 人
学用品費	22,320	892,800	55,800	948,600
通学用品費	2,230	60,210	3,345	63,555
校外活動費(泊有)	6,100	0	720	720
校外活動費(泊無)	2,270	0	0	0
新入学用品費	47,400	47,400	47,400	94,800
通学交通費	20,000	108,610	20,000	128,610
修学旅行費	57,590	643,019	49,464	692,483
体育実技用具費(柔道着)	7,510	0	0	0
医療費	(実費)	0	0	0
給食費	(下記)	1,885,540	94,360	1,979,900
入学準備金	47,400	474,000	0	474,000
支給総額		4,111,579	271,089	4,382,668

※ 給食費：1・2年生 51,150円、3年生 47,430円

※ 要保護家庭は修学旅行費のみ支給

※ 中学校全体：就学援助費53人【要保護3人・準要保護（従来要件）35人・準要保護（被災要件）5人・就学予定者10人】
特別支援教育就学奨励費5人

実績

課題
方向性

教科書改訂や授業内容の充実のため、必要となる教材や備品等を計画的に整備していく。
新学習指導要領において、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけられ、プログラミング教育が必須となったため、情報通信技術（ICT）の環境整備を計画的に実施していく。

一般会計

10 款	2 3 項	3 目	学校保健衛生費（小学校） 学校保健衛生費（中学校）														
担当部署名			教育課学校教育班												(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳												
					国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源				
	7,832 3,836		7,261 3,443								216 114		7,045 3,329				
目的			学校保健安全法に定められた各種健診を実施し、児童・生徒並びに教職員の健康保持増進に努める。														
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果											
	就学時健康診断費（小）		B	-	4.0	学校保健安全法に基づき、就学前の児童に各種健康診断を実施した。健康な状態または就学が可能な心身の状態で入学できるように適切な治療勧告や保健上の助言を行った。											
	児童健康診断費（小）		B	-	3.7	学校医の指導、助言を受けながら各種健康診断・健康教育を実施し、児童及び教職員の健康保持増進が図られた。											
	その他学校保健衛生経費（小）		B	-	4.0	小学校における児童の健康面や感染症対策、災害時に適切な対応をするために必要な維持管理が図られた。											
	生徒健康診断経費（中）		B	-	3.7	学校医の指導、助言を受けながら各種健康診断・健康教育を実施し、生徒及び教職員の健康保持増進が図られた。											
	その他学校保健衛生経費（中）		B	-	4.0	中学校における生徒の健康面や感染症対策、災害時に適切な対応をするために必要な維持管理が図られた。											
実績	1 児童・生徒検診 ※内科・心電図・結核・眼科・耳鼻科については要精検、要受診となった人数を掲載 (単位:人)																
	学年		小学校						中学校				備考				
	項目		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計				
	在籍者数		73	87	88	92	100	90	530	95	93	103	291				
	内科	肥満傾向	4	7	15	11	16	12	65	13	10	9	32	※肥満傾向=軽度肥満以上			
		脊柱・胸郭	1	0	0	1	0	1	3	0	0	1	1				
		心雑音	4	4	7	0	0	0	15	2	2	1	5				
		皮膚	アトピー	6	4	2	3	3	1	19	3	3	5	11			
			その他	3	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0			
		尿	1次所見有り	0	0	1	0	2	0	3	3	2	2	7			
			2次所見有り	蛋白	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0		
				糖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
				潜血	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1		
		四肢	事前問診所見有り	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	7			
			精密検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		血液（貧血検査）		-	-	-	-	-	3	3	-	1	-	1	※ 要再検（130mg/dl以上）		
	血液（LDLコレステロール）		-	-	-	-	-	3	3	-	3	-	3				
	心電図二次検査		0	-	-	0	-	-	0	4	-	-	4				
	結核	問診 要検討者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		結核対策委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	眼科	視力矯正0.7未満	1	0	2	1	7	12	23	10	8	14	32	※裸眼視力1.0未満の割合 小学校 28.5% (県34.2%、国34.1%)			
		アレルギー-結膜炎	9	10	16	15	18	18	86	0	0	0	0	中学校 32.4% (県58.5%、国56.0%)			
		その他（斜視他）	5	2	4	4	4	4	23	0	0	0	0				
	耳鼻科	聴力所見有り	-	2	2	-	2	-	6	1	-	1	2				
		耳疾患（中耳炎等）	-	6	7	-	3	-	16	0	-	0	0				
		鼻・副鼻腔疾患等	-	10	14	-	15	-	39	2	-	5	7				
	歯科	健全歯者	30	41	23	30	28	50	202	59	32	20	111	※12歳永久歯平均う歯本数 松島町1.21本 (県1.10本、国0.74本)			
		CO所有者	6	9	33	17	31	19	115	13	13	16	42				
		処置完了者	12	27	34	44	35	30	182	39	46	58	143				

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

実績	2 教職員検診 (単位：人) <table border="1"> <tr> <th>項 目</th><th>受診者</th><th>結果</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>結核検診 (全教職員対象)</td><td>82</td><td>要精検 6人</td><td></td></tr> <tr> <td>胃がん検診 (30歳以上希望者)</td><td>28</td><td>要精検 2人</td><td rowspan="2">※公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く。</td></tr> <tr> <td>一般健診 (20歳以上希望者)</td><td>60</td><td>要精検11人</td></tr> </table> 3 備品購入費 (保健衛生備品) ○ 松島第一小学校 ・ 加湿器、保健室用つい立て (2 品目 、 3 個) 30,077 円 ○ 松島第二小学校 ・ 加湿器、残留塩素測定器 (2 品目 、 3 個) 55,544 円 ○ 松島第五小学校 ・ パルスオキシメーター (1 品目 、 1 個) 10,000 円 ○ 松島中学校 ・ 黒球型熱中症指数計、車椅子、冷蔵庫 (3 品目 、 3 個) 136,150 円 4 保健教育 <table border="1"> <tr> <th></th><th>内 容</th><th>対 象</th><th>日 程</th></tr> <tr> <td rowspan="2">松島第一小学校</td><td>「スマホ・ケータイ安全教室」講師：KDDI</td><td rowspan="2">6年生</td><td>2月21日</td></tr> <tr> <td>「薬物乱用防止教室」講師：塩釜保健所</td><td>1月17日</td></tr> <tr> <td rowspan="3">松島第二小学校</td><td>ノーゲーム&減テレビデー (週1回)</td><td>全児童</td><td>年間</td></tr> <tr> <td>「こども携帯・スマホ安全教室」 講師：塩釜警察署生活安全課</td><td>5、6年生</td><td>7月16日</td></tr> <tr> <td>「薬物乱用防止教室」講師：塩釜保健所</td><td>6年生</td><td>12月23日</td></tr> <tr> <td rowspan="3">松島第五小学校</td><td>家庭学習強調週間</td><td>全児童</td><td>6月・11月・2月</td></tr> <tr> <td>「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室」講師：町保健師</td><td>6年生</td><td>1月31日</td></tr> <tr> <td>「子どもの成長とともに変化する親の悩みと解決策」講師：西嶋 茂雄氏</td><td>保護者</td><td>11月26日</td></tr> <tr> <td>松島中学校</td><td>保健講話「生活習慣病予防について ～体も心も元気な毎日のために～」 講師：塩釜保健所栄養士、町保健師</td><td>全生徒</td><td>7月8日</td></tr> <tr> <td>青少年健全育成 松島町民会議</td><td>講演会「非行少年を生まない社会づくりの推進 ～少年に手を差し伸べる立ち直りの支援活動等を通 じて～」講師：塩釜警察署生活安全課</td><td>町民</td><td>11月21日</td></tr> </table>	項 目	受診者	結果	備考	結核検診 (全教職員対象)	82	要精検 6人		胃がん検診 (30歳以上希望者)	28	要精検 2人	※公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く。	一般健診 (20歳以上希望者)	60	要精検11人		内 容	対 象	日 程	松島第一小学校	「スマホ・ケータイ安全教室」講師：KDDI	6年生	2月21日	「薬物乱用防止教室」講師：塩釜保健所	1月17日	松島第二小学校	ノーゲーム&減テレビデー (週1回)	全児童	年間	「こども携帯・スマホ安全教室」 講師：塩釜警察署生活安全課	5、6年生	7月16日	「薬物乱用防止教室」講師：塩釜保健所	6年生	12月23日	松島第五小学校	家庭学習強調週間	全児童	6月・11月・2月	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室」講師：町保健師	6年生	1月31日	「子どもの成長とともに変化する親の悩みと解決策」講師：西嶋 茂雄氏	保護者	11月26日	松島中学校	保健講話「生活習慣病予防について ～体も心も元気な毎日のために～」 講師：塩釜保健所栄養士、町保健師	全生徒	7月8日	青少年健全育成 松島町民会議	講演会「非行少年を生まない社会づくりの推進 ～少年に手を差し伸べる立ち直りの支援活動等を通 じて～」講師：塩釜警察署生活安全課	町民	11月21日
項 目	受診者	結果	備考																																																			
結核検診 (全教職員対象)	82	要精検 6人																																																				
胃がん検診 (30歳以上希望者)	28	要精検 2人	※公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く。																																																			
一般健診 (20歳以上希望者)	60	要精検11人																																																				
	内 容	対 象	日 程																																																			
松島第一小学校	「スマホ・ケータイ安全教室」講師：KDDI	6年生	2月21日																																																			
	「薬物乱用防止教室」講師：塩釜保健所		1月17日																																																			
松島第二小学校	ノーゲーム&減テレビデー (週1回)	全児童	年間																																																			
	「こども携帯・スマホ安全教室」 講師：塩釜警察署生活安全課	5、6年生	7月16日																																																			
	「薬物乱用防止教室」講師：塩釜保健所	6年生	12月23日																																																			
松島第五小学校	家庭学習強調週間	全児童	6月・11月・2月																																																			
	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室」講師：町保健師	6年生	1月31日																																																			
	「子どもの成長とともに変化する親の悩みと解決策」講師：西嶋 茂雄氏	保護者	11月26日																																																			
松島中学校	保健講話「生活習慣病予防について ～体も心も元気な毎日のために～」 講師：塩釜保健所栄養士、町保健師	全生徒	7月8日																																																			
青少年健全育成 松島町民会議	講演会「非行少年を生まない社会づくりの推進 ～少年に手を差し伸べる立ち直りの支援活動等を通 じて～」講師：塩釜警察署生活安全課	町民	11月21日																																																			
課題方向性 児童生徒及び教職員の健康保持増進のため、必要な健康診断や健康教育を実施した。 新型コロナウイルス感染症対策による感染予防・学校休業への対応、保健衛生用品の調達等に今後も努めていく。 スマホ・ケータイ安全教室、携帯依存・薬物乱用防止等をテーマに各学校の児童生徒や保護者を対象に研修を実施した。児童生徒・保護者が学校・地域・家庭と連携して安全対策を行う一助となったため、今後も継続していく。																																																						

一 般 会 計

10 款	2 項 3	4 目	学校建設費（小学校） 学校建設費（中学校）					
担当部署名		教育課学校教育班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	222, 825 87, 218	89, 487 37, 212	14, 058 6, 787		74, 000 30, 400		1, 429 25	
目的	近年の厳しい気象条件に対応した教育環境の確保と改善のため、空調設備対応臨時特例交付金の対象事業として、町内の小中学校の普通教室・校長室・職員室に空調設備を設置する。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	町内学校学校空調整備事業（小学校）	A	4. 7	3. 7	小学校の普通教室・校長室・職員室に空調設備を設置することにより、気象状況に対応した教育環境の確保・改善が図られた。			
	町内学校学校空調整備事業（中学校）	A	4. 7	3. 7	中学校の普通教室・校長室・職員室に空調設備を設置することにより、気象状況に対応した教育環境の確保・改善が図られた。			
実績	(繰越明許費)							
	1 工事請負費							
	小学校							
	・ 町立学校空調設備整備その1工事（松島第一小学校・松島第五小学校分） 一小 N = 34台 五小 N = 14台 計48台					61, 776, 000 円		
	・ 町立学校空調設備整備その2工事（松島第二小学校分） N = 13台					26, 252, 284 円		
	・ 松島第二小学校通級指導教室空調設備設置工事 N = 1台					1, 320, 000 円		
	中学校							
	・ 町立学校空調設備整備その2工事 N = 32台					37, 143, 716 円		
課題 方向性	子どもたちが安全で安心して快適な学習環境のもと、教育を受けられる環境づくりのため、小中学校の普通教室・校長室・職員室に空調設備を設置した。 児童生徒の熱中症予防に活用するとともに、空調を稼働させる目安（温度や湿度等）について「松島町立小中学校空調設備運用の手引き」を作成し、省エネ対策の推進やランニングコストの軽減、空調設備の適切な管理を図っていく。							

一 般 会 計

10 款	4 項	1 目	社会教育総務費							
担当部署名		教育課生涯学習班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	29, 505	28, 290			732			27, 558		
目的	松島の「自然と歴史」を通じた生涯学習を家庭・地域・学校との協働により展開し、子供から高齢者まで自発的に学習・交流する機会を提供することで、地域への郷土愛を醸成し、生活の豊かさを育み広げていく。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	ジュニア・リーダー育成等研修経費	A	3. 3	3. 7	例年参加している地域行事のほか、児童館行事への参加や県・仙台教育事務所管内対象で開催される技術研修会に積極的に参加し、研鑽を積んでいる。近隣二市三町合同事業では、活動を牽引する様子が見られた。					
	女性団体指導者研修経費	A	4. 3	3. 7	女性の社会促進・連携協力を図るための事業を実施することができた。					
	子ども会育成事業経費	A	5. 0	4. 3	松島町子ども会育成連合会からの補助金申請を審査し、拠出したことで、「松っこまつり」が開催された。多くの参加者で賑わい、地域・世代間交流に繋がった。					
	家庭教育推進事業等経費 (1) 地域学校協働活動推進事業に関する事務	A	3. 7	3. 7	家庭・地域・学校が協働した各種事業を実施することにより、郷土愛の醸成、防災意識の向上、子供と高齢者の交流を図ることができた。参加者や関係者からの評価、満足度が高い事業となっている。					
	家庭教育推進事業等経費 (2) ころ・はぐくみ隊に関する事務	A	3. 7	3. 3	創作活動を通して児童の芸術に関する関心・意欲が向上した。また、異年齢間の交流を通じて社会性や思いやり、我慢強さ、責任感などを育む場が創出できた。					
	芸術文化振興経費	A	4. 7	3. 7	芸術・文化の振興を図るための事業を実施することができた。また、将来を担う子ども達へ芸術・文化の良さを体感してもらうことができた。					
	青少年健全育成経費	A	3. 3	3. 7	秋田県にかほ市中学生リーダー研修会に松島中学校生徒会役員が参加し、交流を深めるとともにリーダーとしての資質向上が図られた。また、町民対象の研修会を開催し、健全育成に対する意識の啓発を図ることができた。					
	その他社会教育関係経費 (2) 協働による家庭教育・地域活動の推進	A	3. 0	3. 0	計画的な社会教育主事の育成を図っていくため3年程度ごとを目安に社会教育主事資格取得講習を受講させることにしており、令和元年度は講習受講者を出していない。					
	社会教育関係施設改修事業	A	4. 7	3. 7	運動施設を含めた社会教育施設の長寿命化計画を策定を行った。今後、本計画に基づき適正な管理運営に努め、適時改修等を実施していく。					
	マイクロバス貸出に要する経費	B	-	3. 3	学校行事等によりマイクロバスが積極的に活用された。町民の社会教育・社会体育行事などの利用が多岐にわたっている一方で、学校行事に関連して児童・生徒等による利用が多数を占める。					
	社会教育委員経費	B	-	3. 7	年4回の会議（内1回書面会議）を開催し、各種社会教育事業に対する貴重な意見を得た。特に地域学校協働活動推進事業については、事業視察を行い今後に関わる評価・検証を得ることができた。					
	その他社会教育関係経費 (1)	C	-	-	社会教育関係事務を円滑に図るため、各種経理、照会・調査等への対応を行った。					
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

【ジュニア・リーダー育成等研修経費】 ※登録者数 54人（令和2年3月末時点） 103,577 円

実施日	内 容	参加人数	場 所
令和元年5月19日	二市三町合同研修会	12 人	七ヶ浜町生涯学習センター
令和元年6月15日	県ジュニア・リーダー1年生研修会	6 人	宮城県青年会館
令和元年7月25～26日	仙台管内ジュニア・リーダー中級研修会	2 人	塩竈市公民館
令和元年7月27日	初原お泊まり会ボランティア活動	13 人	初原コミュニティセンター
令和元年8月2日	B&G宮城マリンスポーツフェスティバル	2 人	登米市迫B&G海洋センター
令和元年8月2～4日	東北地区子ども会ジュニア・リーダー大会	4 人	国立花山青少年自然の家
令和元年8月10日	児童館行事（こどもまつり）	6 人	文化観光交流館
令和元年8月15日	海の盆ボランティア活動	22 人	松島海岸
令和元年8月20日	高城地区子ども会夏祭り	6 人	高城中央広場
令和元年10月5日	ジュニア・リーダー中学生技術研修会	2 人	宮城県青年会館
令和元年10月6日	二市三町合同キャンプ&スポーツ大会	5 人	宮城県松島自然の家
令和元年10月20日	児童館行事（ハロウィンパレード）	7 人	松島海岸、周辺施設
令和元年11月24日	幡谷品井沼ミニ文化祭ボランティア活動	4 人	品井沼農村環境改善センター
令和元年12月7～8日	みやぎジュニア・リーダー交流会	5 人	国立花山青少年自然の家
令和元年12月22日	クリスマスイベント（放課後子ども教室共催）	11 人	品井沼農村環境改善センター
令和2年2月23日	松っ子まつり（前日準備・びゅんびゅんゴマ）	延べ 14 人	文化観光交流館

【女性団体指導者研修経費】

- ・松島町女性団体連絡協議会の運営
（加盟団体数：7団体）

	日時	場所
総会	令和元年5月23日	文化観光交流館
役員会	平成31年4月11日	松島町役場
	令和元年6月14日	文化観光交流館
	令和元年8月2日	文化観光交流館
	令和元年12月6日	松島町役場
移動研修会	令和元年10月7日	気仙沼市
会員研修会	令和2年2月18日	文化観光交流館

【社会教育団体、社会教育活動の育成・補助事業】

社会教育団体、社会教育活動の育成と補助

- ・青少年健全育成松島町民会議 200,000 円
- ・松島町芸術文化協会 80,000 円
- ・松島町子ども会育成連合会 130,000 円
- ・松島町PTA連合会 110,000 円
- ・松島町女性団体連絡協議会 40,000 円
- ・松島町婦人会 160,000 円
- ・松島町小・中・高生徒指導連絡協議会 40,000 円
- ・ジョイントコンサート事業 60,000 円

【家庭教育推進事業等経費(1)地域学校協働活動推進事業に関する事務】 734,203 円

- 1 「松島まるごと学」（歴史文化教育カリキュラムの推進・推進委員会の開催）
歴史文化教育カリキュラムをもとに、町内各小学校で統一的な体験の実施
小学4年生 : 品井沼干拓学習（2学期） 計 87人参加
品井沼干拓に関する史跡・施設 計14箇所を見学

小学5年生 : 森林学習（1～3学期） 延べ297人参加
檀山での見学・チェーンソー体験、松食い虫の講話、木工体験 等

小学6年生 : 歴史出前授業 延べ301人参加
出前授業「縄文時代の松島」（4月）
出前授業「瑞巖寺の歴史」（6～7月）
瑞巖寺の見学（6～7月）
坐禅体験（2学期）
松島海岸付近の史跡見学（松二小、松五小）（次頁へ続く）

10	款	4	項	1	目																					
実績	2	登下校時の見守り安全ボランティア等の推進 各小学校より51人のボランティア登録				15,300 円																				
	3	「松島防災キャンプ」事業 令和元年8月5日（デイキャンプ） 石田沢防災センター 町内小中学生 15人参加 講話 「土砂災害について」（講師：総務課環境防災班） ワーク「非常持出袋の中身を考えよう」（協力：防災主任教諭） 体験 「消防団車両搭乗体験」（協力：松島町消防団） 体験 「ポリ袋クッキング体験」（協力：松島町婦人防火クラブ連合会） 体験 「はしご車搭乗体験」（協力：松島消防署） 訓練 「水難救助訓練」（協力：松島消防署）				9,377 円																				
	4	「松島放課後子ども教室」事業 児童の安全・安心な放課後の活動拠点を確保し、地域ボランティアによる見守りを実施 ・日常活動：令和元年5月～令和2年2月（各小学校月に約1回 合計25回） 各小学校体育館・校庭・特別教室を利用 参加者数 松一小 延べ253人、松二小 延べ245人、松五小 延べ325人 ・合同イベント：令和元年12月22日 ジュニア・リーダークリスマスイベント 24人参加				709,526 円																				
	【家庭教育推進事業等経費(2) ころ・はぐくみ隊に関する事務】																									
	・ころ・はぐくみ隊パート18の実施 (小学校低学年(1～3年生)を対象とした創作活動ワークショップ)																									
						270,000 円																				
	<table><tr><th>実施日</th><th>テーマ(内容)</th><th>参加人数</th><th>場 所</th></tr><tr><td>令和 元 年 11 月 4 日</td><td>のりものについて</td><td>17人</td><td>手樽地域交流センター</td></tr><tr><td>令和 元 年 11 月 17 日</td><td>ころがれころがれ</td><td>18人</td><td>手樽地域交流センター</td></tr><tr><td>令和 元 年 11 月 23 日</td><td>どんなポーズにしようかな</td><td>15人</td><td>手樽地域交流センター</td></tr><tr><td>令和 元 年 12 月 8 日</td><td>ゆらゆらきらきら</td><td>17人</td><td>手樽地域交流センター</td></tr></table>					実施日	テーマ(内容)	参加人数	場 所	令和 元 年 11 月 4 日	のりものについて	17人	手樽地域交流センター	令和 元 年 11 月 17 日	ころがれころがれ	18人	手樽地域交流センター	令和 元 年 11 月 23 日	どんなポーズにしようかな	15人	手樽地域交流センター	令和 元 年 12 月 8 日	ゆらゆらきらきら	17人	手樽地域交流センター	
	実施日	テーマ(内容)	参加人数	場 所																						
	令和 元 年 11 月 4 日	のりものについて	17人	手樽地域交流センター																						
	令和 元 年 11 月 17 日	ころがれころがれ	18人	手樽地域交流センター																						
	令和 元 年 11 月 23 日	どんなポーズにしようかな	15人	手樽地域交流センター																						
	令和 元 年 12 月 8 日	ゆらゆらきらきら	17人	手樽地域交流センター																						
	【芸術文化振興経費】																									
	・宮城県巡回小劇場（音楽公演）の実施 令和元年10月8日 演目：ビバ！ムジカと「よろこびの歌」を歌おう 町内小学4・5年生 193人鑑賞					308,000 円																				
	【青少年健全育成経費】					157,600 円																				
1 秋田県にかほ市中学生リーダー研修会参加 令和元年8月7～8日（1泊2日） 秋田県にかほ市 さんねむ温泉 松島中学校生徒会役員（2年生・3年生） 9人参加																										
2 青少年健全育成講演会 令和元年11月21日 講演会 文化観光交流館 参加者 53人 第一部：DVD「ドラッグの悲劇」視聴 第二部：講話「非行少年を生まない社会づくりの推進」 ～少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動等を通じて～																										
【社会教育関係施設改修事業】					6,457,000 円																					
・松島町社会教育施設等長寿命化計画の策定																										
【マイクロバス貸出に要する経費】					2,116,361 円																					
マイクロバス貸出件数																										
1 社会教育・社会体育等行事 15 件																										
2 学校行事 91 件																										
3 その他（他課事業への貸出等） 12 件																										
(次頁へ続く)																										

(次頁へ続く)

実績

【社会教育委員経費】

205,370 円

実施日	主な協議事項	出席委員数	場 所
令和元年6月4日	社会教育団体への補助金の交付について	10人	文化観光交流館
令和元年11月18日	地域学校協働活動推進事業の評価・検証事業視察『放課後子ども教室』	9人	松島町役場 松島第二小学校
令和2年2月7日	地域学校協働活動推進事業の評価・検証事業視察『松島まるごと学～森林学習～』	10人	松島町役場 松島第一小学校
令和2年3月	地域学校協働活動推進事業の評価・検証	—	※書面会議

【その他社会教育関係経費(1)】

420,238 円

1 社会教育関係研修・会議への参加

38 件

2 社会教育関係調査等への回答

12 件

課題
方向性

ジュニア・リーダー活動については、登録人数に対する実働可能人員の割合が高くなってきていることから、引き続き高校生から中学生への技術継承の場を設け、全体のレベルの底上げを図る。松島町女性団体連絡協議会については、今後とも役員と連携し、計画的な予算活用を図る。社会教育団体への補助金拠出については、引き続き事業内容を精査した上で円滑に対応していく必要がある。地域学校協働活動推進事業については、地域・学校・家庭の連携を深め地域ぐるみで学習・交流するための地域学校協働本部の設立を進める必要がある。

こころ・はぐくみ隊については参加者が減少しており、実施時期や内容、募集方法について見直す必要がある。宮城県巡回小劇場については、今後とも学校と連携し、円滑な運営を行っていく。青少年健全育成については、秋田県にかほ市との交流をより深めるため、リーダー研修会の本町開催実現に向けて役員と連携し計画を立てる。

マイクロバスの貸出については、平成30年度に設定したマイクロバス使用基準に基づいて行っていく必要があり、引き続き関係部署担当者及び社会教育団体等への周知を図っていく。社会教育委員の会議については、地域学校協働活動推進事業の評価・検証とともに、本町の社会教育の振興に資するよう調整していく。

一 般 会 計

10 款	4 項	2 目	公民館費							
担当部署名		中央公民館							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	24,368	23,850					142	23,708		
目的	町民のニーズに合わせた生涯学習の環境をつくとともに、その事業の推進に努める。また、分館活動を通じて、町民の健康の増進・生活文化の振興に努める。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	成人教育事業	A	2.7	3.3	昨年度から実施している和風工芸の講座については、募集定員を超える応募があり、受講者の新規開拓が図られた。					
	文化観光交流祭事業	A	3.7	3.0	実行委員会が運営に積極的に運営に協力したり、参加団体がPRカードを配布したりしたことで、来場者数の増加につながり、参加者主体の行事となりつつある。					
	成人式典関係経費	B	-	3.7	成人者が組織する実行委員会の運営がスムーズになされ、参加者への周知にも協力いただいたことで、例年より参加者数が増加した。					
	分館活動経費	A	4.7	3.7	分館活動を通して、地域住民の教養の向上や健康増進、地域間の交流促進が図られた。分館長・主事・会計移動研修では、東松島市の震災復興の状況と松島町とも関係の深い縄文文化について深く学ぶことができた。					
	公民館一般活動経費	A	3.0	3.0	印刷機の貸出などを実施することで、利用者が利用しやすく、円滑な公民館活動に寄与することができた。					
実績	【成人教育事業】								100,517 円	
	・中央公民館教室・講座									
	名 称	内 容				開催期間	受講者 (延べ 人数)	回数 (回)		
	和綴じ本をつくらう	日本の伝統的な製本法を学び、五つ目綴じのノートを作成した。				11月22日	10	1		
	つまみ細工を作ろう	江戸時代から伝わる日本の工芸、技法であるつまみ細工でストラップやブローチを作成した。				2月26日	11	1		
	紙粘土細工講座 かわいいおひな さまづくり	2年目となる紙粘土細工講座では、自分だけのかわいいおひなさまの制作をする。				3月18日 ※新型コロナウ イルスで中止	15 (申込者数)	1		
【文化観光交流祭事業】								57,643 円		
名 称		内 容				開催日	参加人数			
2019松島町文化 観光交流まつり		町の芸術文化の振興と発展を図るため文化観光交流祭を開催し、人・産業・文化などの様々な交流と連携を図り、町内の個人・団体が日頃活動した成果を発表した。また、今回も「まつしま子どもアート広場」として子ども達の作品を展示、松島高等学校の生徒による舞台及び展示参加をした。				11月2日 11月3日	参加者数 延べ500人 来場者数 延べ2,500人			
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

実績

【成人式典関係経費】

486,859 円

名 称	内 容	開催日	参加人数
第71回成人式	新成人を祝い、励ますと共に社会人としての自覚を高めることを目的に成人式を開催した。 また、式典では新成人者に対し、地元出身のお笑い芸人であるニードルから新成人へのお祝いを込めた漫才が披露された。さらに新成人者の実行委員会によるアトラクションでは、恩師一人一人からお祝いのメッセージやサプライズのDVD上映、中学校の校歌を合唱するなど会場を盛り上げた。	令和2年 1月12日	新成人出席者 102人

【分館活動経費】

3,222,970 円

各分館において、グラウンドゴルフ大会等のスポーツイベントや盆踊り大会などの地域イベントを開催した。また、分館活動推進を図るため、分館代表者による移動研修会を実施した。

・ 分館数

12 分館

・ 松島町公民館分館事業補助金

1,477 千円

均等割総額

1,200 千円

人口割総額

277 千円

○ 主な分館活動

グラウンドゴルフ大会、盆踊り大会、敬老会、お花見会、新成人お祝い会 等

・ 分館長会議開催回数

5 回

・ 第59回町民ふれあいスポーツ大会

名 称	内 容	開催日	参加人数
第59回町民ふれあいスポーツ大会	運動を通じて参加者の健康増進と体力向上、さらに地域や世代間の交流促進を図る目的で、各分館対抗で運動会形式のスポーツ大会を開催した。	6月2日	798人

・ 分館長・主事・会計移動研修会

○ 実施日

11月17日

○ 研修先

東日本大震災から現在までの復興の状況の確認と、里浜貝塚が発掘されて100年を迎えることから貝塚を中心とした歴史について学びながら、地震、津波に影響されない縄文人の知恵を理解することにより、見識を高めるための研修を実施した。

東松島市

【公民館一般活動経費】

1,835,799 円

課題
方向性

日本の伝統工芸を学ぶ講座については、昨年から開催し新しい受講者の獲得につながっており、今後も受講者のニーズに合わせた講座を開設していく。
分館活動については、各分館地域の実情に応じた分館活動を実施しているが、各地区の人口や構成年齢の格差が広がってきており、今後の分館活動の在り方について検討していく必要がある。

一 般 会 計

10 款	4 項	3 目	文化財保護費							
担当部署名		教育課生涯学習班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	22,676	21,962			204			21,758		
目的	文化財の保全・活用を通じて、町の歴史文化に対する町民の理解を深め、ふるさとを誇りに思う人材を育み、松島の魅力を広く発信する。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	文化財啓蒙普及に要する経費 町所蔵資料の公開・活用に関する業務	A	5.0	3.7	「松島れきし再発見講座」として住民主体の文化財活用を目指すプログラムを実施し、好評であった。なお、講座は年間2回開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で3月1日の回が中止となった。また、役場町民スペース、観瀾亭松島博物館等で計14回の展示替えを実施し文化財の公開を図った。					
	文化財調査保存に要する経費 文化財史料整理に関する業務	A	3.3	3.0	令和元年度は新たな発掘調査がなかったため、追加の出土品はなかったが、過年度未整理分を対象とした調査を行った。					
	文化財調査保存に要する経費 指定文化財修理管理費補助に関する事務	A	4.7	3.7	本年度は通常の維持管理経費（防火設備の点検等）にのみ補助を行ったが、今後は大規模な設備改修や修復事業が計画されており、国庫補助事業として実施できるよう、所有者と県・国の連絡調整を積極的に行った。					
	日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」普及啓発事業	A	3.7	3.0	今年度から補助金がなくなったため、これまでに整備してきたパンフレットやホームページ等を活用した事業実施を行った。また、構成市町が連携しながらより長期的に事業が継続していくための枠組みの整備を行った。					
	震災復興事業に係る埋蔵文化財包蔵地確認調査及び発掘調査事業	A	3.0	3.0	該当案件が無かった。					
	品井沼干拓資料館の管理に要する経費	B	-	3.3	町内小学校を含む小学生及び一般向けの資料館利用に対応し、展示の解説を行った。また、展示資料の整理及び解説パネルの見直しを行い、小学生の利用者に分かりやすい展示を心がけた。					
	文化財保護委員会運営経費	B	-	4.3	2回の会議を行い、町の文化財に関する意見を聴取した。					
	文化財啓蒙普及に要する経費 文化財防火デーに関する事務	B	-	3.7	瑞巖寺を会場に消防訓練を実施し、関係機関の連携を確認した。					
	文化財調査保存に要する経費 特別名勝松島現状変更及び埋蔵文化財包蔵地に係る申請等に関する事務	B	-	3.3	特別名勝松島現状変更の申請事務を行った。 埋蔵文化財包蔵地における開発行為に係る届出事務及び立会等を行った。 宮城県文化財保護地区指導員とともに文化財パトロールを行った。					
	文化財調査保存に要する経費 西の浜貝塚公園管理に関する事務	B	-	3.3	国史跡西の浜貝塚の調査及び維持管理を行った。					
	歴史文化基本構想活用事業	C	-	-	各種講座やガイド依頼の際に、積極的に歴史文化基本構想をPRすることができている。その効果か、行政区単位など地域主体の行事で歴史講座や町歩きを依頼されることも増えてきた。					
(次頁へ続く)										

10	款	4	項	3	目					
実績	【文化財啓蒙普及に要する経費】							243,001 円		
	1	文化財防火デーに関する事務			令和2年1月27日実施	参加者	168 人			
	2	町所蔵資料の公開・活用に関する業務								
		ア) 文化財の展示								
		① 町民スペース								
		4月8日～4月22日	伊達政宗書状							
		5月7日～5月20日	伊達吉村筆「薔薇図」							
		5月20日～5月31日	伊達政宗直筆一卷							
		5月31日～9月30日	初原契約講関係資料							
		10月1日～12月22日	観光ポストカード、書籍等資料							
		12月23日～3月18日	嘉仁皇太子行啓関係資料							
		3月19日～	浅井元義関係資料							
		② 春日PA文化財展示室独立ケースにおける展示								
		7月27日	蒔絵三方							
		7月28日～1月9日	磯崎消防団半鐘							
		③ 松島博物館								
		7月21日～11月5日	「霊場・松島」展							
		11月6日～2月2日	「おくのほそ道と松島2019」展							
		2月3日～	日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」展							
		④ 松島湾三町文化財展（利府町、七ヶ浜町と共同）								
		西の浜貝塚出土資料、嘉仁皇太子行啓関係資料								
		イ) 松島れきし再発見講座 Lesson4（令和元年6月22日）					参加者	35 人		
		① 歴史講演会					「松島町歴史文化基本構想について」 「民俗文化財の調査・記録について」 「根廻阿部家文書について」			
		② 民俗芸能鑑賞					根廻地区に伝わる大蔵流謡曲の鑑賞			
		※松島れきし再発見講座Lesson5（令和2年3月1日開催予定）は新型コロナウイルス感染症の影響で中止								
		ウ) 出前講座の実施								
		・ 学校向け出前授業・見学学習（松島まると学等）					16 件	延べ	392 人	
	・ 一般向け（町内所在の文化財に関する講演、町歩き等）					20 件		440 人		
	【文化財調査保存に要する経費】							5,689,081 円		
	1	文化財資料整理に関する業務								
		・ 町史編さん史料の再整理・目録作成					984 点			
		・ 瑞巖寺境内遺跡出土木簡整理					1,168 点			
		・ 瑞巖寺境内遺跡出土五輪塔・供養塔整理					334 点			
	2	指定文化財の保存修理等事業補助								
		・ 瑞巖寺・圓通院・陽徳院維持管理事業補助（自動火災報知設備維持等）					112,000 円			
	3	特別名勝松島の現状変更の指導及び許可申請受付・進達					174 件			
	4	埋蔵文化財包蔵地の現況調査（文化財保護地区指導員と共同調査）					5 箇所			
	5	埋蔵文化財の管理及び諸開発事業の事前協議書申請受付・進達					14 件			
	6	国指定史跡西の浜貝塚公園管理（公園管理・樹木剪定業務委託料、光熱水費）					2,469,210 円			
(次頁へ続く)										

（次頁へ続く）

実績

【日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」普及啓発事業】

日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の活用

・ 一般向け講座

・ 紹介パネル展示

・ PRイベントへの参加

17 件

3 回

参加者数

見学者数

476 人

2,524 人

「日本遺産サミットin高知」

（高知県高知市、10月12日・13日）

「日本遺産の日PRイベント」

（東京都有楽町駅前、2月12日）

【品井沼干拓資料館の管理に要する経費】

1

品井沼干拓遺構・資料館維持管理（穴頭・ずり穴・穴尻草刈業務委託、浄化槽保守点検・清掃、消防施設保守点検、火災保険料、光熱水費含む）

1,041,116 円

2

品井沼干拓資料館の利用（町内小学校も含む）

30 件

512 人

【文化財保護委員会運営経費】

文化財保護委員会の開催

530,980 円

実施日	主な協議事項	出席委員数	場 所
令和元年6月4日	令和元年度事業概要・現地視察（瑞巖寺宝物館・水主町民家）	6人	瑞巖寺宝物館
令和2年2月26日	瑞巖寺老杉の診断結果について、台風第19号被災資料について、文化財パトロール結果について	5人	松島町役場

課題
方向性

文化財の展示公開については年間計画を立て、綿密な調査活動に基づき定期的な展示替えを行っていく必要があるとともに、持続可能な文化財の活用を図るため、展示場所や資料の収蔵スペースのモニタリングを続け、環境を整えていかなければならない。

文化財資料については、文書史料・考古資料ともに整理が進みつつあり、一部の公開活用をはかることができるようになったが、未整理である資料の数量も多く、全数の調査終了までには、多くの時間を要する。

腐朽・老朽化等により改修が必要な文化財もあり、国県補助金メニュー等の活用を促すとともに、申請書類の作成等についても指導助言を積極的に行っていく。

日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」については、既存コンテンツや、構成自治体と共同で令和元年度に開発した子供向けプログラム・一般向け講座プログラムを活用した講座を活用しながら継続した事業運営に取り組んでいく必要がある。

品井沼干拓資料館については、主な利用者である小学校4年生に標準を合わせた展示になるよう引き続き展示内容を見直していく。

特別名勝松島及び埋蔵文化財包蔵地の開発に係る事務については、引き続き周知を行い無許可・無届工事の発生防止に努めていく。併せて今後予定されている特別名勝松島保存管理計画改訂に向け、地域ごとの特性や問題点について整理を進める。

西の浜貝塚公園の維持管理業務については、今後とも周辺住民のニーズに合わせるとともに優先度を見極めた管理を行っていく。

歴史文化基本構想策定から2年が経過し、中長期的な視野を持って見直し等も計画していく必要がある。

一 般 会 計

10 款	4 項	4 目	町民の森費					
担当部署名		中央公民館					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
	13,070	12,871	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
						1	12,870	
目的	民間の活力を活かして、町民の森施設の施設管理及び生涯学習の場として有効利用促進に努める。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	町民の森維持管理経費	A	3.7	4.0	昨今のアウトドアブームの影響や熊の出没が少なかったため、テントサイトを中心に利用者が増加している。 また、指定管理者により利用者が施設を快適に利用できるよう、空調の設置や外トイレの洋式化が図られた。			
	町民の森運営経費	A	3.7	3.7	長松園まつり事業については、実行委員会の協力を得て、長谷川萬治翁の残した功績を後生に伝える一助となった。			
実績	【町民の森維持管理経費】						12,292,770 円	
	1 指定管理業務委託							
	・ 指定管理料						12,292,770円（平成31年4月から令和2年3月まで）	
	・ 指定管理期間						平成27年4月から令和2年3月まで（5年間）	
	・ 指定管理者						特定非営利活動法人 ウイザス	
	2 利用状況							
							(単位:人)	
		利用者数	内 訳					
			センター ロッジ	テント	多目的 ホール	研修室	円形広場	炊事棟
	4月	1,824	17	359	23	17	1,391	17
	5月	2,308	0	657	0	0	1,568	83
	6月	676	0	72	9	0	586	9
	7月	2,133	243	245	243	243	1,022	137
	8月	2,797	336	498	336	336	1,202	89
	9月	1,457	0	443	0	0	1,004	10
10月	1,957	56	310	224	118	1,173	76	
11月	1,790	146	261	199	146	1,038	0	
12月	278	0	30	10	0	238	0	
1月	230	0	9	0	0	221	0	
2月	374	0	27	0	0	347	0	
3月	668	0	0	0	0	668	0	
合計	16,492	798	2,911	1,044	860	10,458	421	
						利用者内訳	町内 4,260 人 町外 12,232 人	
3 指定管理者自主事業								
事業名			実施日		参加人数			
麦のパン作り教室			4月20日		7人			
森のわんぱくキャンプ			7月29日～30日		23人			
企画展 NPOウイザス 写真クラブ			11月4日～18日		200人			
松島の四季写真コンテスト			4月1日～2月		60人			
松島の四季写真コンテスト表彰式			中止		0人			
毎月第1土曜日、写真サークル開催。								
(次頁へ続く)								

10	款	4	項	4	目
実績	【町民の森運営経費】				1,835,799 円
	・ 補助金 長松園まつり事業補助金				100,000 円
課題 方向性	野外活動センターは、指定管理者により適切に運営されており、利用者も増加している。利用料金については、近隣の施設と比較をしても安価に設定されており、利用しやすいというメリットがあるが、今後の施設の維持管理を考えていく中で、適切な受益者負担について検討していく。				

一 般 会 計

10 款	4 項	5 目	地域交流センター費						
担当部署名			中央公民館					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
	5,194	4,557	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
						41	4,516		
目的	地域活動の拠点施設として、生涯学習の振興と健康の維持増進を図るとともに、町民相互の交流促進に努める。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	手樽地域交流センター管理費	A	3.0	3.3	近隣に集会施設ができたことにより利用者は減少しているが、学び支援センターや文化財の整理等に活用されている。				
	松島東部地域交流センター管理費	A	3.0	2.0	体育館は定期的に利用されているが、センター施設の利用が大幅に少ないので、活用について検討していく。				
実績	1 松島町地域交流センター施設利用一覧表 (単位:人)								
	区分	利用者数	内訳 (手樽地域交流センター)		内訳 (松島東部地域交流センター)				
			センター施設	グラウンド	センター施設	グラウンド	体育館		
	4月	156	84	60	0	0	12		
	5月	154	51	34	0	0	69		
	6月	188	85	60	19	0	24		
	7月	568	472	60	0	0	36		
	8月	1,444	395	94	300	300	355		
	9月	286	112	160	0	0	14		
	10月	713	595	60	16	0	42		
	11月	669	299	267	0	0	103		
	12月	500	250	0	20	0	230		
	1月	60	20	0	0	0	40		
	2月	114	106	0	0	0	8		
	3月	52	52	0	0	0	0		
	合計	4,904	2,521	795	355	300	933		
	2 主催事業								
	・ 手樽地域交流センター								
	名 称	内 容				開催期間	参加者		
	親子工作教室	家族で協力し一つの作品を完成させ、ものづくりの楽しさを体験するとともに、家族とふれあいながら楽しく踏み台を製作した。				8月3日	9組 18人		
	・ 松島東部地域交流センター								
	名 称	内 容				開催期間	受講者		
	陶芸体験教室	ろくろを使って、オリジナルの皿等の焼物に挑戦した。				6月8日	18人		
	そばづくり教室	講師の指導の下、本格的なそばづくりに挑戦した。				10月19日	16人		
	手作り教室	家庭的なクリスマス料理6品を作った。				12月8日	18人		
課題 方向性	両施設ともに維持管理経費に比べて、利用者が少ない状況である。施設の老朽化も進んでいるため、今後の維持管理の方向性について検討していく。また、近隣の集会所との差別化を図り、生涯学習施設としての機能を生かした今後の運営方法を模索していく。								

一 般 会 計

10 款	5 項	1 目	保健体育総務費						
担当部署名			教育課生涯学習班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
	10,733	10,088	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	10,088	
目的	町民が心身ともに健康で活力に溢れた生活が営めるよう、スポーツ活動へのきっかけを提供する。 また、体育施設を町民の健康と体力づくり、コミュニケーションづくりの場として提供し、地域における生涯スポーツの普及と振興を図る。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	スポーツ推進委員経費	A	4.3	3.7	各種スポーツ大会への運営協力や様々な研修会等への参加を通じて、スポーツ推進委員としての資質が向上し、専門性を高めることができた。				
	スポーツ団体等育成経費	A	3.3	4.0	体育協会へ補助金を交付し、各種スポーツイベント等を通じたスポーツの振興や全国・東北大会に出場する団体や個人へ助成を行った。				
	東京2020オリンピック・パラリンピック大会関連経費	A	4.3	3.0	新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延したことにより、東京2020大会が1年延期されたが、聖火リレールートを選定等宮城県実行委員会に協力を行った。				
	町民グラウンド管理経費	B	-	3.3	指定管理に移行して2年が経過し、町民の健康増進と体力向上に寄与するとともに、世代間を超えた交流の場を提供することができた。				
	管内社会体育担当者研究協議会経費	B	-	3.7	宮城県スポーツ振興計画に基づき、国際交流を通じたスポーツの在り方というテーマで、講話や実技研修を行ったことで、スポーツ活動機会の創出と交流の推進を図る足がかりとなった。				
	社会体育一般経費	B	-	3.7	未来（あした）への道1000km縦断リレーやクイーンズ駅伝の運営協力を行うことで、町民がプロスポーツに身近に触れる機会となった。また、各種スポーツ団体が運営に参画することで、ボランティアの育成が図られた。				
実績	【スポーツ推進委員経費】					401,670 円			
	1 町民ふれあいスポーツ大会の審判及び運営協力 2 宮城ヘルシー2019ふるさとスポーツ祭の運営協力 3 心の震災復興・障がい者就労支援グラウンド・ゴルフ大会の運営協力 4 宮城県スポーツ推進委員協議会・仙台管内スポーツ推進委員協議会等の研修会への参加								
	【スポーツ団体等育成経費】 松島町体育協会への補助金の交付					2,960,000 円			
	【東京2020オリンピック・パラリンピック大会関連経費】					47,580 円			
1 聖火リレー通過を周知する懸垂幕の掲示 2 宮城県実行委員会による組織委員会へのリレールート選定に係る協力									
(次頁へ続く)									

【町民グラウンド管理経費】

- 1 町民グラウンド指定管理料
- 2 町民グラウンド月別利用状況

1,143,480 円

月	件数 (件)	人数 (人)
4	28	1,093
5	45	1,366
6	21	1,418
7	31	1,507
8	15	512
9	28	1,226
10	21	5,755
11	27	873
12	11	715
1	0	0
2	15	701
3	2	25
計	244	15,191

→ KHBハーフマラソンでの利用含む

【管内社会体育担当者研究協議会経費】

1,000 円

研究テーマ 国際交流を通じたスポーツの在り方

- ・ 会議、研修を年10回開催
- ・ 令和元年度研究のまとめの編集・発行

【社会体育一般経費】

264,522 円

- 1 松島町立学校体育施設利用状況（一般開放分）

学校名		松島第一小学校	松島第二小学校	松島第五小学校	松島中学校	合 計
体 育 館	利用人数 (人)	3,606	1,458	1,310	1,950	8,324
	利用件数 (件)	150	52	45	152	399
校 庭	利用人数 (人)	3,405	25	290	0	3,720
	利用件数 (件)	102	1	2	0	105
合 計	利用人数 (人)	7,011	1,483	1,600	1,950	12,044
	利用件数 (件)	252	53	47	152	504

- 2 未来（あした）への道 1000km縦断リレーの運営協力

・ 開催期間：令和元年7月24日から8月7日

- ①7月29日 南三陸さんさん商店街～松島町文化観光交流館
ゴール式 松島高校ダンス部による賑やかし
松島産ミニトマトのお振る舞い

- ②7月30日 松島町文化観光交流館～宮城県庁
スタート式 松島五大堂太鼓の会による賑やかし

- 3 クイーンズ駅伝in宮城 第39回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会の運営協力

- ・ 開催日時：令和元年11月24日 スタート 松島町文化観光交流館前
- ・ 各スポーツ団体へのコース整理員の協力依頼、大会副賞の提供

実績

課題
方向性

スポーツ推進委員は、各行事への運営協力や研修会等への参加を通じ資質が向上しているので、活動の場の確保やスポーツ推進委員の活動について周知していき、スポーツの普及・啓発を図っていく。

スポーツ団体の育成については、東京2020オリンピック聖火リレーの運営協力も含めて、支援体制を強化していく。また、東京2020オリンピック・パラリンピック大会関係については、新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期となったことを踏まえ、県実行委員会などと連携しながら開催に向けて調整していく。

町民グラウンドは、指定管理者と連携しながら町民の利用しやすい施設として運営していくとともに、長寿命化計画と合わせて計画的な修繕を行っていく。

町民がトップアスリートやプロスポーツと触れる機会を今後も創出していく。

一 般 会 計

10 款	5 項	2 目	海洋センター費					
担当部署名		教育課生涯学習班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,486	13,406					24	13,382
目的	海洋性スポーツ事業を通して相互交流を図るとともに、安全に配慮しながら、誰でも安心して利用できる施設運営を目指す。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	施設管理運営経費	A	3.3	3.3	B&G海洋センターの指定管理者である総合型スポーツクラブの自主事業により、子供たちが楽しく気楽に運動遊びに親しむ機会の創出に寄与した。 また、利用人数に関しては、2月まではやや減の人数で推移していた。新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため3月に休館したことにより、年間利用者数の減少幅が拡大した。			
実績	【施設管理運営経費】							13,405,382 円
	1 海洋センター指定管理料							9,584,946 円
	2 海洋センター駐車場舗装修繕							519,200 円
	3 多目的運動場屋外トイレ外改修工事							2,728,000 円
	4 海洋センター事業							
名称		内容・目的等			参加人数	期日	会場	
2019B&G 宮城 マリンスポーツフェスティバル		「水」との触れ合いを通じて、青少年の健全育成と生涯スポーツの推進、海洋性スポーツの普及を図る。			全参加者数 72人 (松島町 14人)	8月2日	登米市 長沼ボート場 (登米市迫B&G 海洋センター)	
2019B&G 宮城 ウィンタースポーツフェスティバル		雪に親しむ機会を提供し、冬の自然の美しさや不思議さを学ばせるとともにウィンタースポーツの普及を図る。			雪不足のため 中止	2月1日	加美町やくらい ガーデン	
5 海洋センター利用人数 (単位:人)								
月		体育館	会議室	屋外多目的運動場	計			
4		805	234	299	1,338			
5		928	206	176	1,310			
6		1,245	333	357	1,935			
7		1,206	259	236	1,701			
8		853	279	170	1,302			
9		1,362	315	219	1,896			
10		3,008	365	5271	8,644			
11		993	392	94	1,479			
12		754	190	58	1,002			
1		786	200	63	1,049			
2		787	384	85	1,256			
3		70	6	0	76			
計		12,797	3,163	7,028	22,988			
課題 方向性	指定管理者に移行してから2年が経過したが、子どもを対象とした事業も充実してきており、指定管理者と益々連携を図りながら事業の実施や利用促進を図っていく。 施設の老朽化が進んできているので、長寿命化計画に基づき利用者が使いやすい施設となるよう必要箇所の修繕を行っていく。							

一 般 会 計

10 款	5 項	3 目	給食施設費					
担当部署名		学校給食センター					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	114, 658	106, 736		302		44, 917	61, 517	
目的	栄養バランスの取れた食事の提供と、園児や児童生徒の心身の健全な発達と食生活の改善を図り、成長期にある子どもの健康保持や増進、望ましい食習慣の確立に努める。食事の時間を通して、豊かな人間関係を作り、共同作業を通じて、勤労の大切さや協調、感謝の心を養うことに努める。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	学校給食センター施設設備更新事業	A	4.3	3.0	施設・設備の管理費が増加傾向にあるが、修繕等の対応により施設の安全、衛生面での環境整備が図られた。			
	学校給食センター管理運営に要する経費	B	-	3.3	献立や調理方法を工夫しながら栄養バランスの取れた給食の提供ができた。また、栄養士による栄養指導の実施やホームページの活用により学校給食について広く周知することができた。			
	学校給食センター運営審議会に要する経費	B	-	3.7	学校給食の運営に関する重要事項の調査審議を行う組織であり、令和2年度からの給食費改定の審議を実施することができた。			
実績	【学校給食センター施設設備更新事業】							
	1 使用料及び賃借料			6,347,397 円				
	・ 厨房機器等リース（浸漬槽付超高压洗浄機、食缶洗浄機、スチームコンベクションオーブン連続揚げ物機、フードスライサー）							
	・ 真空冷却機等リース（真空冷却機、包丁まな板殺菌庫）							
	2 備品購入費			2,817,367 円				
	・ 食器カゴ、スプーンカゴ、エスタートレイ、冷凍ストッカー、デジタル秤、パン箱、米飯箱、サラダサービストング、ざる、プラスチック、穴あきスプーン、麺ひしゃく、高压洗浄機、給食用コンテナ							
	【学校給食センター管理運営に要する経費】							
	1 委託料			21,582,000 円				
	・ 学校給食調理等業務委託 調理、食材の検収・保管、盛り付け・配食、食器具等の洗浄・消毒・保管、施設設備の清掃・点検、残滓・厨芥の処理、集配送（車両2台配備）、ボイラー運転及び付帯業務							
	2 年間給食回数と給食費							
区 分	給食人員 (人)	年間給食回数(回) 当 初	1食当たりの給食費 (円)					
幼稚園	122	163 (年少)	250					
		165 (年中・年長)						
小学校	527	177	265					
中学校	288	165 (1・2年)	310					
		153 (3年)						
※ 新型コロナウイルス感染症対策により、令和2年3月から小中学校が臨時休業となり、平均で13回減となった。								
(次頁へ続く)								

3 食育の推進

- ・親子での給食試食会（計6回）
 - 6月12日 第五小学校5年生と保護者
 - 6月18日 第二小学校1年生と保護者
 - 1月31日 第二幼稚園園児と保護者
 - 6月13日 第一小学校1年生と保護者
 - 6月26日 第五小学校1年生と保護者
 - 2月21日 第五幼稚園園児と保護者
- ・栄養士による食育指導等
 - 町内各幼稚園・小学校・中学校の全クラスで、給食時に食育指導を行った。（年2回）
 - 1回目：5月～7月 「朝食について」他
 - 2回目：10月～11月 「地場産物について」他
 - 各小学校3年生を対象に、「食べ物のはたらき・3つの栄養素」をテーマに食育授業を行った。
 - 毎月の予定献立表・給食だよりや教育委員会HPを通じて、児童生徒及び保護者に対して、学校給食の目的や食育に関する情報を発信した。
(H29年度から町のホームページへ掲載)
- ・地元生産者との交流会
 - 第五小学校にて、町内の生産者や食生活改善推進委員と児童の交流会を実施し、併せて当日の給食で町内産野菜等を使用した特別メニューを提供した。（11月20日）
- ・郷土料理給食等の実施（全国学校給食週間）
 - 全国学校給食週間に合わせ、松島町食生活改善推進委員提供メニュー、児童生徒のリクエスト献立や全国の郷土料理メニュー等に地元の食材を使用した献立を実施した。
食生活改善推進委員提供メニュー「白菜のミルクコーンスープ」(1月23日)
 - 四国・九州地方の郷土料理を献立に取り入れ提供した。（2月）
 - 愛媛県（たいそぼろ、いよかん）、徳島県（鳴門金時入りさつまいもスープ）
 - 熊本県（タイピーエン、デコポン）、沖縄県（うむくじ天ぷら、もずくスープ）他
- ・児童生徒のリクエスト献立の実施
 - 児童生徒を対象に給食で食べたいメニューを募り、給食の献立として提供した。
 - 小学6年生と中学3年生を対象に主食・主菜・副菜・汁物を組み合わせ、1食分の献立を立ててもらい、その中から3学期に給食メニューとして提供した。

4 地場産品の利用促進

- ・松島産の野菜などの使用
給食メニューとして使用が可能な地元産の食材については、JA仙台（東部営農センター）等関係団体の協力により、積極的に取り入れた。
- ・学校給食用野菜等の使用状況
(野菜・主要品目)

品 目	平成30年度			令和元年度		
	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)
じゃがいも	2,688	904	33.6	3,151	478	15.2
白菜	1,183	702	59.3	1,079	866	80.3
大根	1,376	510	37.1	1,613	557	34.5
人参	2,087	0	0.0	1,894	0	0.0
ねぎ	1,628	1,098	67.4	1,280	747	58.4
キャベツ	1,927	287	14.9	1,844	182	9.9
玉ねぎ	3,317	521	15.7	3,056	743	24.3
きゅうり	1,128	82	7.3	1,097	186	17.0
合計	15,334	4,104	26.8	15,014	3,759	25.0

(次頁へ続く)

実績

(米、その他の町内産使用数量・Kg)

品 目	平成30年度	令和元年度
環境保全米	9,595	7,786
玄米 (金のいぶき)	40	60
トマト	126	247
赤かぼちゃ	134	175
ブルーベリー	20	10
たけのこ	68	84
なす	0	0
いちご	20	12
小松菜	13	30
さつまいも	17	0

(加工品等使用状況)

牡蠣しょうゆ
松島産かぼちゃコロケ
松島産たけのこ入りメンチカツ

5 簡易放射能検査

・ 毎週、調理後の食材を簡易放射能測定器で測定する放射能検査を継続して実施した。

6 食物アレルギー対応

・ 食物アレルギーの児童生徒への対応として、保護者からの個人調査票の提出により、給食対応（給食の全部停止又は一部停止、詳細献立の提供）を実施した。
全部停止 4人 一部停止(牛乳停止) 14人 一部停止(パン) 0人
詳細献立の提供 13人

7 学校給食費の収入状況

・ 現年度分

単位：円、%

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
調 定 額 (A)	52,555,980	51,488,745	45,298,515
収入済額 (B)	50,871,635	50,156,353	43,695,070
不納欠損額 (C)	0	0	0
収入未済額 (A-B-C)	1,684,345	1,332,392	1,603,445
徴収率 (B/A*100)	96.7	97.4	96.5

・ 滞納繰越分

単位：円、%

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
調 定 額 (A)	9,564,000	9,755,793	9,737,578
収入済額 (B)	1,510,767	1,272,805	1,222,515
不納欠損額 (C)	0	0	1,034,109
収入未済額 (A-B-C)	8,053,233	8,482,988	7,480,954
徴収率 (B/A*100)	15.8	13.1	12.6

(不納欠損処分の件数)

単位：件

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
債権放棄	0	0	0
時効援用	0	0	9
計	0	0	9

【学校給食センター運営審議会に要する経費】

・ 学校給食センター運営審議会(年2回) 6月 6日、12月11日開催
(運営委員数 10名) 学校給食担当者会議 (2回)

課題
方向性

給食を通して様々な食材や栄養を知ることによって味覚を鍛え、食事のマナーの経験を積みながら食の大切さを今後も伝えていく。併せて、「給食だより」やホームページを活用して情報を発信していく。
給食施設については、設備の更新や学校給食衛生管理基準に沿った環境衛生対策、安全対策を徹底する。
学校給食費の未納については、保護者の納付義務を認識させ、納付相談などの実施により計画納付による収納率の向上に努める。

一 般 会 計

10 款	6 項	1 目	幼稚園費					
担当部署名		教育課学校教育班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
	84, 596	79, 442	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
			254	96		2, 164	76, 928	
目的	幼稚園教育方針の趣旨に基づく、「元気でのびのびとし、表現豊かな松島っ子の土台づくり」に向けた教育体制及び施設の充実を図る。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	第1幼稚園管理費	B	-	3.7	松島第一幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。園運営を円滑にするための定期的な職員会議の開催、人材育成のための研修会への積極的な参加を行った。			
	第2幼稚園管理費	B	-	3.7	松島第二幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。園運営を円滑にするための定期的な職員会議の開催、人材育成のための研修会への積極的な参加を行った。			
	第5幼稚園管理費	B	-	3.7	松島第五幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。園運営を円滑にするための定期的な職員会議の開催、人材育成のための研修会への積極的な参加を行った。			
	保健診療費	B	-	3.7	生活習慣病予防の早期指導や食育・生活習慣・運動習慣の指導等を実施した。健診結果は各学校保健委員会等で報告し、様々な健康問題について研究協議した。			
	私立幼稚園就園奨励費	B	-	4.0	私立幼稚園の設置者が入園料及び保育料の減免を行った場合において、設置者に対して松島町私立幼稚園就園奨励費補助金を交付した。※幼児教育無償化に伴い、令和元年度で終了。			
	幼保無償化関係事業	B	-	3.7	幼児教育の無償化の実施により、子育てを行う家庭の経済的負担を軽減するため、市町村の確認を受けた幼児期の教育及び保育等を行う施設等の利用費に関して給付費を支払う。			
実績	1 園児数及び教諭数 (令和元年5月1日現在)							
	(単位:人)							
	幼稚園名	定員	園児数	教職員数				
	松島第一幼稚園	70	49	7				
	松島第二幼稚園	40	41	6				
	松島第五幼稚園	40	20	8				
計	150	110	21					
	※教職員数は、園長・兼務職員・臨時職員を含む							
	2 一時預かり保育事業							
	(単位:人)							
	幼稚園名	利用実人数	延べ利用人数	利用事由				
	松島第一幼稚園	24	51	学校行事（授業参観、懇談会、役員会）、健診、通院等				
	松島第二幼稚園	25	69					
	松島第五幼稚園	13	60					
	計	62	180					
	(次頁へ続く)							

3 幼保小等の交流の取組

事業名	内容
親と子の合同学習会	町内幼稚園合同で保護者と園児が参加する親子ふれあいコンサートを開催
小学校との交流	小学校見学、小学1年生と相互交流を実施、特別支援教育の相互交流等
保育所との交流	日常の保育・行事などにおける園児の交流を第二幼稚園と高城分園とで実施
小学校との合同行事	運動会・学習発表会・マラソン大会・あそび祭り・避難訓練等に参加
特別支援教育の連携	特別支援連携協議会等において幼・保・小・中・特別支援・保健福祉関係者等の情報交換等の実施

4 幼稚園教育推進の取組

事業名	内容
体力づくり事業	体づくり運動（スポーツ推進委員）の活用や外遊びの推奨
国際理解教育の推進	ALTを活用した初歩的な英語コミュニケーションの推進
子育て講話	「小学校就学に向けた幼児の子育てについて」（各園長・小学校教諭）
保護者アンケート	子どもの生活状況、幼稚園の行事や保育に関するアンケート調査を通して、保護者のニーズや教育環境についてのニーズを把握するため実施。
幼保合同職員研修	幼稚園職員や保育所職員の情報共有や指導力向上を目的に研修会を実施。 「幼児教育で育ててほしい姿・備えてほしいこと」 講師：教育指導専門員
巡回支援専門員整備事業（のびっ子クラブ）	発達障害支援を提供できる専門知識とスキルを習得。（全6回）

実績

5 需用費（修繕料）

○ 松島第一幼稚園	・ 屋根修繕ほか	（ 4 件 ）	213,050 円
○ 松島第二幼稚園	・ 下水修繕ほか	（ 4 件 ）	79,152 円
○ 松島第五幼稚園	・ 2連ブランコ修繕ほか	（ 2 件 ）	152,240 円

6 備品購入費

（庁用備品）

○ 松島第一幼稚園	・ デジタルピアノ、体重計、身長計ほか	（ 7 品目、 38 個 ）	479,926 円
○ 松島第二幼稚園	・ ワイヤレスマイク、ワイヤレスチューナー、玉入れ台ほか	（ 5 品目、 15 個 ）	328,817 円
○ 松島第五幼稚園	・ ワンタッチ日よけ、カゴ、プリンター	（ 3 品目、 3 個 ）	162,540 円

（消防備品）

○ 松島第一幼稚園	・ 消火器	3 本	13,860 円
○ 松島第二幼稚園	・ 消火器	3 本	10,152 円

7 松島町私立幼稚園就園奨励費補助金交付状況

区分	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		計	
	人数	金額（円）	人数	金額（円）	人数	金額（円）	人数	金額（円）	人数	金額（円）
第1子	0	0	1	93,600	1	0	0	0	2	93,600
第2子	0	0	0	0	0	0	1	92,500	1	92,500
第3子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	93,600	1	0	1	92,500	3	186,100

（次頁へ続く）

8 令和元年度幼稚園授業料減免状況

区分			前期 (H31. 4-R1. 8)		後期 (R1. 9)		総計	
			人数 (人)	金額 (円)	人数 (人)	金額 (円)	人数 (人)	金額 (円)
1子	ひとり親等	生 保	0	0	0	0	0	0
		非課税	0	0	0	0	0	0
		課 税	0	0	0	0	0	0
	一般	生 保	0	0	0	0	0	0
		非課税	1	0	1	0	2	0
		課 税	42	0	42	0	84	0
2子	ひとり親等	生 保	0	0	0	0	0	0
		非課税	3	25, 000	3	2, 000	6	27, 000
		多 子	0	0	0	0	0	0
	一般	生 保	0	0	0	0	0	0
		非課税	2	15, 000	2	4, 000	4	19, 000
		課 税	49	534, 250	49	104, 500	98	638, 750
3子	ひとり親等	生 保	0	0	0	0	0	0
		非課税	0	0	0	0	0	0
		多 子	2	40, 000	2	4, 000	4	44, 000
	一般	生 保	1	25, 000	1	5, 000	2	30, 000
		非課税	5	63, 000	4	12, 000	9	75, 000
		多 子	7	100, 000	6	30, 000	13	130, 000
計			112	802, 250	110	161, 500	222	963, 750

※令和元年10月からは幼児教育・保育の無償化が開始。

9 園児検診

(単位：人)

項目		学年			
		幼稚園			
		年少	年中	年長	計
在籍者数		28	44	38	110
内科	肥満傾向	1	2	5	8
	脊柱・胸郭	0	0	0	0
	心雑音	1	2	3	6
	皮膚	0	0	0	0
	アトピー	0	0	0	0
	その他湿疹	0	0	0	0
	1次所見有り	0	0	0	0
	尿	2次所見	蛋白	0	0
		有り	糖	0	0
			潜血	0	0
眼科	視力矯正0.7未満	-	-	-	0
	アレルギー結膜炎	0	2	0	2
	その他 (斜視他)	0	1	0	1
歯科	健全歯者	20	27	13	60
	う歯所有者	4	10	21	35
	処置完了者	0	1	7	8

10 施設等利用給付費

- ・子育てのための施設等利用給付
利用料 (3人)
預かり保育料 (3人)

336,540 円
47,700 円

課題
方向性

特別な支援を必要とする園児が多くなってきているため、関係機関と連携しながら相談や支援体制の充実を図っていく。
新型コロナウイルス感染症等の対策を講じながら、食育、体づくり、自然のふれあい等、幼児教育の充実を図っていく。

一 般 会 計

10 款	6 項	2 目	幼稚園建設費					(単位:千円)	
担当部署名		教育課学校教育班							
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	5, 100	2, 900				2, 800	100		
目的	近年の厳しい気象条件に対応した教育環境の確保と改善のため、町立幼稚園の普通教室に空調設備を設置する。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	町内学校学校空調整備事業（幼稚園）	A	4. 7	4. 0	町立幼稚園の普通教室に空調設備を設置することにより、気象状況に対応した教育環境の確保・改善が図られた。				
実績	【町内学校学校空調整備事業（幼稚園）】								
	(繰越明許費)								
課題 方向性	・ 備品購入費								
	町立幼稚園空調機器等備品購入 2, 899, 800 円 一幼 N = 2台 二幼 N = 2台 計4台								
課題 方向性	子どもたちが安全で安心して快適な学習環境のもと、教育を受けられる環境づくりのため、幼稚園の教室に空調設備を設置した。 園児の熱中症予防に活用するとともに、空調を稼働させる目安（温度や湿度等）について「松島町立小中学校空調設備運用の手引き」を作成し、省エネ対策の推進やランニングコストの軽減、空調設備の適切な管理を図っていく。								

一 般 会 計

11	款	1	項	1	目	農地災害復旧費					(単位:千円)
担当部署名				建設課建設班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	37,200		1,827		550		500		777		
目的	令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した、農地の復旧を行う。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	農地災害復旧費（雨災）		B	-	3.0	令和元年東日本台風（台風第19号）により被災した農地について、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律に基づく災害査定申請を行うとともに、国庫負担対象外の小規模な箇所について災害復旧工事を実施し、営農に向けて農地の復旧が図られた。					
実績	【農地災害復旧費（雨災）】										
	国庫補助での災害復旧事業採択に向けて、測量設計を実施するとともに、災害復旧工事を実施した。 1 委託料 										

一 般 会 計

11 款	1 項	2 目	農業用施設災害復旧費							
担当部署名		建設課建設班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	112,700		5,792		2,446		600		2,746	
目的	令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した農業用施設の復旧を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	農業用施設災害復旧費（雨災）		B	-	3.0	令和元年東日本台風（台風第19号）により被災した農業用施設について、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律に基づく災害査定申請を行うとともに、国庫負担対象外の小規模な箇所について災害復旧工事を実施し、営農に向けて施設の復旧が図られた。				
実績	【農業用施設災害復旧費（雨災）】									
	国庫補助での災害復旧事業採択に向けて、測量設計を実施するとともに、災害復旧工事を実施した。 1 委託料 4,972,000 円 ・ 台風第19号農業用施設災害復旧測量設計その1業務委託 1,166,000 円 ・ 台風第19号農業用施設災害復旧測量設計その2業務委託 1,001,000 円 ・ 台風第19号農業用施設災害復旧測量設計その3業務委託 1,342,000 円 ・ 台風第19号農業用施設災害復旧測量設計その4業務委託 1,463,000 円 2 工事請負費 819,717 円 ・ 台風第19号農業用施設災害復旧その1工事 819,717 円 災害復旧工 N=4箇所（道路1箇所、水路3箇所）									
課題 方向性	災害復旧事業採択を受けた農業用施設（水路3箇所、道路2箇所、ため池3箇所）について、令和2年度末での復旧完了を目指す。小規模被災の農業用施設についても、令和2年度の営農に支障がないよう引続き復旧を進めていく。									

一 般 会 計

11 款	2 項	1 目	公共土木施設災害復旧費							
担当部署名		建設課建設班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	687, 553	613, 940		525, 040		8, 200		80, 700		
目的	平成23年の東日本大震災により被害を受けた、公共土木施設（漁港・道路・橋梁）の復旧を行う。 また、令和元年東日本台風（台風第19号）により被害を受けた、公共土木施設（道路・河川）の復旧を行う。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	公共土木施設災害復旧費 （松島大橋）	A	4. 7	4. 3	東日本大震災で被災した、町道松島・磯崎線及び松島大橋の災害復旧工事を実施し、施設の復旧が図られた。					
	積算システム等管理事務 （公共土木）	B	－	4. 0	積算システムの適切な管理を行うことにより、発注業務の円滑化が図られた。					
	公共土木施設災害復旧事業 （雨災）	B	－	3. 0	令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した、道路、河川の災害復旧工事を実施し、施設の復旧が図られた。					
実績	【公共土木施設災害復旧費（松島大橋）】 公共土木施設災害復旧事業（補助・地震災） 東日本大震災で被災した町道松島・磯崎線及び松島大橋の災害復旧工事を実施した。									
	1 委託料								8, 238, 240 円	
	・ 町道松島・磯崎線（松島大橋）橋梁外災害復旧施工監理業務委託								8, 238, 240 円	
	2 工事請負費								338, 306, 600 円	
	・ 一級町道松島・磯崎線道路災害復旧工事 道路舗装復旧工 L=230. 8m								11, 897, 600 円	
	・ 一級町道松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事 (5箇年債務 平成31年度分)								326, 409, 000 円	
	(繰越明許費)									
	3 工事請負費								101, 500, 000 円	
	・ 一級町道松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事 (5箇年債務 平成30年度分)								101, 500, 000 円	
	(事故繰越費)									
4 工事請負費								83, 500, 000 円		
・ 一級町道松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事 (5箇年債務 平成29年度分)								83, 500, 000 円		
(次頁へ続く)										

11 款	2 項	1 目
実績	【公共土木施設災害復旧事業（雨災）】 令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した箇所の測量設計及び災害復旧工事を実施した。	
	1 委託料	22,499,400 円
	・ 台風第19号道路災害復旧測量設計その1業務委託	3,300,000 円
	・ 台風第19号道路災害復旧測量設計その2業務委託	4,818,000 円
	・ 台風第19号道路災害復旧測量設計その3業務委託	3,905,000 円
	・ 台風第19号河川災害復旧測量設計業務委託	7,121,400 円
	・ 令和元年台風第19号にかかる査定設計書作成業務委託	3,355,000 円
	2 工事請負費	21,758,000 円
	・ 台風第19号公共土木施設災害復旧その1工事 災害復旧工 N=66箇所（道路62箇所、水路4箇所）	21,758,000 円
	課題 方向性	東日本大震災により被災した公共土木施設（道路、橋梁）の災害復旧事業については、被災した105箇所の内103箇所が完了、残るは町道松島・磯崎線および松島大橋の2箇所であり、令和2年度末の完了を目指す。 また、令和元年東日本台風（台風第19号）により被災した公共土木施設（道路・河川）の災害復旧工事については、令和2年度中の完了を目指す。

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計

- 款		- 項		- 目		国民健康保険特別会計								
担当部署名				町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)					
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳									
					国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
	1, 877, 294		1, 786, 639		1, 780		1, 371, 145				224, 201		189, 513	
目的		国民健康保険事業の健全な運営を確保し、社会保障及び福祉の向上に寄与する。 また、国民健康保険被保険者の適切な医療を確保するため各種給付を行う。												
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果								
	【国保】総務費		B	-	3. 7	国保被保険者の資格管理を適切に行い、被保険者の適正な医療の確保に努めることができた。また、国民健康保険税の賦課徴収が適正に行われ、令和元年東日本台風（台風第19号）により被災した世帯に対しては、国民健康保険税の減免を行い、世帯の負担軽減を図ることができた。								
	【国保】保険給付費		B	-	3. 7	被保険者の疾病、負傷、出産及び死亡の際の保険給付について、速やかに行うことができた。また、令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した世帯について、医療費の一部負担金免除を行い、適切な医療を確保することができた。								
	【国保】保健事業費		B	-	3. 7	第二期データヘルス計画に基づいた保険事業に取組み、特定健診の受診率向上に繋げることができた。また、長期的な医療費適正化に向けた糖尿病性腎症重症化予防事業により、参加者が生活習慣の見直しに取り組むことができた。								
	【国保】国民健康保険事業費納付金		B	-	3. 7	財政の運営主体である宮城県に、国民健康保険事業費納付金を納めることにより、被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。								
	【国保】基金積立金		B	-	3. 7	国民健康保険の財政を調整し、健全な財政運営を確保できた。								
	【国保】諸支出金		B	-	3. 7	保険税や保険給付費の還付金等、被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。								
実績	1 運用状況													
	年度 区分		単位	令和元年度		平成30年度		比 較						
	年間平均世帯数		世帯	2, 026		2, 063		△ 37						
	年間平均被保険者数		人	3, 202		3, 301		△ 99						
	年間平均介護保険第2号被保険者数		人	985		1, 024		△ 39						
	2 保険給付状況													
	年度 区分		令和元年度		平成30年度		比 較							
			件数 (件)	支給額 (千円)	件数 (件)	支給額 (千円)	件数 (件)		支給額 (千円)					
	療 養 給 付 費		60, 930	1, 104, 979	62, 775	1, 012, 243	△ 1, 845		92, 736					
	療 養 費		898	5, 725	981	6, 056	△ 83		△ 331					
	高 額 療 養 費		2, 586	180, 241	2, 107	145, 512	479		34, 729					
	出 産 育 児 一 時 金		3	1, 244	5	2, 100	△ 2		△ 856					
	葬 祭 費		29	1, 450	19	950	10		500					
	計		64, 446	1, 293, 639	65, 887	1, 166, 861	△ 1, 441		126, 778					
	年度 区分		令和元年度		平成30年度		比 較							
		(円)		(円)		(円)								
療 養 給 付 費		一般被保険者		343, 073		307, 149		35, 924						
平均1人当たりの額		退職被保険者等		6, 804, 185		157, 489		6, 646, 696						
療 養 費		一般被保険者		1, 785		1, 833		△ 48						
平均1人当たりの額		退職被保険者等		10, 731		2, 445		8, 286						
高 額 療 養 費		一般被保険者		55, 466		44, 215		11, 251						
平均1人当たりの額		退職被保険者等		2, 695, 383		0		2, 695, 383						
(次頁へ続く)														

- 款	- 項	- 目
-----	-----	-----

3 国民健康保険事業費納付金

年度 区分	令和元年度 (千円)	平成30年度 (千円)	比較 (千円)
医療給付費分	287,163	293,889	△ 6,726
後期高齢者支援金分	87,181	90,060	△ 2,879
介護納付金分	32,841	34,294	△ 1,453

4 令和元年台風第19号の災害に伴う一部負担金免除状況

年度 区分	世 帯 数	免除証明書発行枚数
半壊による免除	2	2
床上浸水による免除	40	62

5 保健事業
特定健康診査

年度 区分	令和元年度			平成30年度		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
特定健康診査	2,618人	1,424人	54.4%	2,713人	1,447人	53.3%

※受診者は、情報提供事業（108人）、データ提供（5人）を含む。

特定保健指導

年度	区分	対象者（人） A	参加者（人） B	参加率（%） B/A	終了者（人）
令和元年度	動機付け支援	172	50	29.1	38
	積極的支援	55	24	43.6	15
平成30年度	動機付け支援	172	31	18.0	29
	積極的支援	53	11	20.8	10

実績

6 データヘルス計画に基づく保健事業

事業名	事業内容	評価
特定健診・特定保健指導受診率向上事業	① 未受診者対策	特定健診受診率 54.4%
	② 医療機関からの情報提供事業	情報提供数 108件
	③ 特定健診・特定保健指導に関する啓発	追加健診・受診勧奨の実施：100%
	④ 特定健診早期介入保健指導事業	特定保健指導実施率 32.6%
糖尿病重症化予防事業	① 啓発普及事業	特定健診受診者のHbA1cの保健指導判定以上の割合：82.0% 糖尿病性腎症重症化予防事業 申込者数：3人 新規人工透析導入者数：なし
	② 地区組織活動育成・支援事業	
	③ 保健指導判定該当者に対する保健指導	
	④ 要医療判定で未受診者に対する受診勧奨	
	⑤ 糖尿病性腎症重症化予防事業	
生活習慣病予防事業	① 生活習慣病予防をテーマとした健康教育・健康相談の実施	肥満者の割合 男性：31.4% 女性：30.3% メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合：32.8% 運動習慣のある人の割合 男性：42.3% 女性：35.1% 生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合：23.6%
	② 地域における運動普及の推進	
	③ 地区組織やボランティア等の活用による啓発普及	
	④ 生活習慣病予防の取組に対するインセンティブの検討	
健診異常値放置者受診勧奨事業	① 血圧異常値放置者への受診勧奨	受診行動につながった人の割合 62.5%
	② 健診結果から至急受診連絡者への受診勧奨	
	③ e-GFR異常値放置者への受診勧奨	
	④ 健診後行動に関する普及啓発	
医療費適正化指導事業	① 重複・頻回受診者への普及啓発	重複・頻回受診 調査対象者 71人 訪問指導対象者 なし
	② ジェネリック医薬品差額通知事業	
	③ 医療費通知事業	
	④ 普及啓発事業	

(次頁へ続く)

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計

- 款		- 項		- 目		後期高齢者医療特別会計									
担当部署名				町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)						
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳										
	201, 832		200, 751		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		
												197, 529		3, 222	
目的		高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、適正な申請受付事務並びに保険料徴収事務等を遂行する。													
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果									
	【後期高齢】 一般管理費		B	-	3. 7	後期高齢者医療に係る各種申請の受付、説明、勧奨等を行い、高齢期における被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。									
	【後期高齢】 徴収費		B	-	3. 7	後期高齢者医療保険料の納付及び還付事務を適切に行い、未納の解消や還付の早期振込を実施することができた。									
	【後期高齢】 納付奨励費		B	-	3. 7	後期高齢者医療保険料の納期内納付を行った納税貯蓄組合に対し事務費補助金を交付し、未納防止と納期内納付が確保できた。									
	【後期高齢】 後期高齢者医療広域連合納付金		B	-	3. 7	後期高齢者医療広域連合に保険料及び保険基盤安定負担金を納付し、高齢期における被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。									
実績	1 被保険者数 2, 887人 (令和2年3月末日現在)														
	2 申請書受付状況 (令和2年3月末日現在)														
	申請・届書名 受付件数 (件)														
	1 葬祭費支給申請書 162														
	2 受領申出・送付先届出書 158														
	3 高額療養費支給申請書 327														
	4 基準収入額適用申請書 13														
	5 限度額適用・標準負担額認定申請書 146														
	6 特定疾病認定申請書 6														
	7 療養費支給申請書 58														
	8 被保険者証等再交付申請書 109														
	9 資格取得喪失届出書 21														
	10 送付先変更申請書 23														
	11 高額介護合算療養費等支給申請書 127														
	12 負担区分等証明書 2														
計 1, 152															
2-1 申請書受付状況 [令和元年東日本台風 (台風第19号) 関連] (令和2年3月末日現在)															
申請・届書名 受付件数 (件)															
1 一部負担金免除証明書 62															
2 一部負担金還付申請書 10															
3 保険料減免申請書 58															
計 130															
3 保険料納付方法状況 (賦課期日現在)															
(単位:人) (再掲) 普通徴収内訳 (単位:人)															
特別徴収		2, 620		口座振替		214									
普通徴収		563		納税組合		26									
計		3, 183		※うち併徴 263人		納付書 323									

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

-	款	-	項	-	目
実績	4 保険料収納状況 現年分 (単位：円)				
	徴収方法	調定額	収入済額※	不納欠損額	収入未済額 徴収率
	特別徴収	109,773,900	109,802,800	0	△ 28,900 100.00%
	普通徴収	44,989,700	44,440,300	1,300	548,100 98.78%
	計	154,763,600	154,243,100	1,300	519,200 99.66%
	※収入済額には過誤納金還付未済額28,900円（相続放棄等）を含む				
	滞納繰越分 (単位：円)				
	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額 徴収率	
	620,700	164,200	241,800	214,700 26.45%	
	5 保険料納付方法変更申請状況（令和2年3月末日現在）				
・ 76人（特別徴収から普通徴収（口座振替）へ）					
課題 方向性	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、適正な申請受付事務並びに保険料徴収事務等を継続して行う。				

介護保険特別会計

介護保険特別会計

- 款 - 項 - 目			介護保険特別会計						
担当部署名			健康長寿課高齢者支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	1, 851, 298	1, 827, 800	450, 167	261, 794		801, 456	314, 383		
目的	介護保険事業の運営を健全、かつ、円滑に行うために、公正な要介護認定、住民の相談体制の充実を図り、適正な介護給付管理及び介護保険料の賦課徴収を実施する。 また、日常生活が自立している高齢者を対象に、生活機能の維持又は向上に向けた取り組みを行い、虚弱な状態にある高齢者については、生活機能低下の早期発見・早期対応を行うことにより、要介護状態若しくは要支援状態となることを予防する。 さらに、要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活をできる限り継続することができるよう、介護予防や生活支援、サービス提供が一体的に提供される地域包括ケアシステムの取組を強化する。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	一般管理経費（含職員人件費）	B	-	3.7	令和元年度においては第8期介護保険事業計画策定に係るアンケート調査を実施するなど、介護保険制度の適切な運営が図られた。				
	介護認定審査会負担金	B	-	4.0	申請から認定までの平均日数は二市三町で最も短く、問題なく実施している。				
	介護保険給付費	B	-	3.3	要介護認定者の増加や施設サービス利用者の増加により給付費が増えているが、適正に給付を実施することができた。 また、令和元年東日本台風（台風第19号）の被災者に対して、利用者負担額の免除を実施した。				
	介護予防・日常生活支援サービス事業	B	-	4.0	介護保険給付費の削減及び柔軟なサービス利用につながっており、適正な運営が図られている。				
	介護予防ケアマネジメント事業費	B	-	4.0	介護予防・日常生活支援サービス事業と連動するものとなっており、適正なケアマネジメントが図られている。				
	介護予防普及啓発事業	A	3.7	3.7	介護予防教室「まつしま元気塾」を実施しており、高齢者の介護予防の核として、問題なく運営が図られた。				
	地域介護予防推進事業	A	3.7	3.7	町内の各地域で高齢者の自主グループの活動が継続しており、介護予防活動の適切な支援が図られている。				
	包括的支援事業	A	5.0	4.0	地域包括支援センターの運営費であり、高齢者の増加により、ニーズも多様化・複雑化しているが、包括支援センター及び関係機関の連携により、適正な対応が図られている。				
	在宅医療・介護連携推進事業	A	4.7	3.7	塩釜地区二市三町や塩釜医師会と連携して実施しており、医療・介護連携シートの作成や在宅医療に関する研修会を実施することで、医療と介護の関係機関の連携推進が図られた。				
	生活支援体制整備事業	A	4.3	3.0	事業を松島町社会福祉協議会に委託し、生活支援コーディネーターが地域のサロンや団体へ普及啓発活動を行うことにより、地域の繋がりを強化し、高齢者の介護予防活動の活発化が図られた。				
	認知症総合支援事業	A	4.7	3.7	認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員、関係機関と連携し、認知症の本人や家族の支援体制の構築が図られた。 また、認知症の知識の普及啓発を行った。				
(次頁へ続く)									

(次頁へ続く)

- 款	- 項	- 目
-----	-----	-----

4 地域密着型（介護予防）サービス受給者数 ※1号・2号含む

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
総数	2	1	41	52	36	20	4	156

※地域密着型サービス受給者数：松島町が指定する認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型通所介護を利用している人数

5 施設介護サービス受給者数

(単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
介護老人福祉施設	1	4	21	33	18	77
第1号被保険者	1	4	21	33	18	77
第2号被保険者	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	18	24	15	41	33	132
第1号被保険者	18	24	15	39	33	129
第2号被保険者	0	0	1	2	0	3
介護療養型医療施設	0	0	1	9	13	23
第1号被保険者	0	0	1	9	13	23
第2号被保険者	0	0	0	0	0	0
総数	19	28	37	83	63	230

6 介護保険給付費の推移

(単位：千円)

サービス区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
居宅介護サービス	503,994	486,571	482,367	461,742	495,732	479,008
地域密着型介護サービス	273,169	256,703	223,853	205,485	142,523	135,977
施設介護サービス	734,737	680,186	627,547	609,028	582,194	573,428
特定入所介護サービス	60,959	53,003	49,154	48,541	50,649	47,348
居宅介護サービス計画給付費	70,516	69,973	67,447	64,554	62,331	58,020
高額介護サービス	39,819	32,199	26,726	24,663	19,257	18,888
審査支払手数料	1,378	1,278	1,173	1,313	1,160	1,119
合計	1,684,572	1,579,913	1,478,267	1,415,326	1,353,846	1,313,788

(単位：円)

	令和元年度	平成30年度
第1号被保険者1人当たりの給付月額		
町	27,134	25,576
県	23,401	22,783
国	24,221	23,528

※令和元年度は、平成31年3月から令和元年12月サービス利用分までの給付額から算出。

(単位：円)

	令和元年度		平成30年度	
	在宅	施設	在宅	施設
1人当たりの給付月額	93,203	305,197	93,028	281,837
月平均給付総額	51,075,116	65,922,559	48,839,451	60,876,749

7 要介護度別支給限度額利用状況（月平均）

(単位：%)

	要介護度別対支給限度額比率						
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
令和元年度	35.4	21.6	47.6	58.4	64.2	63.4	71.1
平成30年度	44.0	19.1	45.3	53.5	52.6	73.3	77.0
全体	51.7						
							52.1

(次頁へ続く)

款

項

目

8第7期介護保険事業計画値との比較（令和元年度）

区分	計画値		実績		計画値と実績の比較		
	件数 (件)	総額 (千円)	件数 (件)	総額 (千円)	件数 (件)	総額 (千円)	率
居宅介護サービス	11,892	538,614	12,326	503,994	434	-34,620	93.6%
訪問サービス	3,768	122,498	4,482	125,946	714	3,448	102.8%
通所サービス	3,012	251,845	3,137	232,101	125	-19,744	92.2%
短期入所サービス	984	71,004	815	60,956	-169	-10,048	85.8%
福祉用具貸与	3,732	45,326	3,577	42,620	-155	-2,706	94.0%
福祉用具購入	72	1,794	45	1,520	-27	-274	84.7%
住宅改修費	60	5,826	41	5,701	-19	-125	97.9%
特定施設入所者生活介護	264	40,321	229	35,150	-35	-5,171	87.2%
地域密着型介護サービス	2,016	287,861	1,979	273,169	-37	-14,692	94.9%
施設介護サービス	2,556	674,131	2,802	734,737	246	60,606	109.0%
介護老人福祉施設	876	201,165	932	223,487	56	22,322	111.1%
介護老人保健施設	1,380	368,733	1,590	422,561	210	53,828	114.6%
介護療養型医療施設	300	104,233	280	88,689	-20	-15,544	85.1%
特定入所介護サービス	-	64,443	3,366	60,959	-	-3,484	94.6%
居宅介護サービス計画給付費	6,828	74,502	5,919	70,516	-909	-3,986	94.6%
高額介護サービス	-	30,980	3,244	39,819	-	8,839	128.5%
審査支払手数料	24,174	1,523	22,904	1,378	-1,270	-145	90.5%
合計	47,466	1,672,054	52,540	1,684,572	5,074	12,518	100.7%

(対象期間：平成31年4月審査から令和2年3月審査まで)

※令和元年東日本台風（台風第19号）被災者に対する介護保険利用者負担額免除（床上浸水以上）
免除人数 17人、免除件数 87件、免除金額 1,245,186円

9介護予防・日常生活支援サービス事業
介護予防ケアマネジメント事業費

	件数（件）	費用総額（円）
訪問型・通所型サービス費	1,155	18,982,209
介護予防ケアマネジメント	630	2,835,050
高額介護予防サービス相当事業	7	119,175
審査支払手数料	1,785	107,085
台風第19号利用者負担額還付	1	3,627
合計	3,578	22,047,146

※利用件数：訪問型・通所型サービス 105件、介護予防ケアマネジメント 59件、
審査支払手数料 163件（令和2年3月審査分）

10一般介護予防事業

①介護予防普及啓発事業

ア介護予防教室「まっしま元気塾」

概ね65歳以上の介護認定を受けていない方を対象に町内9カ所（12教室）において、高齢者の「閉じこもり防止」「介護予防」の観点から、脳トレ・体操・趣味活動・各種講話等を実施した。

地区	松島	高城		磯崎		品井沼	本郷	初原	全地区	計
会場	ほほえみの家	ふれあいの家	高城避難所	白萩避難所	華園集会所	農村環境改善センター	ふれあいセンター	コミュニティーセンター	どんぐり	
開催頻度	週4日	週4日	週1日	週2日	週1日	週2日	週1日	週1日	週1日	—
開催回数（回）	175	177	40	80	45	87	46	45	40	735
実人数	12	20	13	9	9	19	8	15	6	111
延参加者数	801	1,348	407	641	301	639	296	578	197	5,208

※実人数に4人重複あり（品井沼）

(次頁へ続く)

- 款	- 項	- 目
-----	-----	-----

イ 地域包括支援センター機関紙「スマイル」の発行

発行回数	配布状況	内 容
年4回	全戸配布並びに役場、保健福祉センターに配置	介護保険、保健福祉に関するお知らせ、事業実施報告、各種行事案内、介護予防や健康増進に関すること、権利擁護に関する啓発、認知症に関する情報等

② 地域介護予防活動支援事業

・地域サロン活動状況

時期	平成30年3月末	平成31年3月末	令和2年3月末
活動団体数	28団体	30団体	34団体

・講師派遣事業利用状況

利用団体数	利用回数	介護予防活動全般（運動器機能低下防止）、グループの自主活動に関する指導員を派遣
10団体	11回	

・高齢者ふれあい地域サロン補助金活用団体

地域支え合い活動の進展、定着を目的に、月2回以上サロン活動を実施する希望団体に対し、運営費補助として補助金を交付した。

申請団体数 5団体 交付団体数 5団体

11 包括的支援事業

① 総合相談支援業務

高齢者の生活全般に係る相談に対応し、不安の軽減や必要な社会資源の活用につながった。

相談件数 1,172件 うち勤務時間外対応 4件

相談方法内訳

相談方法	件数（件）
来所	274
訪問	529
電話	378
その他	15

※その他：医療機関、介護施設等

相談者内訳

相談者内訳	件数（件）
本人	450
家族・親戚	571
ケアマネジャー	275
介護サービス事業所	138
医療機関	67
行政各係	24
その他	43

※その他：民生委員、地域住民、警察署等

相談内容内訳

相談内容	件数（件）
介護相談	41
健康疾病	49
認知症・精神	193
医療・入退院	66
介護保険関係	188
介護保険サービス	99
保険外サービス	18
虐待関係	28
財産管理・成年後見	34
独居等把握	16
施設入所	69
高齢福祉	62
経済困窮	16
生活全般	98
その他	66

他機関への連絡 270件

連絡先内訳

連絡先	件数（件）
ケアマネジャー	173
介護サービス事業所	47
医療機関	18
行政各係	26
県・保健所	9
家族・親戚	12
民生委員	5
地域住民	5
その他	7

実績

（次頁へ続く）

<

(次頁へ続く)

- 款				- 項				- 目																																																						
実績	・認知症カフェの開催と運営補助金交付 認知症の本人や家族、地域の人が情報交換し、認知症の知識を深めたり、本人や介護者の不安や負担の軽減を図ることを目的とし、町内3ヶ所で開催した。 <table><tr><th>名称</th><th>運営団体</th><th>実施頻度</th><th>内容</th></tr><tr><td>SaKuRaカフェ</td><td>グループホーム桜の家</td><td>2ヶ月に1回</td><td rowspan="3">認知症に関する情報交換、勉強会、作業活動、音楽鑑賞など</td></tr><tr><td>秋桜カフェ</td><td>グループホームコスモス松島</td><td>月1回</td></tr><tr><td>わいわいカフェ「かこまち」</td><td>ひまわり会（松島医療生協）</td><td>月2回</td></tr></table> 松島町認知症カフェ運営補助金交付団体 1団体 ※カフェ開設1回5,000円、月10,000円を上限として交付。 ・松島町はいかい高齢者SOSネットワーク事業 <table><tr><td>登録者数</td><td colspan="3">14人 うち令和元年度新規登録8人（令和2年3月末時点）</td></tr><tr><td>稼働実績</td><td colspan="3">町内1件 ※システムは稼働しないが、役場職員等が検索し発見したケース1件</td></tr><tr><td>協力団体</td><td colspan="3">35団体（近隣自治体、警察署、消防署、タクシー会社、介護サービス事業所、シルバー人材センター、ガソリンスタンド等）</td></tr></table> ⑥ 地域ケア会議 ・個別会議 本人、家族、介護サービス事業者、介護保険施設関係者、県保健福祉事務所、行政各担当、担当ケアマネジャー、医療機関、地域包括支援センター職員等で関係者で協議、検討した。 <table><tr><th>回数(回)</th><th>参加延べ人数(人)</th><th>場所</th><th>内容</th></tr><tr><td>17</td><td>106</td><td>保健福祉センター、介護サービス事業所等</td><td>処遇困難ケース、高齢者虐待疑いがあるケース等に関する支援方法の検討</td></tr></table> ・全体会議 ケアマネジャーや介護事業所職員等に対し、研修会や説明会を実施した。 <table><tr><th>回数(回)</th><th>参加延べ人数(人)</th><th>場所</th><th>内容</th></tr><tr><td>3</td><td>145</td><td>保健福祉センター</td><td>・介護保険、地域包括、高齢福祉担当からの連絡、事業所情報交換会 ・研修会「自立支援型のケアプラン作成について」 ・講話「看取り方と看取られ方」</td></tr></table> 12 任意事業 ① 家族介護支援事業 介護者交流会 <table><tr><th>実施回数(回)</th><th>実人数(人)</th><th>延人数(人)</th><th>内容</th></tr><tr><td>5</td><td>13</td><td>26</td><td>情報交換、介護保険情報の提供、体操、ハンドベルの実施</td></tr></table> ※3月に予定していた介護者交流会は、新型コロナウイルスの影響で中止となった。 ② 成年後見制度利用支援事業 首長申立て被後見人の支援 1件												名称	運営団体	実施頻度	内容	SaKuRaカフェ	グループホーム桜の家	2ヶ月に1回	認知症に関する情報交換、勉強会、作業活動、音楽鑑賞など	秋桜カフェ	グループホームコスモス松島	月1回	わいわいカフェ「かこまち」	ひまわり会（松島医療生協）	月2回	登録者数	14人 うち令和元年度新規登録8人（令和2年3月末時点）			稼働実績	町内1件 ※システムは稼働しないが、役場職員等が検索し発見したケース1件			協力団体	35団体（近隣自治体、警察署、消防署、タクシー会社、介護サービス事業所、シルバー人材センター、ガソリンスタンド等）			回数(回)	参加延べ人数(人)	場所	内容	17	106	保健福祉センター、介護サービス事業所等	処遇困難ケース、高齢者虐待疑いがあるケース等に関する支援方法の検討	回数(回)	参加延べ人数(人)	場所	内容	3	145	保健福祉センター	・介護保険、地域包括、高齢福祉担当からの連絡、事業所情報交換会 ・研修会「自立支援型のケアプラン作成について」 ・講話「看取り方と看取られ方」	実施回数(回)	実人数(人)	延人数(人)	内容	5	13	26	情報交換、介護保険情報の提供、体操、ハンドベルの実施
	名称	運営団体	実施頻度	内容																																																										
	SaKuRaカフェ	グループホーム桜の家	2ヶ月に1回	認知症に関する情報交換、勉強会、作業活動、音楽鑑賞など																																																										
	秋桜カフェ	グループホームコスモス松島	月1回																																																											
	わいわいカフェ「かこまち」	ひまわり会（松島医療生協）	月2回																																																											
	登録者数	14人 うち令和元年度新規登録8人（令和2年3月末時点）																																																												
	稼働実績	町内1件 ※システムは稼働しないが、役場職員等が検索し発見したケース1件																																																												
	協力団体	35団体（近隣自治体、警察署、消防署、タクシー会社、介護サービス事業所、シルバー人材センター、ガソリンスタンド等）																																																												
	回数(回)	参加延べ人数(人)	場所	内容																																																										
	17	106	保健福祉センター、介護サービス事業所等	処遇困難ケース、高齢者虐待疑いがあるケース等に関する支援方法の検討																																																										
回数(回)	参加延べ人数(人)	場所	内容																																																											
3	145	保健福祉センター	・介護保険、地域包括、高齢福祉担当からの連絡、事業所情報交換会 ・研修会「自立支援型のケアプラン作成について」 ・講話「看取り方と看取られ方」																																																											
実施回数(回)	実人数(人)	延人数(人)	内容																																																											
5	13	26	情報交換、介護保険情報の提供、体操、ハンドベルの実施																																																											
課題 方向性	高齢化の進展で、要介護高齢者は年々増加しており、介護サービスは高齢者の生活を支える重要な資源となっている。今後も増加する需要に対応するため、相談体制、サービス基盤の整備、制度の周知を推進したい。 一方で高齢者が生きがいを持って元気に暮らせるよう、介護予防の取組や住民主体の通いの場の充実に支援し、健康づくり班と連携して健康寿命の延伸を目指す。 介護保険の適正な運営を図るため、第7期介護保険事業計画の評価を行い、第8期介護保険事業計画を策定する。																																																													

介護サービス事業特別会計

介護サービス事業特別会計

1	款	1	項	1	目	介護サービス事業特別会計 居宅介護支援事業費																																																								
担当部署名				健康長寿課高齢者支援班							(単位:千円)																																																			
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																																									
	7,028		6,676		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																					
目的																																																														
要支援認定者及び総合事業対象者に対し、心身の状況等に応じ、適切なサービスが提供されるよう介護予防サービス計画もしくは介護予防ケアマネジメントを作成する。 また、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援し、要支援状態の軽減、悪化の防止を図る。																																																														
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																																																								
	居宅介護支援事業費		B	-	4.0	介護予防サービス計画や介護予防ケアマネジメントの作成を居宅介護支援事業所に委託し、要支援状態の軽減や悪化防止を図ることができた。																																																								
実績																																																														
【居宅介護支援事業】																																																														
・利用実人数 195人 ・作成人数 延べ 1,609人 ・事業費 6,676,000円																																																														
1 要支援認定者及び総合事業対象者サービス利用状況 (単位:人)																																																														
<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">要支援認定者</th><th rowspan="2">総合事業 事業対象者</th><th rowspan="2">計</th><th colspan="2">委託管理数</th><th rowspan="2">計</th><th rowspan="2">未利用者数</th></tr><tr><th>支援1</th><th>支援2</th><th>介護予防 サービス計画</th><th>介護予防ケア マネジメント</th></tr><tr><td>令和元年度</td><td>100</td><td>108</td><td>22</td><td>230</td><td>86</td><td>56</td><td>142</td><td>88</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>96</td><td>112</td><td>13</td><td>221</td><td>68</td><td>50</td><td>118</td><td>103</td></tr></table>														要支援認定者		総合事業 事業対象者	計	委託管理数		計	未利用者数	支援1	支援2	介護予防 サービス計画	介護予防ケア マネジメント	令和元年度	100	108	22	230	86	56	142	88	平成30年度	96	112	13	221	68	50	118	103																			
	要支援認定者		総合事業 事業対象者	計	委託管理数		計	未利用者数																																																						
	支援1	支援2			介護予防 サービス計画	介護予防ケア マネジメント																																																								
令和元年度	100	108	22	230	86	56	142	88																																																						
平成30年度	96	112	13	221	68	50	118	103																																																						
※人数及び利用状況については3月末時点集計																																																														
2 介護予防サービス計画及び介護予防ケアマネジメント委託状況 (単位:件)																																																														
<table><tr><th></th><th>事業所名</th><th>介護予防 サービス計画</th><th>介護予防ケア マネジメント</th><th>計</th></tr><tr><td>1</td><td>介護相談センター</td><td>307</td><td>178</td><td>485</td></tr><tr><td>2</td><td>松島病院訪問看護ステーション居宅介護支援事業所</td><td>227</td><td>125</td><td>352</td></tr><tr><td>3</td><td>松島町社協指定居宅介護支援事業所</td><td>144</td><td>128</td><td>272</td></tr><tr><td>4</td><td>桜の家居宅介護支援事業所</td><td>74</td><td>37</td><td>111</td></tr><tr><td>5</td><td>松島長松園居宅介護支援事業所</td><td>44</td><td>73</td><td>117</td></tr><tr><td>6</td><td>ケアプランセンタービッグハート</td><td>124</td><td>28</td><td>152</td></tr><tr><td>7</td><td>その他の事業所</td><td>72</td><td>48</td><td>120</td></tr><tr><td colspan="2">令和元年度合計</td><td>992</td><td>617</td><td>1609</td></tr><tr><td colspan="2">平成30年度合計</td><td>809</td><td>684</td><td>1493</td></tr></table>														事業所名	介護予防 サービス計画	介護予防ケア マネジメント	計	1	介護相談センター	307	178	485	2	松島病院訪問看護ステーション居宅介護支援事業所	227	125	352	3	松島町社協指定居宅介護支援事業所	144	128	272	4	桜の家居宅介護支援事業所	74	37	111	5	松島長松園居宅介護支援事業所	44	73	117	6	ケアプランセンタービッグハート	124	28	152	7	その他の事業所	72	48	120	令和元年度合計		992	617	1609	平成30年度合計		809	684	1493
	事業所名	介護予防 サービス計画	介護予防ケア マネジメント	計																																																										
1	介護相談センター	307	178	485																																																										
2	松島病院訪問看護ステーション居宅介護支援事業所	227	125	352																																																										
3	松島町社協指定居宅介護支援事業所	144	128	272																																																										
4	桜の家居宅介護支援事業所	74	37	111																																																										
5	松島長松園居宅介護支援事業所	44	73	117																																																										
6	ケアプランセンタービッグハート	124	28	152																																																										
7	その他の事業所	72	48	120																																																										
令和元年度合計		992	617	1609																																																										
平成30年度合計		809	684	1493																																																										
※介護予防サービス計画：要支援認定者が介護予防給付のみ又は介護予防給付と総合事業のサービスを利用する場合の計画作成 ※介護予防ケアマネジメント：要支援認定者又は総合事業対象者が総合事業のサービスのみを利用する場合の計画作成																																																														
課題 方向性																																																														
要支援者や総合事業事業対象者のうち、状態を維持している方がいる一方、要介護状態に移行する方もおり、状態悪化の防止にさらに力を入れていく必要がある。令和2年度以降、地域支援事業の地域リハビリテーション活動支援事業等と連携し、悪化防止に努めていく。																																																														

觀瀾亭等特別會計

観瀾亭等特別会計

1	款	1	項	1	目	(観瀾亭等特別会計) 観瀾亭費：管理費					
担当部署名				産業観光課観光班						(単位：千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
	43, 182		41, 001		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
								35		40, 966	
目的		松島の重要な観光財産である観瀾亭・松島博物館の維持管理等を行い、誘客に努める。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	観瀾亭博物館管理運営経費		A	3. 3	3. 3	運営については、令和元年東日本台風（台風第19号）や新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、観覧人数は減少したが、抹茶メニューの見直しなど効率的な運営に努めることで収益を上げることができた。 また、観瀾亭・松島博物館パンフレットを作成することで、さらなる魅力発信に努めた。 環境整備については、良好な施設維持管理に努めたほか、平成30年度の繰越事業「観瀾亭博物館及び事務室改修工事」が完了した。					
実績	【観瀾亭博物館管理運営経費】										
	1 観覧者数及び観覧料・売上収入 ・観覧者数 (平成31年4月～令和2年3月) 42,466 人 (前年 50,091 人) ・観覧収入 (平成31年4月～令和2年3月) 8,056,056 円 (前年 7,503,590 円) ・売上収入 (平成31年4月～令和2年3月) 15,943,150 円 (前年 15,885,639 円) 2 イベント開催に係る観覧者数及び観覧料・売上収入 ・月の松島in観瀾亭 ○日程 令和元年9月13日、14日 ○観覧者数 130 人 (前年 419 人) ○売上収入 121,600 円 (前年 167,500 円) ・松島紅葉ライトアップ観瀾亭夜間営業 ○日程 令和元年10月26日～11月17日の休前日5日間 ○観覧者数 209 人 ○売上収入 106,300 円 3 観瀾亭・松島博物館パンフレット印刷 138,600 円 ○部数 30,000部 4 観瀾亭・松島博物館および明月庵の管理業務 ・観光施設清掃業務委託 170,040 円 ○内容 観光施設床清掃他 ・観光施設樹木剪定業務委託 537,900 円 ○内容 樹木剪定工・枯枝撤去工他 ・観光施設除草業務委託 386,880 円 ○内容 除草・集草・側溝清掃他										
(次頁へ続く)											

1 款	1 項	1 目
実績		・ 松島町各施設機械警備業務委託 368,856 円 ・ 観瀾亭火災報知器保守点検業務委託 443,680 円
	5	工事請負費（繰越明許費）
		・ 観瀾亭博物館及び事務室改修工事 12,859,280 円
	6	販売品等仕入
		・ 菓子・抹茶他 4,329,861 円
	7	備品購入費
		・ 観瀾亭備品購入 13,143 円 ○ 内容 石油コンロ1台 ・ 観瀾亭備品購入 45,650 円 ○ 内容 電子レジスター1台
課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響により観覧者数が減少する懸念があるが、観光客にとって安心安全で観光を楽しめるよう感染予防対策を講じながら対応に努めていく。観覧人数を増加させる取り組みとして、日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」構成文化財のひとつとして情報発信に努め、更なる観光振興を図っていく。また、博物館所蔵品をよりよい環境の中で収蔵、保管するために、博物館の環境整備に努めていく。	

観瀾亭・松島博物館入込及び売上

観覧料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	3,518 人 628,850 円	4,909 人 1,171,600 円	3,968 人 646,800 円	3,555 人 779,700 円	5,068 人 808,400 円	4,406 人 796,790 円	5,510 人 1,006,850 円	5,492 人 1,053,406 円	1,702 人 358,810 円	1,650 人 325,900 円	1,820 人 331,250 円	868 人 147,700 円	42,466 人 8,056,056 円
平成30年度	4,130 人 535,150 円	3,985 人 739,500 円	4,133 人 637,640 円	3,732 人 608,450 円	5,940 人 730,700 円	5,410 人 734,900 円	7,676 人 1,231,800 円	6,629 人 943,200 円	2,423 人 332,000 円	1,823 人 290,800 円	2,136 人 328,100 円	2,074 人 391,350 円	50,091 人 7,503,590 円
比較増減	▲ 612 人 93,700 円	924 人 432,100 円	▲ 165 人 9,160 円	▲ 177 人 171,250 円	▲ 872 人 77,700 円	▲ 1,004 人 61,890 円	▲ 2,166 人 ▲ 224,950 円	▲ 1,137 人 110,206 円	▲ 721 人 26,810 円	▲ 173 人 35,100 円	▲ 316 人 3,150 円	▲ 1,206 人 ▲ 243,650 円	▲ 7,625 人 552,466 円

令和元年度

個 人	31,503 人	5,892,450 円
団 体	10,963 人	2,163,606 円
合 計	42,466 人	8,056,056 円

平成30年度

個 人	44,950 人	6,639,490 円
団 体	5,141 人	864,100 円
合 計	50,091 人	7,503,590 円

売上収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	1,367,610 円	1,883,070 円	1,293,130 円	1,488,850 円	1,644,210 円	2,006,230 円	2,205,470 円	1,870,130 円	577,200 円	696,460 円	692,130 円	218,660 円	15,943,150 円
平成30年度	1,039,766 円	1,458,865 円	1,077,970 円	1,425,210 円	1,701,430 円	1,659,820 円	2,135,990 円	2,155,000 円	998,110 円	720,500 円	815,680 円	697,298 円	15,885,639 円
比較増減	327,844 円	424,205 円	215,160 円	63,640 円	▲ 57,220 円	346,410 円	69,480 円	▲ 284,870 円	▲ 420,910 円	▲ 24,040 円	▲ 123,550 円	▲ 478,638 円	57,511 円

観瀾亭等特別会計

2	款	1	項	1	目	(観瀾亭等特別会計) 福浦橋費：管理費					
担当部署名			産業観光課観光班							(単位：千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
	55, 846		53, 159		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
									53, 159		
目的		松島の重要な観光財産である福浦橋の維持管理等を行い、誘客に努める。 また、カフェ・ベイランドを利用する観光客等へのサービスの向上を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	福浦橋等管理運営経費		A	3. 7	3. 3	運営については、令和元年東日本台風（台風第19号）や新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、飲食販売を休止した時期が重なり売上が減収したが、全体としての通行人数が伸びたことで収益を上げることができた。 観光PR事業としては、「橋の日」イベントを松島湾アマモ再生事業と同時開催することで来場者の関心を高めることができた。 また、福浦橋・福浦島パンフレットを作成することで、さらなる魅力発信に努めた。 環境整備については、良好な施設維持管理に努め、前年度から課題であったライトアップ整備の改善を図った。					
実績	【福浦橋等管理運営経費】										
	1 通行者数及び通行料・売上収入 ・ 通行者数 (平成31年4月～令和2年3月) 300, 607 人 (前年 273, 094 人) ・ 通行料収入 (平成31年4月～令和2年3月) 57, 963, 030 円 (前年 52, 811, 230 円) ・ 売上収入 (平成31年4月～令和2年3月) 5, 832, 580 円 (前年 6, 763, 361 円) 2 地場製品の提供に係る売上収入 ・ かき料理売上収入 (令和元年11月～令和2年3月) 129, 600 円 3 福浦橋を活用した観光PR ・ 松島の夜の魅力発信事業 ○ 内容 福浦橋のライトアップを実施。 (満月とその前後を含む3日間を除き夜間点灯※午後10時まで) ・ 「橋の日」記念イベント ○ 日程 令和元年8月4日 ○ 内容 松島三橋のPRチラシとノベルティ（先着100名）の配布。 4 福浦橋・福浦島パンフレット印刷 313, 423 円 ○ 部数 80, 000部 ○ 内容 漫画家の手代木史織氏（松島町出身）による表紙デザインで作成。 5 福浦橋およびカフェ・ベイランド管理業務等 ・ 観光施設清掃業務委託 65, 400 円 ○ 床清掃他 ・ 松島町各施設機械警備業務委託 66, 708 円 ・ 松島町役場他消防設備保守点検業務委託 11, 339 円 (次頁へ続く)										

2 款	1 項	1 目
実績		・ 福浦橋通行券券売機保守点検業務委託 353,160 円 ・ カフェ・ベイランド自動扉開閉装置保守点検業務委託 104,640 円 ・ カフェ・ベイランド厨房機器保守点検業務委託 78,480 円 6 主な使用料及び賃借料 ・ 福浦橋券売機リース(12ヶ月) 78,480 円 ・ カフェ・ベイランド施設賃貸料(12ヶ月) 686,400 円 7 販売品等仕入 ・ ソフトクリーム・飲み物等 2,849,079 円 8 備品購入費 ・ カフェ・ベイランド備品購入 45,650 円 ○ 内容 電子レジスター1台
	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響により通行者数が減少する懸念があるが、観光客にとって安心安全で観光を楽しめるよう感染予防対策を講じながら対応に努めていく。売上拡大に向けた取り組みとしては、地元事業者や地場産品の取扱いを増やすことで売上促進につなげる。また、経年劣化による橋の塗装の剥がれが目立つため改善に向けた対応策を講じる必要がある。

福浦橋カフェ・ペイランド入込及び売上

通行料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	24,850 円 4,766,310 円	38,333 円 7,318,760 円	17,803 円 3,434,780 円	21,970 円 4,207,060 円	45,420 円 8,586,770 円	31,170 円 6,093,260 円	20,645 円 4,045,420 円	26,458 円 5,158,300 円	16,228 円 3,157,270 円	15,010 円 2,882,850 円	18,404 円 3,605,580 円	24,316 円 4,706,670 円	300,607 円 57,963,030 円
平成30年度	21,132 円 4,033,440 円	26,919 円 5,195,120 円	17,028 円 3,291,590 円	19,026 円 3,673,200 円	37,717 円 7,141,120 円	30,868 円 6,055,500 円	25,329 円 4,937,970 円	25,444 円 4,976,360 円	15,031 円 2,926,910 円	12,478 円 2,396,970 円	15,651 円 3,058,670 円	26,471 円 5,124,380 円	273,094 円 52,811,230 円
比較増減	3,718 円 732,870 円	11,414 円 2,123,640 円	775 円 143,190 円	2,944 円 533,860 円	7,703 円 1,445,650 円	302 円 37,760 円	▲ 4,684 円 ▲ 892,550 円	1,014 円 181,940 円	1,197 円 230,360 円	2,532 円 485,880 円	2,753 円 546,910 円	▲ 2,155 円 ▲ 417,710 円	27,513 円 5,151,800 円

令和元年度

個 人	298,535 人	57,602,400 円
団 体	2,072 人	360,630 円
合 計	300,607 人	57,963,030 円

平成30年度

個 人	271,364 人	52,514,500 円
団 体	1,730 人	296,730 円
合 計	273,094 人	52,811,230 円

売上収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	484,798 円	782,947 円	384,906 円	559,204 円	1,278,369 円	583,728 円	346,454 円	388,050 円	253,130 円	259,271 円	265,764 円	245,959 円	5,832,580 円
平成30年度	544,934 円	656,695 円	748,431 円	531,782 円	1,099,458 円	664,731 円	577,286 円	500,432 円	340,702 円	278,990 円	342,046 円	477,874 円	6,763,361 円
比較増減	▲ 60,136 円	126,252 円	▲ 363,525 円	27,422 円	178,911 円	▲ 81,003 円	▲ 230,832 円	▲ 112,382 円	▲ 87,572 円	▲ 19,719 円	▲ 76,282 円	▲ 231,915 円	▲ 930,781 円

下水道事業特別会計

下水道事業特別会計

1	款	1	項	1	目	下水道事業特別会計 一般管理費					(単位:千円)	
担当部署名				水道事業所施設班・経営班								
予算の 執行 状況	予算額			決算額		財源内訳						
						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	230,763			221,363					160,614	60,749		
目的	町民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全等を図るため、公共下水道施設の機能を維持保全し、適正な運転管理を行う。											
評価 成果	事務事業名称			業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	一般管理事務経費			B	-	3.0	排水設備公認業者及び責任技術者の新規・更新登録や消費税申告等の一般管理事務を行った。					
	汚水維持管理経費			A	4.7	4.0	松島浄化センターをはじめ、関連施設の維持保全と適正な運転管理が図られた。					
	雨水維持管理経費			A	4.7	4.0	雨水ポンプ場（12箇所）と幹線雨水路の維持保全により、適正な運転管理が図られた。					
	賦課徴収経費（受益者負担金）			B	-	3.0	下水道事業受益者負担金の賦課及び徴収を行った。					
	水質試験・調査経費			A	4.7	4.0	定期的な水質検査により放流水の確認を行い、また、河川及び湾内については、水質汚濁防止法に基づく水質の確認を行うことで、下水道法に基づく水質基準を遵守することができた。					
	下水道促進事業経費			B	-	2.3	水洗便所改造資金融資斡旋及び利子補給を行い、下水道の普及促進が図られた。					
実績	1 汚水系委託料 （7件） 101,153,616 円											
	・ 松島浄化センター運転管理業務委託 （松島浄化センターの運転管理） 78,386,000 円											
	・ 松島浄化センター汚泥脱水ケーキ運搬業務委託 （汚泥脱水ケーキの処理施設への運搬） 9,052,560 円											
	・ 公共下水道施設(汚水系)電気工作物点検業務委託 （松島浄化センター等の電気事業法に基づく電気工作物の点検） 557,856 円											
	・ 松島浄化センター他消防設備点検業務委託 （松島浄化センター等の消防法に基づく防災設備の点検） 191,400 円											
	・ 松島浄化センター他し渣運搬処分業務委託 （松島浄化センター等より発生するし渣の運搬処分） 770,000 円											
	・ 松島中継ポンプ場運転管理業務委託 （松島中継ポンプ場の運転管理） 10,688,800 円											
	・ 館ヶ崎第二マンホールポンプ場他非常用通報装置点検整備業務委託 （館ヶ崎第二マンホールポンプ場他の非常用通報装置点検整備） 1,507,000 円											
	(次頁へ続く)											

1 款	1 項	1 目
実績	2	雨水系委託料 (5件) 31,598,862 円 ・ 新町雨水ポンプ場他運転管理業務委託 (新町他11箇所の雨水ポンプ場の運転管理) 19,750,800 円 ・ 公共下水道施設(雨水系)電気工作物点検業務委託 (雨水ポンプ場の電気事業法に基づく電気工作物の点検) 2,357,862 円 ・ 公共下水道雨水路等清掃業務委託 (幹線雨水路の清掃) 6,372,000 円 ・ 公共下水道雨水路等除草業務委託 (幹線雨水路の除草) 1,798,200 円 ・ 新町雨水ポンプ場天井クレーン点検整備業務委託 (新町雨水ポンプ場のクレーン点検整備) 1,320,000 円
	3	その他委託料 (3件) 8,653,585 円 ・ 松島浄化センター放流水及び松島湾内水質調査業務委託 (松島浄化センター放流水及び松島湾内の水質調査) 4,356,000 円 ・ 下水道使用料徴収事務委託 (下水道使用料の徴収事務委託) 4,296,505 円 ・ 破傷風予防接種業務委託 (職員の破傷風予防接種) 1,080 円
		委託料合計 (15件) 141,406,063 円
	4	工事請負費 (1件) 1,650,000 円 ・ 松島大橋災害復旧事業に伴うマンホール調整工事 (マンホール調整工 N=5箇所) 1,650,000 円
課題 方向性		(汚水系) 下水道法に基づく放流水質を堅持するため、今後も汚水処理施設の適切な維持管理を行っていく。 (雨水系) 浸水被害を防止し住民の安全安心を確保するため、今後も雨水処理施設の適切な維持管理を行っていく。

業務概況の推移

項目／年度		H27	H28	H29	H30	R1	備考
下水道普及状況	行政区域内人口 (人)	14,817	14,632	14,366	14,073	13,820	A
	市街地人口 (人)	7,259	7,259	7,259	6,928	6,928	
	全体計画人口 (人)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
	処理区域内人口 (人)	10,037	9,940	9,811	9,720	9,533	B
	処理区域内戸数 (戸)	3,985	3,988	3,980	3,974	3,970	C
	普及率(人口) (%)	67.7	67.9	68.3	69.1	69.0	B/A
	水洗化人口 (人)	9,251	9,238	8,950	8,993	8,939	D
	水洗化戸数 (戸)	3,558	3,553	3,580	3,597	3,617	E
	水洗化率(人口) (%)	92.2	92.9	91.2	92.5	93.8	D/B
	水洗化率(戸数) (%)	89.3	89.1	89.9	90.5	91.1	E/C
汚水処理	日最大処理水量 (m ³)	4,831	4,817	4,759	4,846	5,375	晴天時最大
	日平均処理水量 (m ³)	4,218	4,257	4,401	4,267	4,571	晴天時平均
	年間処理水量 (千m ³)	1,544	1,554	1,606	1,558	1,673	F
	年間有収水量 (千m ³)	1,326	1,341	1,325	1,289	1,238	G
	有収率 (%)	85.9	86.3	82.5	82.7	74.0	G/F

下水道事業特別会計決算の推移

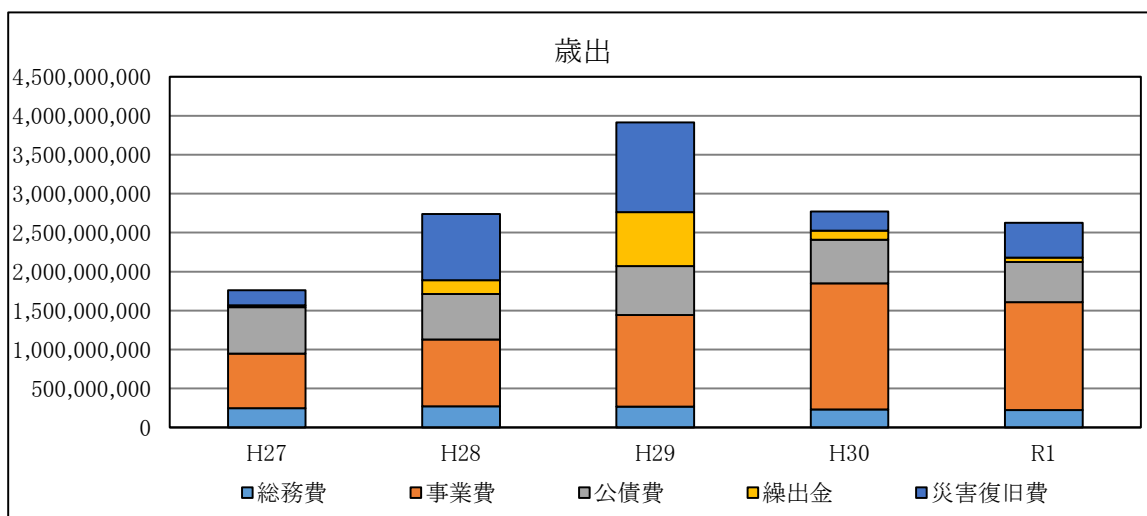
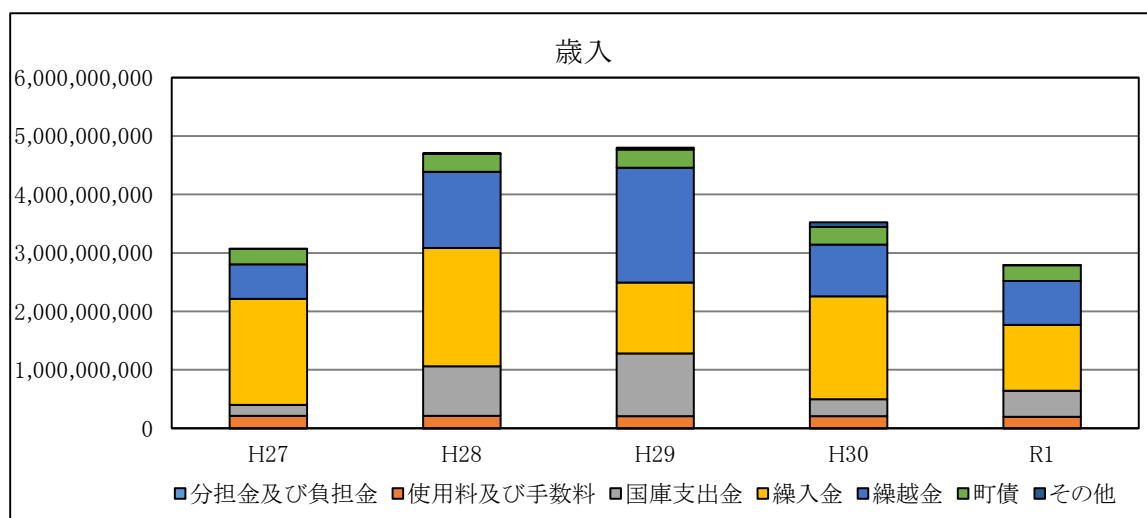
[歳入]

(単位:円)

項目／年度	H27	H28	H29	H30	R1
分担金及び負担金	249,800	249,800	793,530	872,550	796,140
使用料及び手数料	213,897,810	215,257,830	208,972,290	205,140,410	198,303,480
国庫支出金	186,833,960	844,930,000	1,069,471,220	289,644,520	440,887,000
繰入金	1,811,456,000	2,023,312,000	1,213,751,000	1,759,959,000	1,128,593,000
繰越金	593,363,727	1,306,740,658	1,963,778,645	887,945,926	754,041,100
町債	260,300,000	311,700,000	313,300,000	299,300,000	268,300,000
その他	129,600	129,600	33,750,343	81,904,289	129,600
計	3,066,230,897	4,702,319,888	4,803,817,028	3,524,766,695	2,791,050,320

[歳出]

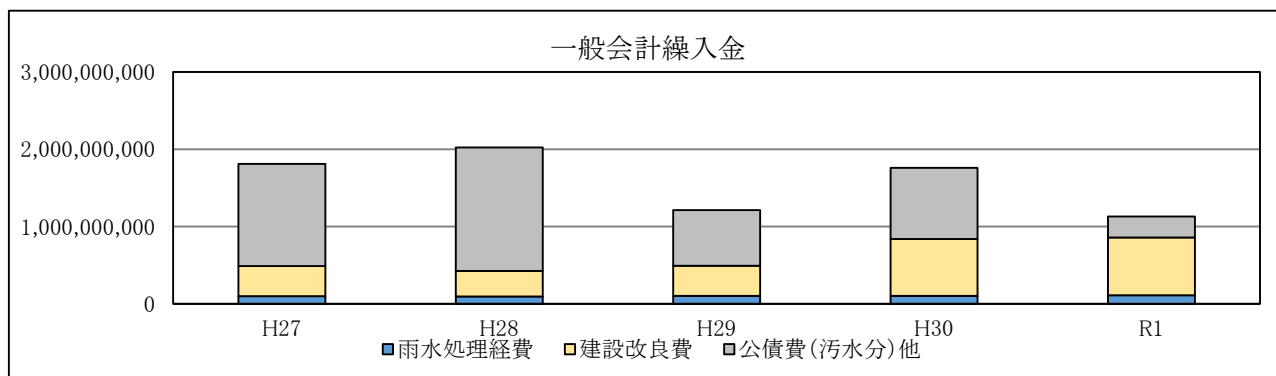
項目／年度	H27	H28	H29	H30	R1
総務費	246,422,067	270,383,487	267,029,637	231,704,103	221,362,048
事業費	700,590,149	857,573,697	1,175,396,163	1,617,999,924	1,385,001,509
公債費	594,965,724	586,309,730	626,531,315	557,975,049	517,509,244
繰出金	27,313,000	175,000,000	693,823,000	117,546,000	54,194,000
災害復旧費	190,199,299	849,274,329	1,153,090,987	245,500,519	447,338,482
計	1,759,490,239	2,738,541,243	3,915,871,102	2,770,725,595	2,625,405,283



一般会計繰入金の推移

(単位:円)

項目／年度	H27	H28	H29	H30	R1
一般会計繰入金	1,811,456,000	2,023,312,000	1,213,751,000	1,759,959,000	1,128,593,000
雨水処理経費	98,253,596	95,333,134	103,229,654	103,571,787	109,291,579
建設改良費	392,180,389	330,986,978	391,079,215	736,588,254	749,912,369
公債費(汚水分)他	1,321,022,015	1,596,991,888	719,442,131	919,798,959	269,389,052

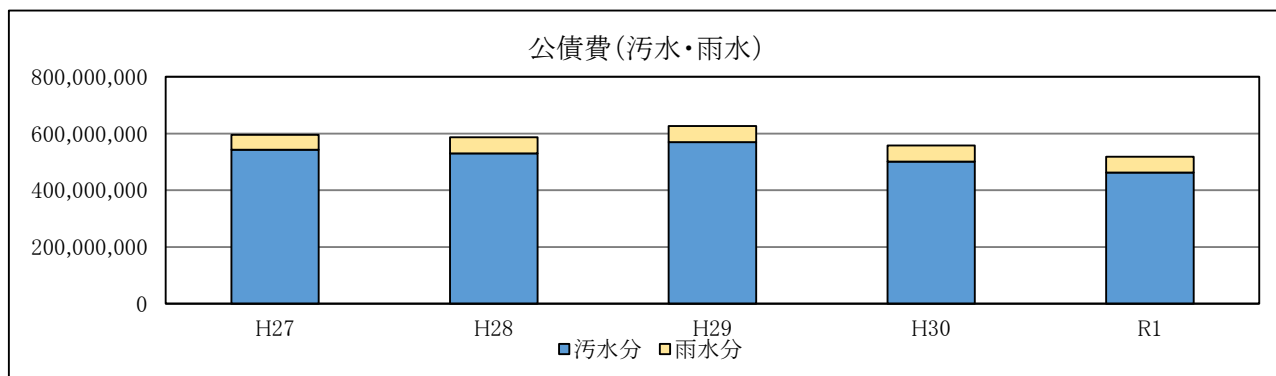
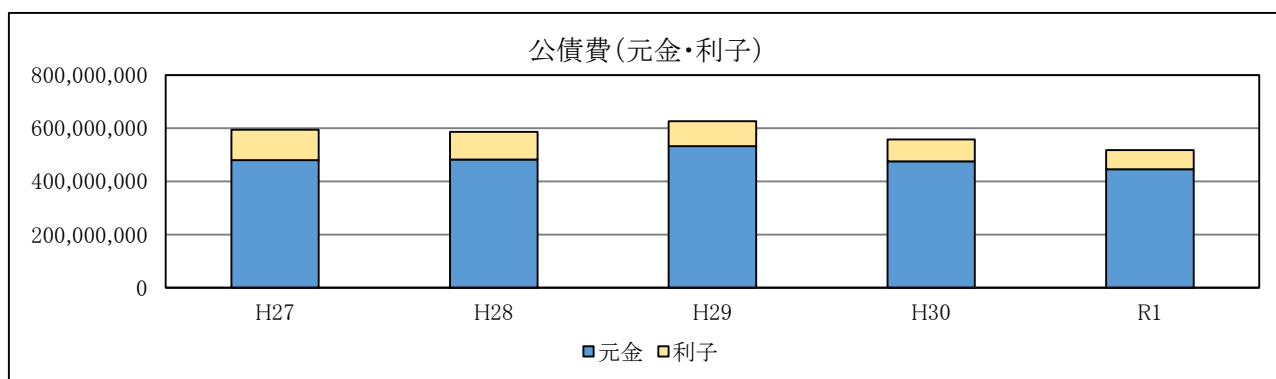


公債費の推移

(単位:円)

項目／年度	H27	H28	H29	H30	R1
公債費	594,965,724	586,309,730	626,531,315	557,975,049	517,509,244
元金	480,474,255	482,677,742	533,239,581	475,795,344	445,838,242
利子	114,491,469	103,631,988	93,291,734	82,179,705	71,671,002

うち	汚水分	542,168,899	530,200,647	569,392,132	500,796,076	461,935,437
	雨水分	52,796,825	56,109,083	57,139,183	57,178,973	55,573,807



下水道等普及状況(令和2年3月31日現在)

[下水道整備状況]

(単位:ha)

行政区域面積	全体計画面積	整備済面積	整備率
A	B	C	C/B
5,356.0	338.0	292.9	86.7%

[污水处理普及状況]

(単位:人)

項目／年度	H27	H28	H29	H30	R1
行政区域内人口	14,817	14,632	14,366	14,073	13,820
下水道処理区域内人口	10,037	9,940	9,811	9,720	9,533
下水道水洗化人口	9,251	9,238	8,950	8,993	8,939
合併処理浄化槽人口	2,929	3,027	3,116	3,158	3,073
污水处理人口	12,180	12,265	12,066	12,151	12,012

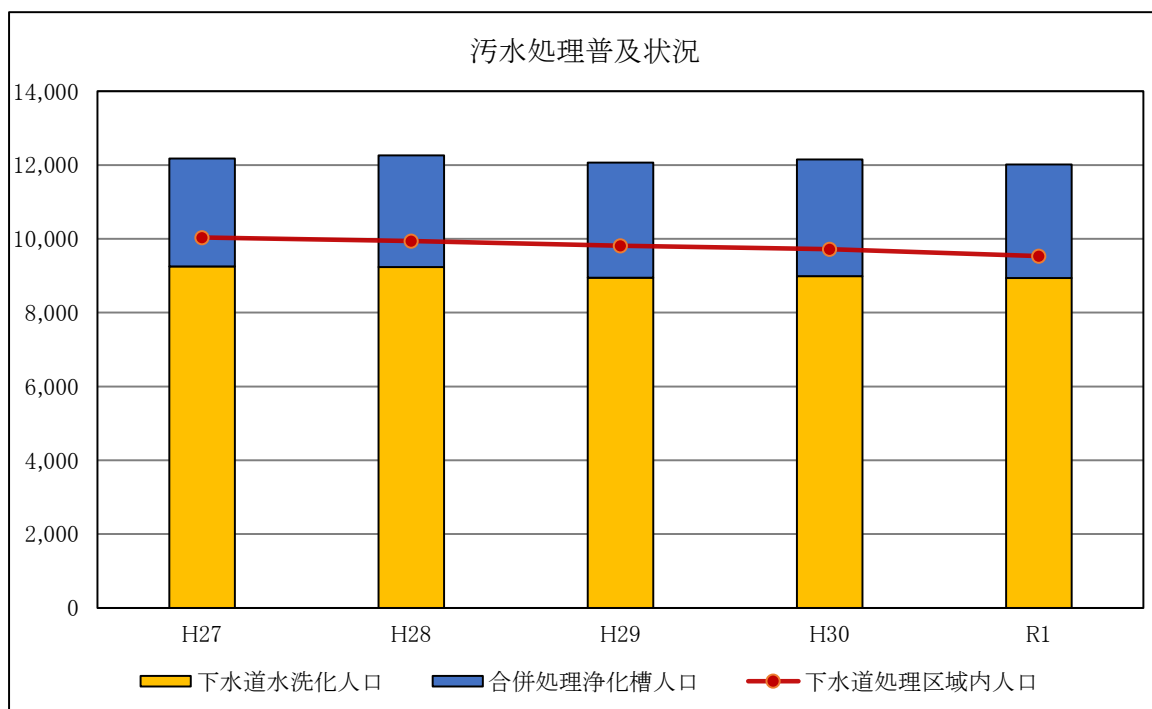
[下水道]

$$\begin{array}{lcl} \text{普及率} & = & \text{処理区域内人口} \div \text{行政区域内人口} \\ 69.0 \% & = & 9,533 \text{ 人} \div 13,820 \text{ 人} \end{array}$$

$$\begin{array}{lcl} \text{水洗化率} & = & \text{水洗化人口} \div \text{処理区域内人口} \\ 93.8 \% & = & 8,939 \text{ 人} \div 9,533 \text{ 人} \end{array}$$

[下水道＋合併処理浄化槽]

$$\begin{array}{lcl} \text{污水处理率} & = & \text{污水处理人口} \div \text{行政区域内人口} \\ 86.9 \% & = & 12,012 \text{ 人} \div 13,820 \text{ 人} \end{array}$$



汚水処理費の内訳

[決算状況]

項目／年度	H27	H28	H29	H30	R1	備考
処理区域内人口 (人)	10,037	9,940	9,811	9,720	9,533	A
水洗化人口 (人)	9,251	9,238	8,950	8,993	8,939	B
年間処理水量 (m ³)	1,543,693	1,553,748	1,606,417	1,557,568	1,673,162	C
年間有収水量 (m ³)	1,326,445	1,341,314	1,325,385	1,288,610	1,237,825	D
使用料収入 (千円)	213,729	215,141	208,771	204,826	198,043	E
汚水処理費 (千円)	329,786	298,776	315,977	333,101	265,895	F
維持管理費 (千円)	200,317	228,135	220,939	185,311	165,992	G
資本費 (千円)	129,469	70,641	95,038	147,790	99,903	H

[経営指標]

項目／年度	H27	H28	H29	H30	R1	備考
(1) 施設の効率性						
①水洗化率 (%)	92.2	92.9	91.2	92.5	93.8	B/A
②有収率 (%)	85.9	86.3	82.5	82.7	74.0	D/C
(2) 経営の有効性						
①使用料単価 (円／m ³)	161.1	160.4	157.5	159.0	160.0	I=E/D
②汚水処理原価 (円／m ³)	248.6	222.7	238.4	258.5	214.8	J=F/D
維持管理費 (円／m ³)	151.0	170.1	166.7	143.8	134.1	K=G/D
資本費 (円／m ³)	97.6	52.7	71.7	114.7	80.7	H/D
③経費回収率 (%)	64.8	72.0	66.1	61.5	74.5	I/J
維持管理費 (%)	106.7	94.3	94.5	110.5	119.3	I/K
資本費算入率 (%)	10.4	0.0	0.0	13.2	32.1	

使用料対象経費は汚水維持管理費と汚水資本費の合計で算定される。

令和元年度決算では、汚水維持管理費165,992千円と汚水資本費99,903千円を合わせた265,895千円が使用料対象経費となる。

汚水処理原価は、令和元年度決算で汚水処理に要した経費265,895千円に対し、有収水量が1,237,825m³であるため、1m³あたり215円となっている。

使用料収入の198,043千円を有収水量で割り戻すと、1m³あたり160円の収入となり、その差額分である55円は資本費平準化債と一般会計繰入金で賄われている。

下水道使用料年度別未収額調書

[令和元年度滞納繰越分 収入状況及び不納欠損調べ]

賦課年度	調定額		収入額		不納欠損額		収入未済額	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
平成25年度	15	574,140	3	201,290	11	358,370	1	14,480
平成26年度	12	856,990	0	38,260	0	0	12	818,730
平成27年度	16	865,190	0	0	0	0	16	865,190
平成28年度	31	924,960	4	65,900	0	0	27	859,060
平成29年度	31	762,300	11	166,030	0	0	20	596,270
平成30年度	290	2,667,160	266	2,168,660	0	0	24	498,500
計	395	6,650,740	284	2,640,140	11	358,370	100	3,652,230

水洗便所改造資金融資斡旋状況

年度	確認申請 件数(件)	斡旋申請 件数(件)	斡旋率	斡旋金額 (円)	利子補給金額	
					予算額(円)	決算額(円)
平成2～26年度	3,358	849	25.3%	486,740,000	55,538,000	34,100,747
平成27年度	72	0	0.0%	0	196,000	2,414
平成28年度	60	0	0.0%	0	106,000	179
平成29年度	49	2	4.1%	1,497,000	116,000	8,230
平成30年度	54	2	3.7%	1,600,000	126,000	19,215
令和元年度	53	0	0.0%	0	117,000	19,711
計	3,646	853	23.4%	489,837,000	56,199,000	34,150,496

下水道事業特別会計

2	款	1	項	1	目	下水道事業特別会計 公共下水道建設費				(単位:千円)	
担当部署名			水道事業所施設班								
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	94, 177		91, 526		33, 907		28, 100	796	28, 723		
目的	公共下水道施設の整備を行い、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	汚水施設整備経費（補助 対象）		A	4. 3	3. 7	長寿命化計画に基づき、松島浄化センター汚泥棟関連 設備（攪拌機等）の長寿命化改築工事を行った。 下水道未普及対策事業を実施するにあたり、初原地区 の実施設計を行った。					
	汚水施設整備経費（単 独）		A	4. 3	3. 7	公共下水道施設に必要な事務経費の支出を行った。					
実績	1 委託料 (2件) 62, 115, 000 円										
	・ 松島浄化センター長寿命化改築工事委託に関する協定 57, 000, 000 円										
	・ 初原地区下水道管渠実施設計業務委託 5, 115, 000 円										
課題 方向性	下水道未普及対策事業を再開し、早期に整備完了することを目標に事業を実施していく。										

下水道事業特別会計

2	款	1	項	2	目	下水道事業特別会計 復興推進費					(単位:千円)
担当部署名				水道事業所施設班							
予算の 執行 状況	予算額			決算額		財源内訳					
						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1, 456, 171			1, 293, 477				30, 000	947, 426	316, 051	
目的	震災復興計画に基づき、東日本大震災に伴う地盤沈下による雨水排水機能の低下を解消するため、各雨水ポンプ場及び雨水幹線を整備し、排水能力の強化を図る。										
評価 成果	事務事業名称			業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	松島地区外下水道事業			A	4. 3	3. 0	雨水ポンプ場建設工事及び雨水管渠築造工事を行い、事業の推進が図られた。				
実績	1 委託料 (5件)			1, 072, 000, 000 円							
	・ 磯崎第二雨水ポンプ場の復興事業に係る建設工事委託に関する協定			485, 000, 000 円							
	・ 西柳雨水ポンプ場の復興事業に係る建設工事委託に関する協定			231, 000, 000 円							
	(繰越明許費)										
	・ 長田雨水ポンプ場他1施設の復興事業に係る建設工事委託に関する協定			300, 000, 000 円							
	・ 磯崎第二雨水ポンプ場の復興事業に係る建設工事委託に関する協定			30, 000, 000 円							
	・ 西柳雨水ポンプ場の復興事業に係る建設工事委託に関する協定			26, 000, 000 円							
	2 工事請負費 (4件)			210, 286, 000 円							
	(繰越明許費)										
	・ 町排水区雨水管渠築造工事 鉄筋コンクリート管工 L=201m			70, 720, 000 円							
課題 方向性	・ 磯崎排水区雨水管渠築造工事 鉄筋コンクリート管工 L=39m ボックスカルバート工 L=35m 既設水路底部調整工 L=17m			115, 440, 000 円							
	・ 小梨屋排水区雨水管渠築造工事 鉄筋コンクリート管工 L=4m 硬質塩化ビニル管工 L=25m U型側溝工 L=41m			13, 456, 000 円							
	・ 普賢堂排水区雨水管渠築造付帯工事 水路鉄板蓋設置工 L=40m			10, 670, 000 円							
	3 公有財産購入費			10, 949, 400 円							
	・ 西柳雨水ポンプ場用地購入			10, 949, 400 円							
	復興交付金事業については、事業期間が令和2年度末までとなっているため、期間内の完了に向けて事業を実施していく。										

下水道事業特別会計

3	款	1	項	1	目	下水道事業特別会計 公共下水道施設災害復旧費				
担当部署名				水道事業所施設班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	462,362		447,339		406,980		14,000		26,359	
目的	東日本大震災による地盤沈下で自然排水が困難となった地区の公共下水道施設の復旧を行い、雨水排水機能の確保を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	公共下水道施設災害復旧費		A	4.3	3.3	高城浜排水区について、雨水ポンプ場建設工事及び雨水管渠築造工事が完了し、排水機能の確保が図られた。				
実績	1 委託料 (2件)						335,000,000 円			
	・ 高城浜雨水ポンプ場の災害復旧事業に係る建設工事委託に関する協定						305,000,000 円			
	(繰越明許費)									
	・ 高城浜雨水ポンプ場の災害復旧事業に係る建設工事委託に関する協定						30,000,000 円			
	2 工事請負費 (2件)						85,980,000 円			
	・ 高城浜排水区雨水管渠築造工事 自由勾配側溝工 L=237m						37,620,000 円			
	(繰越明許費)									
	・ 高城浜排水区雨水管渠築造工事 自由勾配側溝工 L=128m 鉄筋コンクリート管工 L=312m						48,360,000 円			
課題 方向性	東日本大震災に伴う公共下水道施設の復旧については、令和元年度末で事業が完了した。									

